

令和3年度

横浜市民意識調査

横浜市政策局

ま え が き

「横浜市民意識調査」は、市民の日常生活を意識と行動の両面からとらえ、市民の生活意識や生活構造を明らかにし、その結果を市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的に、昭和47（1972）年度から毎年実施しています。

本年度の調査では、市政への満足度、市政への要望、定住意識、生活の満足度、心配ごとや困っていることなどのほか、特集として、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響、生活価値観、これからの生活・社会について尋ねました。

調査の結果は、市民ニーズを的確にとらえるための基礎的かつ客観的なデータとして活用していきます。

最後になりましたが、調査にご協力いただきました多くの市民の皆さまに心より厚くお礼申し上げます。

令和4年3月

横浜市政策局

目 次

I. 調査の概要	1	3. 生活意識	59
1. 目的	1	(1) 生活満足度	59
2. 構成	1	(2) 項目別生活満足度	61
3. 仕様	1	(3) 生活満足度まとめ	69
4. 項目	1	(4) 心配ごとや困っていること	70
5. 回収結果	1	4. 地域におけるつながり	77
6. 集計方法	2	(1) 隣近所とのつき合い方	77
7. 報告書の見方	2	(2) 隣近所とのつき合いの感じ方	81
8. 回収標本構成	3	5. 新型コロナウイルス感染症の 感染拡大の影響	84
9. 調査票と単純集計結果	9	(1) 新型コロナウイルス感染症の影響	84
II. 調査の結果	19	(2) 新型コロナウイルス感染症の感染 拡大をきっかけとして起きた変化	93
1. 市政	19	6. 生活価値観	94
(1) 市政への満足度	19	(1) 生活価値観	94
(2) 市政への要望	26	7. これからの生活・社会	115
(3) 市政全体への満足度	33	(1) 生活を取り巻く環境の変化 への期待・不安	115
(4) 満足度と要望のまとめ	37	(2) 今後の横浜のまち	122
2. 定住意識	41		
(1) 現住地居住年数	41		
(2) 前住地	43		
(3) 居住地選択時の候補地	44		
(4) 「横浜市」を住まいとして 選んだ理由	47		
(5) 現住地定住意向	49		
(6) 希望する転居先	53		
(7) 市内定住意向	53		
(8) 横浜市に住み続ける理由	54		

I 調査の概要

1. 目的

市民の日常生活を意識と行動の両面からとらえ、横浜市民の生活意識や生活構造を明らかにし、その結果を市政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的とする。

2. 構成

ほぼ毎年継続して質問する項目と、行政課題などに応じて年度ごとに設定する項目から構成する。

3. 仕様

- (1) 調査地域 横浜市全域
- (2) 調査対象 横浜市内に居住する満 18 歳以上の男女個人
- (3) 抽出人数 5,000 人
- (4) 抽出方法 日本人、外国籍市民ともに住民基本台帳から単純無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送法・インターネット回答方式併用（調査票を郵送、回答は郵送又はインターネットによる）
- (6) 調査期間 令和 3 年 5 月 26 日（木）～ 6 月 17 日（木）
- (7) 調査実施、集計、分析 株式会社アクス

4. 項目

- (1) 【市政】 市政への満足度、市政への要望、市政全体への満足度
- (2) 【定住意識】 現住地居住年数、前住地、居住地選択時の候補地、「横浜市」を住まいとして選んだ理由、現住地定住意向、横浜に住み続ける理由
- (3) 【生活意識】 生活満足度、心配ごとや困りごと
- (4) 【地域におけるつながり】 隣近所とのつき合い方、隣近所とのつき合いの感じ方
- (5) 【新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響】 新型コロナウイルス感染症の影響、
新型コロナウイルス感染症の感染拡大をきっかけとして起きた変化
- (6) 【生活価値観】
- (7) 【これからの生活・社会】 生活を取り巻く環境の変化への期待・不安、今後の横浜のまち

5. 回収結果

- (1) 回収件数 2,572 件（郵送回答 1,635 件／インターネット回答 937 件）
- (2) 回収率 51.4%
- (3) 未回収件数 2,428 件（転居、住所不明 75 件を含む）

6. 集計方法

単純集計と以下の項目別クロス集計を行った。

区別（18区別）、ブロック別（4ブロック別）、年齢別、性・年齢別、ライフステージ別、世帯類型別、設問間クロス集計

7. 報告書の見方

- (1) nは質問に対する回答の対象者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 百分比は少数第2位を四捨五入して少数第1位まで示している。このため、内訳の合計が100.0%に満たない場合や、上回る場合がある。
- (3) 1回答者が2つ以上の回答をしてもよい複数回答の設問では、百分比の合計は通常100.0%を超える。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記では、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (5) 単純無作為抽出を用いた場合の標本誤差（サンプル誤差）は、信頼度を95%としたとき、次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数(n)、及び回答比率(P)によって異なる。

<標本誤差の計算式>

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (1-P)}{n}}$$

N = 母集団数

n = 回答件数（比率算出の基数）

P = 回答比率

<標本誤差早見表>

回答比率(P) 基数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
2,572人	±1.16	±1.55	±1.77	±1.89	±1.93
2,000人	±1.31	±1.75	±2.01	±2.15	±2.19
1,000人	±1.86	±2.48	±2.84	±3.04	±3.10
500人	±2.63	±3.51	±4.02	±4.29	±4.38
100人	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

※ 母集団は横浜市全体の満18歳以上人口3,213,782人である。（令和3年3月31日）

<標本誤差の見方>

例えば、「ある設問の回答者数が2,572であり、その設問中の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも1.89以内（58.11%～61.89%）である」とみることができる。

ただし、信頼度が95%であるので、そのように判断することは95%の確率で正しいことになる。

8. 回収標本構成

(1) 区別

	実数	割合 (%)
全体	2,572	100.0%
鶴見区	185	7.2%
神奈川区	171	6.6%
西区	72	2.8%
中区	104	4.0%
南区	138	5.4%
港南区	158	6.1%
保土ヶ谷区	137	5.3%
旭区	172	6.7%
磯子区	100	3.9%
金沢区	127	4.9%
港北区	205	8.0%
緑区	118	4.6%
青葉区	208	8.1%
都筑区	158	6.1%
戸塚区	192	7.5%
栄区	98	3.8%
泉区	111	4.3%
瀬谷区	80	3.1%
無回答	38	1.5%

(2) ブロック別

	実数	割合 (%)
全体	2,572	100.0%
東部	670	26.0%
西部	692	26.9%
南部	483	18.8%
北部	689	26.8%
無回答	38	1.5%

※ブロック別の構成は、以下のとおりである。
 東部：鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区
 西部：保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区
 南部：港南区、磯子区、金沢区、栄区
 北部：港北区、緑区、青葉区、都筑区

(3) 性・年齢別

	調査結果		市全体（令和3年3月31日現在）	
	実数	割合 (%)	人口 (人)	構成比 (%)
全体	2,572	100.0%	3,213,782	100.0%
18～29歳	262	10.2%	486,896	15.2%
（18～19歳）	(50)	(1.9%)	(70,314)	(2.2%)
30代	301	11.7%	442,622	13.8%
40代	466	18.1%	582,161	18.1%
50代	494	19.2%	569,126	17.7%
60代	408	15.9%	404,298	12.6%
70歳以上	605	23.5%	728,679	22.7%
（80歳以上）	(211)	(8.2%)	(298,038)	(9.3%)
男性計	1,096	42.6%	1,585,180	49.3%
18～29歳	104	4.0%	248,936	7.7%
（18～19歳）	(23)	(0.9%)	(35,730)	(1.1%)
30代	135	5.2%	227,370	7.1%
40代	191	7.4%	296,299	9.2%
50代	228	8.9%	294,423	9.2%
60代	178	6.9%	203,730	6.3%
70歳以上	260	10.1%	314,422	9.8%
（80歳以上）	(96)	(3.7%)	(114,288)	(3.6%)
女性計	1,425	55.4%	1,628,602	50.7%
18～29歳	156	6.1%	237,960	7.4%
（18～19歳）	(27)	(1.0%)	(34,584)	(1.1%)
30代	164	6.4%	215,252	6.7%
40代	274	10.7%	285,862	8.9%
50代	263	10.2%	274,703	8.5%
60代	229	8.9%	200,568	6.2%
70歳以上	339	13.2%	414,257	12.9%
（80歳以上）	(112)	(4.4%)	(183,750)	(5.7%)
性別・年齢無回答	51	2.0%	—	—

(注) 市全体の人口は、横浜市年齢別男女別人口（住民基本台帳登録者数）による。

(4) ライフステージ別

本調査においては各ライフステージとして、次のとおり属性を定めた。

属性	数値	実数	割合	内容
全 体		2,572	100.0%	
子どもなし (計)		756	29.4%	
1 単身 (1)		307	11.9%	配偶者なし・子どもなし・40歳未満
2 単身 (2)		185	7.2%	配偶者なし・子どもなし・40～64歳
3 夫婦だけ (1)		53	2.1%	配偶者あり・子どもなし・40歳未満
4 夫婦だけ (2)		139	5.4%	配偶者あり・子どもなし・40～64歳
5 高齢子どもなし		72	2.8%	65歳以上・子どもなし
子どもあり (計)		1,676	65.2%	
6 家族形成期		143	5.6%	子どもあり・第一子が小学校入学前
7 家族成長前期		165	6.4%	子どもあり・第一子が小学校在学中
8 家族成長中期		187	7.3%	子どもあり・第一子が中学校又は高校在学中
9 家族成長後期		109	4.2%	子どもあり・第一子が各種学校・専修・専門学校・短大・大学生・大学院生の子を持つ親
10 家族成熟前期		89	3.5%	子どもあり・第一子が学校教育終了・教育期*の子どもがいる
11 家族成熟中期		322	12.5%	子どもあり・子どもが全員学校教育を終了・65歳未満
12 家族成熟後期		661	25.7%	子どもあり・子どもが全員学校教育を終了・65歳以上
その他		140	5.4%	1～12以外、分類不能

※ 教育期…小学校、中学校、高校、各種学校、専修、専門学校、短大、大学生又は大学院に在学中

<ライフステージとその構成条件>

質問、項目名 選択肢名		ライフ ステージ													
		1 単 身 (1)	2 単 身 (2)	3 夫 婦 だ け (1)	4 夫 婦 だ け (2)	5 高 齢 子 ど も な し	6 家 族 形 成 期	7 家 族 成 長 前 期	8 家 族 成 長 中 期	9 家 族 成 長 後 期	10 家 族 成 熟 前 期	11 家 族 成 熟 中 期	12 家 族 成 熟 後 期	そ の 他	
F6 子 ど も	なし あり	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
F2 年 齢	40歳未満 40歳～64歳 65歳以上	○		○			/	/	/	/	/	/	○		
F5 未 ・ 既 婚	既婚・有配偶者 既婚・配偶者離死別 未婚			○	○	○	/	/	/	/	/	/	/	/	
F6 子 ど も の 成 長 段 階	小学校入学前 小学校在学中 中学校在学中 高校在学中 各種・専修・専門学校在学中 短大・大学・大学院在学中 学校教育終了 <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 10px;"> { <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 5px;"> 未婚・同居 未婚・別居 既婚・同居 既婚・別居 </div> </div>	/	/	/	/	/	○		○						

- (注1) 子どもの成長段階の欄のうち、「6 家族形成期」、「7 家族成長前期」、「8 家族成長中期」、「9 家族成長後期」の○印は、子どもが複数いる場合、第一子の状況とする。
- (注2) 子どもの成長段階の欄のうち、「10 家族成熟前期」は、◎印及び○印がそれぞれ1つ以上あることを条件とする。
- (注3) 「その他」は、構成条件の質問で「その他」の回答や「無回答」があつて、1～12以外のもの及び分類不能なものである。

(5) 世帯類型別

本調査においては各世帯類型として、次のとおり属性を定めた。

属性	数値	実数	割合	内容
全 体		2,572	100.0%	
1 ひとり暮らし (1)		107	4.2%	ひとり暮らし・40歳未満
2 ひとり暮らし (2)		110	4.3%	ひとり暮らし・40～64歳
3 ひとり暮らし (3)		135	5.2%	ひとり暮らし・65歳以上
4 夫婦のみ (1)		209	8.1%	夫婦二人暮らし・子どもなし
5 夫婦のみ (2)		433	16.8%	夫婦二人暮らし・子どもあり
6 子と同居 (1)		591	23.0%	親子2世代で同居・教育期*の子どもがいる
7 子と同居 (2)		331	12.9%	親子2世代で同居・子どもが全員学校教育終了
8 親と同居 (1)		156	6.1%	親子2世代で同居・子どもなし・40歳未満
9 親と同居 (2)		100	3.9%	親子2世代で同居・子どもなし・40歳以上
10 祖父母と親と子		152	5.9%	祖父母と親子と子3世代で同居
その他		248	9.6%	1～10以外、分類不能

※ 教育期：小学校、中学校、高校、各種学校、専修、専門学校、短大、大学生又は大学院に在学中

<世帯類型とその構成条件>

世帯類型		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他
		ひとり暮らし (1)	ひとり暮らし (2)	ひとり暮らし (3)	夫婦のみ (1)	夫婦のみ (2)	子と同居 (1)	子と同居 (2)	親と同居 (1)	親と同居 (2)	祖父母と親と子	
F7 家族形態	一人暮らし	○	○	○								
	夫婦のみ				○	○						
	親と子(2世代)						○	○	○	○		
	祖父母と親と子(3世代)										○	
F6 子どもの成長段階	子どもはいない				○				○	○		
	小学校入学前					○	○					
	小学校在学中					○	○					
	中学校在学中					○	○					
	高校在学中					○	○					
	各種・専修・専門学校在学中					○	○					
	短大・大学・大学院在学中					○	○					
学校教育終了						○		○				
F2 年齢	40歳未満	○							○			
	40歳～64歳		○							○		
	65歳以上			○						○		

(注1) 子どもの成長段階の欄のうち、「6 子と同居(1)」は、○印が1つ以上あることを条件とし、学校教育を終了した子どもの有無は問わない。「7 子と同居(2)」は学校教育を終了した子どものみとする。

(注2) 「その他」は、構成条件の質問で「その他」の回答や「無回答」があつて、1～10以外のもの及び分類不能なものである。

(6) 出生地別

属性	数値	実数	割合
全体		2,572	100.0%
横浜生まれ		811	31.5%
横浜以外		1,721	66.9%
無回答		40	1.6%

(7) 未・既婚別

属性	数値	実数	割合
全体		2,572	100.0%
既婚(計)		1,983	77.1%
有配偶者		1,655	64.3%
離死別		328	12.8%
未婚		530	20.6%
無回答		59	2.3%

(8) 共働き状況別 n=既婚(有配偶者)

属性	数値	実数	割合
全体		1,655	100.0%
共働きしている		760	45.9%
共働きしていない		887	53.6%
無回答		8	0.5%

(9) 職業別

属性	数値	実数	割合
全体		2,572	100.0%
有職者(計)		1,520	59.1%
自営業		172	6.7%
管理職		124	4.8%
専門技能職		253	9.8%
事務職		487	18.9%
現業職		484	18.8%
無職者(計)		975	37.9%
専業主婦・主夫		370	14.4%
学生		93	3.6%
無職		512	19.9%
無回答		77	3.0%

(10) 就業形態別 n=自営業を除く有職者

属性	数値	実数	割合
全体		1,348	100.0%
会社役員		47	3.5%
正社員・正規職員		774	57.4%
アルバイト・パート		347	25.7%
派遣社員		36	2.7%
契約社員・嘱託社員		122	9.1%
その他		12	0.9%
無回答		10	0.7%

(11) 勤務地別 n=自営業を除く有職者

属性	数値	実数	割合
全体		1,348	100.0%
居住区内		297	22.0%
市内他区		426	31.6%
川崎市		109	8.1%
川崎市を除く県内の他市町村		90	6.7%
東京都区部		362	26.9%
東京都区部を除く東京都		20	1.5%
千葉県		8	0.6%
埼玉県		4	0.3%
その他		20	1.5%
無回答		12	0.9%

(12) 住居形態別

属性	数値	実数	割合
全体		2,572	100.0%
持家(一戸建て)		1,166	45.3%
持家(マンション・共同住宅)		757	29.4%
借家(一戸建て)		50	1.9%
借家(県営・市営の共同住宅)		44	1.7%
借家(都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅)		56	2.2%
借家(社宅、公務員住宅)		54	2.1%
借家(民間アパート、民間賃貸マンション)		396	15.4%
その他		12	0.5%
無回答		37	1.4%

(13) 鉄道路線別

属性	数値	実数	割合
全体		2,572	100.0%
横浜線		190	7.4%
東横線・みなとみらい線		214	8.3%
田園都市線・こどもの国線		207	8.0%
根岸線		209	8.1%
相鉄線		365	14.2%
東海道線北部		209	8.1%
東海道線南部		272	10.6%
京浜急行線		308	12.0%
市営地下鉄線北部		240	9.3%
市営地下鉄線南部		220	8.6%
その他・不明		138	5.4%

(注)・東横線:「東横線」「みなとみらい線」

- ・東海道線北部:「東海道・横須賀線」のうちの鶴見区・神奈川区、「京浜東北線」、「京浜急行線」のうちの鶴見区、「南武線」、「鶴見線」
- ・東海道線南部:「東海道・横須賀線」のうちの鶴見区・神奈川区以外
- ・京浜急行線:「京浜急行線」のうちの鶴見区以外、「金沢シーサイドライン」
- ・市営地下鉄線北部:「市営地下鉄線」のうちの神奈川区・港北区・緑区・青葉区・都筑区
- ・市営地下鉄線南部:「市営地下鉄線」のうちの神奈川区・港北区・緑区・青葉区・都筑区以外

9. 調査票と単純集計結果

『横浜市民意識調査』 調査票

[%の基数表示の無いものは、n=2,572]

【定住意識】 まず、お住まいのご様子についてお尋ねします。

問1 あなたは、今のお住まいにいつごろから住んでいらっしゃいますか。(○は1つ)

2.3	65年以上前〔昭和31年(1956年)以前〕	
2.8	55～64年前〔昭和32～41年(1957～1966年)〕	
7.2	45～54年前〔昭和42～51年(1967～1976年)〕	
9.4	35～44年前〔昭和52～61年(1977～1986年)〕	
12.2	25～34年前〔昭和62～平成8年(1987～1996年)〕	
22.2	15～24年前〔平成9～18年(1997～2006年)〕	
12.1	10～14年前〔平成19～23年(2007～2011年)〕	
12.3	5～9年前〔平成24～28年(2012～2016年)〕	
18.2	5年未満〔平成29年(2017年)以降〕	1.3 (無回答)

問2 あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。(○は1つ)

3ページ
問3へ ←

4.5	生まれてからずっと現住所に住んでいる	5.2	川崎市を除く県内の他市町村
29.6	今住んでいるのと同じ区内	7.5	東京都区部
29.9	横浜市内の別の区	2.2	東京都区部を除く東京都内
6.4	川崎市	12.8	そのほかの道府県・国外

(問2で「2」～「8」と答えた方に) 1.9 (無回答)

→ 問2-1 現在のお住まいを決める際に、お住まいが「横浜市」であることを意識していましたか。(○は1つ) (n=2,407)

52.4	当初から「横浜市」に住むつもりだった。	
11.2	いくつかの候補地の中で、最も「横浜市」に住みたいと思っていた。	
1.8	「横浜市」は候補地の1つだったが、できれば「横浜市」以外に住みたいと思っていた。	
12.5	「横浜市」を含めた候補地のうち、どこに住んでもよいと思っていた。	
1.1	「横浜市」は、候補地として考えていなかった。	
14.5	候補地は決めていなかった。	6.5 (無回答)

→ 問2-2 「横浜市」をお住まいとして選んだ理由は何ですか。(○はいくつでも) (n=2,407)

23.2	生まれ育った場所だから	9.0	街ににぎわいや活気があるから
18.5	自分や家族の持家だから	14.7	街並みや景観がよいから
8.9	家賃や住宅の価格が手ごろだから	16.0	自然が身近にあるから
26.7	親や子、親族、友人などがいるから	16.2	街のイメージがよいから
45.0	通勤・通学に便利だから	15.2	愛着を感じているから
21.9	買い物、医療などの生活環境が整っているから	25.1	横浜が好きだから
8.1	子育ての環境が整っているから	7.7	その他(具体的に)
13.5	余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから	3.6	特に理由はない 3.2 (無回答)

問3 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けるお気持ちですか。(〇は1つ)

34.5 住み続ける	10.0 たぶん転居する	12.0 わからない	
36.7 たぶん住み続ける	4.7 転居する		2.1 (無回答)

問4へ

4ページ 問5へ

→(問3で「3」または「4」と答えた方に)

問3-1 現実の問題は別として、次の転居先としては、同じ区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。(〇は1つ) (n=378)

12.4 同じ区内	24.1 横浜市内	29.6 横浜市以外	33.6 具体的にはわからない	
-----------	-----------	------------	-----------------	--

問4へ

4ページ 問5へ

0.3 (無回答)

(問3で「1」または「2」と答えた方、問3-1で「1」または「2」と答えた方に) (n=1,969)

→問4 あなたが横浜に住み続けるご意向があるのは、どのような理由からですか。(〇はいくつでも)

26.4 生まれ育った場所だから	10.1 街ににぎわいや活気があるから
54.7 自分や家族の持家だから	17.9 街並みや景観がよいから
3.6 家賃や住宅の価格が手ごろだから	22.0 自然が身近にあるから
32.2 親や子、親族、友人などがいるから	16.8 街のイメージがよいから
30.1 通勤・通学に便利だから	40.7 長年住んでいて愛着があるから
35.2 買い物、医療などの生活環境が整っているから	34.4 横浜が好きだから
4.8 子育ての環境が整っているから	2.2 その他(具体的に)
19.1 余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから	1.3 特に理由はない

1.0 (無回答)

【生活意識】次に、生活の満足度や心配ごとなどについてお尋ねします。

問5 あなたは、今のご自分の生活に満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。
(○は1つ)

25.8	満足しているほう	7.6	やや不満があるほう
47.6	まあ満足しているほう	3.1	不満があるほう
12.4	どちらともいえない		3.5 (無回答)

問6 今のご自分の生活について、次の項目別にみると、満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。(○はそれぞれ1つ)

	ほ満足している	いまある満足している	いどちえらなど	あやや不満足	ほ不満がある	無回答
(ア) 住まい	31.9	46.7	9.9	6.9	2.6	1.9
(イ) 自由に過ごせる時間	28.9	42.8	15.1	7.9	3.0	2.3
(ウ) 仕事・学業	15.0	34.8	26.7	8.5	3.8	11.2
(エ) 収入	10.1	33.9	28.8	15.8	7.7	3.7
(オ) 健康	17.5	43.9	21.6	10.9	3.5	2.6
(カ) 家族との関係	37.4	40.9	13.1	3.9	2.4	2.3
(キ) 友人や近隣とのつき合い	17.6	45.5	29.1	4.1	1.6	2.1

問7 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。
(○は3つまで)

51.3	自分の病気や健康、老後のこと	4.0	近隣からの悪臭・騒音
38.8	家族の病気や健康、生活上の問題	5.0	環境問題
8.7	失業・倒産や収入が減ること	7.0	事故や災害のこと
15.1	仕事や職場のこと	4.7	犯罪や防犯のこと
22.2	景気や生活費のこと	10.0	住宅のこと
11.7	子どもの保育や教育のこと	3.6	その他(具体的に)
7.4	子どもの結婚や就職のこと	12.6	心配ごとや困っていることはない

3.4 (無回答)

【市 政】市の行政などについてお尋ねします。

問 8 あなたが、満足している公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。
(○はいくつでも)

- 52.4 バス・地下鉄などの便
- 18.5 幹線道路や高速道路の整備
- 19.8 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備
- 3.3 違法駐車防止や交通安全対策
- 3.9 駐車場の整備
- 21.3 最寄り駅周辺の整備
- 9.9 都心部の整備や魅力づくり
- 17.1 街並みや景観の形成や保全
- 7.2 港湾機能と市民が親しめるミナトづくり
- 5.9 観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興
- 10.6 身近な住民窓口サービス
- 8.6 役所等に出向かずにインターネットで手続等ができるオンライン化
- 0.6 中小企業振興や雇用の創出
- 3.1 商店街の振興
- 3.9 野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興
- 22.2 公園・動物園の整備
- 16.5 緑の保全と緑化の推進
- 7.3 河川改修と水辺環境の整備
- 7.3 下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善
- 23.4 良質な水の確保や安定供給
- 1.8 環境汚染や騒音などへの対策
- 33.5 ごみの分別収集、リサイクル
- 5.8 ごみの不法投棄対策や街の美化
- 1.8 地球温暖化への対策
- 4.0 地震や台風などの災害対策
- 4.8 防犯対策
- 2.5 食品衛生・環境衛生の監視・指導
- 3.7 保育など子育て支援や保護を要する児童への援助
- 3.6 学校教育の充実
- 1.2 青少年の健全育成
- 15.9 病院や救急医療など地域医療
- 10.0 高齢者や障害者が移動しやすい街づくり（駅舎へのエレベーター設置など）
- 6.3 高齢者福祉
- 3.9 障害者福祉
- 2.2 経済的に困っている人の保護や支援
- 0.6 公的住宅の整備や住宅取得への融資
- 11.0 地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興
- 10.5 美術館・図書館・区民文化センターなどの整備や市民文化の振興
- 6.0 スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備
- 4.5 橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策
- 2.2 国際交流・協力の推進
- 2.3 広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進
- 1.2 男女共同参画社会の推進、人権問題への対応
- 1.6 その他（具体的に）
- 10.0 わからない

3.0（無回答）

問9 あなたが、今後、充実すべきだと思う公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。(○はいくつでも)

- 23.0 バス・地下鉄などの便
 - 8.3 幹線道路や高速道路の整備
 - 23.1 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備
 - 17.3 違法駐車防止や交通安全対策
 - 11.2 駐車場の整備
 - 20.6 最寄り駅周辺の整備
 - 5.6 都心部の整備や魅力づくり
 - 14.3 街並みや景観の形成や保全
 - 4.9 港湾機能と市民が親しめるミナトづくり
 - 3.3 観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興
 - 20.7 身近な住民窓口サービス
 - 20.4 役所等に出向かずにインターネットで手続等ができるオンライン化
 - 8.7 中小企業振興や雇用の創出
 - 18.8 商店街の振興
 - 7.9 野菜栽培や市民農園などの都市農業の振興
 - 13.5 公園・動物園の整備
 - 18.3 緑の保全と緑化の推進
 - 12.2 河川改修と水辺環境の整備
 - 13.5 下水道施設整備による身近な川や海などの水質改善
 - 14.5 良質な水の確保や安定供給
 - 14.4 環境汚染や騒音などへの対策
 - 15.9 ごみの分別収集、リサイクル
 - 19.6 ごみの不法投棄対策や街の美化
 - 23.9 地球温暖化への対策
 - 31.7 地震や台風などの災害対策
 - 27.4 防犯対策
 - 7.5 食品衛生・環境衛生の監視・指導
 - 20.1 保育など子育て支援や保護を要する児童への援助
 - 19.8 学校教育の充実
 - 12.1 青少年の健全育成
 - 30.4 病院や救急医療など地域医療
 - 23.7 高齢者や障害者が移動しやすい街づくり（駅舎へのエレベーター設置など）
 - 28.8 高齢者福祉
 - 15.1 障害者福祉
 - 19.8 経済的に困っている人の保護や支援
 - 6.1 公的住宅の整備や住宅取得への融資
 - 9.6 地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興
 - 11.9 美術館・図書館・区民文化センターなどの整備や市民文化の振興
 - 9.3 スポーツ・レクリエーションの振興や施設の整備
 - 17.0 橋梁や上下水道などの都市インフラの老朽化対策
 - 5.5 国際交流・協力の推進
 - 5.9 広報や広聴、市民相談、情報公開など市民参加の推進
 - 6.9 男女共同参画社会の推進、人権問題への対応
 - 3.7 その他（具体的に
 - 5.9 わからない
-) 1.1（無回答）

問 10 あなたは、全体として市の行政サービスや業務に満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。（○は1つ）

6.4	満足しているほう	8.9	やや不満があるほう	
24.5	まあ満足しているほう	18.0	不満があるほう	
35.9	どちらともいえない	5.2	わからない	1.1（無回答）

【地域におけるつながり】

問 11 あなたは、隣近所と普段どのようなつき合い方をしていますか。（○は1つ）

14.2	顔もよく知らない	
51.9	道で会えば挨拶ぐらいする	
24.7	たまに立ち話をする	
4.0	一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている	
4.4	困ったとき、相談したり助け合ったりする	0.8（無回答）

問 12 あなたは、隣近所とのつき合いをどのように感じていますか。（○は1つ）

75.7	互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい	
10.0	人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい	
11.5	親密な人間関係があって、暮らしやすい	
1.4	人間関係が濃密で、わずらわしい	1.4（無回答）

【新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響】

問 13 あなたの生活で、新型コロナウイルス感染症の影響により、次のことが増えましたか。それとも減りましたか。（○はそれぞれ1つ）

	増えた	変わらない	減った	無回答
(ア) 世帯の収入	1.5	70.9	25.7	1.9
(イ) 世帯の支出	26.6	58.6	12.5	2.3
(ウ) しごと・労働時間（学業を含む）	8.9	62.4	20.6	8.1
(エ) 一人で過ごす時間	28.3	52.5	17.0	2.2
(オ) 家族と過ごす時間	37.0	50.2	10.0	2.8
(カ) 友人・知人と過ごす時間	1.2	20.8	75.9	2.1
(キ) 地域の人とのつながり	1.5	52.3	43.7	2.5
(ク) 運動する時間	8.1	49.4	39.8	2.6
(ケ) 店舗に出向いて買い物をする機会	4.5	33.2	59.9	2.3
(コ) インターネットショッピングや通販の利用	44.3	45.6	4.4	5.7
(サ) 外出する機会	1.4	17.5	79.3	1.8
(シ) インターネットの利用	47.6	41.6	3.4	7.4

問 14 あなたの生活の中で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大をきっかけとして起きた変化はありますか。（○はいくつでも）

4.5	失業・廃業	1.0	就職	0.1	退学	0.6	結婚	64.2	この中には 起きた変化 はない
3.3	転職	26.9	テレワーク ・オンライン授業	1.7	転居	0.3	離婚・別居		

2.0（無回答）

【生活価値観】

問 15 次に挙げる項目について、あなたはどのように思いますか。当てはまるものをお選びください。

(○はそれぞれ1つ)

	そ う 思 う	そいど う 思 う	いど ち え ら な い	思いど えち わ ばら な そか いうと	そ う 思 わ な い	無 回 答
(ア) 必ずしも結婚はする必要はない	27.9	19.4	30.0	12.3	8.0	2.4
(イ) 夫も家事や育児を分担すべきだ	49.2	31.9	13.4	1.7	1.2	2.5
(ウ) いくつになっても元気なうちは働くべきだ	28.1	31.0	27.2	6.2	5.6	1.9
(エ) 仕事は収入のために、仕事以外の自分の生活を大切に	28.1	35.5	24.7	6.5	2.6	2.7
(オ) いったん職業に就いたら、その仕事を一生続ける方がよい	6.1	13.7	38.9	15.3	24.0	2.1
(カ) 多少生活が不便でも、静かな郊外に住む方がよい	7.5	17.8	45.4	16.8	10.4	2.1
(キ) 同じ場所をずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替える方がよい	7.0	15.8	43.9	18.3	13.2	1.9
(ク) 地方で暮らすよりも、大都市で暮らしたい	8.9	22.5	42.0	13.4	11.4	1.9
(ケ) いろいろな人と広く交流するより、気のあった人と深く付き合う方がよい	20.4	36.0	33.1	6.1	2.6	1.9
(コ) 何らかの形で、積極的に社会に役に立つことをしたい	15.9	41.4	31.8	5.9	2.9	2.0
(サ) 手助けが必要なときは、隣近所の人に頼むよりサービス業者に頼んだ方がよい	20.6	37.6	32.2	5.4	2.4	1.8
(シ) 困ったことがあった時でも、できるだけ本人や家族等で解決すべきだ	10.7	29.7	35.3	14.4	7.9	1.9
(ス) 大切なのは社会全体のことより、自分の生活だ	8.5	21.9	45.9	14.4	7.3	1.9
(セ) 将来に備えるより、今の生活を大切にしたい	6.8	17.5	40.9	24.9	8.0	1.9
(ソ) 自分の生活が便利になるのであれば、自分に関する情報を知らせたり登録したりしてもよい	6.1	21.7	35.3	19.4	15.4	1.9
(タ) インターネットやスマートフォンは、生活に必要不可欠である	45.8	28.0	16.1	4.0	3.8	2.3

【これからの生活・社会】

問 16 あなたは、次のような私たちの生活を取り巻く環境の変化について、期待をしていますか。それとも、不安に思っていますか。（○はそれぞれ1つ）

	期待している	しいどてえちばら い期か る待と	いどえち えら なと いも	思いど っえち てばら い不安 か るにと	て不安 いに思 るっ	無 回 答
(ア) 仕事をする場所や時間が選択できるなど、新たな仕事スタイルが広がること	34.8	34.5	22.8	3.3	1.4	3.2
(イ) 平均寿命や健康寿命が延び、生涯にわたり、学び働き続けられる社会になること	30.2	37.8	22.4	5.3	2.4	1.8
(ウ) お互いの立場や能力、価値観などの違いを認め合い、それぞれが望む生き方を選択できる社会になること	40.4	41.4	13.2	2.2	0.9	1.8
(エ) AI（人工知能）技術の実用化が進むこと（医学的診断、自動運転、交通渋滞の緩和等への活用など）	29.0	35.2	25.0	5.7	2.9	2.3
(オ) キャッシュレス化が進むこと（支払い等に現金を使用せずクレジットカードや電子マネー等を利用するなど）	19.9	24.0	33.7	13.1	7.6	1.7
(カ) 行政手続のオンライン化が進むこと（役所に出席せずにインターネットで手続ができるなど）	34.0	29.8	20.3	7.8	5.9	2.1

問 17 今後の横浜のまちについて、あなたはどのようなまちになるとよいと思いますか。最も優先したいものを5つまでお選びください。（○は5つまで）

27.4	多くの企業が集まり、安定した雇用がある	
12.5	様々な分野で先端技術を活かした取組が進んでいる	
12.3	国内外から多くの観光客が訪れ、にぎわいがある	
18.4	国籍をはじめ、文化の違いや多様性を認め合う風土がある	
20.7	文化・芸術に触れる機会が多くある	
27.6	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある	
11.0	スポーツに親しむ機会（観戦や応援を含む）が身近にある	
37.1	豊かな自然がある	
16.4	地球温暖化対策など環境に配慮した取組が進んでいる	
52.0	医療体制が充実している	
13.6	魅力的な商業施設が多い	
20.3	鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている	
15.6	バスやタクシーなど地域での移動の手段が充実している	
28.1	子どもを安心して育てられる	
35.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい	
5.3	住民同士の協力や助け合いが盛んである	
31.1	災害に強い	
32.9	犯罪が起きにくい	
21.8	市民の声が市政に十分反映されている	
1.6	その他（具体的に)
2.0	特にない	3.3（無回答）

【あなたのこと】

最後に、あなたご自身やご家族のことについてお尋ねします。統計上、必要なものですので、ご記入をよろしく願います。

F 1 あなたの性別は。(○は1つ) ※選択することに違和感のある場合は回答不要です。

42.7 男性 55.4 女性 1.9 (無回答)

F 2 あなたのお年は何歳ですか。(○は1つ)

1.9 18～19歳	6.3 35～39歳	9.6 55～59歳	5.5 75～79歳
4.4 20～24歳	8.2 40～44歳	7.9 60～64歳	8.2 80歳以上
3.8 25～29歳	10.0 45～49歳	8.0 65～69歳	
5.4 30～34歳	9.6 50～54歳	9.8 70～74歳	1.4 (無回答)

F 3 あなたのお住まいの区はどちらですか。(○は1つ)

8.1 青葉区	3.9 磯子区	6.1 港南区	3.1 瀬谷区	7.5 戸塚区	5.3 保土ヶ谷区
6.7 旭区	6.6 神奈川区	8.0 港北区	6.1 都筑区	4.0 中区	4.6 緑区
4.3 泉区	4.9 金沢区	3.8 栄区	7.2 鶴見区	2.8 西区	5.4 南区

1.5 (無回答)

F 4 あなたは横浜生まれですか。(○は1つ)

31.5 はい 66.9 いいえ 1.6 (無回答)

F 5 あなたは、結婚なさっていますか。配偶者の方はご健在ですか。(○は1つ)

64.3 既婚(配偶者あり) 12.8 既婚(離別・死別) 20.6 未婚 2.3 (無回答)

(F 5で「1」と答えた方に)

→ F 5-1 あなたは共働きをしていますか。(○は1つ)

(n=1,655)

45.9 している 53.6 していない 0.5 (無回答)

F 6 あなたにお子さんはいますか。いらっしゃる場合、お子さんは次のどの段階にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。(○はいくつでも)

29.5 子どもはいない	5.9 短大・大学・大学院在学中
8.3 小学校入学前	15.0 学校教育終了-未婚-同居
10.0 小学校在学中	12.2 学校教育終了-未婚-別居
6.3 中学校在学中	4.1 学校教育終了-既婚-同居
5.9 高校在学中	25.8 学校教育終了-既婚-別居
0.9 各種学校、専修・専門学校在学中	2.2 その他(具体的に)

3.6 (無回答)

F 7 お宅の家族形態は、次の中のどれにあたりますか。同居している方のみを対象に当てはまるものをお答えください。(○は1つ)

13.7 一人暮らし	5.9 祖父母と親と子(3世代)
25.7 夫婦のみ	3.1 その他
49.1 親と子(2世代)	(具体的に)

2.5 (無回答)

F 8 あなたのお住まいは、次の中のどれにあたりますか。(○は1つ)

45.3 持家(一戸建て)	2.2 借家(都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅)
29.4 持家(マンション・共同住宅)	2.1 借家(社宅、公務員住宅)
1.9 借家(一戸建て)	15.4 借家(民間アパート、民間賃貸マンション)
1.7 借家(県営・市営の共同住宅)	0.5 その他(具体的に)

1.4 (無回答)

F 9 あなたの現在のご職業は何ですか。アルバイト・パートなども含めてお答えください。複数ある場合は、主なものをお答えください。(○は1つ)

6.7 自営業 (農林漁業、商・工・サービス業、自由業の自営業主および家族従業者)	
4.8 管理職 (会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など)	
9.8 専門技術職 (勤務医師、研究所研究員、技師など)	
18.9 事務職 (事務職、営業職、教員など)	
18.8 現業職 (生産工程、販売・サービス、運転手、保安職などの従事者)	
14.4 専業主婦・主夫	
3.6 学 生	
19.9 無 職	3.0 (無回答)

(F 9で「2」～「5」と答えた方に)

→ F 9-1 あなたの現在のご職業の雇用形態や従業上の地位は何ですか。(○は1つ)(n=1,348)

3.5 会社役員	25.7 アルバイト・パート	9.1 契約社員・嘱託社員
57.4 正社員・正規職員	2.7 派遣社員	0.9 その他(具体的に)

0.7 (無回答)

→ F 9-2 あなたの勤務地(複数ある場合は主な勤務地)はどこですか。(○は1つ)(n=1,348)

22.0 居住区内	6.7 川崎市を除く県内の他市町村	0.6 千葉県
31.6 市内他区	26.9 東京都区部	0.3 埼玉県
8.1 川崎市	1.5 東京都区部を除く東京都	1.5 その他()

0.9 (無回答)

→ F 9-3 あなたの普段の通勤時間(片道)はどのくらいですか。勤務地が複数ある場合は、主な勤務地についてお答えください。(○は1つ)(n=1,348)

31.2 30分未満	27.4 1時間～1時間30分未満	1.1 2時間以上
34.6 30分～1時間未満	5.6 1時間30分～2時間未満	0.1 (無回答)

F 10 お宅の最寄りの鉄道駅の路線は、次の中のどれにあたりますか。2つ以上の路線駅が近くにある場合は、最も近いほうをお答えください。(○は1つ)

注：複数の鉄道路線が乗り入れるターミナル駅など(例えば横浜、戸塚、大船、桜木町、上大岡など)が最寄り駅の場合は、普段利用している路線名を答えてください。普段利用している路線が定かでない場合は、「14 その他・駅名」に具体的な駅名を記入してください。

10.8 東海道線・横須賀線	17.9 市営地下鉄線〔ブルーライン・グリーンライン〕
7.4 横浜線	1.1 南武線
7.2 東横線	1.0 金沢シーサイドライン
8.0 田園都市線・こどもの国線	0.2 鶴見線
4.4 京浜東北線〔横浜～鶴見〕	1.1 みなとみらい線
8.1 根岸線〔横浜～大船〕	0.8 その他・駅名
13.1 京浜急行線	(具体的に)
14.2 相鉄線〔本線・いずみ野線・新横浜線〕	0.3 わからない

4.3 (無回答)

ご協力ありがとうございました。

II 調査の結果

1. 市政

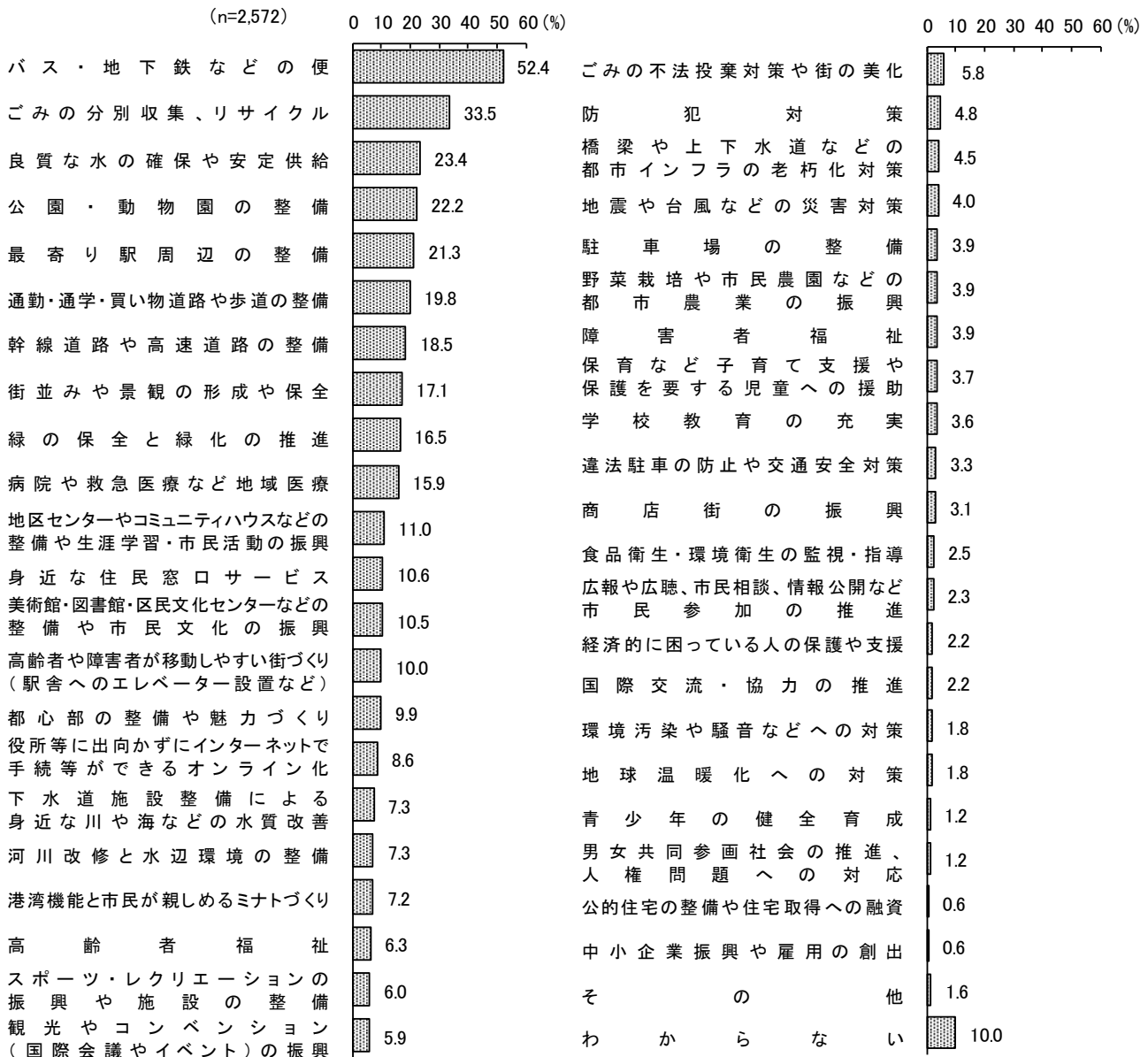
(1) 市政への満足度

問8 あなたが、満足している公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。
(〇はいくつでも)

「バス・地下鉄などの便」が1位

市政への満足度について最も満足度が高いのは、「バス・地下鉄などの便」(52.4%)で、次いで「ごみの分別収集、リサイクル」(33.5%)、「良質な水の確保や安定供給」(23.4%)、「公園・動物園の整備」(22.2%)の順となっている。

図1-1-1 市政への満足度〔全体〕(複数回答)



① 市政への満足度 [経年変化]

「バス・地下鉄などの便」は14年連続1位

経年変化について単純な比較はできないが、平成15年からの上位5項目をみると、「バス・地下鉄などの便」、「ごみの分別収集、リサイクル」は、安定して上位に挙げられる項目といえる。「バス・地下鉄などの便」は、前回から0.2ポイント増加して、14年連続して1位となっている。2位の「ごみの分別収集、リサイクル」も14年連続、3位の「良質な水の確保や安定供給」は9年連続で同じ順位となっている。

② 市政への満足度 [ブロック別] (注) ブロック別の構成は回収標本構成 (P3) 参照。

「バス・地下鉄などの便」は全ブロックで1位

ブロック別にみると、全ブロックで「バス・地下鉄などの便」が1位、「ごみの分別収集、リサイクル」が2位となっている。また、西部では「最寄り駅周辺の整備」、北部では「街並みや景観の形成や保全」が3位となっている。

③ 市政への満足度 [区別]

「バス・地下鉄などの便」は16区で1位

区別にみると、18区中16区で「バス・地下鉄などの便」が1位となっており、金沢区、栄区、瀬谷区（「バス・地下鉄などの便」と同率）では「ごみの分別収集、リサイクル」が1位となっている。また、都筑区で「街並みや景観の形成や保全」が2位となっている。

表 1-1-1 市政への満足度 [上位 5 位の経年変化] (複数回答)

(%)

年度	順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
平成 15 年		バス・地下鉄などの便 30.5	ごみの分別収集、リサイクル 20.2	公園・動物園の整備 18.4	地区センターやコミュニティハウスなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興 14.2	美術館・図書館などの整備 13.2
16 年		バス・地下鉄などの便 43.7	公園・動物園の整備 22.5	幹線道路や高速道路の整備 21.8	ごみの分別収集、リサイクル 20.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 19.9
17 年		バス・地下鉄などの便 35.5	ごみの分別収集、リサイクル 32.3	公園・動物園の整備 19.6	良質な水の確保や安定供給 17.5	地区センターやコミュニティハウスなどの市民利用施設の整備や市民活動の振興 16.5
18 年		ごみの分別収集、リサイクル 34.6	バス・地下鉄などの便 31.2	公園・動物園の整備 19.2	良質な水の確保や安定供給 16.8	最寄駅の周辺の整備 15.7
19 年		ごみの分別収集、リサイクル 37.1	バス・地下鉄などの便 32.9	良質な水の確保や安定供給 16.6	公園・動物園の整備 15.8	最寄駅の周辺の整備 14.6
20 年		バス・地下鉄などの便 39.5	ごみの分別収集、リサイクル 34.0	良質な水の確保や安定供給 20.1	最寄駅の周辺の整備 18.2	公園・動物園の整備 16.7
21 年		バス・地下鉄などの便 43.2	ごみの分別収集、リサイクル 33.8	良質な水の確保や安定供給 21.4	公園・動物園の整備 19.4	最寄駅の周辺の整備 19.0
22 年		バス・地下鉄などの便 43.3	ごみの分別収集、リサイクル 35.3	最寄り駅周辺の整備 21.1	公園・動物園の整備 19.3	良質な水の確保や安定供給 18.3
23 年		バス・地下鉄などの便 44.6	ごみの分別収集、リサイクル 34.1	良質な水の確保や安定供給 20.8	最寄り駅周辺の整備 20.5	公園・動物園の整備 16.4
24 年		バス・地下鉄などの便 43.2	ごみの分別収集、リサイクル 33.8	最寄り駅周辺の整備 20.7	良質な水の確保や安定供給 20.2	公園・動物園の整備 18.7
25 年		バス・地下鉄などの便 45.2	ごみの分別収集、リサイクル 37.2	良質な水の確保や安定供給 22.2	最寄り駅周辺の整備 19.3	公園・動物園の整備 18.0
26 年		バス・地下鉄などの便 44.6	ごみの分別収集、リサイクル 35.5	良質な水の確保や安定供給 18.8	最寄り駅周辺の整備 16.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 15.7
27 年		バス・地下鉄などの便 48.1	ごみの分別収集、リサイクル 35.3	良質な水の確保や安定供給 22.8	最寄り駅周辺の整備 18.8	幹線道路や高速道路の整備 17.0
28 年		バス・地下鉄などの便 50.1	ごみの分別収集、リサイクル 37.2	良質な水の確保や安定供給 22.7	最寄り駅周辺の整備 19.9	公園・動物園の整備 18.4
29 年		バス・地下鉄などの便 50.7	ごみの分別収集、リサイクル 34.3	良質な水の確保や安定供給 22.8	最寄り駅周辺の整備 21.3	公園・動物園の整備 19.3
30 年		バス・地下鉄などの便 47.1	ごみの分別収集、リサイクル 35.8	良質な水の確保や安定供給 21.5	最寄り駅周辺の整備 20.4	公園・動物園の整備 18.7
令和元年		バス・地下鉄などの便 49.0	ごみの分別収集、リサイクル 35.5	良質な水の確保や安定供給 24.9	最寄り駅周辺の整備 20.4	緑の保全と緑化の推進 17.1
2 年		バス・地下鉄などの便 52.2	ごみの分別収集、リサイクル 34.7	良質な水の確保や安定供給 25.2	最寄り駅周辺の整備 22.7	公園・動物園の整備 21.7
3 年		バス・地下鉄などの便 52.4	ごみの分別収集、リサイクル 33.5	良質な水の確保や安定供給 23.4	公園・動物園の整備 22.2	最寄り駅周辺の整備 21.3

表 1-1-2 市政への満足度 [ブロック別、区別] (複数回答)

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,572)	バス・地下鉄などの便 52.4	ごみの分別収集、リサイクル 33.5	良質な水の確保や安定供給 23.4	公園・動物園の整備 22.2	最寄り駅周辺の整備 21.3
ブロック別	東部 (n=670)	バス・地下鉄などの便 58.2	ごみの分別収集、リサイクル 35.8	良質な水の確保や安定供給 25.4	公園・動物園の整備 21.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.6
	西部 (n=692)	バス・地下鉄などの便 46.7	ごみの分別収集、リサイクル 30.6	最寄り駅周辺の整備 23.4	良質な水の確保や安定供給 22.0	公園・動物園の整備 21.5
	南部 (n=483)	バス・地下鉄などの便 47.4	ごみの分別収集、リサイクル 37.5	良質な水の確保や安定供給 25.9	公園・動物園の整備 21.3	最寄り駅周辺の整備 20.3
	北部 (n=689)	バス・地下鉄などの便 55.2	ごみの分別収集、リサイクル 30.8	街並みや景観の形成や保全 25.7	緑の保全と緑化の推進 25.1	公園・動物園の整備 24.4
区別	鶴見区 (n=185)	バス・地下鉄などの便 50.8	ごみの分別収集、リサイクル 30.3	良質な水の確保や安定供給 19.5	最寄り駅周辺の整備 16.8	幹線道路や高速道路の整備 16.2
	神奈川区 (n=171)	バス・地下鉄などの便 53.8	ごみの分別収集、リサイクル 38.0	良質な水の確保や安定供給 27.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.5	幹線道路や高速道路の整備 19.9
	西区 (n=72)	バス・地下鉄などの便 69.4	ごみの分別収集、リサイクル 30.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 29.2	良質な水の確保や安定供給 27.8	街並みや景観の形成や保全 26.4
	中区 (n=104)	バス・地下鉄などの便 63.5	ごみの分別収集、リサイクル 42.3	公園・動物園の整備 36.5	街並みや景観の形成や保全 34.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 30.8
	南区 (n=138)	バス・地下鉄などの便 63.8	ごみの分別収集、リサイクル 38.4	良質な水の確保や安定供給 26.1	病院や救急医療など地域医療 23.9	公園・動物園の整備 23.2
	港南区 (n=158)	バス・地下鉄などの便 61.4	ごみの分別収集、リサイクル 39.2	良質な水の確保や安定供給 30.4	最寄り駅周辺の整備 25.3	病院や救急医療など地域医療 21.5
	保土ヶ谷区 (n=137)	バス・地下鉄などの便 48.2	ごみの分別収集、リサイクル 29.9	良質な水の確保や安定供給 22.6	公園・動物園の整備 22.6	最寄り駅周辺の整備 21.9
	旭区 (n=172)	バス・地下鉄などの便 36.6	ごみの分別収集、リサイクル 29.7	公園・動物園の整備 27.3	良質な水の確保や安定供給 22.1	最寄り駅周辺の整備 22.1
	磯子区 (n=100)	バス・地下鉄などの便 47.0	ごみの分別収集、リサイクル 29.0	良質な水の確保や安定供給 25.0	公園・動物園の整備 25.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.0
	金沢区 (n=127)	ごみの分別収集、リサイクル 39.4	バス・地下鉄などの便 36.2	良質な水の確保や安定供給 25.2	公園・動物園の整備 24.4	最寄り駅周辺の整備 20.5
	港北区 (n=205)	バス・地下鉄などの便 59.5	ごみの分別収集、リサイクル 32.7	良質な水の確保や安定供給 22.0	幹線道路や高速道路の整備 19.5	公園・動物園の整備 17.1
	緑区 (n=118)	バス・地下鉄などの便 50.0	ごみの分別収集、リサイクル 35.6	緑の保全と緑化の推進 33.9	公園・動物園の整備 31.4	良質な水の確保や安定供給 24.6
	青葉区 (n=208)	バス・地下鉄などの便 57.2	ごみの分別収集、リサイクル 29.8	最寄り駅周辺の整備 28.4	街並みや景観の形成や保全 28.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.4
	都筑区 (n=158)	バス・地下鉄などの便 50.6	街並みや景観の形成や保全 43.0	緑の保全と緑化の推進 39.9	最寄り駅周辺の整備 34.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 34.2
	戸塚区 (n=192)	バス・地下鉄などの便 60.4	ごみの分別収集、リサイクル 30.7	最寄り駅周辺の整備 26.0	良質な水の確保や安定供給 21.9	公園・動物園の整備 18.8
	栄区 (n=98)	ごみの分別収集、リサイクル 40.8	バス・地下鉄などの便 39.8	良質な水の確保や安定供給 20.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.4	公園・動物園の整備 18.4
	泉区 (n=111)	バス・地下鉄などの便 48.6	ごみの分別収集、リサイクル 33.3	最寄り駅周辺の整備 22.5	良質な水の確保や安定供給 19.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 17.1
	瀬谷区 (n=80)	バス・地下鉄などの便 30.0	ごみの分別収集、リサイクル 30.0	良質な水の確保や安定供給 23.8	最寄り駅周辺の整備 23.8	公園・動物園の整備 22.5

④ 市政への満足度 [年齢別]

「バス・地下鉄などの便」は、全ての年齢で1位

年齢別にみると、全ての年齢で「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、18～29歳で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、30代、40代では「公園・動物園の整備」が2位となっている。

⑤ 市政への満足度 [性・年齢別]

女性18～29歳で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が2位

性・年齢別にみると、全ての性・年齢で「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、女性18～29歳で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が2位となっている。

表1-1-3 市政への満足度 [年齢別、性・年齢別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,572)		バス・地下鉄などの便 52.4	ごみの分別収集、リサイクル 33.5	良質な水の確保や安定供給 23.4	公園・動物園の整備 22.2	最寄り駅周辺の整備 21.3
年齢別	18～29歳 (n=262)	バス・地下鉄などの便 49.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 31.7	最寄り駅周辺の整備 29.4	街並みや景観の形成や保全 24.4	都心部の整備や魅力づくり 18.7
	30代 (n=301)	バス・地下鉄などの便 51.5	公園・動物園の整備 32.2	最寄り駅周辺の整備 25.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 24.6	ごみの分別収集、リサイクル 23.9
	40代 (n=466)	バス・地下鉄などの便 49.8	公園・動物園の整備 27.0	ごみの分別収集、リサイクル 22.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.0	幹線道路や高速道路の整備 18.9
	50代 (n=494)	バス・地下鉄などの便 48.8	ごみの分別収集、リサイクル 33.6	幹線道路や高速道路の整備 23.3	良質な水の確保や安定供給 21.7	公園・動物園の整備 20.0
	60代 (n=408)	バス・地下鉄などの便 50.7	ごみの分別収集、リサイクル 40.2	良質な水の確保や安定供給 28.4	公園・動物園の整備 21.8	幹線道路や高速道路の整備 20.1
	70歳以上 (n=605)	バス・地下鉄などの便 59.3	ごみの分別収集、リサイクル 47.8	良質な水の確保や安定供給 34.5	病院や救急医療など地域医療 25.5	最寄り駅周辺の整備／緑の保全と緑化の推進 23.0
	男性計 (n=1,096)	バス・地下鉄などの便 50.5	ごみの分別収集、リサイクル 31.8	良質な水の確保や安定供給 24.4	幹線道路や高速道路の整備 23.3	公園・動物園の整備／最寄り駅周辺の整備 21.4
性・年齢別	18～29歳 (n=104)	バス・地下鉄などの便 51.0	最寄り駅周辺の整備 31.7	街並みや景観の形成や保全 30.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 27.9	都心部の整備や魅力づくり 21.2
	30代 (n=135)	バス・地下鉄などの便 51.9	公園・動物園の整備 25.9	最寄り駅周辺の整備 23.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 22.2	幹線道路や高速道路の整備 21.5
	40代 (n=191)	バス・地下鉄などの便 48.2	公園・動物園の整備 25.7	ごみの分別収集、リサイクル 24.1	幹線道路や高速道路の整備 23.6	最寄り駅周辺の整備 20.9
	50代 (n=228)	バス・地下鉄などの便 45.6	ごみの分別収集、リサイクル 31.6	幹線道路や高速道路の整備 28.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.6	良質な水の確保や安定供給 19.7
	60代 (n=178)	バス・地下鉄などの便 47.8	ごみの分別収集、リサイクル 37.1	良質な水の確保や安定供給 31.5	幹線道路や高速道路の整備 24.2	公園・動物園の整備 20.8
	70歳以上 (n=260)	バス・地下鉄などの便 57.7	ごみの分別収集、リサイクル 46.2	良質な水の確保や安定供給 37.7	病院や救急医療など地域医療 29.2	緑の保全と緑化の推進 24.2
	女性計 (n=1,425)	バス・地下鉄などの便 53.4	ごみの分別収集、リサイクル 34.7	公園・動物園の整備 23.2	良質な水の確保や安定供給 23.0	最寄り駅周辺の整備 21.5
性・年齢別	18～29歳 (n=156)	バス・地下鉄などの便 48.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 34.0	最寄り駅周辺の整備 28.2	街並みや景観の形成や保全 19.9	ごみの分別収集、リサイクル／公園・動物園の整備 18.6
	30代 (n=164)	バス・地下鉄などの便 51.2	公園・動物園の整備 37.8	ごみの分別収集、リサイクル 29.3	最寄り駅周辺の整備 28.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.8
	40代 (n=274)	バス・地下鉄などの便 51.1	公園・動物園の整備 28.1	ごみの分別収集、リサイクル 21.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 21.5	街並みや景観の形成や保全 19.0
	50代 (n=263)	バス・地下鉄などの便 51.0	ごみの分別収集、リサイクル 35.4	良質な水の確保や安定供給 23.2	公園・動物園の整備 20.9	最寄り駅周辺の整備／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 18.6
	60代 (n=229)	バス・地下鉄などの便 52.8	ごみの分別収集、リサイクル 42.4	良質な水の確保や安定供給 26.2	公園・動物園の整備 22.3	最寄り駅周辺の整備 20.1
	70歳以上 (n=339)	バス・地下鉄などの便 61.1	ごみの分別収集、リサイクル 49.3	良質な水の確保や安定供給 32.4	病院や救急医療など地域医療 22.4	最寄り駅周辺の整備 22.1

⑥ 市政への満足度 [ライフステージ別]

家族形成期、家族成長前期で「公園・動物園の整備」が2位

ライフステージ別にみると、全てのステージで「バス・地下鉄などの便」が1位となっている。また、単身(1)で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、夫婦だけ(1)で「最寄り駅周辺の整備」、家族形成期、家族成長前期で「公園・動物園の整備」が2位となっている。

表1-1-4 市政への満足度 [ライフステージ別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,572)		バス・地下鉄などの便 52.4	ごみの分別収集、リサイクル 33.5	良質な水の確保や安定供給 23.4	公園・動物園の整備 22.2	最寄り駅周辺の整備 21.3
子どもなし計 (n=756)		バス・地下鉄などの便 53.0	ごみの分別収集、リサイクル 27.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.5	最寄り駅周辺の整備 25.1	良質な水の確保や安定供給 20.5
単身(1) 40歳未満 (n=307)		バス・地下鉄などの便 53.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 33.2	最寄り駅周辺の整備 31.6	街並みや景観の形成や保全 25.1	ごみの分別収集、リサイクル 20.8
単身(2) 40～64歳 (n=185)		バス・地下鉄などの便 57.8	ごみの分別収集、リサイクル 28.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.8	最寄り駅周辺の整備 21.1	良質な水の確保や安定供給 19.5
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=53)		バス・地下鉄などの便 52.8	最寄り駅周辺の整備 32.1	公園・動物園の整備 28.3	ごみの分別収集、リサイクル／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 22.6	
夫婦だけ(2) 40～64歳 (n=139)		バス・地下鉄などの便 44.6	ごみの分別収集、リサイクル 30.9	良質な水の確保や安定供給 27.3	街並みや景観の形成や保全 23.0	公園・動物園の整備 22.3
高齢子どもなし (n=72)		バス・地下鉄などの便 54.2	ごみの分別収集、リサイクル 45.8	良質な水の確保や安定供給 33.3	最寄り駅周辺の整備／病院や救急医療など地域医療 22.2	
子どもあり計 (n=1,676)		バス・地下鉄などの便 51.6	ごみの分別収集、リサイクル 35.9	良質な水の確保や安定供給 24.9	公園・動物園の整備 24.3	最寄り駅周辺の整備 19.6
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=143)		バス・地下鉄などの便 46.2	公園・動物園の整備 38.5	幹線道路や高速道路の整備 18.9	ごみの分別収集、リサイクル 18.2	最寄り駅周辺の整備／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 17.5
家族成長前期 第一子が小学生 (n=165)		バス・地下鉄などの便 46.1	公園・動物園の整備 38.8	ごみの分別収集、リサイクル 26.1	幹線道路や高速道路の整備 21.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.0
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=187)		バス・地下鉄などの便 49.2	ごみの分別収集、リサイクル 26.2	公園・動物園の整備 21.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 21.4	最寄り駅周辺の整備／幹線道路や高速道路の整備 19.3
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=109)		バス・地下鉄などの便 44.0	ごみの分別収集、リサイクル 30.3	公園・動物園の整備 25.7	幹線道路や高速道路の整備 23.9	最寄り駅周辺の整備 22.9
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=89)		バス・地下鉄などの便 49.4	ごみの分別収集、リサイクル 29.2	幹線道路や高速道路の整備 23.6	最寄り駅周辺の整備／街並みや景観の形成や保全 20.2	
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=322)		バス・地下鉄などの便 50.6	ごみの分別収集、リサイクル 35.4	良質な水の確保や安定供給 25.8	幹線道路や高速道路の整備 23.6	公園・動物園の整備 21.7
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=661)		バス・地下鉄などの便 56.7	ごみの分別収集、リサイクル 47.0	良質な水の確保や安定供給 34.8	病院や救急医療など地域医療 22.4	緑の保全と緑化の推進 21.9

⑦ 市政への満足度〔世帯類型別〕

親と同居（１）で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が２位

世帯類型別にみると、全ての世帯類型で「バス・地下鉄などの便」が１位となっている。また、ひとり暮らし（１）で「最寄り駅周辺の整備」、子と同居（１）で「公園・動物園の整備」、親と同居（１）で「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」が２位となっている。

表 1-1-5 市政への満足度〔世帯類型別〕（複数回答）

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,572)		バス・地下鉄などの便 52.4	ごみの分別収集、リサイクル 33.5	良質な水の確保や安定供給 23.4	公園・動物園の整備 22.2	最寄り駅周辺の整備 21.3
ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=107)		バス・地下鉄などの便 57.9	最寄り駅周辺の整備 35.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 30.8	街並みや景観の形成や保全／役所等に出向かずにインターネットで手続等ができるオンライン化	20.6
ひとり暮らし(2) 40～64歳 (n=110)		バス・地下鉄などの便 60.0	ごみの分別収集、リサイクル 30.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.4	公園・動物園の整備 24.5	最寄り駅周辺の整備 23.6
ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=135)		バス・地下鉄などの便 57.8	ごみの分別収集、リサイクル 47.4	良質な水の確保や安定供給 31.1	病院や救急医療など地域医療 20.0	最寄り駅周辺の整備 19.3
夫婦のみ(1) 子なし (n=209)		バス・地下鉄などの便 47.4	ごみの分別収集、リサイクル 30.6	良質な水の確保や安定供給 27.3	公園・動物園の整備 22.5	街並みや景観の形成や保全 22.0
夫婦のみ(2) 子あり (n=433)		バス・地下鉄などの便 54.5	ごみの分別収集、リサイクル 40.9	良質な水の確保や安定供給 30.9	公園・動物園の整備 22.9	緑の保全と緑化の推進 22.4
子と同居(1) 2世代／教育期の子あり (n=591)		バス・地下鉄などの便 45.7	公園・動物園の整備 29.6	ごみの分別収集、リサイクル 24.7	幹線道路や高速道路の整備 20.3	最寄り駅周辺の整備 19.0
子と同居(2) 2世代／教育終了後の子のみ (n=331)		バス・地下鉄などの便 55.9	ごみの分別収集、リサイクル 42.0	良質な水の確保や安定供給 29.9	病院や救急医療など地域医療 21.8	幹線道路や高速道路の整備 21.1
親と同居(1) 2世代／子なし・40歳未満 (n=156)		バス・地下鉄などの便 51.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 35.3	最寄り駅周辺の整備 30.8	街並みや景観の形成や保全 29.5	都心部の整備や魅力づくり 25.0
親と同居(2) 2世代／子なし・40歳以上 (n=100)		バス・地下鉄などの便 58.0	ごみの分別収集、リサイクル 29.0	最寄り駅周辺の整備 22.0	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 20.0	良質な水の確保や安定供給 19.0
祖父母と親と子 3世代 (n=152)		バス・地下鉄などの便 51.3	ごみの分別収集、リサイクル 36.8	良質な水の確保や安定供給／幹線道路や高速道路の整備	27.0	公園・動物園の整備／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 23.7

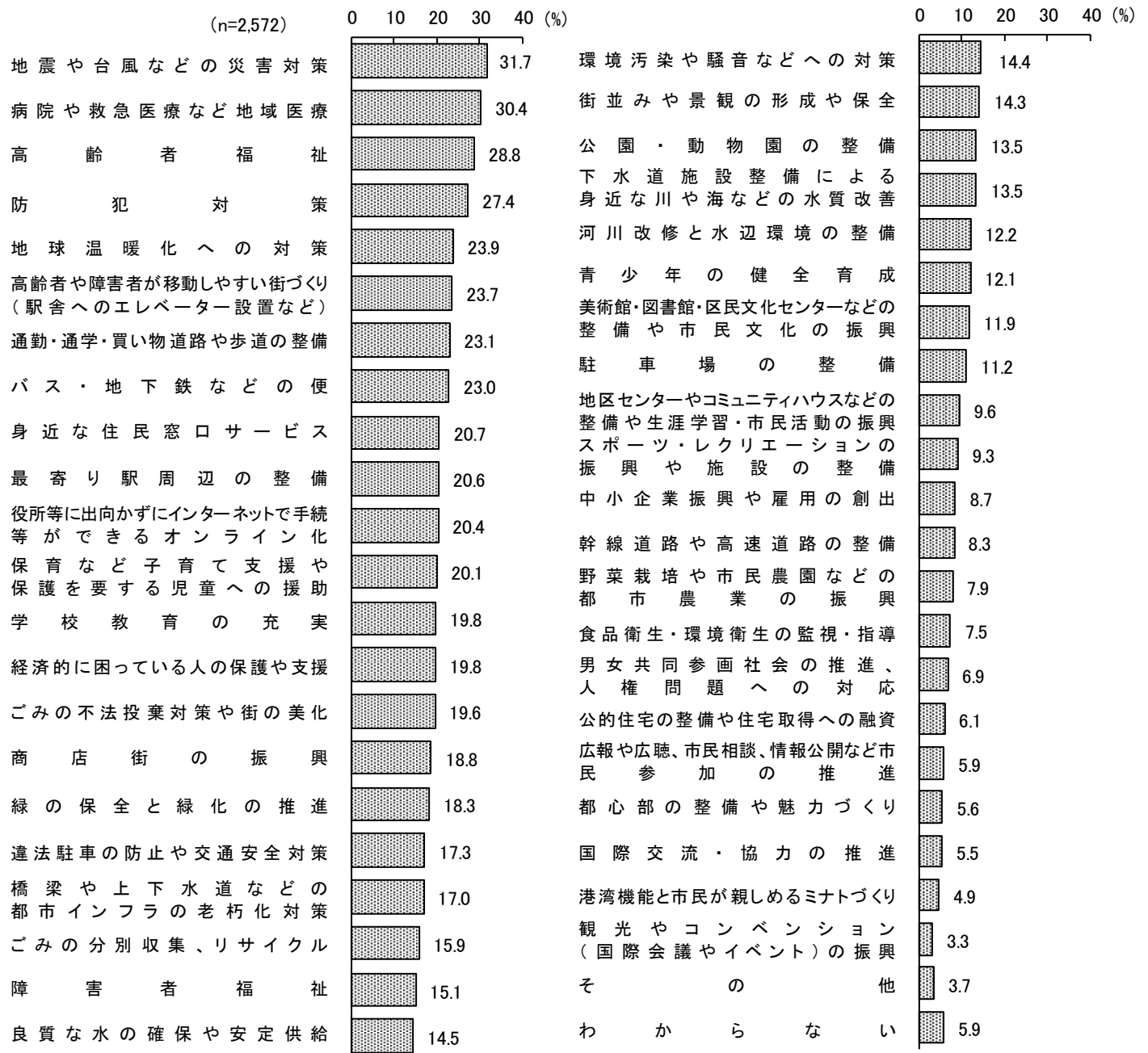
(2) 市政への要望

問9 あなたが、今後、充実すべきだと思う公共サービスは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。(〇はいくつでも)

「地震や台風などの災害対策」が1位

市政への要望については、「地震や台風などの災害対策」が最も多く、次いで「病院や救急医療など地域医療」、「高齢者福祉」などの順となっている。

図1-2-1 市政への要望 [全体] (複数回答)



① 市政への要望 [経年変化]

「地震や台風などの災害対策」は11年連続の1位

経年変化をみると、「地震や台風などの災害対策」（前年度まで「地震などの災害対策」）は東日本大震災のあった平成23年以降、11年連続で1位となっている。また、「病院や救急医療などの地域医療」が3年連続2位となっている。

表1-2-1 市政への要望 [上位5位の経年変化] (複数回答)

(%)

年度	順位	1位	2位	3位	4位	5位
平成15年	防犯対策		違法駐車防止や交通安全対策	高齢者福祉	地震などの災害対策	ごみの不法投棄対策や街の美化
		36.2	33.3	31.0	29.5	28.0
16年	防犯対策		違法駐車防止や交通安全対策	ごみの不法投棄対策や街の美化	高齢者福祉	地震などの災害対策
		51.7	49.0	45.7	41.2	41.1
17年	防犯対策		地震などの災害対策	違法駐車防止や交通安全対策	ごみの不法投棄対策や街の美化	高齢者福祉
		42.6	37.1	33.0	32.0	31.6
18年	防犯対策		地震などの災害対策	病院や救急医療など地域医療	高齢者福祉	駐車場の整備/ごみの不法投棄対策や街の美化
		37.2	33.2	31.5	29.3	26.1
19年	防犯対策		病院や救急医療など地域医療	高齢者福祉	地震などの災害対策	ごみの不法投棄対策や街の美化
		36.9	33.2	33.1	31.6	28.7
20年	病院や救急医療など地域医療		地震などの災害対策	高齢者福祉	防犯対策	ごみの不法投棄対策や街の美化
		41.0	39.8	38.2	34.5	29.5
21年	高齢者福祉		病院や救急医療など地域医療	防犯対策	地震などの災害対策	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり
		35.5	35.1	29.8	28.0	25.9
22年	病院や救急医療など地域医療		高齢者福祉	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり	地震などの災害対策	ごみの不法投棄対策や街の美化/防犯対策
		34.8	31.3	25.8	25.4	25.2
23年	地震などの災害対策		病院や救急医療など地域医療	高齢者福祉	防犯対策	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり
		44.9	34.5	31.9	30.6	25.2
24年	地震などの災害対策		病院や救急医療など地域医療	防犯対策	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	高齢者福祉
		43.9	31.2	28.7	27.1	26.9
25年	地震などの災害対策		病院や救急医療など地域医療	防犯対策	高齢者福祉	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備
		37.5	31.4	28.8	27.5	25.0
26年	地震などの災害対策		病院や救急医療など地域医療	防犯対策	バス・地下鉄などの便	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備
		33.3	25.2	24.2	23.9	23.7
27年	地震などの災害対策		高齢者福祉	病院や救急医療など地域医療	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	防犯対策
		32.9	26.8	26.7	26.0	25.9
28年	地震などの災害対策		高齢者福祉	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり	病院や救急医療など地域医療	防犯対策
		36.6	28.1	25.8	25.4	25.1
29年	地震などの災害対策		高齢者福祉	高齢者や障がい者が移動しやすい街づくり	防犯対策	病院や救急医療など地域医療
		30.7	27.6	27.5	25.0	24.5
30年	地震などの災害対策		防犯対策	高齢者福祉	病院や救急医療など地域医療	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備
		30.6	26.5	26.2	25.6	24.7
令和元年	地震などの災害対策		病院や救急医療など地域医療	防犯対策/高齢者福祉		高齢者や障害者が移動しやすい街づくり
		31.0	28.8			27.1
2年	地震などの災害対策		病院や救急医療など地域医療	高齢者福祉	防犯対策	地球温暖化への対策
		35.8	30.6	29.9	28.5	25.7
3年	地震や台風などの災害対策		病院や救急医療など地域医療	高齢者福祉	防犯対策	地球温暖化への対策
		31.7	30.4	28.8	27.4	23.9

② 市政への要望 [ブロック別]

東部、西部で「地震や台風などの災害対策」が1位

ブロック別にみると、東部、西部では「地震や台風などの災害対策」が1位、「高齢者福祉」が2位となっている。南部では「病院や救急医療など地域医療」が1位、「地震や台風などの災害対策」が2位、北部では「地震や台風などの災害対策」と「病院や救急医療など地域医療」が同率で1位となっている。

③ 市政への要望 [区別]

「地震や台風などの災害対策」は18区中の9区で1位

区別にみると、18区中9区で「地震や台風などの災害対策」が1位となっている。その他の区では、神奈川区（「地震や台風などの災害対策」と同率）、西区、中区では「高齢者福祉」、港南区、金沢区、青葉区では「病院や救急医療など地域医療」、緑区では「最寄り駅周辺の整備」、栄区では「バス・地下鉄などの便」、泉区では「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、瀬谷区では「商店街の振興」と「防犯対策」が同率で1位となっている。

④ 市政への要望 [年齢別]

30代では「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」が1位

年齢別にみると、18～29歳では「バス・地下鉄などの便」と「役所等に出向かずインターネットで手続き等ができるオンライン化」が同率で1位、30代では「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」、40代では「学校教育の充実」（「地震や台風などの災害対策」と同率）が1位となっている。

⑤ 市政への要望 [性・年齢別]

男女ともに30代では「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」が1位

性・年齢別にみると、男女ともに30代で「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」、女性40代では「学校教育の充実」、男女ともに70歳以上で「高齢者福祉」がそれぞれ1位となっている。

表 1-2-2 市政への要望 [ブロック別、区別] (複数回答)

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
ブロック別	全体 (n=2,572)	地震や台風などの災害対策 31.7	病院や救急医療など地域医療 30.4	高齢者福祉 28.8	防犯対策 27.4	地球温暖化への対策 23.9
	東部 (n=670)	地震や台風などの災害対策 32.1	高齢者福祉 31.0	防犯対策 28.1	病院や救急医療など地域医療 27.9	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 25.2
	西部 (n=692)	地震や台風などの災害対策 33.5	高齢者福祉 31.6	病院や救急医療など地域医療 31.5	防犯対策 28.2	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.0
	南部 (n=483)	病院や救急医療など地域医療 33.3	地震や台風などの災害対策 32.3	高齢者福祉/防犯対策 26.7		バス・地下鉄などの便 24.8
	北部 (n=689)	地震や台風などの災害対策/病院や救急医療など地域医療 29.9		防犯対策 27.0	高齢者福祉 25.0	役所等に向かずインターネットで手続等ができるオンライン化 24.4
区別	鶴見区 (n=185)	地震や台風などの災害対策 34.1	防犯対策 28.1	病院や救急医療など地域医療 27.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.5	高齢者福祉 25.4
	神奈川区 (n=171)	地震や台風などの災害対策/高齢者福祉 32.7		病院や救急医療など地域医療 32.2	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 28.7	防犯対策 28.1
	西区 (n=72)	高齢者福祉 37.5	防犯対策/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 29.2		病院や救急医療など地域医療/商店街の振興 27.8	
	中区 (n=104)	高齢者福祉 32.7	地震や台風などの災害対策 29.8	防犯対策 26.9	役所等に向かずインターネットで手続等ができるオンライン化 26.0	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など)/バス・地下鉄などの便/経済的に困っている人の保護や支援 25.0
	南区 (n=138)	地震や台風などの災害対策 34.1	高齢者福祉 31.9	防犯対策 28.3	病院や救急医療など地域医療 27.5	経済的に困っている人の保護や支援 26.1
	港南区 (n=158)	病院や救急医療など地域医療 32.3	地震や台風などの災害対策 30.4	防犯対策 28.5	高齢者福祉/通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 26.6	
	保土ヶ谷区 (n=137)	地震や台風などの災害対策 34.3	高齢者福祉 30.7	病院や救急医療など地域医療/防犯対策 28.5		バス・地下鉄などの便/最寄り駅周辺の整備 25.5
	旭区 (n=172)	地震や台風などの災害対策 34.3	病院や救急医療など地域医療 33.1	高齢者福祉 32.6	防犯対策 27.9	バス・地下鉄などの便 26.7
	磯子区 (n=100)	地震や台風などの災害対策 40.0	病院や救急医療など地域医療 36.0	高齢者福祉/保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 29.0		身近な住民窓口サービス 28.0
	金沢区 (n=127)	病院や救急医療など地域医療 35.4	地震や台風などの災害対策 32.3	身近な住民窓口サービス 31.5	地球温暖化への対策 29.9	最寄り駅周辺の整備 29.1
	港北区 (n=205)	地震や台風などの災害対策 32.7	病院や救急医療など地域医療 30.7	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 26.8		役所等に向かずインターネットで手続等ができるオンライン化/学校教育の充実 24.4
	緑区 (n=118)	最寄り駅周辺の整備 36.4	防犯対策/通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 33.9		病院や救急医療など地域医療 28.8	地震や台風などの災害対策 28.0
	青葉区 (n=208)	病院や救急医療など地域医療 35.1	防犯対策 29.8	地震や台風などの災害対策 27.9	地球温暖化への対策 26.4	役所等に向かずインターネットで手続等ができるオンライン化 26.0
	都筑区 (n=158)	地震や台風などの災害対策 30.4	バス・地下鉄などの便 29.7	高齢者福祉 27.2	防犯対策/地球温暖化への対策 25.9	
	戸塚区 (n=192)	地震や台風などの災害対策 37.5	病院や救急医療など地域医療 33.9	高齢者福祉 32.3	防犯対策 28.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.1
	栄区 (n=98)	バス・地下鉄などの便 30.6	病院や救急医療など地域医療 29.6	地震や台風などの災害対策 27.6	防犯対策 25.5	高齢者福祉/商店街の振興 24.5
	泉区 (n=111)	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 35.1	高齢者福祉 34.2	地震や台風などの災害対策 30.6	病院や救急医療など地域医療 29.7	防犯対策 25.2
瀬谷区 (n=80)	防犯対策/商店街の振興 31.3		病院や救急医療など地域医療 30.0	地球温暖化への対策 28.8	高齢者福祉 26.3	

表 1-2-3 市政への要望 [年齢別、性・年齢別] (複数回答)

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位	
全体	(n=2,572)	地震や台風などの災害対策 31.7	病院や救急医療など地域医療 30.4	高齢者福祉 28.8	防犯対策 27.4	地球温暖化への対策 23.9	
年齢別	18~29歳	(n=262)	バス・地下鉄などの便/役所等に向かずインターネットで手続等ができるオンライン化 24.4	最寄り駅周辺の整備 24.0	地震や台風などの災害対策 21.4	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 20.6	
	30代	(n=301)	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 39.5	学校教育の充実 33.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.6	防犯対策 27.9	地震や台風などの災害対策 26.9
	40代	(n=466)	地震や台風などの災害対策/学校教育の充実 31.5		防犯対策/通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 29.6	役所等に向かずインターネットで手続等ができるオンライン化 27.9	
	50代	(n=494)	地震や台風などの災害対策 38.3	高齢者福祉 36.6	防犯対策 33.0	病院や救急医療など地域医療 32.2	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 28.5
	60代	(n=408)	病院や救急医療など地域医療 38.0	地震や台風などの災害対策 34.8	高齢者福祉 33.8	地球温暖化への対策 27.2	防犯対策 26.0
	70歳以上	(n=605)	高齢者福祉 39.8	病院や救急医療など地域医療 37.7	地震や台風などの災害対策 32.1	地球温暖化への対策 31.1	バス・地下鉄などの便 30.2
	男性計	(n=1,096)	地震や台風などの災害対策/病院や救急医療など地域医療 29.7		防犯対策 28.1	高齢者福祉 28.0	役所等に向かずインターネットで手続等ができるオンライン化 25.3
男性	18~29歳	(n=104)	最寄り駅周辺の整備 29.8	バス・地下鉄などの便 26.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備/役所等に向かずインターネットで手続等ができるオンライン化 25.0	地震や台風などの災害対策/違法駐車防止や交通安全対策/駐車場の整備 23.1	
	30代	(n=135)	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 35.6	学校教育の充実 34.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.9	防犯対策/役所等に向かずインターネットで手続等ができるオンライン化 27.4	
	40代	(n=191)	防犯対策 35.6	地震や台風などの災害対策/役所等に向かずインターネットで手続等ができるオンライン化 30.4	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 29.8	最寄り駅周辺の整備 28.8	
	50代	(n=228)	地震や台風などの災害対策 33.3	高齢者福祉 32.5	病院や救急医療など地域医療/防犯対策 30.7	役所等に向かずインターネットで手続等ができるオンライン化 25.9	
	60代	(n=178)	病院や救急医療など地域医療 37.6	高齢者福祉 37.1	地震や台風などの災害対策 32.6	役所等に向かずインターネットで手続等ができるオンライン化 29.2	防犯対策 26.4
	70歳以上	(n=260)	高齢者福祉 38.5	病院や救急医療など地域医療 36.5	地震や台風などの災害対策 30.4	地球温暖化への対策 30.0	身近な住民窓口サービス 29.6
	女性計	(n=1,425)	地震や台風などの災害対策 33.6	病院や救急医療など地域医療 31.2	高齢者福祉 29.1	防犯対策 27.0	地球温暖化への対策/高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 26.6
女性	18~29歳	(n=156)	役所等に向かずインターネットで手続等ができるオンライン化 24.4	バス・地下鉄などの便 23.1	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 21.8	地震や台風などの災害対策/最寄り駅周辺の整備 20.5	
	30代	(n=164)	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 43.3	学校教育の充実 33.5	地震や台風などの災害対策 29.9	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.0	防犯対策 27.4
	40代	(n=274)	学校教育の充実 35.4	地震や台風などの災害対策 32.5	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 29.6	病院や救急医療など地域医療/保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 28.5	
	50代	(n=263)	地震や台風などの災害対策 42.6	高齢者福祉 40.7	防犯対策 35.0	病院や救急医療など地域医療 33.8	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 31.9
	60代	(n=229)	病院や救急医療など地域医療 38.4	地震や台風などの災害対策 36.2	高齢者福祉 31.0	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 30.6	地球温暖化への対策 28.4
	70歳以上	(n=339)	高齢者福祉 40.4	病院や救急医療など地域医療 38.6	地震や台風などの災害対策 33.6	地球温暖化への対策 32.2	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 31.6

⑥ 市政への要望 [ライフステージ別]

家族形成期で「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」が1位

ライフステージ別にみると、家族形成期で「保育など子育て支援や保護を要する児童への援助」が1位となっている。また、家族成長前期、家族成長中期で「学校教育の充実」がそれぞれ1位となっている。

表1-2-4 市政への要望 [ライフステージ別] (複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,572)		地震や台風などの災害対策 31.7	病院や救急医療など地域医療 30.4	高齢者福祉 28.8	防犯対策 27.4	地球温暖化への対策 23.9
子どもなし計 (n=765)		地震や台風などの災害対策 30.7	防犯対策 29.2	高齢者福祉 25.8	病院や救急医療など地域医療 24.9	バス・地下鉄などの便 23.9
単身(1) 40歳未満 (n=307)		役所等に出向かずにインターネットで手続き等ができるオンライン化 26.1	防犯対策／バス・地下鉄などの便 24.1	地震や台風などの災害対策 22.5	最寄り駅周辺の整備 21.8	
単身(2) 40～64歳 (n=185)		高齢者福祉 38.4	地震や台風などの災害対策 37.8	防犯対策 37.3	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 29.7	病院や救急医療など地域医療 28.6
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=53)		保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 34.0	最寄り駅周辺の整備 30.2	地震や台風などの災害対策／役所等に出向かずにインターネットで手続き等ができるオンライン化／緑の保全と緑化の推進 28.3		
夫婦だけ(2) 40～64歳 (n=139)		地震や台風などの災害対策 38.8	高齢者福祉 35.3	病院や救急医療など地域医療 33.1	防犯対策 31.7	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など)／役所等に出向かずにインターネットで手続き等ができるオンライン化 30.2
高齢子どもなし (n=72)		病院や救急医療など地域医療 38.9	地震や台風などの災害対策／高齢者福祉 33.3	地球温暖化への対策 30.6	防犯対策／身近な住民窓口サービス 29.2	
子どもあり計 (n=1,676)		地震や台風などの災害対策／病院や救急医療など地域医療 32.6	高齢者福祉 29.3	防犯対策 27.3	地球温暖化への対策 25.6	
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=143)		保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 60.1	学校教育の充実 44.8	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 29.4	役所等に出向かずにインターネットで手続き等ができるオンライン化 28.7	公園・動物園の整備 25.2
家族成長前期 第一子が小学生 (n=165)		学校教育の充実 53.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 34.5	地震や台風などの災害対策 29.7	防犯対策 28.5	
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=187)		学校教育の充実 41.2	防犯対策 28.3	地震や台風などの災害対策 27.3	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 26.7	病院や救急医療など地域医療 25.1
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=109)		高齢者福祉 35.8	病院や救急医療など地域医療 31.2	地震や台風などの災害対策／防犯対策／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 29.4		
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=89)		地震や台風などの災害対策 32.6	病院や救急医療など地域医療 29.2	高齢者福祉／防犯対策 27.0	バス・地下鉄などの便／保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 25.8	
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=322)		地震や台風などの災害対策 37.9	病院や救急医療など地域医療 35.7	高齢者福祉 32.0	防犯対策 30.1	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 28.9
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=661)		病院や救急医療など地域医療／高齢者福祉 38.0	地震や台風などの災害対策 34.5	地球温暖化への対策 33.3	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 28.6	

⑦ 市政への要望〔世帯類型別〕

ひとり暮らし（１）では「役所等に出向かずインターネットで手続きができるオンライン化」が１位
 世帯類型別にみると、ひとり暮らし（１）で「役所等に出向かずにインターネットで手続きができるオンライン化」が１位となっている。また、子と同居（１）では「学校教育の充実」、親と同居（１）では「バス・地下鉄などの便」が１位となっている。

表 1-2-5 市政への要望〔世帯類型別〕（複数回答）

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,572)		地震や台風などの災害対策 31.7	病院や救急医療など地域医療 30.4	高齢者福祉 28.8	防犯対策 27.4	地球温暖化への対策 23.9
ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=107)		役所等に出向かずにインターネットで手続きができるオンライン化 23.4	防犯対策 22.4	地震や台風などの災害対策 19.6	地球温暖化への対策／通勤・通学・買い物道路や歩道の整備／バス・地下鉄などの便／経済的に困っている人の保護や支援／商店街の振興／緑の保全と緑化の推進／ごみの分別収集、リサイクル／環境汚染や騒音などへの対策 15.9	
ひとり暮らし(2) 40～64歳 (n=110)		地震や台風などの災害対策 40.0	防犯対策 32.7	高齢者福祉 30.9	病院や救急医療など地域医療 27.3	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 25.5
ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=135)		高齢者福祉 40.0	病院や救急医療など地域医療 37.8	地球温暖化への対策 37.0	バス・地下鉄などの便 31.1	地震や台風などの災害対策 30.4
夫婦のみ(1) 子なし (n=209)		地震や台風などの災害対策 36.4	病院や救急医療など地域医療 29.7	高齢者福祉 29.7	防犯対策 28.7	ごみの不法投棄対策や街の美化 25.8
夫婦のみ(2) 子あり (n=433)		病院や救急医療など地域医療 36.5	高齢者福祉 33.7	地震や台風などの災害対策 32.8	地球温暖化への対策 28.9	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 26.6
子と同居(1) 2世代／教育期の子あり (n=591)		学校教育の充実 41.5	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助 35.5	地震や台風などの災害対策 29.1	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 28.4	役所等に出向かずにインターネットで手続きができるオンライン化 26.4
子と同居(2) 2世代／教育終了後の子のみ (n=331)		地震や台風などの災害対策 38.1	高齢者福祉 36.9	病院や救急医療など地域医療 36.6	高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 32.0	防犯対策 31.1
親と同居(1) 2世代／子なし・40歳未満 (n=156)		バス・地下鉄などの便 30.8	役所等に出向かずにインターネットで手続きができるオンライン化 29.5	最寄り駅周辺の整備 28.2	地震や台風などの災害対策 26.3	防犯対策 25.0
親と同居(2) 2世代／子なし・40歳以上 (n=100)		高齢者福祉／防犯対策 37.0	37.0	地震や台風などの災害対策／高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 33.0	病院や救急医療など地域医療 32.0	32.0
祖父母と親と子 3世代 (n=152)		防犯対策 34.9	地震や台風などの災害対策 32.9	病院や救急医療など地域医療／高齢者福祉 31.6	バス・地下鉄などの便 27.6	

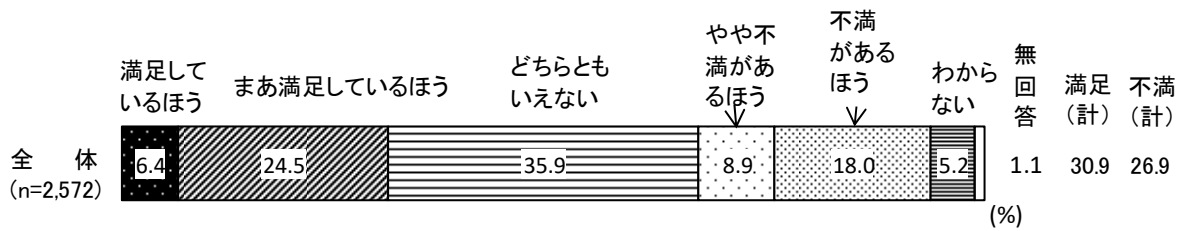
(3) 市政全体への満足度

問10 あなたは、全体として市の行政サービスや業務に満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。(〇は1つ)

『満足(計)』は3割を超える

市政全体への満足度については、「満足しているほう」(6.4%)と「まあ満足しているほう」(24.5%)を合わせた『満足(計)』(30.9%)は3割を超えている。また、「不満があるほう」(18.0%)と「やや不満があるほう」(8.9%)を合わせた『不満(計)』(26.9%)は2割半ばとなっている。

図1-3-1 市政全体への満足度 [全体]

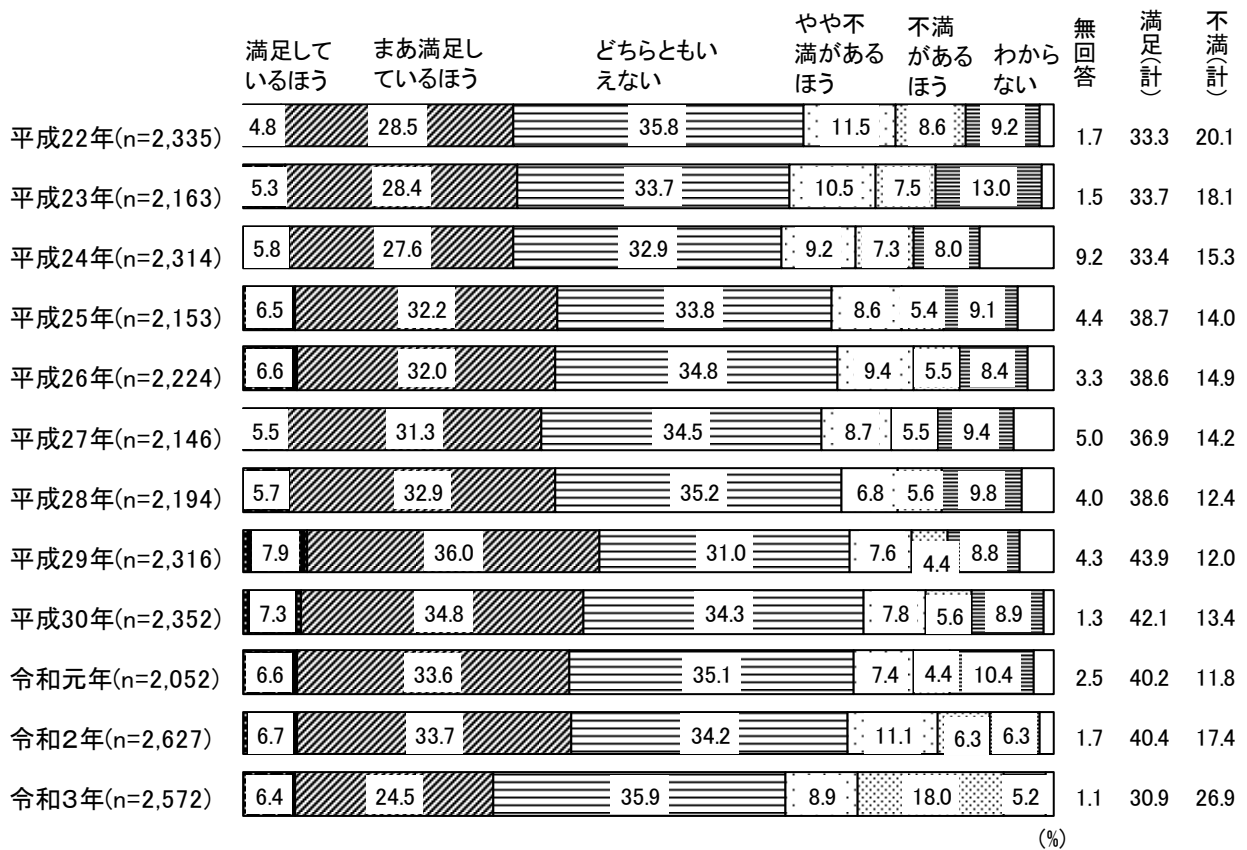


① 市政全体への満足度 [経年変化]

『満足(計)』は3割に減少、『不満(計)』が増加

経年変化をみると、前回調査から『満足(計)』(30.9%)は9.5ポイント減少、『不満(計)』(26.9%)が9.5ポイント増加した。

図1-3-2 市政全体への満足度 [経年変化]



② 市政全体への満足度〔ブロック別〕

『満足（計）』は南部で3割半ば

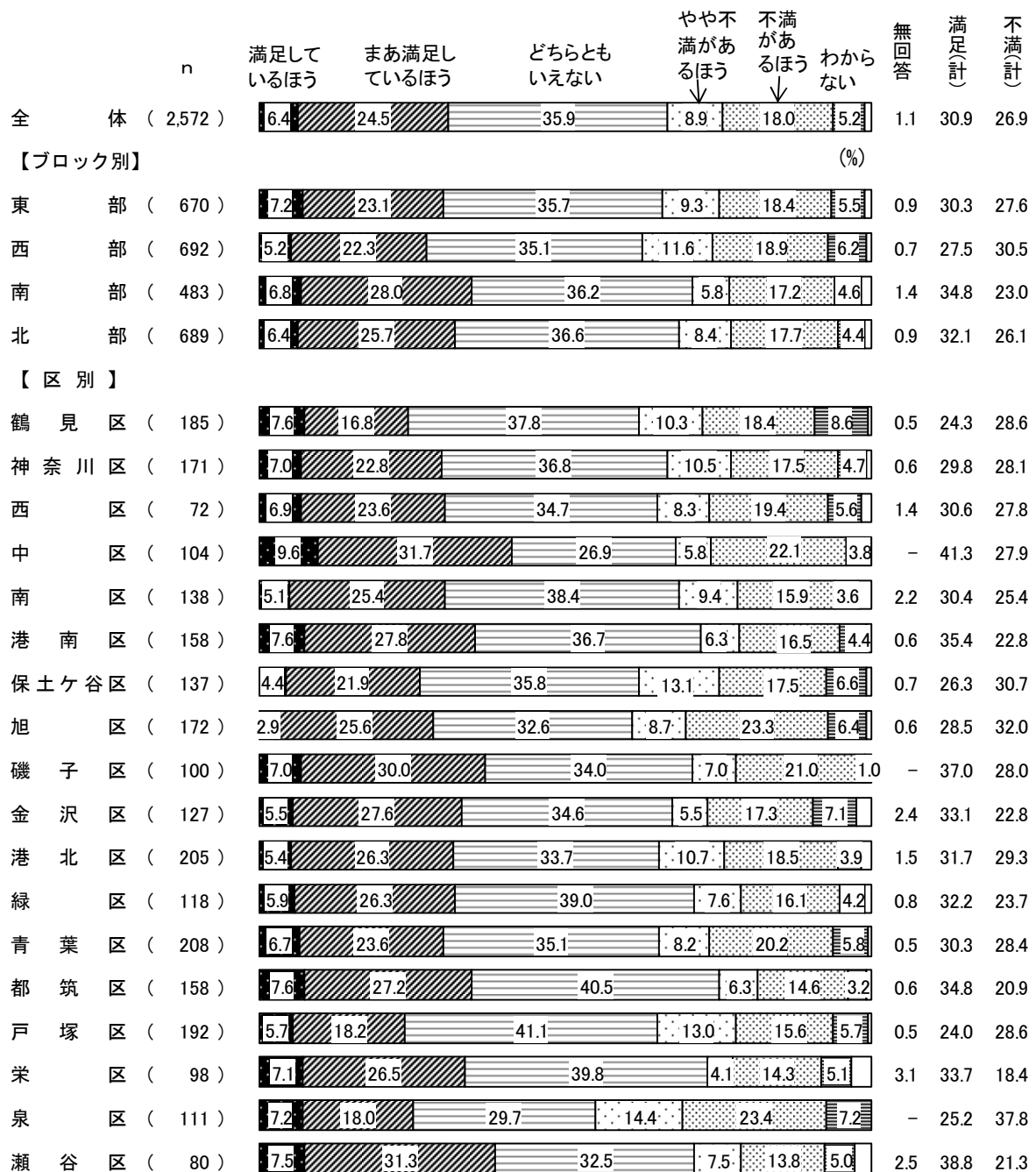
ブロック別にみると、『満足（計）』は南部（34.8%）で3割半ばと最も多くなっている。一方、『不満（計）』は西部（30.5%）で3割を超えて最も多くなっている。

③ 市政全体への満足度〔区別〕

『満足（計）』は中区で4割を超える

区別にみると、『満足（計）』は中区（41.3%）で4割を超えて最も多くなっている。一方、『不満（計）』は泉区（37.8%）で3割半ばと最も多くなっている。

図1-3-3 市政全体への満足度〔ブロック別、区別〕



④ 市政全体への満足度〔年齢別〕

『満足（計）』は70歳以上で4割半ば

年齢別にみると、『満足（計）』は70歳以上（43.5%）で4割半ばと最も多くなっている。一方、『不満（計）』は40代（36.1%）で3割半ばと最も多くなっている。

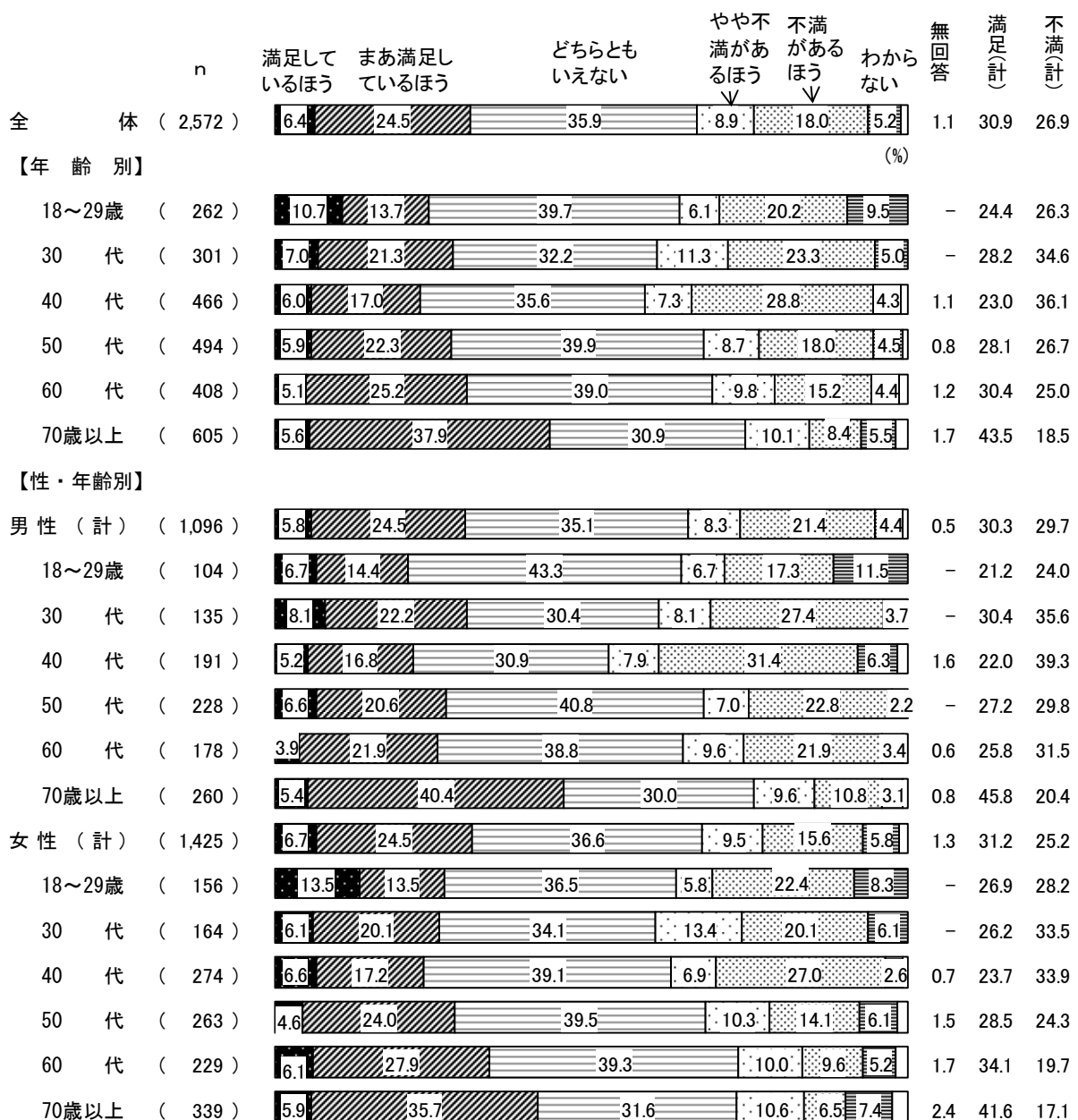
⑤ 市政全体への満足度〔性・年齢別〕

『満足（計）』は男女それぞれ70歳以上で4割を超える

性・年齢別にみると、『満足（計）』は男性70歳以上（45.8%）、女性70歳以上（41.6%）が4割を超えて最も多くなっている。

一方、『不満（計）』は男性では40代（39.3%）で4割近くと最も多く、30代（35.6%）でも3割半ばとなっている。また、女性も30代（33.5%）、40代（33.9%）で3割半ばとなっている。

図1-3-4 市政全体への満足度〔年齢別、性・年齢別〕

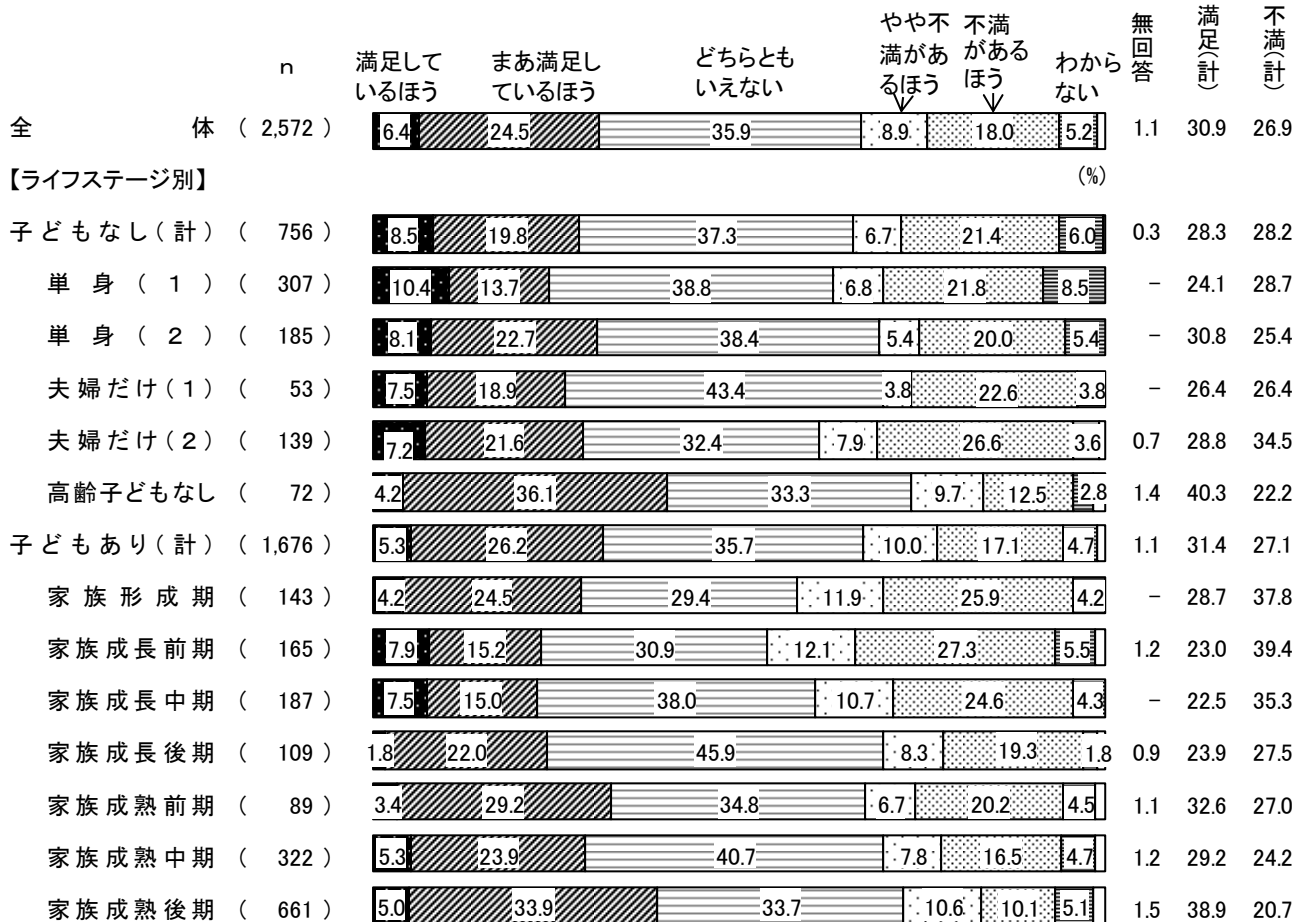


⑥ 市政全体への満足度 [ライフステージ別]

『満足(計)』は高齢者子どもなしで4割を超える

ライフステージ別にみると、『満足(計)』は高齢子どもなし(40.3%)で4割を超えて最も多くなっている。一方、『不満(計)』は家族成長前期(39.4%)で4割近くと最も多く、家族形成期(37.8%)、家族成長中期(35.3%)、夫婦だけ(2)(34.5%)で3割半ばとなっている。

図1-3-5 市政全体への満足度 [ライフステージ別]

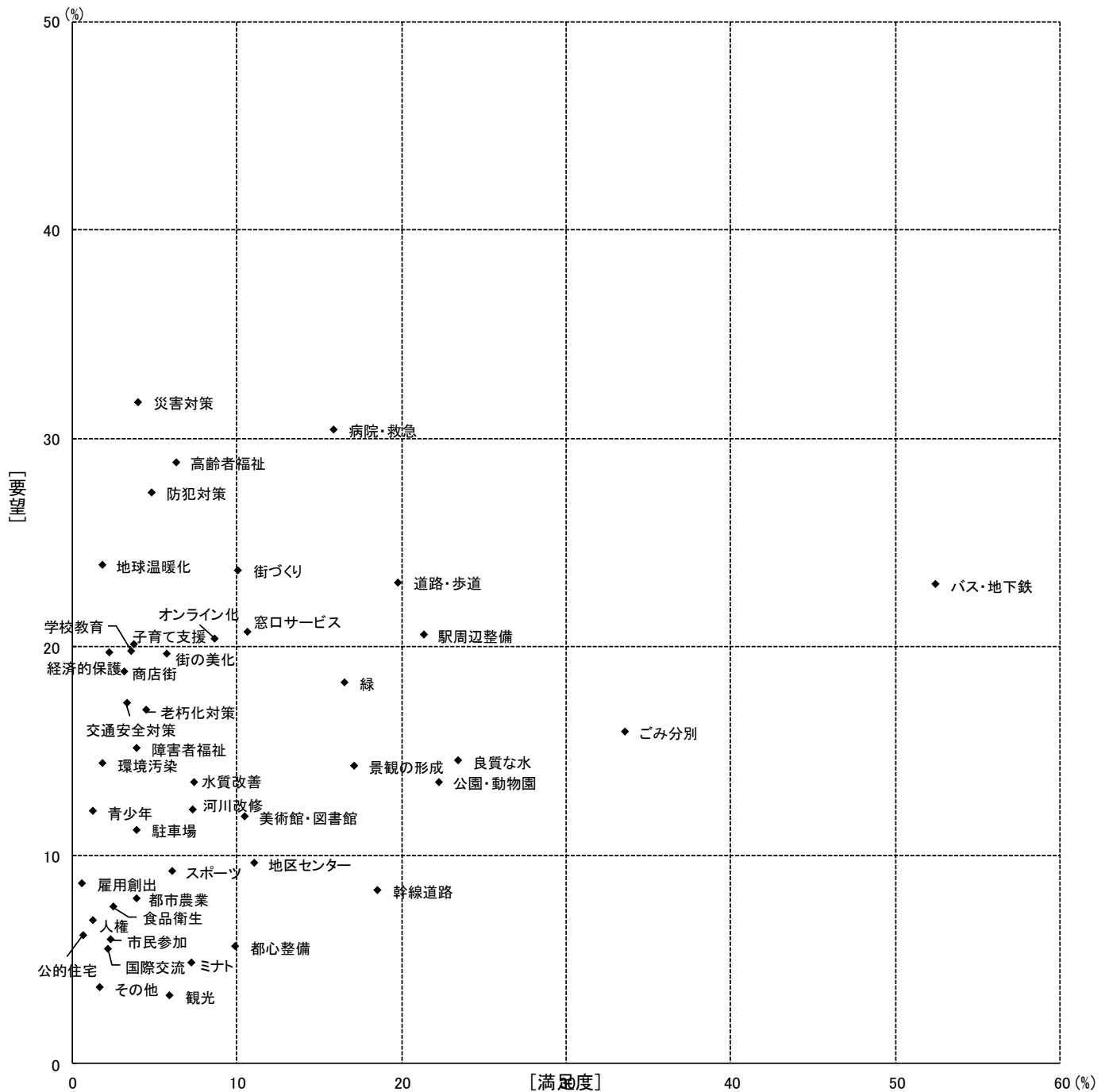


(4) 満足度と要望のまとめ

43 項目について、満足度を横軸に、要望を縦軸にして同一平面にプロットすると、両者の相関をみることができる（図中に表わすため、実際の選択肢を一部省略した表現で表記している）。

満足度が低く要望の多い項目としては、「地震や台風などの災害対策」（略称：災害対策）、「高齢者福祉」、「防犯対策」などが挙げられる。一方、満足度が高く要望が少ない項目としては、「ごみの分別収集、リサイクル」（略称：ごみ分別）、「良質な水の確保や安定供給」（略称：良質な水）、「公園・動物園の整備」（略称：公園・動物園）などが挙げられる。

図 1-4-1 満足度と要望



① 満足度と要望の差（要望のほうが多い10項目）

「地震や台風などの災害対策」でギャップが最も大きい

43項目について、満足度と要望の差を求め、要望のほうが多い10項目を表にまとめた。「地震や台風などの災害対策」は満足度（4.0%）が要望（31.7%）を27.7ポイント下回り、両者のギャップが最も大きい。次いで、「防犯対策」は満足度（4.8%）が要望（27.4%）を22.6ポイント、「高齢者福祉」は満足度（6.3%）が要望（28.8%）を22.5ポイント下回っている。

表1-4-1 満足度と要望の差（要望のほうが多い10項目）

順位	項目	市政への満足度 (%)	市政への要望 (%)	(満足度－要望)
1位	地震や台風などの災害対策	4.0	31.7	▲ 27.7
2位	防犯対策	4.8	27.4	▲ 22.6
3位	高齢者福祉	6.3	28.8	▲ 22.5
4位	地球温暖化への対策	1.8	23.9	▲ 22.1
5位	経済的に困っている人の保護や支援	2.2	19.8	▲ 17.6
6位	保育など子育て支援や保護を要する児童への援助	3.7	20.1	▲ 16.4
7位	学校教育の充実	3.6	19.8	▲ 16.2
8位	商店街の振興	3.1	18.8	▲ 15.7
9位	病院や救急医療など地域医療	15.9	30.4	▲ 14.5
10位	違法駐車防止や交通安全対策	3.3	17.3	▲ 14.0

② 満足度と要望の差（満足度のほうが多い10項目）

「バス・地下鉄などの便」、「ごみの分別収集、リサイクル」で高い充足度

43項目について、満足度と要望の差を求め、満足度のほうが多い10項目を表にまとめた。「バス・地下鉄などの便」は満足度（52.4%）が要望（23.0%）を29.4ポイント上回り、充足度が最も高いといえる。次いで「ごみの分別収集、リサイクル」は満足度（33.5%）が要望（15.9%）を17.6ポイント、「幹線道路や高速道路の整備」は満足度（18.5%）が要望（8.3%）を10.2ポイント上回っている。

表1-4-2 満足度と要望の差（満足度のほうが多い10項目）

順位	項目	市政への満足度 (%)	市政への要望 (%)	(満足度－要望)
1位	バス・地下鉄などの便	52.4	23.0	29.4
2位	ごみの分別収集、リサイクル	33.5	15.9	17.6
3位	幹線道路や高速道路の整備	18.5	8.3	10.2
4位	良質な水の確保や安定供給	23.4	14.5	8.9
5位	公園・動物園の整備	22.2	13.5	8.7
6位	都心部の整備や魅力づくり	9.9	5.6	4.3
7位	街並みや景観の形成や保全	17.1	14.3	2.8
8位	観光やコンベンション（国際会議やイベント）の振興	5.9	3.3	2.6
9位	港湾機能と市民が親しめるミナトづくり	7.2	4.9	2.3
10位	地区センターやコミュニティハウスなどの整備や生涯学習・市民活動の振興	11.0	9.6	1.4

③ 市政への満足度 [市政全体満足度別]

全ての満足度で「バス・地下鉄などの便」が1位

市政全体満足度別にみると、全ての満足度で「バス・地下鉄などの便」が1位となった。

表1-4-3 市政への満足度 [市政全体満足度別] (複数回答)

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,527)		バス・地下鉄などの便 52.4	ごみの分別収集、リサイクル 33.5	良質な水の確保や安定供給 23.4	公園・動物園の整備 22.2	最寄り駅周辺の整備 21.3
満足しているほう (n=165)		バス・地下鉄などの便 68.5	ごみの分別収集、リサイクル 43.6	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備 37.6	公園・動物園の整備 32.7	良質な水の確保や安定供給 30.9
まあ満足しているほう (n=631)		バス・地下鉄などの便 60.4	ごみの分別収集、リサイクル 42.9	良質な水の確保や安定供給 31.7	公園・動物園の整備 26.8	最寄り駅周辺の整備 26.5
どちらともいえない (n=923)		バス・地下鉄などの便 54.3	ごみの分別収集、リサイクル 35.0	公園・動物園の整備 23.1	良質な水の確保や安定供給 21.5	最寄り駅周辺の整備 20.8
やや不満があるほう (n=229)		バス・地下鉄などの便 39.7	ごみの分別収集、リサイクル／良質な水の確保や安定供給 24.5	最寄り駅周辺の整備 17.5	公園・動物園の整備 16.2	
不満があるほう (n=463)		バス・地下鉄などの便 42.5	ごみの分別収集、リサイクル 20.7	良質な水の確保や安定供給／公園・動物園の整備 17.1	最寄り駅周辺の整備 16.4	

④ 市政への要望 [市政全体満足度別]

「やや不満があるほう」で「病院や救急医療など地域医療」が1位

市政全体満足度別にみると、「やや不満があるほう」で「病院や救急医療など地域医療」が1位となった。また、「不満があるほう」では、「役所等に向かずインターネットで手続等ができるオンライン化」が2位となっている。

表1-4-4 市政への要望 [市政全体満足度別] (複数回答)

(%)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,527)		地震や台風などの災害対策 31.7	病院や救急医療など地域医療 30.4	高齢者福祉 28.8	防犯対策 27.4	地球温暖化への対策 23.9
満足しているほう (n=165)		地震や台風などの災害対策／高齢者福祉 23.0	病院や救急医療など地域医療 23.0	バス・地下鉄などの便 22.4	病院や救急医療など地域医療／防犯対策 21.2	
まあ満足しているほう (n=631)		地震や台風などの災害対策 33.4	病院や救急医療など地域医療 30.6	高齢者福祉 30.4	防犯対策 29.2	地球温暖化への対策 27.1
どちらともいえない (n=923)		地震や台風などの災害対策 31.9	病院や救急医療など地域医療 30.7	高齢者福祉 29.3	防犯対策 27.2	地球温暖化への対策／高齢者や障害者が移動しやすい街づくり(駅舎へのエレベーター設置など) 25.6
やや不満があるほう (n=229)		病院や救急医療など地域医療 41.5	地震や台風などの災害対策／高齢者福祉 37.1	防犯対策 34.1	身近な住民窓口サービス 30.1	
不満があるほう (n=463)		地震や台風などの災害対策 33.7	役所等に向かずインターネットで手続等ができるオンライン化 32.8	病院や救急医療など地域医療／学校教育の充実 30.0	防犯対策 28.5	

2. 定住意識

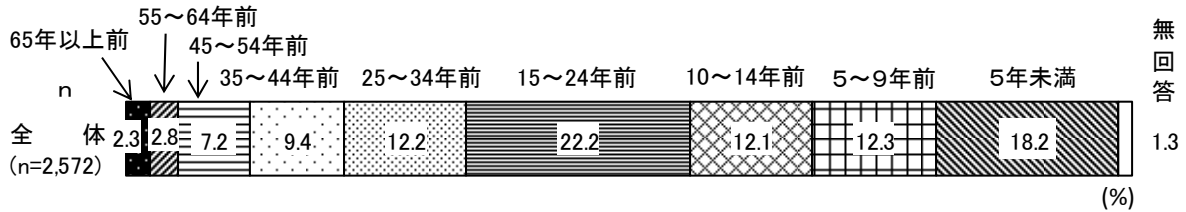
(1) 現住地居住年数

問1 あなたは、今のお住まいにいつごろから住んでいらっしゃいますか。(〇は1つ)

「5年未満」の居住者が2割近く

現住地居住年数については、「5年未満」(18.2%)が2割近くとなっている。

図2-1-1 現住地居住年数 [全体]



① 現住地居住年数 [区別]

「5年未満」の居住者は鶴見区、中区、港北区で2割半ば

区別にみると、居住年数「5年未満」は鶴見区(27.0%)、中区(26.9%)、港北区(24.4%)で2割半ばとなっている。一方、「45~54年前」、「55~64年前」、「65年以上前」を合わせた『45年以上前』は瀬谷区(20.0%)で2割と最も多くなっている。

図2-1-2 現住地居住年数 [区別]

(注) 45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめています。



② 現住地居住年数 [ライフステージ別]

「5年未満」の居住者は夫婦だけ(1)で8割を超える

ライフステージ別にみると、居住年数「5年未満」は夫婦だけ(1) (81.1%)で8割を超えて最も多く、次いで家族形成期(62.2%)で6割を超えている。

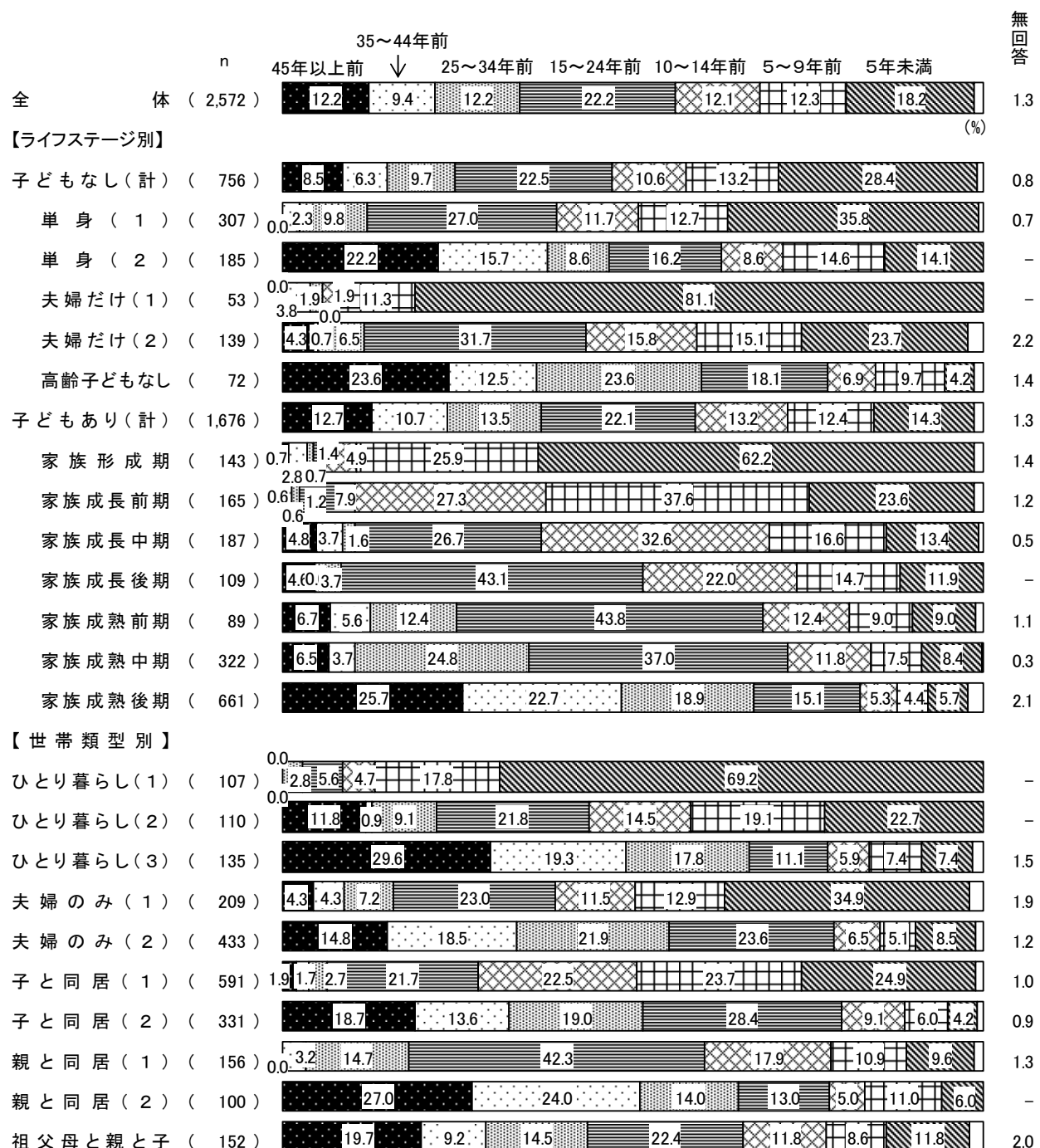
③ 現住地居住年数 [世帯類型別]

「5年未満」の居住者はひとり暮らし(1)で7割近く

世帯類型別にみると、居住年数「5年未満」はひとり暮らし(1) (69.2%)で7割近くと最も多くなっている。『45年以上前』はひとり暮らし(3) (30.2%)で3割を超えて最も多くなっている。

図2-1-3 現住地居住年数 [ライフステージ別、世帯類型別]

(注) 45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめています。



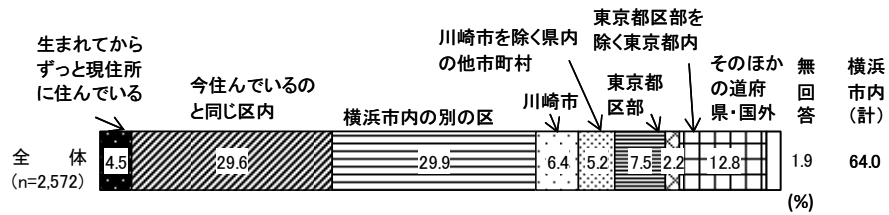
(2) 前住地

問2 あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。(〇は1つ)

『横浜市内(計)』は6割半ば

現住所の直前に住んでいたところについては、「横浜市内の別の区」(29.9%)が3割近くと最も多く、次いで「今住んでいるのと同じ区内」(29.6%)となっている。これらと「生まれてからずっと現住所に住んでいる」(4.5%)を合わせた『横浜市内(計)』(64.0%)は6割半ばとなっている。

図2-2-1 前住地[全体]

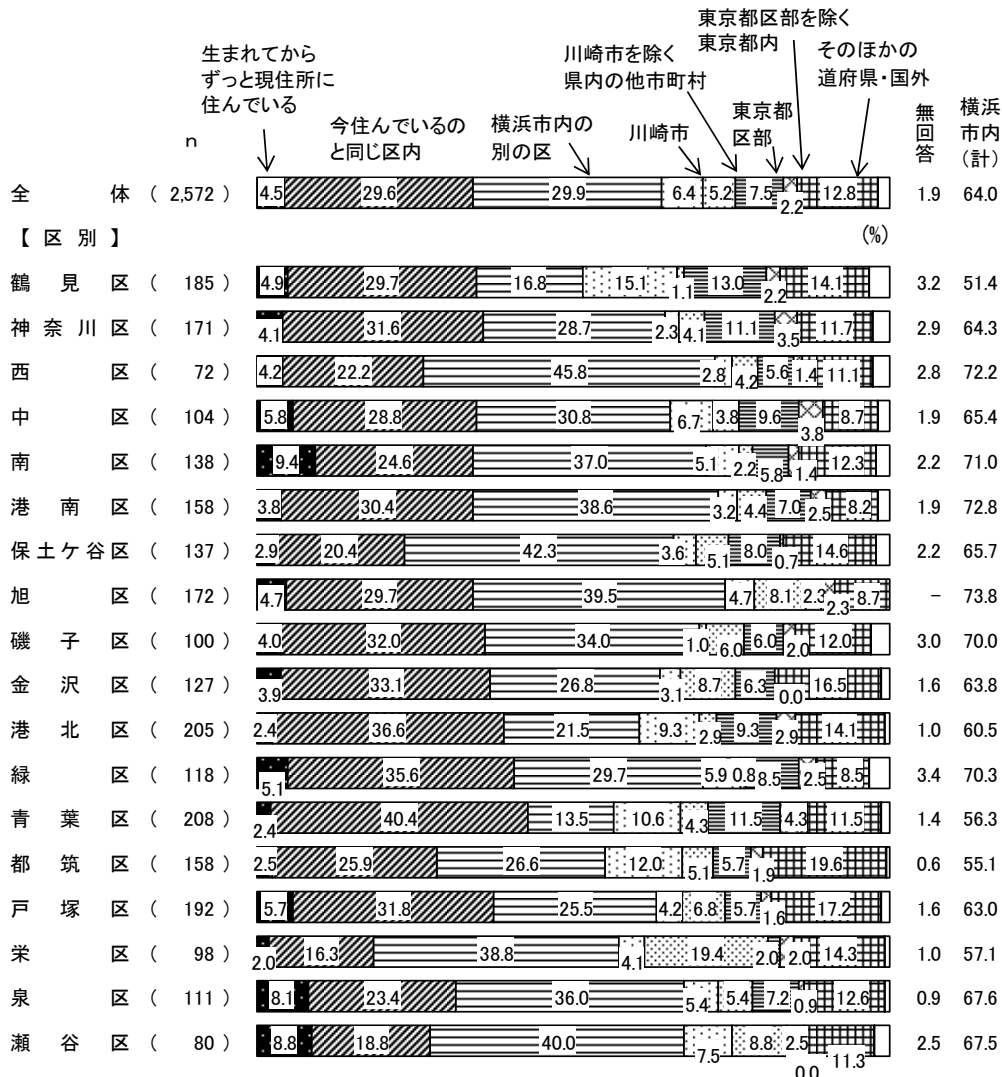


① 前住地[区別]

『横浜市内(計)』は、旭区で7割半ば

区別にみると、『横浜市内(計)』は、旭区(73.8%)で7割半ばと最も多くなっている。一方、鶴見区(51.4%)で5割を超えて最も少なくなっている。

図2-2-2 前住地[区別]



(3) 居住地選択時の候補地

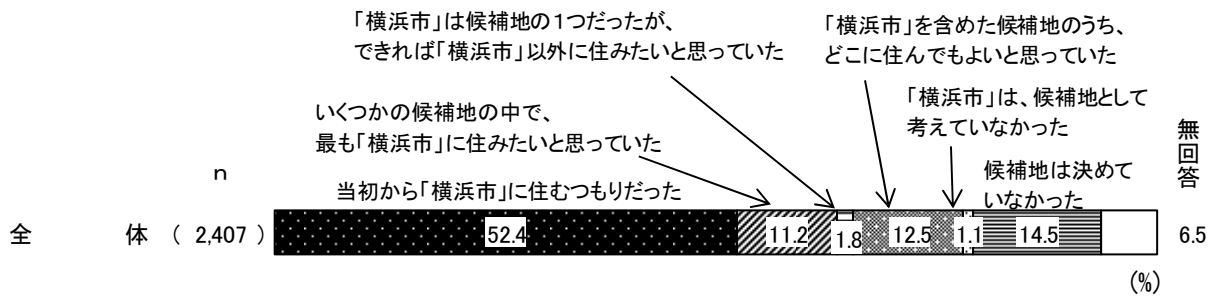
(問2で「2」～「8」と答えた方に)

問2-1 現在のお住まいを決める際に、お住まいが「横浜市」であることを意識していましたか。
(○は1つ)

「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は5割を超える

居住地選択時の候補地について、「当初から「横浜市」に住むつもりだった」(52.4%)が5割を超えて最も多くなっている。

図2-3-1 居住地選択時の候補地 [全体]

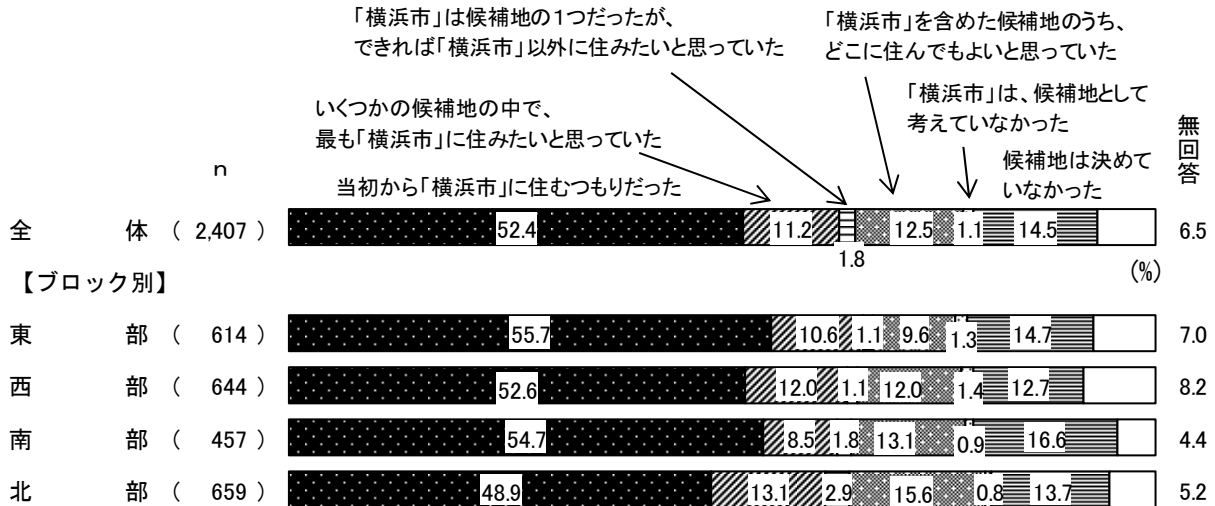


① 居住地選択時の候補地 [ブロック別]

東部で「当初から「横浜市」に住むつもりだった」が5割半ば

ブロック別にみると、東部で「当初から「横浜市」に住むつもりだった」(55.7%)が5割半ばと最も多くなっている。一方、北部(48.9%)で5割近くと最も低くなっている。

図2-3-2 居住地選択時の候補地 [ブロック別]



② 居住地選択時の候補地 [年齢別]

「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は40代、50代が6割近く

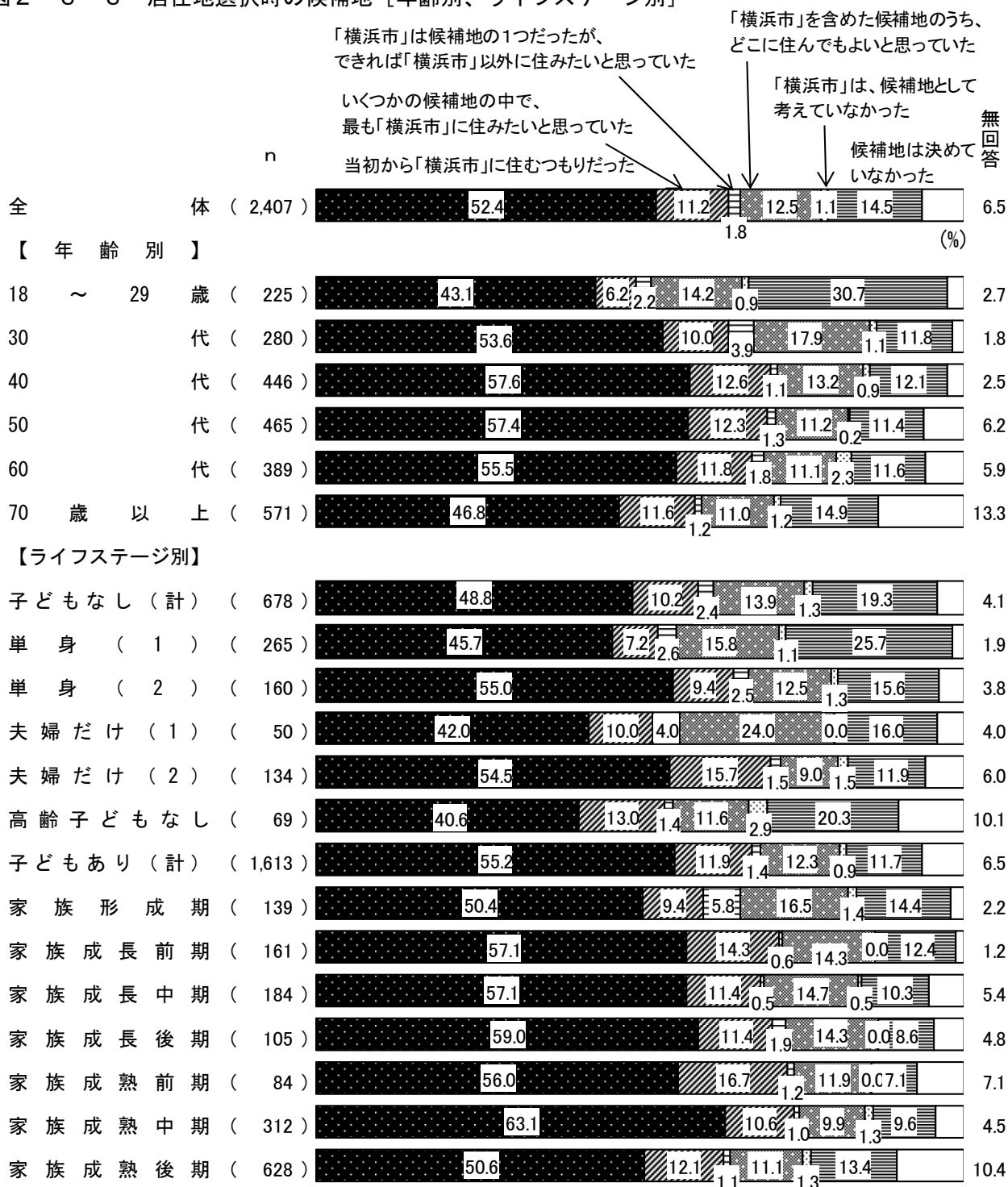
年齢別にみると、「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は40代(57.6%)、50代(57.4%)で5割半ばとなっている。一方、18~29歳(43.1%)で4割を超えて最も低くなっている。

③ 居住地選択時の候補地 [ライフステージ別]

「当初から「横浜市」に住むつもりだった」は家族成熟中期が6割を超える

ライフステージ別にみると、「当初から「横浜市」に住むつもりだった。」は家族成熟中期(63.1%)で6割を超えて最も多くなっている。一方、高齢子どもなし(40.6%)で4割を超えて最も低くなっている。

図2-3-3 居住地選択時の候補地 [年齢別、ライフステージ別]



④ 居住地選択時の候補地〔居住年数別〕

「当初から「横浜市」に住むつもりだった。」は10～14年前が6割近く

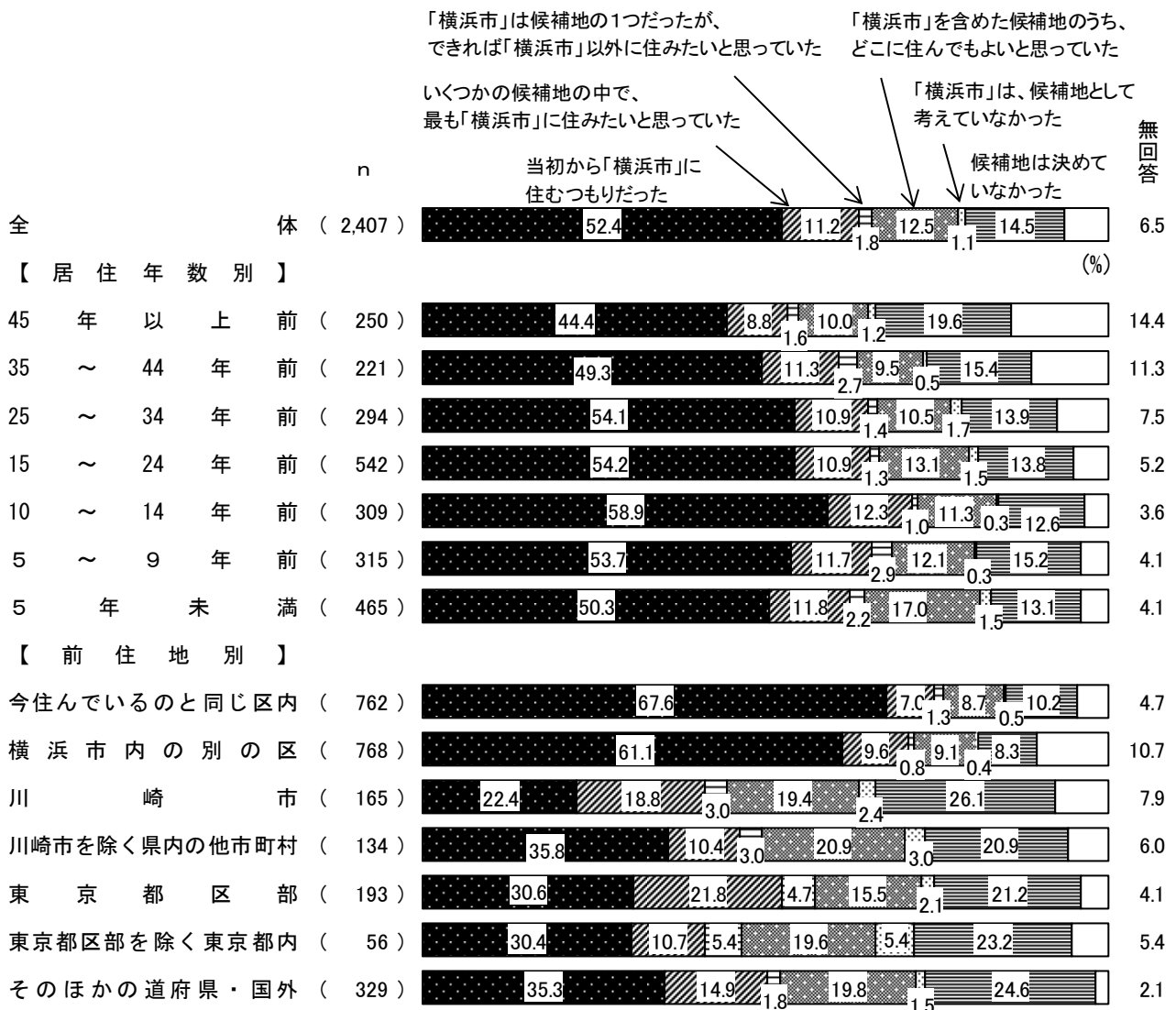
居住年数別にみると、「当初から「横浜市」に住むつもりだった。」は10～14年前（58.9%）で6割近くと最も多くなっている。一方で、35～44年前（49.3%）で5割近くと最も低くなっている。

⑤ 居住地選択時の候補地〔前住地別〕

「当初から「横浜市」に住むつもりだった。」は今住んでいるのと同じ区内が7割近く

前住地別にみると、「当初から「横浜市」に住むつもりだった。」は今住んでいるのと同じ区内（67.6%）で6割半ばと最も多くなっている。一方、川崎市（22.4%）で2割を超えて最も低くなっている。

図2-3-4 居住地選択時の候補地〔居住年数別、前住地別〕



(4) 「横浜市」を住まいとして選んだ理由

(問2で「2」～「8」と答えた方に)

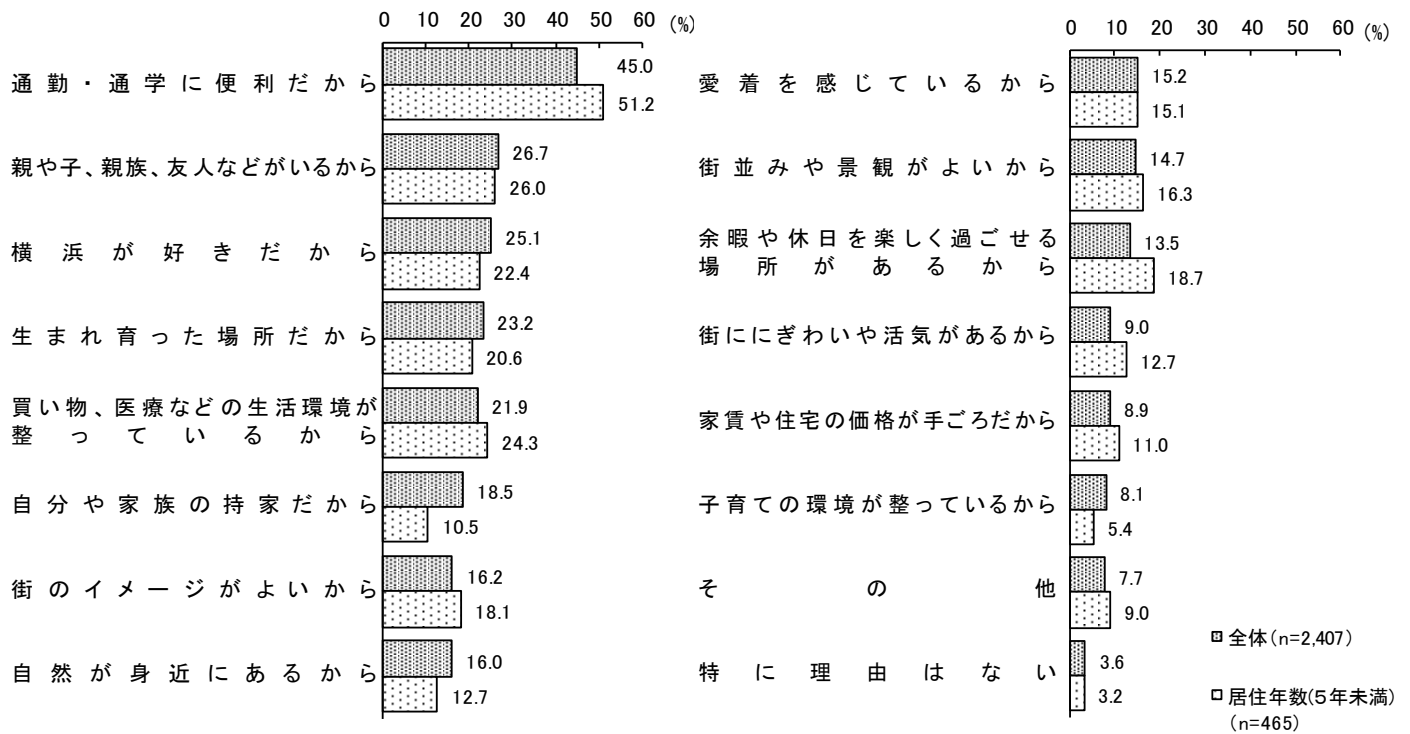
問2-2 「横浜市」をお住まいとして選んだ理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「通勤・通学に便利だから」は4割半ば

「『横浜市』を住まいに選んだ理由」については、「通勤・通学に便利だから」(45.0%)が4割半ばと最も多く、次いで「親や子、親族、友人などがあるから」(26.7%)、「横浜が好きだから」(25.1)となっている。

居住年数(5年未満)では、「通勤・通学に便利だから」(51.2%)が5割を超えて最も高く、次いで「親や子、家族、友人などがあるから」(26.0%)、「買い物、医療などの生活環境が整っているから」(24.3%)となっている。

図2-4-1 「横浜市」を住まいとして選んだ理由 [全体、居住年数(5年未満)]



① 「横浜市」を住まいとして選んだ理由〔ブロック別〕

「通勤・通学に便利だから」は全てのブロックで1位

ブロック別にみると、北部では「買い物、医療などの生活環境が整っているから」が2位、「街のイメージがよいから」が4位となっている。

② 「横浜市」を住まいとして選んだ理由〔年齢別〕

「通勤・通学に便利だから」は全ての年代で1位

年代別にみると、60代では「街のイメージがよいから」、70代以上では「自然が身近にあるから」が5位以内に入っている。

③ 「横浜市」を住まいとして選んだ理由〔前住地別〕

「通勤・通学に便利だから」は全ての前住地で1位

前住地別にみると、川崎市では「街のイメージがよいから」、東京都区部を除く東京都内では「家賃や住宅の価格が手ごろだから」がそれぞれ2位となっている。

表2-4-1 「横浜市」を住まいとして選んだ理由〔ブロック別、年齢別、前住地別〕

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
ブロック別	全体 (n=2,407)	通勤・通学に便利だから 45.0	親や子、親族、友人などがいるから 26.7	横浜が好きだから 25.1	生まれ育った場所だから 23.2	買い物、医療などの生活環境が整っているから 21.9
	東部 (n=614)	通勤・通学に便利だから 48.0	横浜が好きだから 30.8	生まれ育った場所だから 27.4	親や子、親族、友人などがいるから 27.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 22.3
	西部 (n=644)	通勤・通学に便利だから 41.6	親や子、親族、友人などがいるから 26.7	横浜が好きだから 26.2	生まれ育った場所だから 25.0	自分や家族の持家だから 21.9
	南部 (n=457)	通勤・通学に便利だから 42.9	親や子、親族、友人などがいるから 27.8	横浜が好きだから 24.7	生まれ育った場所だから 23.9	自分や家族の持家だから 19.3
	北部 (n=659)	通勤・通学に便利だから 48.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 27.5	親や子、親族、友人などがいるから 26.3	街のイメージがよいから 22.5	街並みや景観がよいから 22.3
年齢別	18～29歳 (n=225)	通勤・通学に便利だから 43.6	生まれ育った場所だから 28.9	自分や家族の持家だから 27.1	親や子、親族、友人などがいるから 21.8	横浜が好きだから 16.4
	30代 (n=280)	通勤・通学に便利だから 57.5	親や子、親族、友人などがいるから 29.6	生まれ育った場所だから 26.4	横浜が好きだから 25.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 23.9
	40代 (n=446)	通勤・通学に便利だから 49.8	親や子、親族、友人などがいるから 33.9	生まれ育った場所だから 28.3	横浜が好きだから 27.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 21.1
	50代 (n=465)	通勤・通学に便利だから 50.5	生まれ育った場所だから 29.5	親や子、親族、友人などがいるから 29.0	横浜が好きだから 27.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 25.2
	60代 (n=389)	通勤・通学に便利だから 46.0	横浜が好きだから 26.7	親や子、親族、友人などがいるから 23.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 22.1	街のイメージがよいから 20.6
	70歳以上 (n=571)	通勤・通学に便利だから 31.9	横浜が好きだから 24.3	親や子、親族、友人などがいるから 22.6	自然が身近にあるから 22.2	買い物、医療などの生活環境が整っているから 21.9
前住地別	今住んでいるのと同じ区内 (n=762)	通勤・通学に便利だから 45.4	親や子、親族、友人などがいるから 30.7	生まれ育った場所だから 30.2	買い物、医療などの生活環境が整っているから 28.5	横浜が好きだから 27.3
	横浜市内の別の区 (n=768)	通勤・通学に便利だから 44.8	横浜が好きだから 34.8	親や子、親族、友人などがいるから 31.9	生まれ育った場所だから 31.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 20.7
	川崎市 (n=165)	通勤・通学に便利だから 43.6	街のイメージがよいから 23.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 22.4	家賃や住宅の価格が手ごろだから 20.6	横浜が好きだから／自然が身近にあるから 18.8
	川崎市を除く県内の他市町村 (n=134)	通勤・通学に便利だから 47.8	自分や家族の持家だから 23.9	親や子、親族、友人などがいるから 20.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 15.7	自然が身近にあるから 11.9
	東京都区部 (n=193)	通勤・通学に便利だから 40.9	親や子、親族、友人などがいるから／横浜が好きだから 18.7	家賃や住宅の価格が手ごろだから 18.1	街並みや景観がよいから 16.6	
	東京都区部を除く東京都内 (n=56)	通勤・通学に便利だから 35.7	自分や家族の持家だから 21.4	親や子、親族、友人などがいるから 21.4	親や子、親族、友人などがいるから／街のイメージがよいから 17.9	
	そのほかの道府県・国外 (n=329)	通勤・通学に便利だから 48.3	自分や家族の持家だから 18.8	親や子、親族、友人などがいるから 18.5	街のイメージがよいから 17.9	買い物、医療などの生活環境が整っているから 16.4

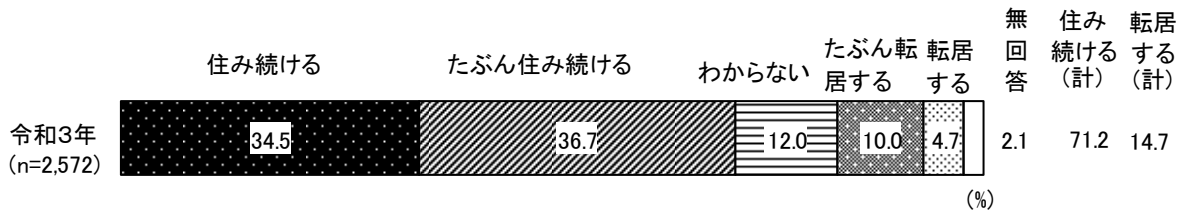
(5) 現住地定住意向

問3 あなたは、これからもずっと今のお住まいに住み続けるお気持ちですか。(○は1つ)

『住み続ける(計)』は7割を超える

現住地定住意向については、「住み続ける」(34.5%)と「たぶん住み続ける」(36.7%)を合わせた『住み続ける(計)』(71.2%)は7割を超えている。

図2-5-1 現住地定住意向[全体]

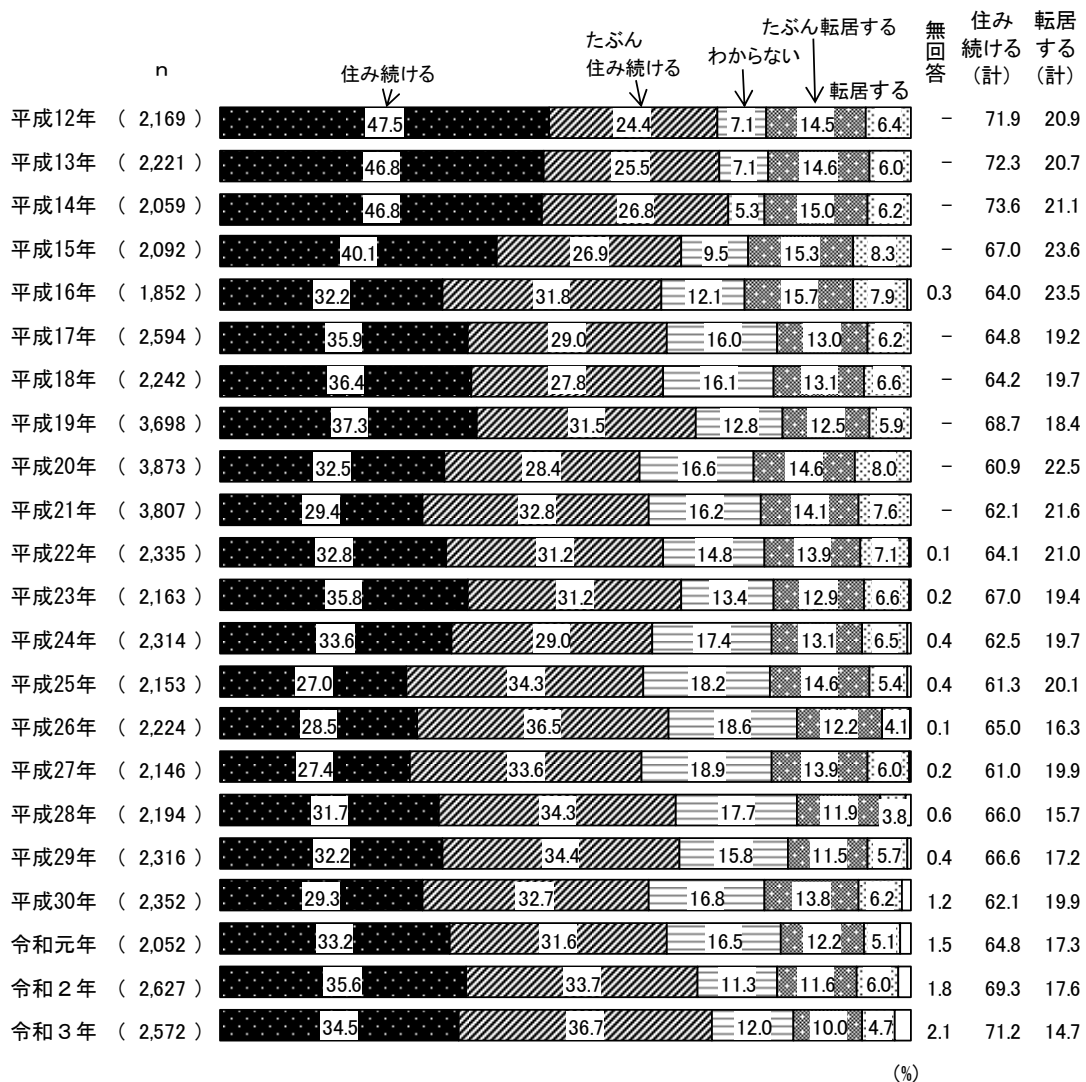


① 現住地定住意向 [経年変化]

『住み続ける(計)』は1.9ポイント増加

経年変化をみると、前回調査から『住み続ける(計)』は1.9ポイント増加し、4年連続増加となっている。「転居する」と「たぶん転居する」を合わせた『転居する(計)』は2.9ポイント減少している。

図2-5-2 現住地定住意向 [経年変化]



② 現住地定住意向〔ブロック別〕

『住み続ける（計）』は南部で7割半ば

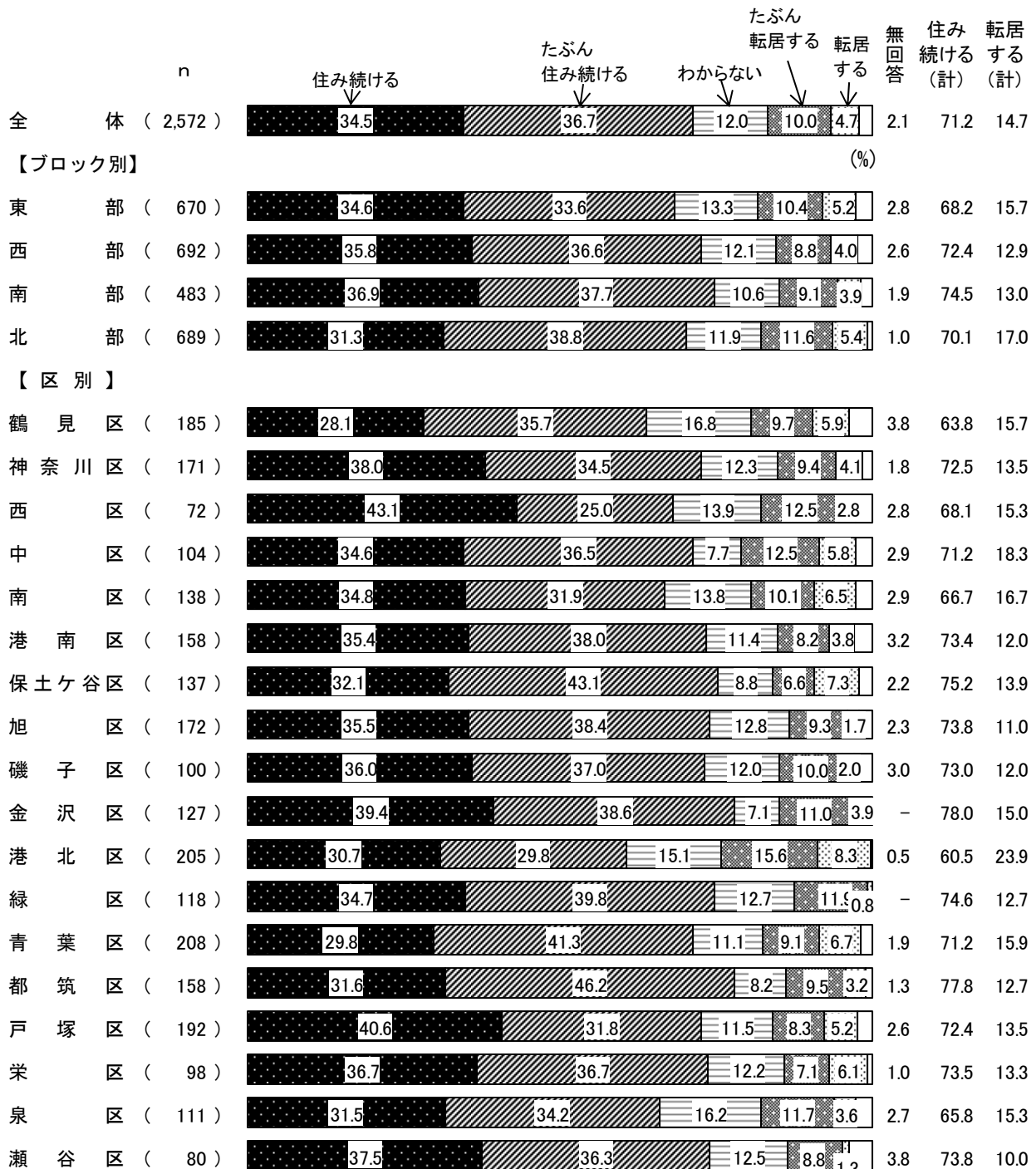
ブロック別にみると、『住み続ける（計）』は南部（74.5%）で7割半ばと最も多くなっている。一方で、『転居する（計）』は北部（17.0%）で1割半ばと最も多くなっている。

③ 現住地定住意向〔区別〕

『住み続ける（計）』は金沢区で8割近く

区別にみると、『住み続ける（計）』は金沢区（78.0%）で8割近くと最も多くなっている。一方、『転居する（計）』は港北区（23.9%）で2割半ばと最も多くなっている。

図2-5-3 現住地定住意向〔ブロック別、区別〕



④ 現住地定住意向〔年齢別〕

『住み続ける（計）』は年齢が高いほど多い

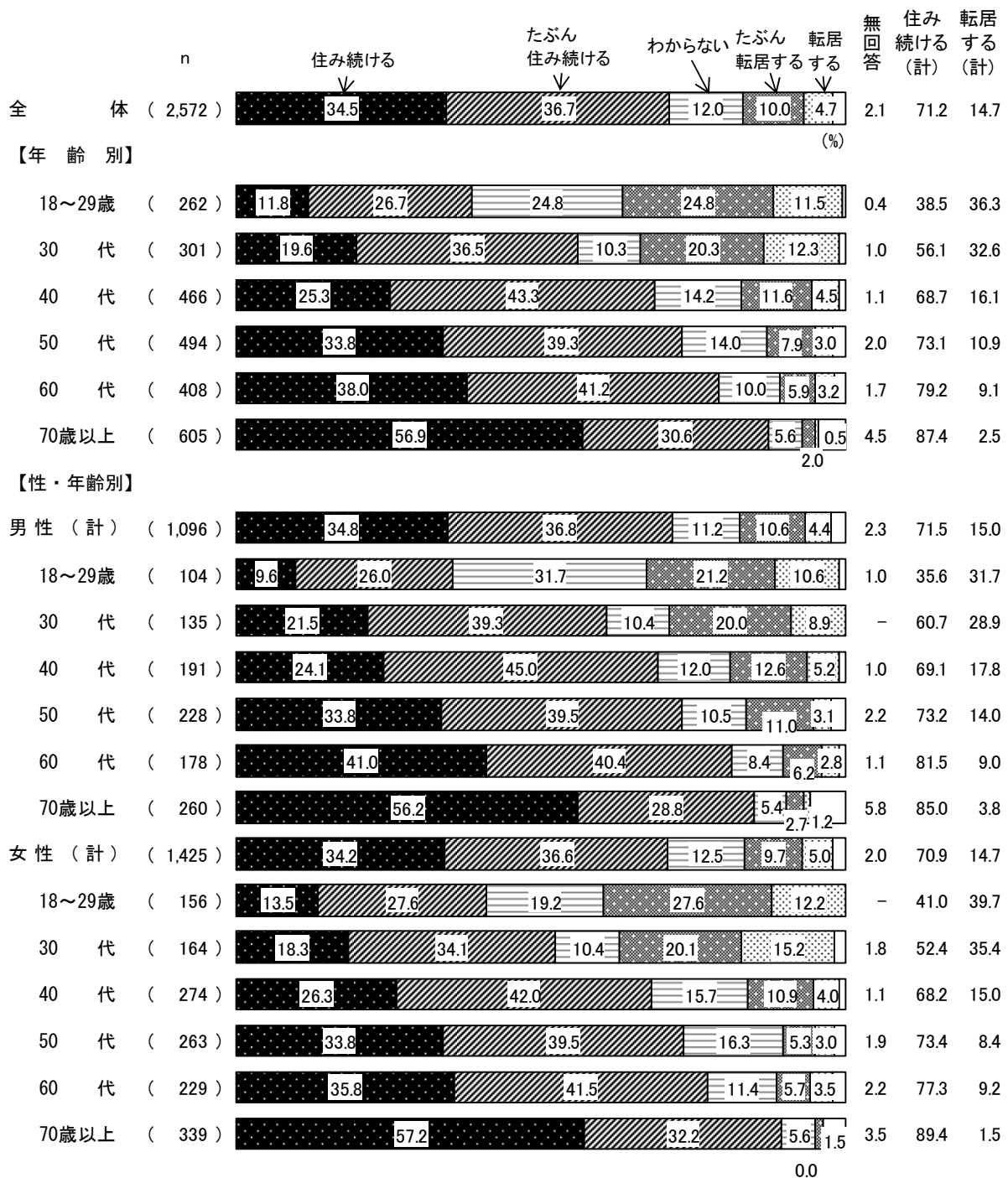
年齢別にみると、『住み続ける（計）』は年齢が高いほど多く、70歳以上（87.4%）で8割半ばと最も多くなっている。

⑤ 現住地定住意向〔性・年齢別〕

『転居する（計）』は女性18～29歳で4割近く

性・年齢別にみると、『住み続ける（計）』は男女ともに年齢が高いほど多く、男女とも70歳以上で8割半ばを超えている。一方、『転居する（計）』は女性18～29歳（39.7%）で4割近くと最も多くなっている。

図2-5-4 現住地定住意向〔年齢別、性・年齢別〕



⑥ 現住地定住意向 [ライフステージ別]

『住み続ける (計)』は家族成熟後期で8割半ば

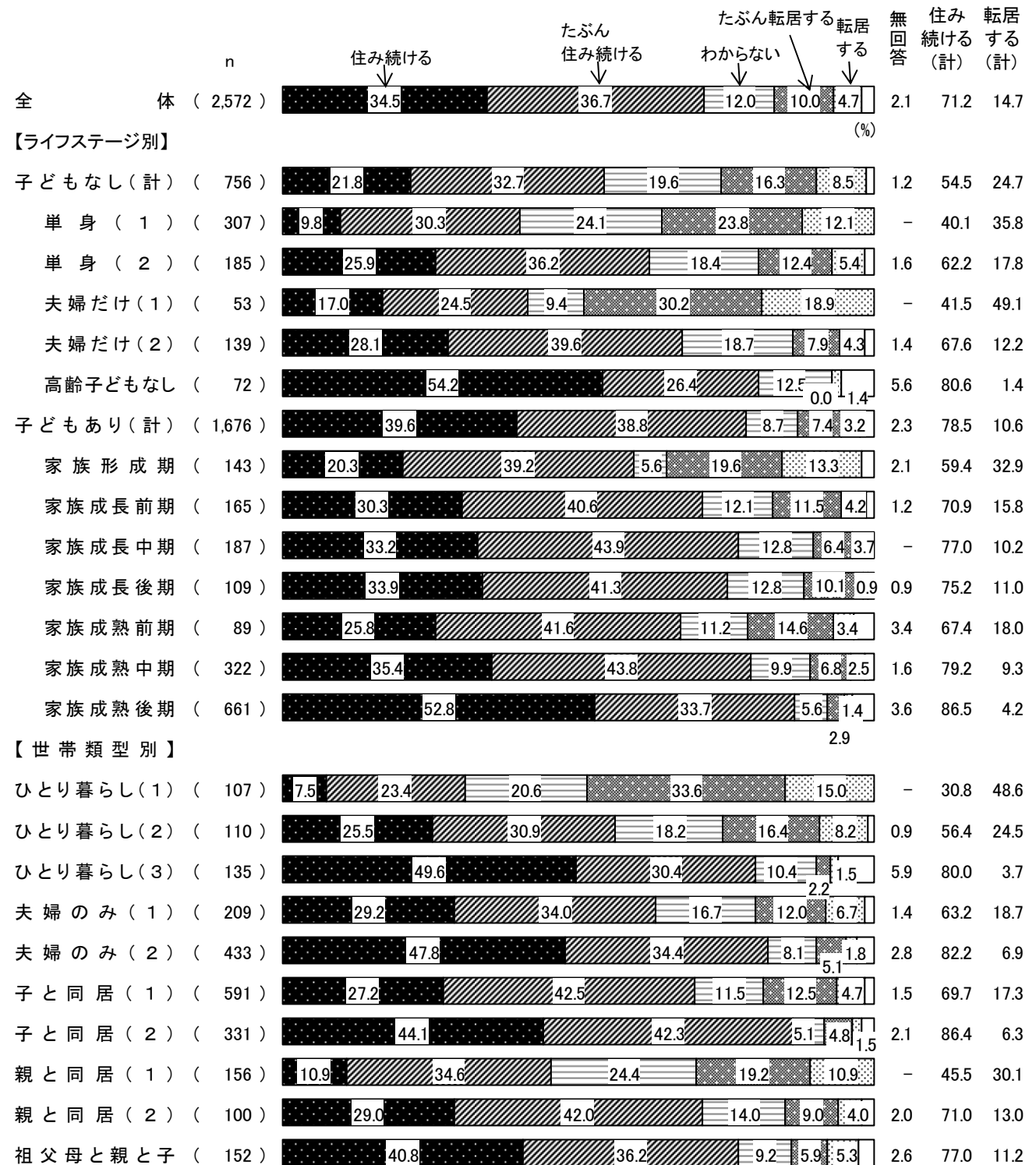
ライフステージ別にみると、『住み続ける (計)』は家族成熟後期 (86.5%) で8割半ばと最も多くなっている。一方、『転居する (計)』は、夫婦だけ (1) (49.1%) で5割近くと最も多くなっている。

⑦ 現住地定住意向 [世帯類型別]

『住み続ける (計)』は子と同居 (2) で8割半ば

世帯類型別にみると、『住み続ける (計)』は子と同居 (2) (86.4%) で8割半ばと最も多くなっている。一方、『転居する (計)』は、ひとり暮らし (1) (48.6%) で5割近くと最も多くなっている。

図2-5-5 現住地定住意向 [ライフステージ別、世帯類型別]



(6) 希望する転居先

(問3で「3」または「4」と答えた方に)

問3-1 現実の問題は別として、次の転居先としては、同じ区内、横浜市内、横浜市以外のいずれを希望されますか。(〇は1つ)

『横浜市内(計)』への転居意向は3割半ば

現住地から「転居する」または「たぶん転居する」と回答した人(378人)に、希望する転居先を尋ねたところ、「同じ区内」(12.4%)と「横浜市内」(24.1%)を合わせた『横浜市内(計)』(36.5%)は3割半ばとなり、「横浜市以外」(29.6%)を上回っている。

図2-6-1 希望する転居先[全体]

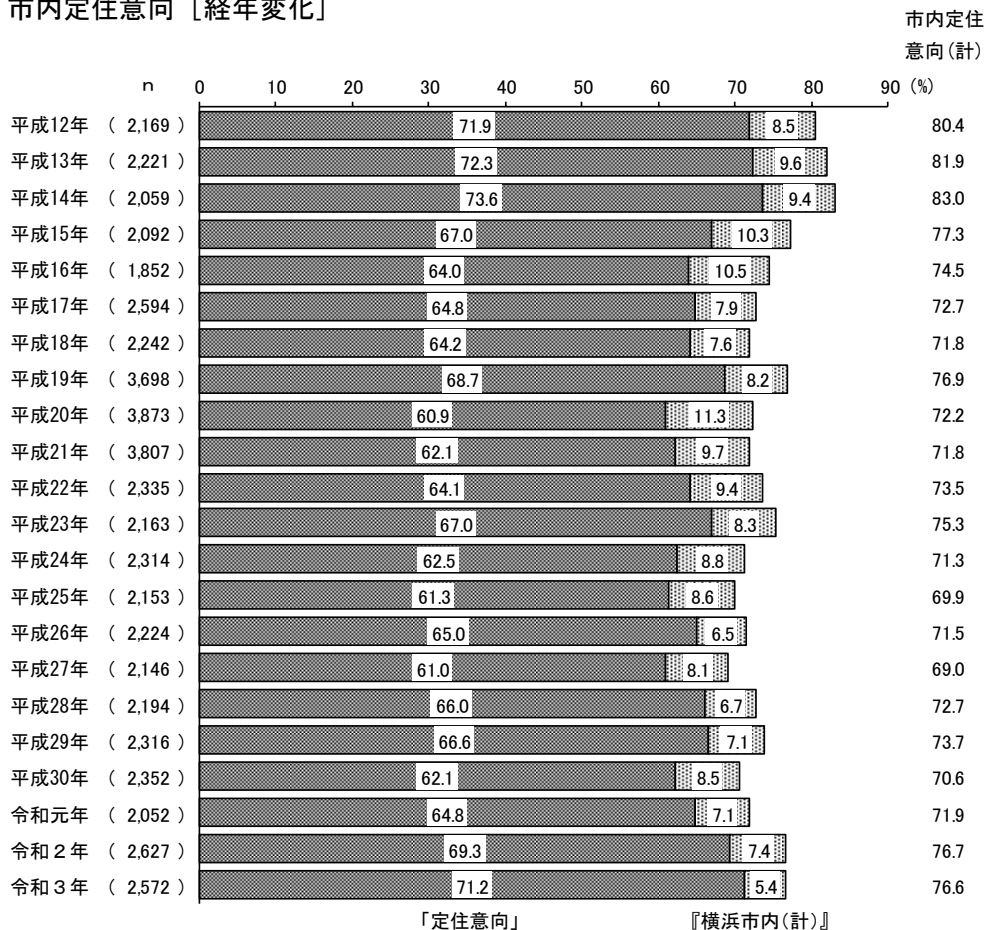


(7) 市内定住意向

『市内定住意向(計)』は6年連続7割を超える

現住地での「定住意向」に、現住地から「転居する」または「たぶん転居する」と答えた人のうち希望する転居先が「同じ区内」、「横浜市内」である『横浜市内(計)』を合わせた『市内定住意向(計)』(76.6%)は、前回調査からほぼ変わらず、6年連続で7割を超えている。

図2-7-1 市内定住意向[経年変化]



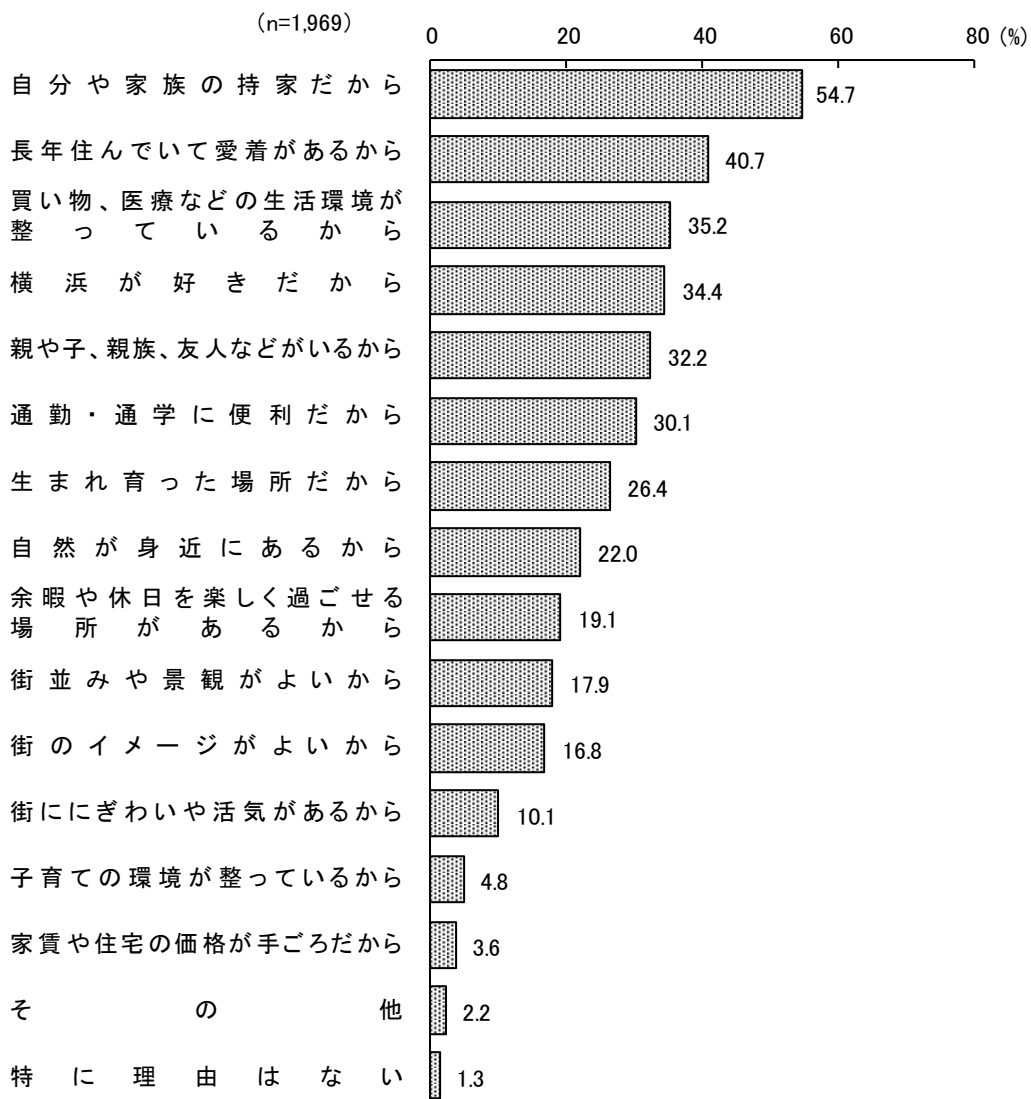
(8) 横浜市に住み続ける理由

(問3で「1」または「2」と答えた方、問3-1で「1」または「2」と答えた方に)
 問4 あなたが横浜に住み続けるご意向があるのは、どのような理由からですか。(〇はいくつでも)

横浜に住み続ける理由は「自分や家族の持家だから」が5割半ば

現住地での『定住意向』または希望する転居地が「同じ区内」、「横浜市内」である『横浜市内(計)』を合わせた『市内定住意向』の理由は、「自分や家族の持家だから」(54.7%)が5割半ばと最も多くなっている。次いで「長年住んでいて愛着があるから」(40.7%)、「買い物、医療などの生活環境が整っているから」(35.2%)、「横浜が好きだから」(34.4%)の順となっている。

図2-8-1 横浜に住み続ける理由〔全体〕(複数回答)



① 横浜に住み続ける理由〔区別〕（複数回答）

「自分や家族の持家だから」が18区中15区で1位

区別に見ると、「自分や家族の持家だから」が18区中15区で1位となっている。また、西区と都筑区で「買い物、医療などの生活環境が整っているから」、中区で「横浜が好きだから」がそれぞれ1位となっている。

表2-8-1 横浜に住み続ける理由〔区別〕（複数回答）

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=1,969)		自分や家族の持家だから 54.7	長年住んでいて愛着があるから 40.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.2	横浜が好きだから 34.4	親や子、親族、友人などがあるから 32.2
区別	鶴見区 (n=129)	自分や家族の持家だから 52.7	通勤・通学に便利だから 36.4	長年住んでいて愛着があるから 34.9	親や子、親族、友人などがあるから 31.0	横浜が好きだから 27.1
	神奈川区 (n=135)	自分や家族の持家だから 55.6	横浜が好きだから 45.2	長年住んでいて愛着があるから 40.0	通勤・通学に便利だから 40.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.6
	西区 (n=54)	買い物、医療などの生活環境が整っているから 57.4	自分や家族の持家だから 51.9	横浜が好きだから 46.3	長年住んでいて愛着があるから 46.3	通勤・通学に便利だから 40.7
	中区 (n=81)	横浜が好きだから 50.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 43.2	自分や家族の持家だから 40.7	長年住んでいて愛着があるから 39.5	生まれ育った場所だから 38.3
	南区 (n=104)	自分や家族の持家だから 53.8	横浜が好きだから 46.2	長年住んでいて愛着があるから 44.2	買い物、医療などの生活環境が整っているから 36.5	生まれ育った場所だから 34.6
	港南区 (n=124)	自分や家族の持家だから 63.7	長年住んでいて愛着があるから 40.3	横浜が好きだから 37.1	親や子、親族、友人などがあるから 33.9	買い物、医療などの生活環境が整っているから 33.1
	保土ヶ谷区 (n=109)	自分や家族の持家だから 58.7	長年住んでいて愛着があるから 38.5	横浜が好きだから 37.6	買い物、医療などの生活環境が整っているから 36.7	親や子、親族、友人などがあるから 34.9
	旭区 (n=135)	自分や家族の持家だから 58.5	長年住んでいて愛着があるから 45.2	横浜が好きだから 39.3	親や子、親族、友人などがあるから 37.0	生まれ育った場所だから 36.3
	磯子区 (n=81)	自分や家族の持家だから 45.7	長年住んでいて愛着があるから 40.7	親や子、親族、友人などがあるから 38.3	通勤・通学に便利だから 37.0	横浜が好きだから 32.1
	金沢区 (n=106)	自分や家族の持家だから 58.5	長年住んでいて愛着があるから 45.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 31.1	横浜が好きだから 31.1	自然が身近にあるから 29.2
	港北区 (n=142)	自分や家族の持家だから 49.3	通勤・通学に便利だから 40.1	長年住んでいて愛着があるから 38.0	横浜が好きだから 34.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 33.8
	緑区 (n=91)	自分や家族の持家だから 59.3	長年住んでいて愛着があるから 46.2	買い物、医療などの生活環境が整っているから 46.2	横浜が好きだから 35.2	親や子、親族、友人などがあるから 35.2
	青葉区 (n=157)	自分や家族の持家だから 52.9	買い物、医療などの生活環境が整っているから 37.6	長年住んでいて愛着があるから 35.7	街並みや景観がよいから 33.8	街並みや景観がよいから 33.8
	都筑区 (n=131)	買い物、医療などの生活環境が整っているから 55.7	自分や家族の持家だから 47.3	自然が身近にあるから 41.2	長年住んでいて愛着があるから 39.7	街並みや景観がよいから 37.4
	戸塚区 (n=146)	自分や家族の持家だから 61.6	長年住んでいて愛着があるから 43.8	買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.6	横浜が好きだから 32.2	親や子、親族、友人などがあるから 30.1
	栄区 (n=73)	自分や家族の持家だから 56.2	親や子、親族、友人などがあるから 41.1	長年住んでいて愛着があるから 38.4	自然が身近にあるから 27.4	生まれ育った場所だから 26.0
	泉区 (n=79)	自分や家族の持家だから 55.7	横浜が好きだから 36.7	長年住んでいて愛着があるから 35.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 32.9	親や子、親族、友人などがあるから 32.9
	瀬谷区 (n=61)	自分や家族の持家だから 54.1	長年住んでいて愛着があるから 45.9	自然が身近にあるから 29.5	生まれ育った場所だから 29.5	親や子、親族、友人などがあるから 26.2

② 横浜に住み続ける理由〔年齢別〕（複数回答）

30代で「通勤・通学に便利だから」が1位

年齢別にみると、30代で「通勤・通学に便利だから」が1位となっている。また、18～29歳は「生まれ育った場所だから」、それ以外の年代は「自分や家族の持家だから」が1位となっている。

③ 横浜に住み続ける理由〔性・年齢別〕（複数回答）

男女ともに30代で「通勤・通学に便利だから」が1位

性・年齢別にみると、男性30代、40代、女性18～29歳、30代で「通勤・通学に便利だから」が1位となっている。

表2-8-2 横浜に住み続ける理由〔年齢別、性・年齢別〕（複数回答）

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
年齢別	全体 (n=1,969)	自分や家族の持家だから 54.7	長年住んでいて愛着があるから 40.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.2	横浜が好きだから 34.4	親や子、親族、友人などがいるから 32.2
	18～29歳 (n=123)	生まれ育った場所だから 52.0	通勤・通学に便利だから 46.3	親や子、親族、友人などがいるから 44.7	自分や家族の持家だから 41.5	横浜が好きだから 36.6
	30代 (n=195)	通勤・通学に便利だから 54.4	自分や家族の持家だから 34.9	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.4	横浜が好きだから 33.8	生まれ育った場所だから 32.8
	40代 (n=362)	自分や家族の持家だから 49.2	通勤・通学に便利だから 45.9	親や子、親族、友人などがいるから 37.8	横浜が好きだから 36.5	長年住んでいて愛着があるから／生まれ育った場所だから 32.6
	50代 (n=387)	自分や家族の持家だから 56.1	長年住んでいて愛着があるから 40.3	通勤・通学に便利だから 34.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから／横浜が好きだから 33.3	
	60代 (n=339)	自分や家族の持家だから 61.9	長年住んでいて愛着があるから 46.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 36.3	横浜が好きだから 34.5	親や子、親族、友人などがいるから 26.8
	70歳以上 (n=534)	自分や家族の持家だから 62.9	長年住んでいて愛着があるから 49.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 42.7	横浜が好きだから 33.7	親や子、親族、友人などがいるから 30.0
	男性計 (n=841)	自分や家族の持家だから 52.0	長年住んでいて愛着があるから 37.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.6	通勤・通学に便利だから 33.4	横浜が好きだから 32.6
18～29歳 (n=43)	生まれ育った場所だから 58.1	自分や家族の持家だから 53.5	親や子、親族、友人などがいるから 41.9	長年住んでいて愛着があるから／通勤・通学に便利だから 37.2		
30代 (n=92)	通勤・通学に便利だから 52.2	生まれ育った場所だから 33.7	横浜が好きだから 30.4	自分や家族の持家だから 28.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 27.2	
40代 (n=149)	通勤・通学に便利だから 55.0	自分や家族の持家だから 46.3	横浜が好きだから／生まれ育った場所だから 35.6	親や子、親族、友人などがいるから 32.9		
50代 (n=182)	自分や家族の持家だから 50.5	通勤・通学に便利だから 38.5	長年住んでいて愛着があるから 36.8	買い物、医療などの生活環境が整っているから 32.4	横浜が好きだから 29.7	
60代 (n=150)	自分や家族の持家だから 55.3	長年住んでいて愛着があるから 43.3	横浜が好きだから 33.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 32.7	街のイメージがよいから 26.0	
70歳以上 (n=225)	自分や家族の持家だから 64.0	長年住んでいて愛着があるから 48.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 43.6	横浜が好きだから 32.9	自然が身近にあるから 29.8	
女性計 (n=1,090)	自分や家族の持家だから 56.6	長年住んでいて愛着があるから 43.5	親や子、親族、友人などがいるから 37.7	横浜が好きだから 36.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.5	
18～29歳 (n=80)	通勤・通学に便利だから 51.3	生まれ育った場所だから 48.8	親や子、親族、友人などがいるから 46.3	横浜が好きだから 37.5	自分や家族の持家だから／長年住んでいて愛着があるから 35.0	
30代 (n=102)	通勤・通学に便利だから 55.9	自分や家族の持家だから／買い物、医療などの生活環境が整っているから 41.2	親や子、親族、友人などがいるから 38.2	横浜が好きだから 37.3		
40代 (n=212)	自分や家族の持家だから 50.9	親や子、親族、友人などがいるから 41.5	長年住んでいて愛着があるから 40.1	通勤・通学に便利だから 39.6	横浜が好きだから 37.3	
50代 (n=204)	自分や家族の持家だから 61.3	長年住んでいて愛着があるから 43.6	横浜が好きだから 36.8	親や子、親族、友人などがいるから 36.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.3	
60代 (n=188)	自分や家族の持家だから 67.6	長年住んでいて愛着があるから 48.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 38.8	横浜が好きだから 35.6	親や子、親族、友人などがいるから 31.4	
70歳以上 (n=304)	自分や家族の持家だから 61.5	長年住んでいて愛着があるから 50.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 42.4	親や子、親族、友人などがいるから 37.5	横浜が好きだから 34.5	

④ 横浜に住み続ける理由〔ライフステージ別〕（複数回答）

家族形成期、家族成長前期で「通勤・通学に便利だから」が1位

ライフステージ別にみると、家族形成期、家族成長前期で「通勤・通学に便利だから」が1位となっている。また、全てのライフステージで「横浜が好きだから」が上位に入っている。

表2-8-3 横浜に住み続ける理由〔ライフステージ別〕（複数回答）

属性		順位								
		1位	2位	3位	4位	5位				
全体 (n=1,969)	自分や家族の持家だから	54.7	長年住んでいて愛着があるから	40.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから	35.2	横浜が好きだから	34.4	親や子、親族、友人などがあるから	32.2
子どもなし計 (n=473)	自分や家族の持家だから	48.0	通勤・通学に便利だから	45.7	生まれ育った場所だから	40.0	横浜が好きだから	39.1	長年住んでいて愛着があるから	37.4
単身(1) 40歳未満 (n=149)	通勤・通学に便利だから／生まれ育った場所だから	51.7		親や子、親族、友人などがあるから	39.6	自分や家族の持家だから／横浜が好きだから		38.3		
単身(2) 40～64歳 (n=132)	自分や家族の持家だから	56.1	生まれ育った場所だから	50.0	通勤・通学に便利だから	43.9	長年住んでいて愛着があるから	40.2	横浜が好きだから	37.9
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=31)	通勤・通学に便利だから	67.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから	38.7	横浜が好きだから	35.5	自分や家族の持家だから／親や子、親族、友人などがあるから	29.0		
夫婦だけ(2) 40～64歳 (n=103)	自分や家族の持家だから	52.4	通勤・通学に便利だから	50.5	横浜が好きだから	41.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから	35.9	長年住んでいて愛着があるから	30.1
高齢子どもなし (n=58)	自分や家族の持家だから	56.9	長年住んでいて愛着があるから	51.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから	48.3	横浜が好きだから	41.4	生まれ育った場所だから	22.4
子どもあり計 (n=1,387)	自分や家族の持家だから	57.6	長年住んでいて愛着があるから	42.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから	35.8	親や子、親族、友人などがあるから	33.4	横浜が好きだから	33.1
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=95)	通勤・通学に便利だから	46.3	自分や家族の持家だから	41.1	横浜が好きだから／生まれ育った場所だから	32.6		親や子、親族、友人などがあるから	31.6	
家族成長前期 第一子が小学生 (n=132)	通勤・通学に便利だから	47.7	自分や家族の持家だから	40.2	親や子、親族、友人などがあるから	37.9	買い物、医療などの生活環境が整っているから	33.3	横浜が好きだから	29.5
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=156)	自分や家族の持家だから	55.1	親や子、親族、友人などがあるから	42.9	通勤・通学に便利だから	38.5	横浜が好きだから	30.1	長年住んでいて愛着があるから	29.5
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=86)	自分や家族の持家だから	54.7	横浜が好きだから	41.9	長年住んでいて愛着があるから	39.5	親や子、親族、友人などがあるから	34.9	通勤・通学に便利だから	30.2
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=65)	自分や家族の持家だから	55.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから	46.2	長年住んでいて愛着があるから	41.5	横浜が好きだから／親や子、親族、友人などがあるから	32.3		
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=269)	自分や家族の持家だから	56.9	長年住んでいて愛着があるから	46.5	横浜が好きだから	33.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから／親や子、親族、友人などがあるから	32.3		
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=584)	自分や家族の持家だから	65.9	長年住んでいて愛着があるから	50.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから	43.0	横浜が好きだから	33.4	自然が身近にあるから	30.7

⑤ 横浜に住み続ける理由〔世帯類型別〕（複数回答）

ひとり暮らし（2）（3）で「長年住んでいて愛着があるから」が1位

世帯類型別にみると、ひとり暮らし（1）、夫婦のみ（1）で「通勤・通学に便利だから」、「ひとり暮らし（2）と（3）で「長年住んでいて愛着があるから」が1位となっている。また、ひとり暮らし（1）（「横浜が好きだから」が同率）で「余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから」が2位となっている。

⑥ 横浜に住み続ける理由〔住居形態別〕（複数回答）

借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）で「長年住んでいて愛着があるから」が1位

住居形態別にみると、借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）で「長年住んでいて愛着があるから」が1位となっている。また、借家（県営・市営の共同住宅）（「長年住んでいて愛着があるから」が同率）で「家賃や住宅の価格が手ごろだから」が2位となっている。

表2-8-4 横浜に住み続ける理由〔世帯類型別、住居形態別〕（複数回答）

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=1,969)		自分や家族の持家だから 54.7	長年住んでいて愛着があるから 40.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.2	横浜が好きだから 34.4	親や子、親族、友人などがあるから 32.2
世帯類型別	ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=46)	通勤・通学に便利だから 67.4	横浜が好きだから／余暇や休日を楽しく過ごせる場所があるから 34.8	買い物、医療などの生活環境が整っているから 30.4	親や子、親族、友人などがあるから／街並みや景観がよいから 28.3	
	ひとり暮らし(2) 40～64歳 (n=73)	長年住んでいて愛着があるから 45.2	自分や家族の持家だから 41.1	横浜が好きだから／通勤・通学に便利だから 38.4	親や子、親族、友人などがあるから 32.9	
	ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=109)	長年住んでいて愛着があるから 52.3	自分や家族の持家だから 51.4	買い物、医療などの生活環境が整っているから 37.6	親や子、親族、友人などがあるから 32.1	横浜が好きだから 28.4
	夫婦のみ(1) 子なし (n=150)	通勤・通学に便利だから 48.7	自分や家族の持家だから 45.3	買い物、医療などの生活環境が整っているから 41.3	横浜が好きだから 40.0	長年住んでいて愛着があるから 32.7
	夫婦のみ(2) 子あり (n=369)	自分や家族の持家だから 57.2	長年住んでいて愛着があるから 45.5	買い物、医療などの生活環境が整っているから 41.5	横浜が好きだから 34.1	親や子、親族、友人などがあるから 31.4
	子と同居(1) 2世代／教育期の子あり (n=451)	自分や家族の持家だから 47.7	通勤・通学に便利だから 39.9	親や子、親族、友人などがあるから 37.0	横浜が好きだから 33.5	長年住んでいて愛着があるから 30.2
	子と同居(2) 2世代／教育終了後の子のみ (n=293)	自分や家族の持家だから 66.9	長年住んでいて愛着があるから 48.8	買い物、医療などの生活環境が整っているから 38.9	横浜が好きだから 32.8	親や子、親族、友人などがあるから 27.6
	親と同居(1) 2世代／子なし・40歳未満 (n=83)	生まれ育った場所だから 66.3	自分や家族の持家だから 54.2	親や子、親族、友人などがあるから 45.8	長年住んでいて愛着があるから 43.4	通勤・通学に便利だから 42.2
	親と同居(2) 2世代／子なし・40歳以上 (n=79)	自分や家族の持家だから 65.8	生まれ育った場所だから 58.2	横浜が好きだから／通勤・通学に便利だから 41.8	長年住んでいて愛着があるから 40.5	
	祖父母と親と子 3世代 (n=124)	自分や家族の持家だから 74.2	長年住んでいて愛着があるから 46.0	親や子、親族、友人などがあるから 38.7	生まれ育った場所だから 33.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 29.8
住居形態別	持家（一戸建て） (n=990)	自分や家族の持家だから 71.5	長年住んでいて愛着があるから 43.1	横浜が好きだから 33.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 31.4	親や子、親族、友人などがあるから 30.5
	持家（マンション・共同住宅） (n=601)	自分や家族の持家だから 54.1	買い物、医療などの生活環境が整っているから 42.3	長年住んでいて愛着があるから 39.4	横浜が好きだから 37.1	通勤・通学に便利だから 34.1
	借家（一戸建て） (n=39)	通勤・通学に便利だから 48.7	買い物、医療などの生活環境が整っているから 35.9	生まれ育った場所だから 30.8	自分や家族の持家だから／自然が身近にあるから 25.6	
	借家（民間アパート、民間賃貸マンション） (n=211)	通勤・通学に便利だから 54.5	長年住んでいて愛着があるから 39.8	横浜が好きだから 37.4	親や子、親族、友人などがあるから 36.0	買い物、医療などの生活環境が整っているから 34.6
	※親や子、親族、友人などがあるから 借家（その他の共同住宅等） (n=89)	親や子、親族、友人などがあるから 39.3	長年住んでいて愛着があるから 34.8	買い物、医療などの生活環境が整っているから 30.3	横浜が好きだから 30.3	通勤・通学に便利だから／家賃や住宅の価格が手ごろだから 28.1

※その他の共同住宅等は「借家（県営・市営の共同住宅）、借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）、借家（社宅、公務員住宅）」を合計したもの

3. 生活意識

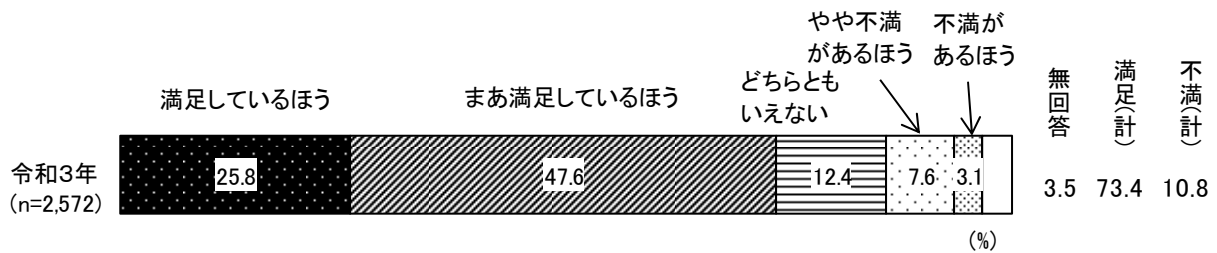
(1) 生活満足度

問5 あなたは、今のご自分の生活に満足しているほうですか、それとも、不満があるほうですか。
(○は1つ)

『満足(計)』は7割半ば

生活満足度については、「満足しているほう」(25.8%)と「まあ満足しているほう」(47.6%)を合わせた『満足(計)』(73.4%)は7割半ばとなっている。一方、「不満があるほう」(3.1%)と「やや不満があるほう」(7.6%)を合わせた『不満(計)』(10.8%)は1割を超えている。

図3-1-1 生活満足度 [全体]

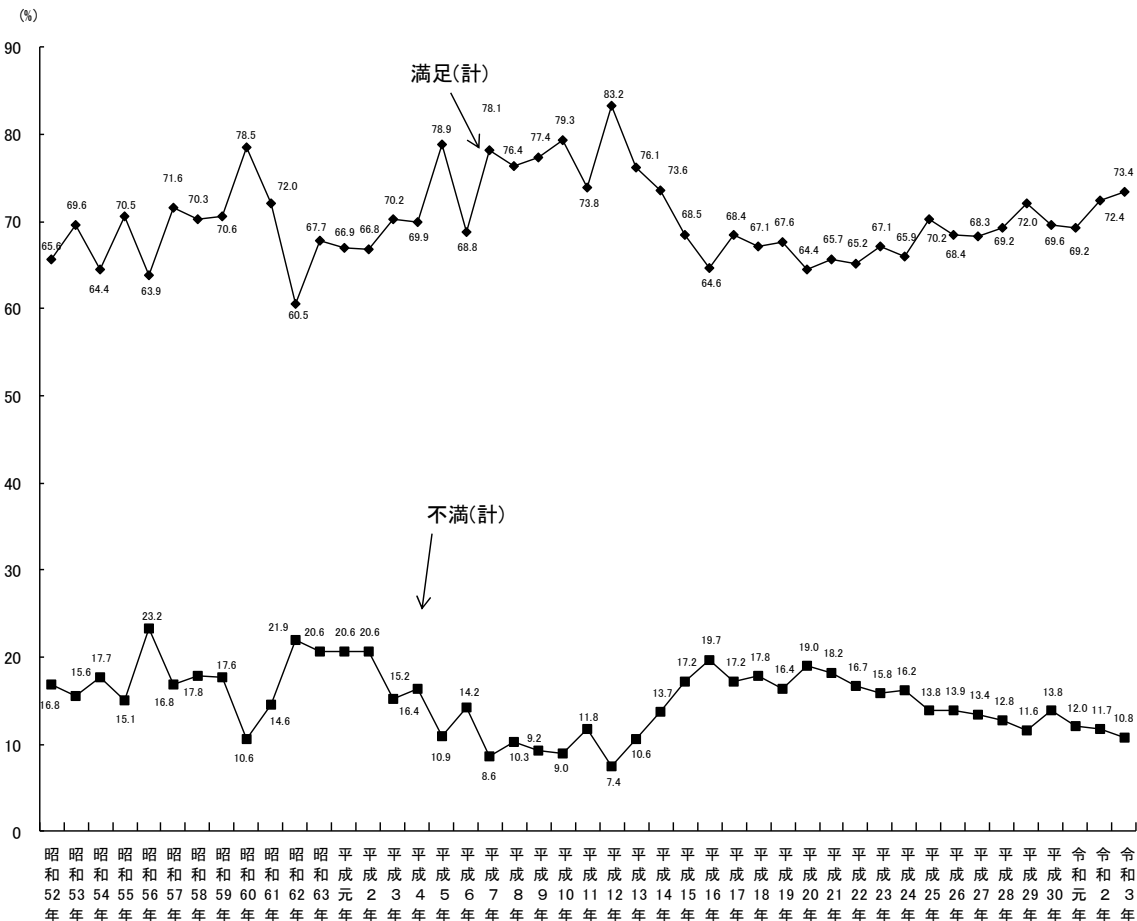


① 生活満足度 [経年変化]

生活満足度は前回調査から1.0ポイント増加

経年変化をみると、前回調査に比べ『満足(計)』は1.0ポイント増加、『不満(計)』は0.9ポイントの減少となっている。

図3-1-2 生活満足度 [経年変化]



② 生活満足度 [年齢別]

『満足(計)』は70歳以上で8割近く

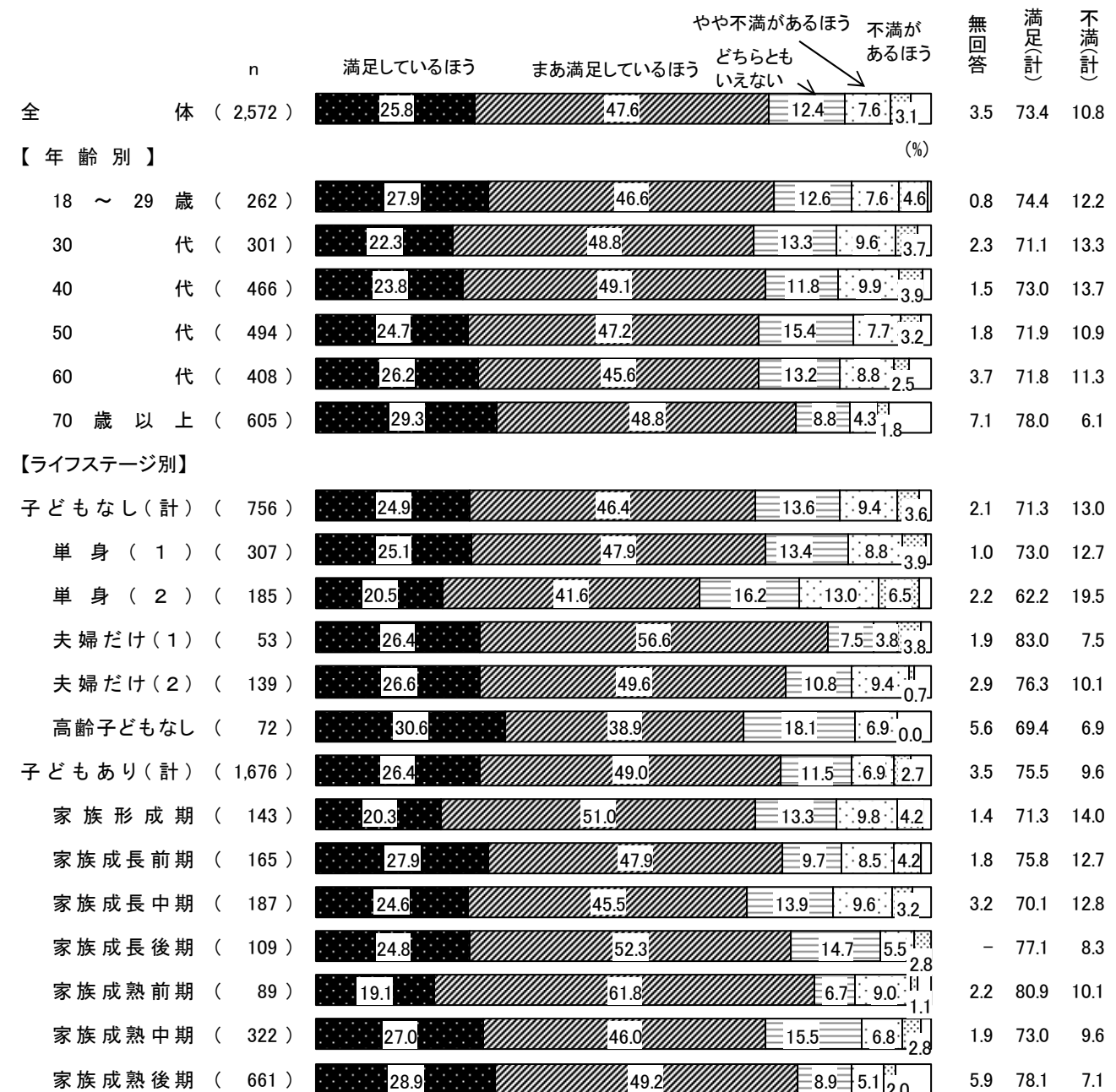
年齢別にみると、『満足(計)』は70歳以上(78.0%)で8割近くと最も多く、全ての年代が7割を超えている。

③ 生活満足度 [ライフステージ別]

『満足(計)』は夫婦だけ(1)で8割半ば

ライフステージ別にみると、『満足(計)』は夫婦だけ(1)(83.0%)で8割半ばと最も多くなっている。一方、『不満(計)』は単身(2)(19.5%)で2割近くと最も多くなっている。

図3-1-3 生活満足度 [年齢別、ライフステージ別]



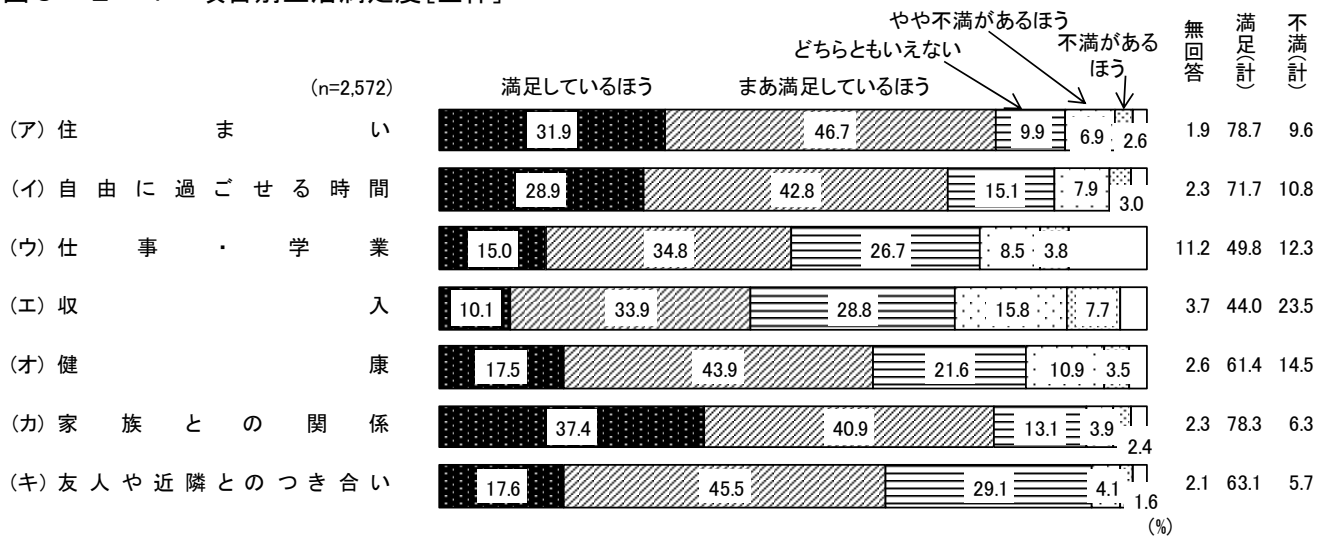
(2) 項目別生活満足度

問6 今のご自分の生活について、次の項目別にみると、満足しているほうですか。それとも、不満があるほうですか。(〇はそれぞれ1つ)

『満足(計)』は「住まい」と「家族との関係」で8割近く

項目別生活満足度について、「満足しているほう」と「まあ満足しているほう」を合わせた『満足(計)』は、「住まい」(78.7%)、「家族との関係」(78.3%)で8割近くとなっている。

図3-2-1 項目別生活満足度[全体]



① 項目別生活満足度（ア）住まい [年齢別]

『満足（計）』は18～29歳、70歳以上で8割を超える

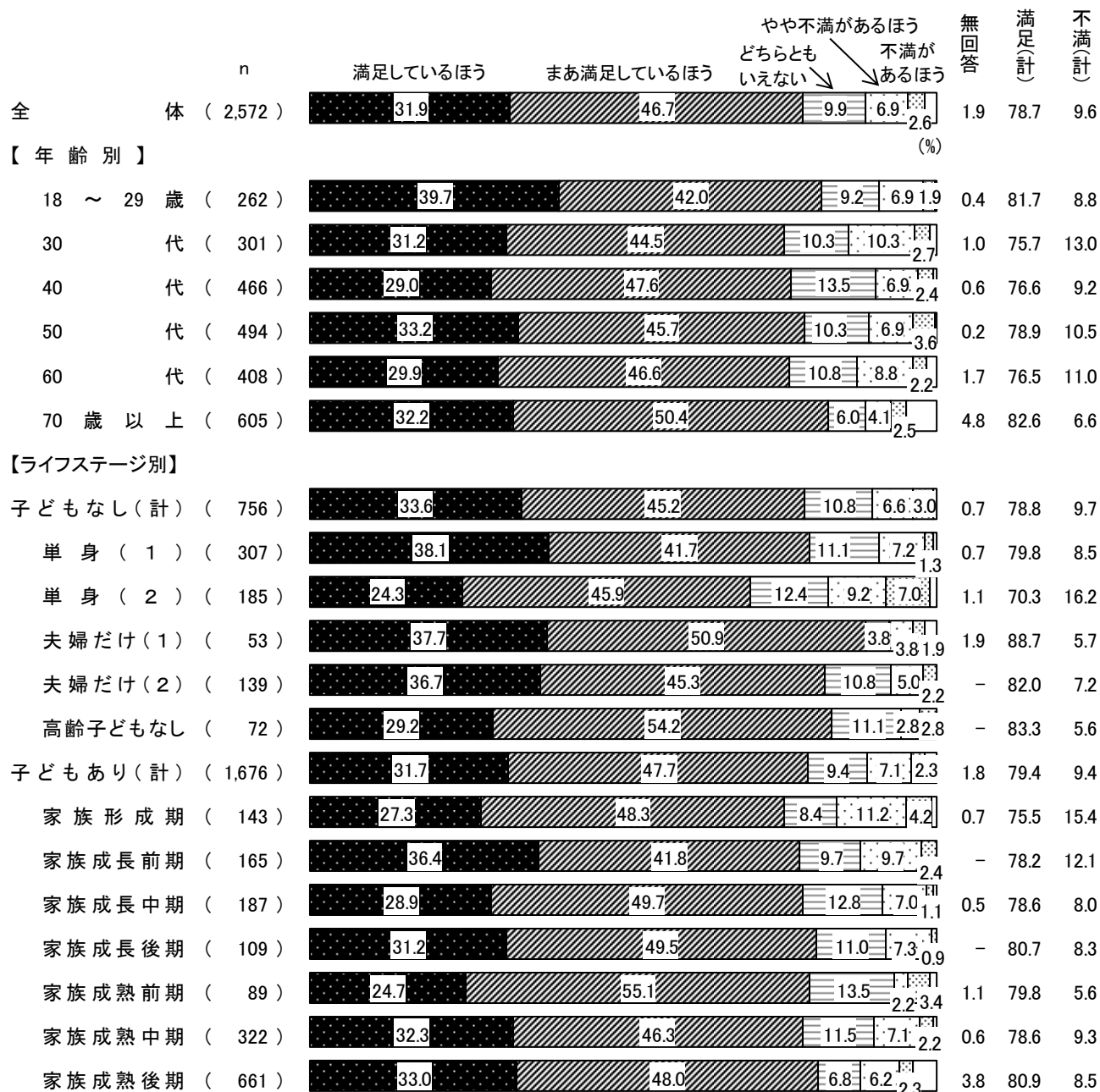
年齢別にみると、『満足（計）』は70歳以上（82.6%）が最も多く、次いで18～29歳（81.7%）で、いずれも8割を超えている。一方、『不満（計）』は30代（13.0%）で1割半ばと最も多くなっている。

② 項目別生活満足度（ア）住まい [ライフステージ別]

『満足（計）』は夫婦だけ（1）で9割近く

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は夫婦だけ（1）（88.7%）で9割近くと最も多く、高齢子どもなし（83.3%）、夫婦だけ（2）（82.0%）、家族成熟後期（80.9%）、家族成長後期（80.7%）で8割を超えている。

図3-2-2 項目別生活満足度（ア）住まい [年齢別、ライフステージ別]



③ 項目別生活満足度（イ）自由に過ごせる時間 [年齢別]

『満足（計）』は70歳以上で8割を超える

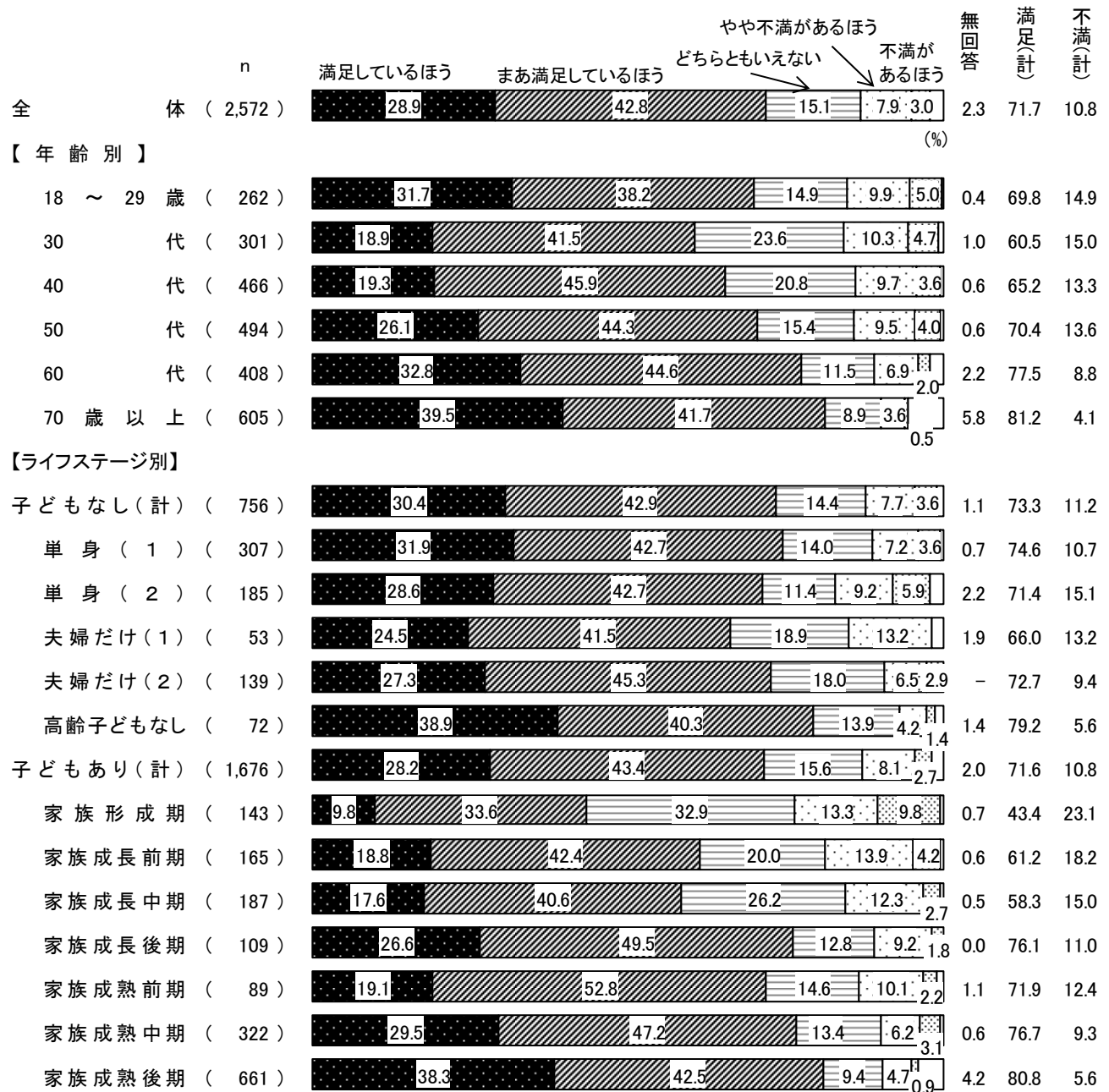
年齢別にみると、『満足（計）』は70歳以上（81.2%）で8割を超えて最も多くなっている。一方、『不満（計）』は30代（15.0%）で1割半ばと最も多くなっている。

④ 項目別生活満足度（イ）自由に過ごせる時間 [ライフステージ別]

『不満（計）』は家族形成期で2割半ば

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は家族成熟後期（80.8%）で8割を超えて最も多くなっている。一方、『不満（計）』は家族形成期（23.1%）で2割半ばと最も多くなっている。

図3-2-3 項目別生活満足度（イ）自由に過ごせる時間 [年齢別、ライフステージ別]



⑤ 項目別生活満足度（ウ）仕事・学業 [年齢別]

『満足（計）』は50代で6割近く

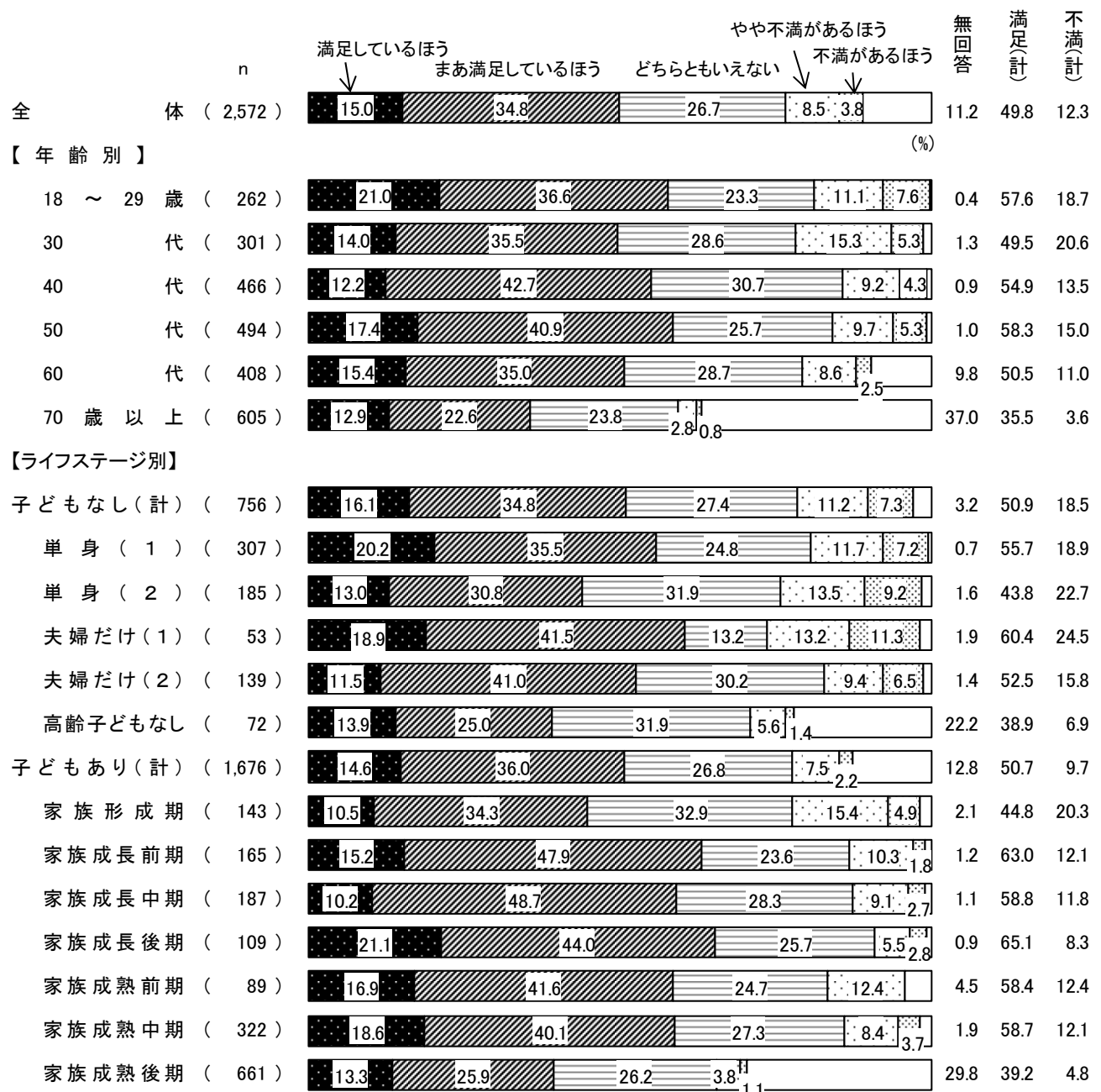
年齢別にみると、『満足（計）』は50代（58.3%）で6割近くと最も多くなっている。一方、『不満（計）』は30代（20.6%）で2割を超えて最も多くなっている。

⑥ 項目別生活満足度（ウ）仕事・学業 [ライフステージ別]

『不満（計）』は夫婦だけ（1）で2割半ば

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は家族成長後期（65.1%）で6割半ばと最も多くなっている。一方、『不満（計）』は夫婦だけ（1）（24.5%）で2割半ばと最も多くなっている。

図3-2-4 項目別生活満足度（ウ）仕事・学業 [年齢別、ライフステージ別]



⑦ 項目別生活満足度（エ）収入〔年齢別〕

『満足（計）』は50代で4割半ば

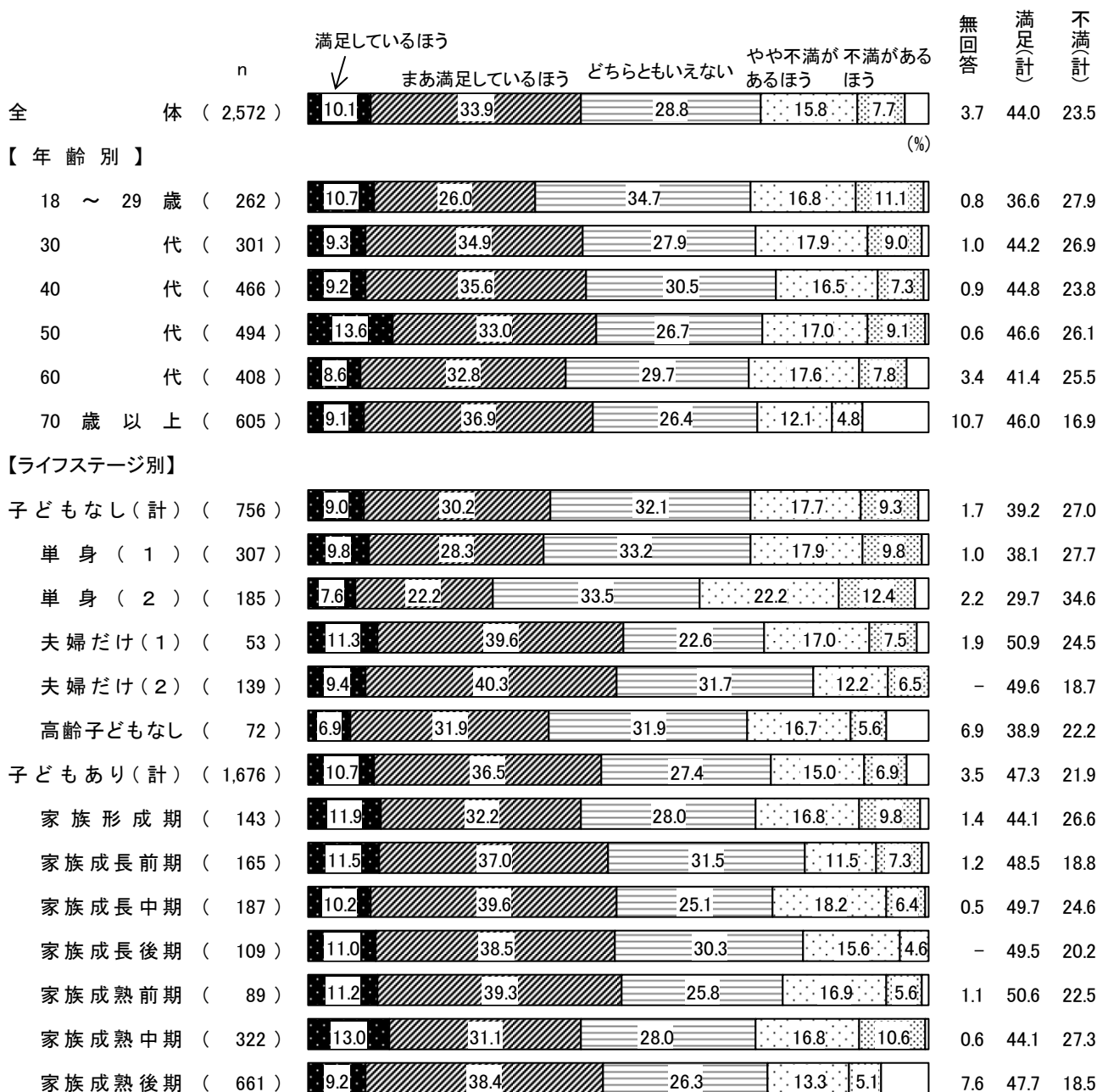
年齢別にみると、『満足（計）』は50代（46.6%）で4割半ばと最も多くなっている。一方、『不満（計）』は18～29歳（27.9%）で2割半ばと最も多くなっている。

⑧ 項目別生活満足度（エ）収入〔ライフステージ別〕

『不満（計）』は単身（2）で3割半ば

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は夫婦だけ（1）（50.9%）で最も多く、家族成長前期（50.6%）でも5割を超えている。一方、『不満（計）』は単身（2）（34.6%）で3割半ばと最も多くなっている。

図3-2-5 項目別生活満足度（エ）収入〔年齢別、ライフステージ別〕



⑨ 項目別生活満足度（オ）健康〔年齢別〕

『満足（計）』は18～29歳で7割を超える

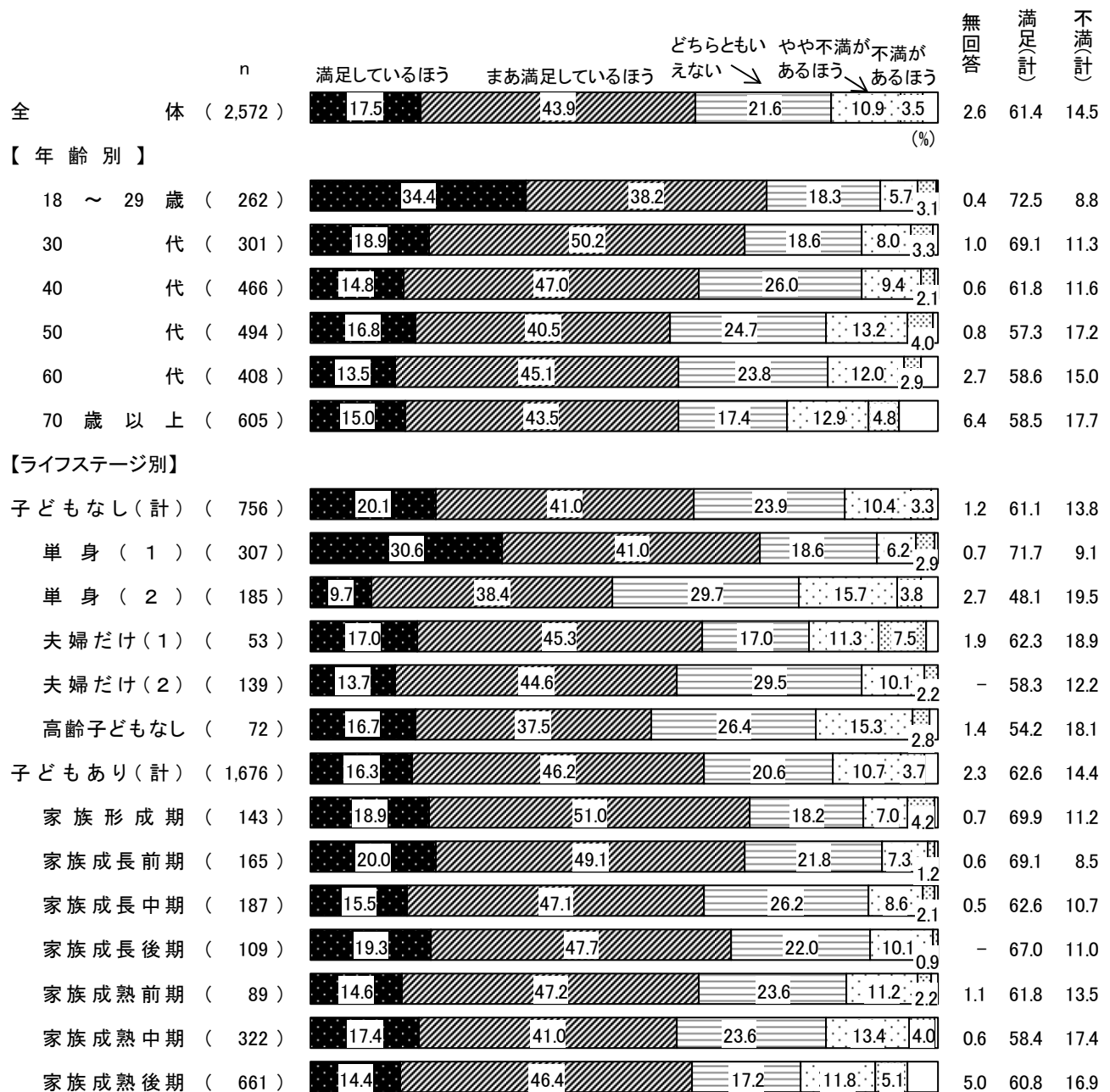
年齢別にみると、『満足（計）』は18～29歳（72.5%）で7割を超えて最も多くなっている。一方、『不満（計）』は70歳以上（17.7%）が最も多くなっている。

⑩ 項目別生活満足度（オ）健康〔ライフステージ別〕

『不満（計）』は単身（2）で2割近く

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は単身（1）（71.7%）で7割を超えて最も多くなっている。一方、『不満（計）』は単身（2）（19.5%）で2割近くと最も多くなっている。

図3-2-6 項目別生活満足度（オ）健康〔年齢別、ライフステージ別〕



⑪ 項目別生活満足度（カ） 家族との関係 [年齢別]

『満足（計）』は30代で8割を超える

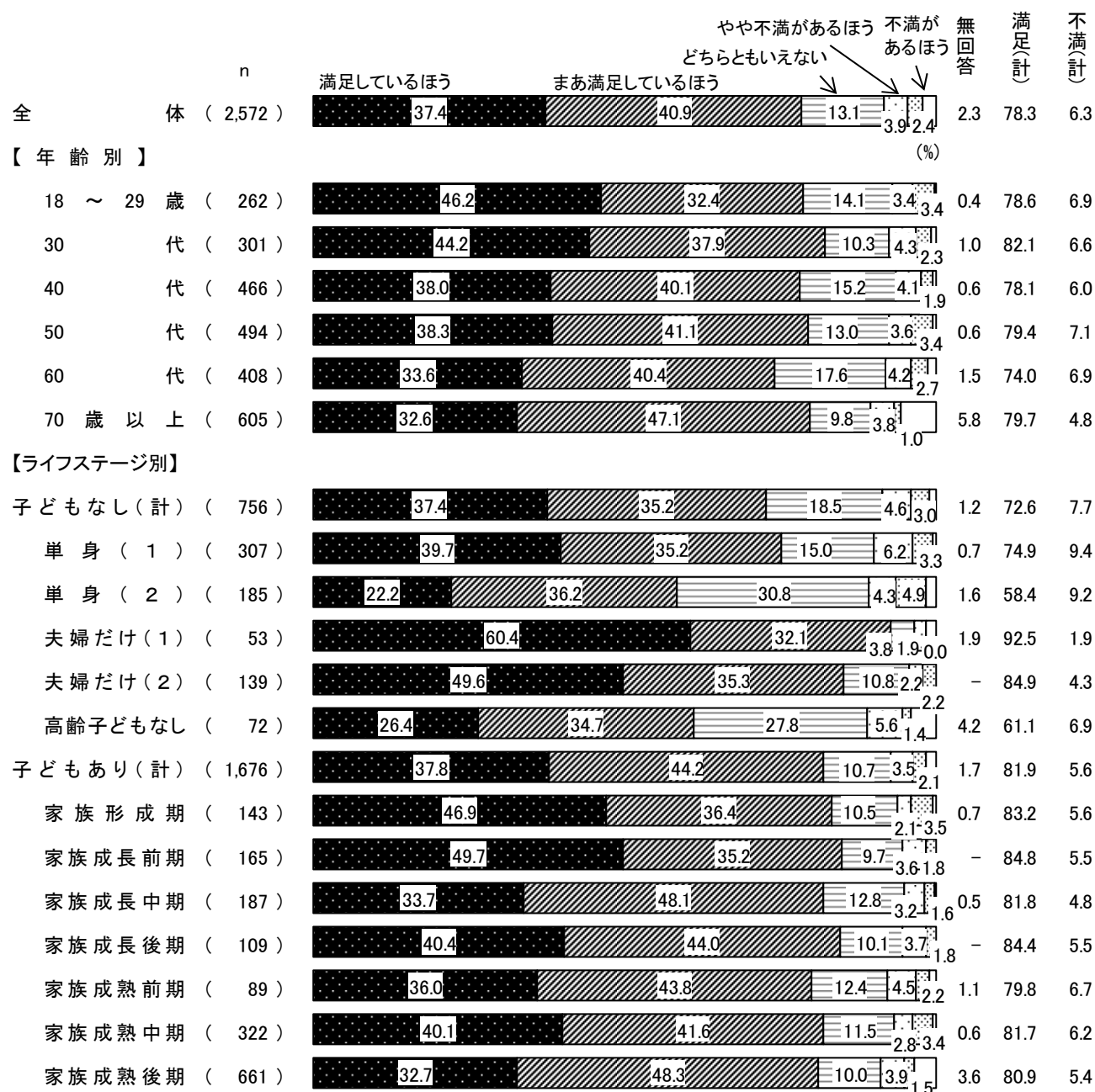
年齢別にみると、『満足（計）』は30代（82.1%）で8割を超えて最も多くなっている。一方、『不満（計）』は70歳以上（4.8%）で他の年齢に比べ少なくなっている。

⑫ 項目別生活満足度（カ） 家族との関係 [ライフステージ別]

『満足（計）』は夫婦だけ（1）で9割を超える

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は夫婦だけ（1）（92.5%）で9割を超えて最も多く、『不安（計）』は単身（1）（9.4%）、単身（2）（9.2%）で、他の年齢に比べ多くなっている。

図3-2-7 項目別生活満足度（カ） 家族との関係 [年齢別、ライフステージ別]



⑬ 項目別生活満足度（キ）友人や近隣とのつき合い〔年齢別〕

『満足（計）』は18～29歳で7割近く

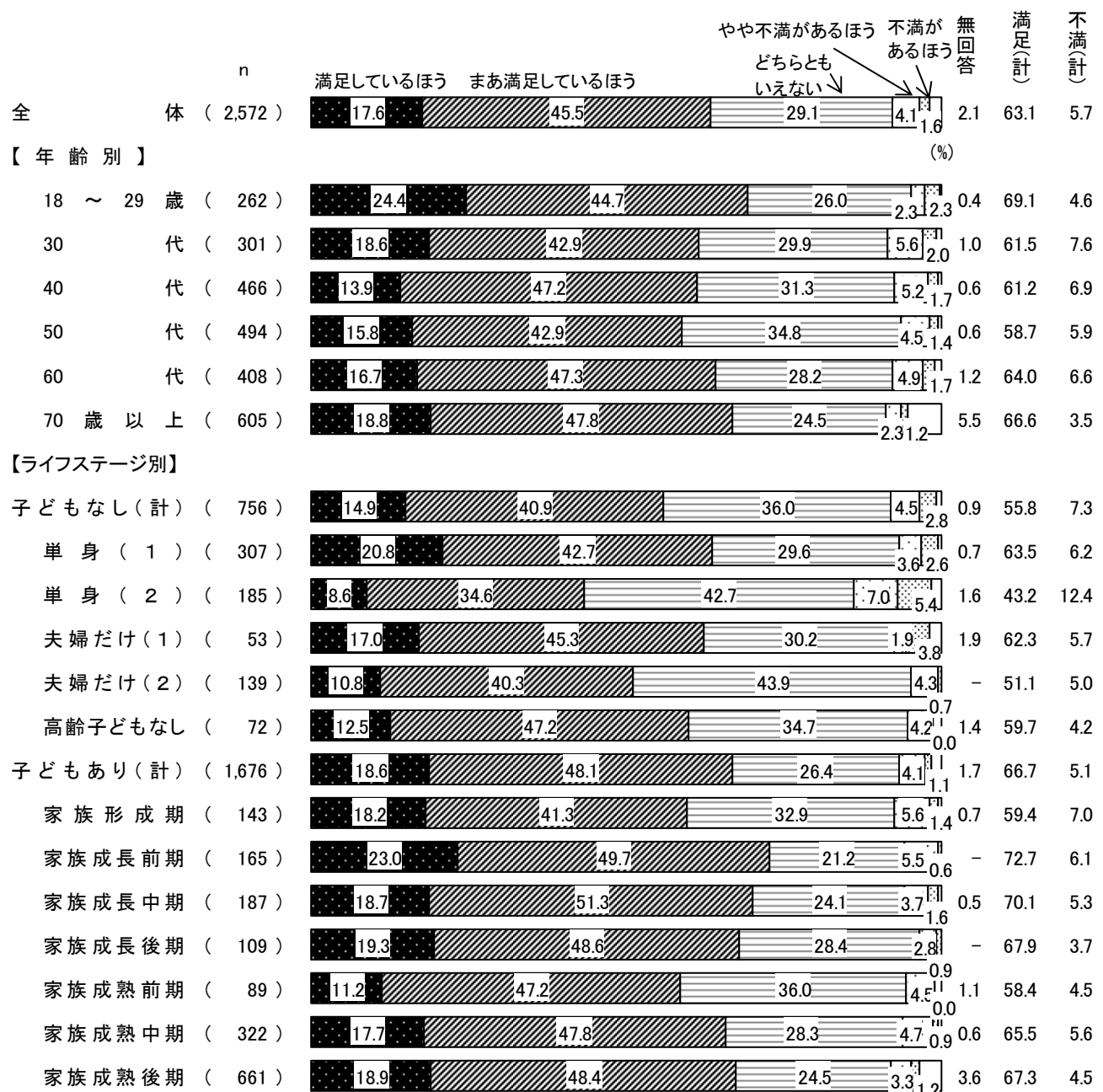
年齢別にみると、『満足（計）』は18～29歳（69.1%）で7割近くと最も多くなっている。一方、『不満（計）』は30代（7.6%）で最も多くなっている。

⑭ 項目別生活満足度（キ）友人や近隣とのつき合い〔ライフステージ別〕

『満足（計）』は家族成長前期で7割を超える

ライフステージ別にみると、『満足（計）』は家族成長前期（72.7%）、家族成長中期（70.1%）で7割を超えており、単身（2）（43.2%）では4割半ばと少なくなっている。一方、『不満（計）』は単身（2）（12.4%）で1割を超えて最も多くなっている。

図3-2-8 項目別生活満足度（キ）友人や近隣とのつき合い〔年齢別、ライフステージ別〕



(3) 生活満足度と項目別生活満足度のまとめ

(ア)「住まい」から(キ)「友人や近隣とのつき合い」までのそれぞれの項目別生活満足度について、「満足しているほう」又は「まあ満足しているほう」（あわせて『満足』）と回答した人と、「不満があるほう」又は「やや不満があるほう」（あわせて『不満』）と回答した人に分けて、生活満足度をみた。

【「満足」と回答した人の生活満足度】

「収入」で『満足（計）』は9割を超える

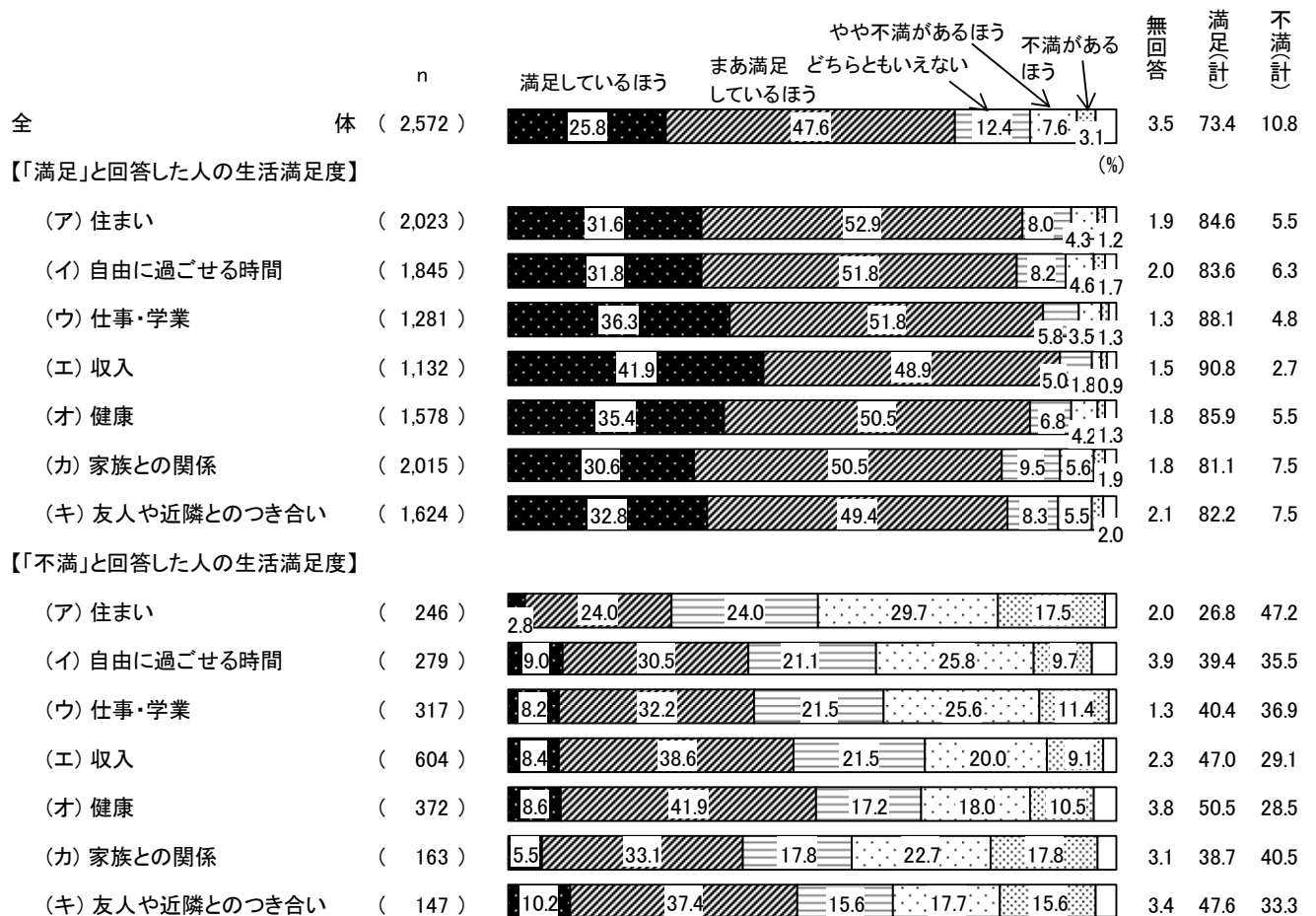
「収入」に『満足』と回答した人では、生活満足度『満足（計）』（90.8%）が9割を超えている。その他の項目についても、『満足（計）』は全体と比べて多くなっている。

【「不満」と回答した人の生活満足度】

「住まい」で『不満（計）』は4割半ば

「住まい」に『不満』と回答した人では、生活満足度『満足（計）』（26.8%）が2割半ばと少なく、『不満（計）』（47.2%）は4割半ばとなっている。その他の項目についても、『不満（計）』が全体と比べて多くなっている。

図3-3-1 項目別生活満足度の『満足』・『不満』別生活満足度



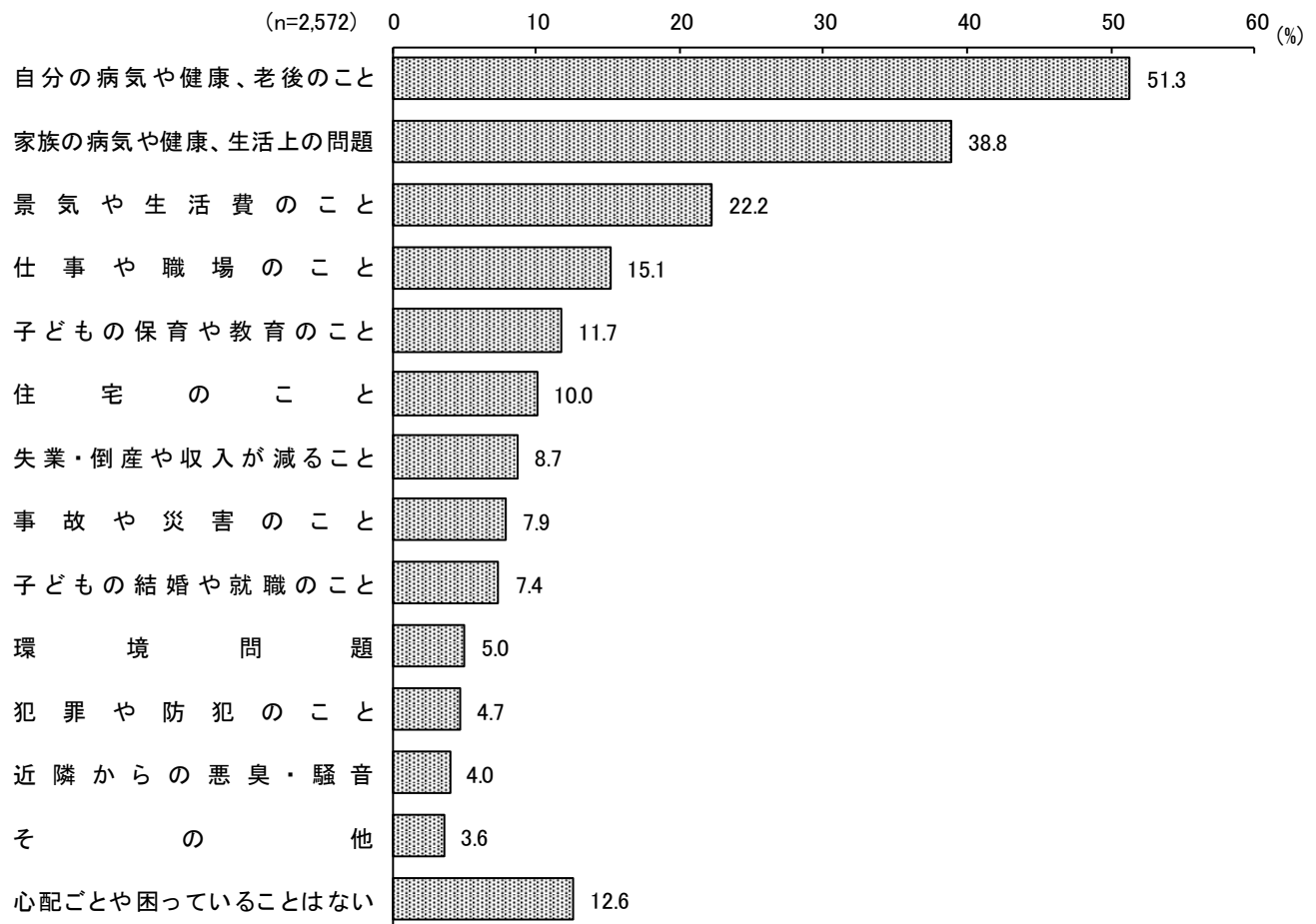
(4) 心配ごとや困っていること

問7 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。
(〇は3つまで)

「自分の病気や健康、老後のこと」が5割を超える

心配ごとや困っていることについては、「自分の病気や健康、老後のこと」(51.3%)が5割を超えて最も多く、次いで「家族の病気や健康、生活上の問題」(38.8%)、「景気や生活費のこと」(22.2%)となっている。

図3-4-1 心配ごとや困っていること [全体] (3つまでの複数回答)



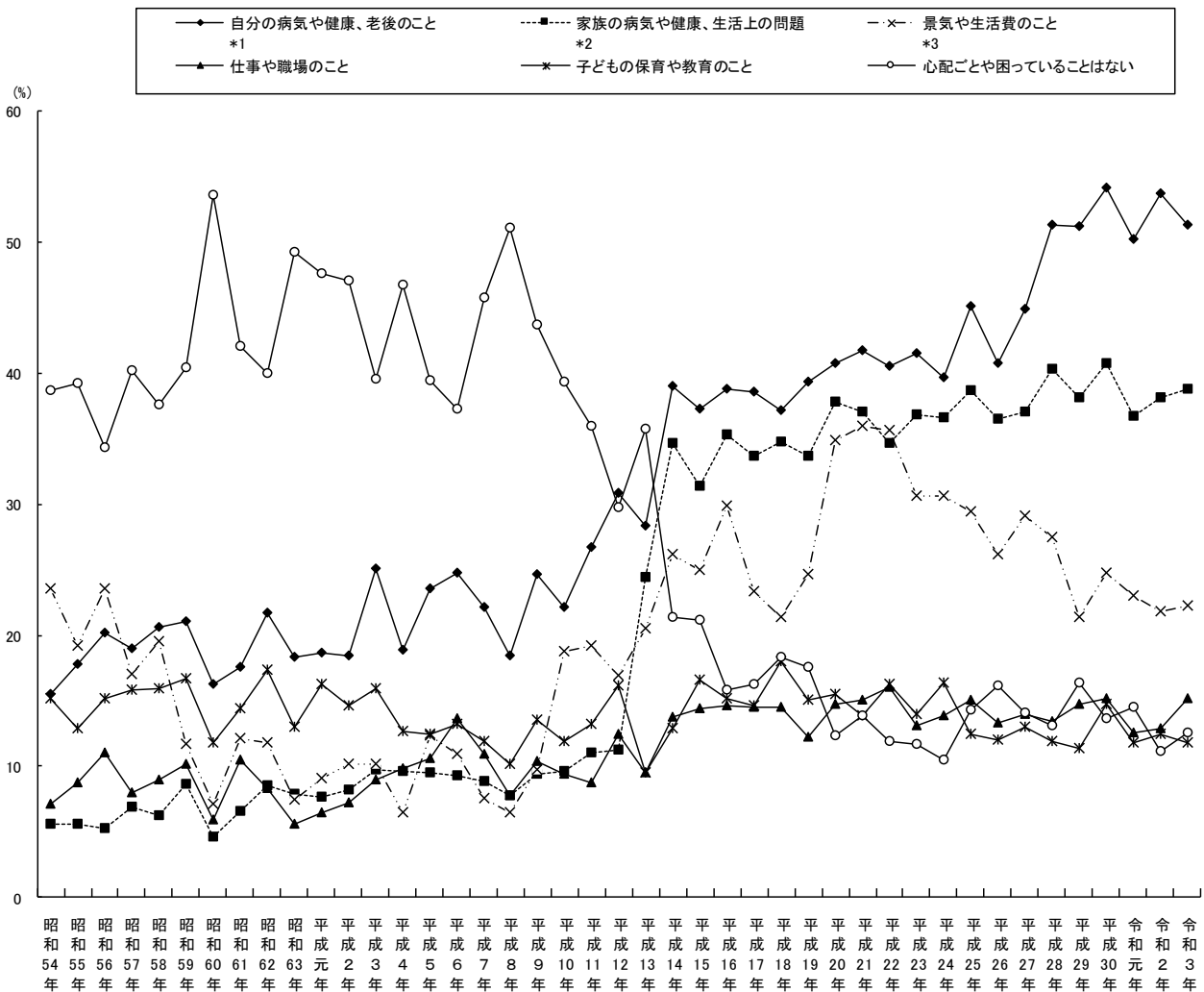
① 心配ごとや困っていること [経年変化]

「自分の病気や健康、老後のこと」は増加傾向

経年変化をみると、「景気や生活費のこと」は、この10年ほど減少傾向にある。「心配ごとや困っていることはない」は、平成20(2008)年以降、おおむね10%台前半で推移している。

図3-4-2 心配ごとや困っていること [経年変化]

(3つまでの複数回答、上位5項目と「心配ごとや困っていることはない」の割合)



※1 平成27年までは「自分の病気や老後のこと」としていた。

※2 平成12年までは「家族の問題や親せきとの関係」、平成27年までは「家族の健康や生活上の問題」としていた。

※3 平成9年までは「インフレや物価高のこと」としていた。

表3-4-1 心配ごとや困っていること [経年変化] (3つまでの複数回答)

心配ごと 調査時期	自分の 病気や 健康、老 後の こと*1	家族の 病気や 健康、生 活上の 問題 *2	景気や 生活費 のこと *3	事故や 災害の こと *4	環境 問題 *4	子どもの 保育や 教育の こと	仕事や 職場の こと	失業・ 倒産や 収入が 減ること	住宅の こと	犯罪や 防犯の こと	近隣から の悪臭・ 騒音	子どもの 結婚や 就職の こと	心配ごと や困って いること はない
昭和54年	15.5	5.6	23.5		8.7	15.2	7.1	3.0	16.5	-	-	-	38.7
55年	17.8	5.6	19.2		6.5	12.9	8.7	3.4	15.2	-	-	-	39.2
56年	20.2	5.3	23.5		8.7	15.2	11.0	2.3	19.0	-	-	-	34.3
57年	19.0	6.9	17.0		7.7	15.8	8.0	3.1	14.1	-	-	-	40.2
58年	20.6	6.2	19.5		11.0	15.9	9.0	4.0	12.4	-	-	-	37.6
59年	21.0	8.6	11.7		8.1	16.7	10.2	4.6	11.7	-	-	-	40.4
60年	16.3	4.6	7.1		4.4	11.8	5.9	2.5	6.3	-	-	-	53.6
61年	17.5	6.6	12.1		5.9	14.4	10.5	4.2	11.6	-	-	-	42.0
62年	21.7	8.5	11.8		5.8	17.3	8.3	4.7	13.7	-	-	-	40.0
63年	18.3	7.9	7.4		4.8	13.0	5.6	3.1	12.5	-	-	-	49.2
平成元年	18.6	7.6	9.1		6.3	16.2	6.5	2.2	11.6	-	-	-	47.6
2年	18.4	8.2	10.1		6.1	14.6	7.2	1.1	14.2	-	-	-	47.1
3年	25.1	9.7	10.1		8.9	15.9	9.0	2.0	12.0	-	-	-	39.5
4年	18.9	9.6	6.4		5.7	12.7	9.8	3.0	12.7	-	-	-	46.7
5年	23.5	9.5	12.3		8.7	12.4	10.6	5.3	6.0	-	-	-	39.4
6年	24.7	9.3	10.9		6.0	13.2	13.6	7.6	14.7	-	-	-	37.3
7年	22.1	8.8	7.5		6.8	11.9	10.9	4.0	9.6	-	-	-	45.8
8年	18.4	7.7	6.5		4.9	10.2	7.7	3.2	9.4	-	-	-	51.1
9年	24.6	9.4	9.7		7.6	13.5	10.4	4.6	7.8	-	-	-	43.7
10年	22.1	9.6	18.8		7.7	11.9	9.4	6.8	8.3	-	-	-	39.3
11年	26.7	11.0	19.2		11.5	13.2	8.7	7.2	6.9	-	-	-	36.0
12年	30.8	11.2	16.9		11.8	16.1	12.4	6.5	9.0	-	-	-	29.7
13年	28.3	24.4	20.5	11.6	12.4	9.5	9.5	12.6	6.9	-	-	-	35.7
14年	39.0	34.6	26.2	6.8	12.7	12.9	13.7	16.3	6.2	-	3.0	-	21.4
15年	37.3	31.4	25.0	9.0	9.5	16.6	14.4	12.5		-	4.7	-	21.2
16年	38.8	35.3	29.9	7.6	10.0	15.2	14.6	13.3	13.5	-	4.4	-	15.8
17年	38.6	33.7	23.3	14.9	13.4	14.6	14.5	8.5	10.7	25.6	3.7	-	16.3
18年	37.2	34.8	21.4	11.5	10.7	18.0	14.5	7.9	9.7	25.0	3.3	-	18.3
19年	39.3	33.7	24.6	11.0	14.8	15.0	12.2	8.7	9.0	24.6	3.8	-	17.6
20年	40.8	37.8	34.9	3.8	12.3	15.5	14.7	8.8	11.5	16.6	3.5	-	12.3
21年	41.7	37.0	36.0	4.6	5.3	13.8	15.0	15.1	10.1	11.4	3.5	-	13.9
22年	40.5	34.7	35.6	6.3	4.5	16.2	16.0	13.5	10.5	10.9	4.1	-	11.9
23年	41.5	36.8	30.6	16.0	11.5	14.0	13.1	10.7	10.7	7.4	3.6	-	11.7
24年	39.7	36.6	30.6	20.7	7.7	16.4	13.9	11.2	8.8	8.0	3.2	-	10.5
25年	45.1	38.7	29.4	13.0	4.8	12.4	15.0	10.0	10.1	7.9	3.9	-	14.3
26年	40.8	36.5	26.2	8.9	3.8	12.0	13.3	8.4	9.0	7.6	3.5	-	16.1
27年	44.9	37.0	29.1	10.4	4.3	13.0	14.0	8.5	10.1	8.9	4.1	-	14.1
28年	51.3	40.3	27.5	13.4	2.8	11.9	13.4	8.0	10.5	7.6	4.3	-	13.1
29年	51.2	38.1	21.4	8.6	3.7	11.4	14.7	6.5	10.9	6.7	3.3	-	16.4
30年	54.1	40.8	24.7	7.5	3.0	14.7	15.2	6.5	11.6	7.8	4.8	-	13.6
令和元年	50.2	36.7	23.0	10.9	3.5	11.8	12.5	7.4	8.7	8.7	4.1	6.8	14.5
2年	53.7	38.2	21.8	9.8	4.5	12.5	12.9	10.0	10.0	7.0	4.2	8.0	11.1
3年	51.3	38.8	22.2	7.9	5.0	11.7	15.1	8.7	10.0	4.7	4.0	7.4	12.6

* 1 平成 27 年までは「自分の病気や老後のこと」としていた。

* 2 平成 12 年までは「家族の問題や親せきとの関係」、平成 27 年までは「家族の健康や生活上の問題」としていた。

* 3 平成 9 年までは「インフレや物価高のこと」としていた。

* 4 平成 9 年までは「公害や交通事故のこと」、平成 10 年から平成 12 年までは「環境問題や事故・災害のこと」としていた。

② 心配ごとや困っていること 上位5位 [ブロック別]

上位4位までは全てのブロックで同じ順位

ブロック別にみると、上位1位から4位は全てのブロックで同じ順位となっており、南部で「住宅のこと」、それ以外のブロックで「子どもの保育や教育のこと」がそれぞれ5位となっている。

③ 心配ごとや困っていること 上位5位 [区別]

上位2位までは全ての区で同じ順位

区別でみると、上位1位から2位は全ての区で同じ順位となっており、鶴見区、都筑区では「仕事や職場のこと」、それ以外の区は「景気や生活費のこと」が3位となっている。

表3-4-2 心配ごとや困っていること 上位5位 [ブロック別、区別] (3つまでの複数回答)

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
ブロック別	全体 (n=2,572)	自分の病気や健康、老後のこと 51.3	家族の病気や健康、生活上的問題 38.8	景気や生活費のこと 22.2	仕事や職場のこと 15.1	子どもの保育や教育のこと 11.7
	東部 (n=670)	自分の病気や健康、老後のこと 50.6	家族の病気や健康、生活上的問題 37.8	景気や生活費のこと 21.8	仕事や職場のこと 15.4	子どもの保育や教育のこと 12.2
	西部 (n=692)	自分の病気や健康、老後のこと 53.8	家族の病気や健康、生活上的問題 38.7	景気や生活費のこと 24.3	仕事や職場のこと 13.6	子どもの保育や教育のこと 11.7
	南部 (n=483)	自分の病気や健康、老後のこと 53.6	家族の病気や健康、生活上的問題 40.2	景気や生活費のこと 23.2	仕事や職場のこと 15.7	住宅のこと 10.8
	北部 (n=689)	自分の病気や健康、老後のこと 47.0	家族の病気や健康、生活上的問題 39.0	景気や生活費のこと 20.3	仕事や職場のこと 16.7	子どもの保育や教育のこと 12.5
区別	鶴見区 (n=185)	自分の病気や健康、老後のこと 53.5	家族の病気や健康、生活上的問題 37.3	仕事や職場のこと 20.0	景気や生活費のこと 18.9	子どもの保育や教育のこと 14.1
	神奈川区 (n=171)	自分の病気や健康、老後のこと 43.3	家族の病気や健康、生活上的問題 35.1	景気や生活費のこと 18.1	仕事や職場のこと 12.3	事故や災害のこと 11.7
	西区 (n=72)	自分の病気や健康、老後のこと 52.8	家族の病気や健康、生活上的問題 45.8	景気や生活費のこと 27.8	子どもの保育や教育のこと 15.3	失業・倒産や収入が減ること 13.9
	中区 (n=104)	自分の病気や健康、老後のこと 52.9	家族の病気や健康、生活上的問題 33.7	景気や生活費のこと 24.0	子どもの保育や教育のこと 16.3	仕事や職場のこと 14.4
	南区 (n=138)	自分の病気や健康、老後のこと 52.9	家族の病気や健康、生活上的問題 40.6	景気や生活費のこと 25.4	住宅のこと 15.9	仕事や職場のこと 15.2
	港南区 (n=158)	自分の病気や健康、老後のこと 51.9	家族の病気や健康、生活上的問題 43.0	景気や生活費のこと 20.3	仕事や職場のこと 19.6	子どもの保育や教育のこと 10.1
	保土ヶ谷区 (n=137)	自分の病気や健康、老後のこと 54.7	家族の病気や健康、生活上的問題 43.1	景気や生活費のこと 19.7	仕事や職場のこと 13.1	子どもの保育や教育のこと 11.7
	旭区 (n=172)	自分の病気や健康、老後のこと 56.4	家族の病気や健康、生活上的問題 34.9	景気や生活費のこと 23.3	仕事や職場のこと 15.1	住宅のこと 11.6
	磯子区 (n=100)	自分の病気や健康、老後のこと 53.0	家族の病気や健康、生活上的問題 38.0	景気や生活費のこと 22.0	仕事や職場のこと 16.0	住宅のこと 11.0
	金沢区 (n=127)	自分の病気や健康、老後のこと 62.2	家族の病気や健康、生活上的問題 36.2	景気や生活費のこと 27.6	仕事や職場のこと 13.4	子どもの結婚や就職のこと 12.6
	港北区 (n=205)	自分の病気や健康、老後のこと 47.3	家族の病気や健康、生活上的問題 38.0	景気や生活費のこと 25.4	仕事や職場のこと 19.0	子どもの保育や教育のこと 13.7
	緑区 (n=118)	自分の病気や健康、老後のこと 51.7	家族の病気や健康、生活上的問題 39.8	景気や生活費のこと 17.8	仕事や職場のこと 16.1	子どもの保育や教育のこと 13.6
	青葉区 (n=208)	自分の病気や健康、老後のこと 45.7	家族の病気や健康、生活上的問題 38.0	景気や生活費のこと 23.6	仕事や職場のこと 16.3	子どもの保育や教育のこと 10.6
	都筑区 (n=158)	自分の病気や健康、老後のこと 44.9	家族の病気や健康、生活上的問題 41.1	仕事や職場のこと 14.6	子どもの保育や教育のこと 12.7	景気や生活費のこと 11.4
	戸塚区 (n=192)	自分の病気や健康、老後のこと 53.6	家族の病気や健康、生活上的問題 38.5	景気や生活費のこと 28.1	仕事や職場のこと 16.1	失業・倒産や収入が減ること 9.9
	栄区 (n=98)	自分の病気や健康、老後のこと 45.9	家族の病気や健康、生活上的問題 42.9	景気や生活費のこと 23.5	住宅のこと 16.3	子どもの保育や教育のこと 14.3
	泉区 (n=111)	自分の病気や健康、老後のこと 47.7	家族の病気や健康、生活上的問題 36.9	景気や生活費のこと 26.1	子どもの保育や教育のこと 14.4	子どもの結婚や就職のこと 13.5
	瀬谷区 (n=80)	自分の病気や健康、老後のこと 55.0	家族の病気や健康、生活上的問題 42.5	景気や生活費のこと 22.5	子どもの保育や教育のこと 18.8	子どもの結婚や就職のこと 13.8

④ 心配ごとや困っていること 上位5位 [年齢別]

18～29歳で「仕事や職場のこと」が1位

年齢別にみると、18～29歳で「仕事や職場のこと」、30代で「家族の病気や健康、生活上の問題」、それ以外の年齢で「自分の病気や健康、老後のこと」がそれぞれ1位となっている。

⑤ 心配ごとや困っていること 上位5位 [性・年齢別]

女性30代で「子どもの保育や教育のこと」が1位

性・年齢別にみると、男性18～29歳で「仕事や職場のこと」、男性30代、女性18～29歳で「家族の病気や健康、生活上の問題」、女性30代で「子どもの保育や教育のこと」がそれぞれ1位となっている。

表3-4-3 心配ごとや困っていること 上位5位 [年齢別、性・年齢別] (3つまでの複数回答)

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
年齢別	全体 (n=2,572)	自分の病気や健康、老後のこと 51.3	家族の病気や健康、生活上の問題 38.8	景気や生活費のこと 22.2	仕事や職場のこと 15.1	子どもの保育や教育のこと 11.7
	18～29歳 (n=262)	仕事や職場のこと 30.2	家族の病気や健康、生活上の問題 29.8	景気や生活費のこと 26.3	自分の病気や健康、老後のこと 26.0	失業・倒産や収入が減ること 10.3
	30代 (n=301)	家族の病気や健康、生活上の問題 31.9	子どもの保育や教育のこと 29.2	自分の病気や健康、老後のこと 28.9	景気や生活費のこと 28.6	仕事や職場のこと 27.6
	40代 (n=466)	自分の病気や健康、老後のこと 45.1	家族の病気や健康、生活上の問題 41.4	子どもの保育や教育のこと 28.3	景気や生活費のこと 23.8	仕事や職場のこと 19.3
	50代 (n=494)	自分の病気や健康、老後のこと 56.5	家族の病気や健康、生活上の問題 45.5	景気や生活費のこと 21.3	仕事や職場のこと 19.6	失業・倒産や収入が減ること 14.0
	60代 (n=408)	自分の病気や健康、老後のこと 62.3	家族の病気や健康、生活上の問題 37.7	景気や生活費のこと 20.8	住宅のこと 14.2	子どもの結婚や就職のこと 12.3
	70歳以上 (n=605)	自分の病気や健康、老後のこと 65.6	家族の病気や健康、生活上の問題 39.7	景気や生活費のこと 18.3	住宅のこと 9.6	事故や災害のこと 8.9
男性計	男性計 (n=1,096)	自分の病気や健康、老後のこと 51.4	家族の病気や健康、生活上の問題 38.8	景気や生活費のこと 25.0	仕事や職場のこと 17.4	住宅のこと 10.0
	18～29歳 (n=104)	仕事や職場のこと 30.8	景気や生活費のこと 29.8	自分の病気や健康、老後のこと 28.8	家族の病気や健康、生活上の問題 25.0	失業・倒産や収入が減ること 9.6
	30代 (n=135)	家族の病気や健康、生活上の問題 32.6	景気や生活費のこと 31.1	仕事や職場のこと 29.6	自分の病気や健康、老後のこと 27.4	子どもの保育や教育のこと 20.7
	40代 (n=191)	自分の病気や健康、老後のこと 46.1	家族の病気や健康、生活上の問題 39.3	景気や生活費のこと 27.7	仕事や職場のこと 24.6	子どもの保育や教育のこと 23.6
	50代 (n=228)	自分の病気や健康、老後のこと 57.5	家族の病気や健康、生活上の問題 45.6	景気や生活費のこと 25.9	仕事や職場のこと 21.5	失業・倒産や収入が減ること 14.5
	60代 (n=178)	自分の病気や健康、老後のこと 62.9	家族の病気や健康、生活上の問題 38.2	景気や生活費のこと 19.7	住宅のこと 16.3	失業・倒産や収入が減ること 12.9
	70歳以上 (n=260)	自分の病気や健康、老後のこと 63.5	家族の病気や健康、生活上の問題 41.5	景気や生活費のこと 20.8	子どもの結婚や就職のこと 8.1	住宅のこと／事故や災害のこと 7.7
女性計	女性計 (n=1,425)	自分の病気や健康、老後のこと 50.7	家族の病気や健康、生活上の問題 39.2	景気や生活費のこと 20.1	仕事や職場のこと 13.7	子どもの保育や教育のこと 13.3
	18～29歳 (n=156)	家族の病気や健康、生活上の問題 32.7	仕事や職場のこと 29.5	自分の病気や健康、老後のこと 24.4	景気や生活費のこと 23.1	事故や災害のこと 11.5
	30代 (n=164)	子どもの保育や教育のこと 36.6	家族の病気や健康、生活上の問題 31.1	自分の病気や健康、老後のこと 29.3	景気や生活費のこと 26.2	仕事や職場のこと 25.6
	40代 (n=274)	自分の病気や健康、老後のこと 44.2	家族の病気や健康、生活上の問題 43.1	子どもの保育や教育のこと 31.4	景気や生活費のこと 21.2	仕事や職場のこと 15.7
	50代 (n=263)	自分の病気や健康、老後のこと 55.9	家族の病気や健康、生活上の問題 46.0	子どもの結婚や就職のこと 18.3	仕事や職場のこと 17.9	景気や生活費のこと 17.1
	60代 (n=229)	自分の病気や健康、老後のこと 61.6	家族の病気や健康、生活上の問題 37.6	景気や生活費のこと 21.4	住宅のこと 12.7	子どもの結婚や就職のこと 12.2
	70歳以上 (n=339)	自分の病気や健康、老後のこと 67.3	家族の病気や健康、生活上の問題 38.9	景気や生活費のこと 16.5	住宅のこと 11.2	事故や災害のこと 10.0

⑥ 心配ごとや困っていること 上位5位 [ライフステージ別]

家族形成期、家族成長前期、家族成長中期で「子どもの保育や教育のこと」が1位

ライフステージ別にみると、単身（1）で「仕事や職場のこと」、夫婦だけ（1）で「家族の病気や健康、生活上の問題」、家族形成期、家族成長前期、家族成長中期で「子どもの保育や教育のこと」がそれぞれ1位となっている。

表3-4-4 心配ごとや困っていること 上位5位 [ライフステージ別]（3つまでの複数回答）

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,572)		自分の病気や健康、老後のこと 51.3	家族の病気や健康、生活上の問題 38.8	景気や生活費のこと 22.2	仕事や職場のこと 15.1	子どもの保育や教育のこと 11.7
子どもなし計 (n=756)		自分の病気や健康、老後のこと 49.1	家族の病気や健康、生活上の問題 40.1	仕事や職場のこと 27.4	景気や生活費のこと 25.5	失業・倒産や収入が減ること 11.9
単身(1) 40歳未満 (n=307)		仕事や職場のこと 34.9	自分の病気や健康、老後のこと 32.2	家族の病気や健康、生活上の問題 30.6	景気や生活費のこと 28.3	失業・倒産や収入が減ること 12.7
単身(2) 40～64歳 (n=185)		自分の病気や健康、老後のこと 67.0	家族の病気や健康、生活上の問題 49.2	仕事や職場のこと 30.8	景気や生活費のこと 23.8	失業・倒産や収入が減ること 17.3
夫婦だけ(1) 40歳未満 (n=53)		家族の病気や健康、生活上の問題 43.4	景気や生活費のこと 37.7	仕事や職場のこと 32.1	自分の病気や健康、老後のこと 24.5	住宅のこと 13.2
夫婦だけ(2) 40～64歳 (n=139)		自分の病気や健康、老後のこと 58.3	家族の病気や健康、生活上の問題 52.5	景気や生活費のこと 20.9	仕事や職場のこと 18.7	事故や災害のこと 11.5
高齢子どもなし (n=72)		自分の病気や健康、老後のこと 75.0	家族の病気や健康、生活上の問題 30.6	景気や生活費のこと 18.1	住宅のこと／環境問題	12.5
子どもあり計 (n=1,676)		自分の病気や健康、老後のこと 51.5	家族の病気や健康、生活上の問題 38.8	景気や生活費のこと 20.8	子どもの保育や教育のこと 17.1	子どもの結婚や就職のこと 10.7
家族形成期 第一子が小学校入学前 (n=143)		子どもの保育や教育のこと 56.6	家族の病気や健康、生活上の問題 32.9	景気や生活費のこと 23.8	自分の病気や健康、老後のこと 18.9	仕事や職場のこと 16.1
家族成長前期 第一子が小学生 (n=165)		子どもの保育や教育のこと 46.7	自分の病気や健康、老後のこと 30.3	家族の病気や健康、生活上の問題 27.9	景気や生活費のこと 20.0	失業・倒産や収入が減ること 14.5
家族成長中期 第一子が中・高生 (n=187)		子どもの保育や教育のこと 46.5	自分の病気や健康、老後のこと 46.0	家族の病気や健康、生活上の問題 39.0	景気や生活費のこと 27.3	仕事や職場のこと 18.7
家族成長後期 第一子が大学生等 (n=109)		自分の病気や健康、老後のこと 42.2	家族の病気や健康、生活上の問題 34.9	景気や生活費のこと 24.8	子どもの結婚や就職のこと 22.0	子どもの保育や教育のこと 21.1
家族成熟前期 第一子が学校教育終了 (n=89)		自分の病気や健康、老後のこと 44.9	家族の病気や健康、生活上の問題 38.2	子どもの結婚や就職のこと 29.2	景気や生活費のこと 21.3	仕事や職場のこと 16.9
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満 (n=322)		自分の病気や健康、老後のこと 60.6	家族の病気や健康、生活上の問題 43.2	景気や生活費のこと 21.7	子どもの結婚や就職のこと 18.0	仕事や職場のこと 13.4
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上 (n=661)		自分の病気や健康、老後のこと 63.4	家族の病気や健康、生活上の問題 41.3	景気や生活費のこと 17.4	住宅のこと 10.9	事故や災害のこと 9.2

⑦ 心配ごとや困っていること 上位5位 [世帯類型別]

子と同居(1)で「子どもの保育や教育のこと」が1位

世帯類型別にみると、子と同居(1)で「子どもの保育や教育のこと」、親と同居(1)で「仕事や職場のこと」、祖父母と親と子で「家族の病気や健康、生活上の問題」がそれぞれ1位となっている。

表3-4-5 心配ごとや困っていること 上位5位 [世帯類型別] (3つまでの複数回答)

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,572)		自分の病気や健康、老後のこと 51.3	家族の病気や健康、生活上の問題 38.8	景気や生活費のこと 22.2	仕事や職場のこと 15.1	子どもの保育や教育のこと 11.7
ひとり暮らし(1) 40歳未満 (n=107)		自分の病気や健康、老後のこと 35.5	仕事や職場のこと 34.6	景気や生活費のこと 29.9	家族の病気や健康、生活上の問題 22.4	失業・倒産や収入が減ること 12.1
ひとり暮らし(2) 40～64歳 (n=110)		自分の病気や健康、老後のこと 69.1	家族の病気や健康、生活上の問題 37.3	仕事や職場のこと 28.2	景気や生活費のこと 22.7	失業・倒産や収入が減ること 14.5
ひとり暮らし(3) 65歳以上 (n=135)		自分の病気や健康、老後のこと 73.3	景気や生活費のこと 20.7	家族の病気や健康、生活上の問題 19.3	住宅のこと 16.3	事故や災害のこと／犯罪や防犯のこと 11.1
夫婦のみ(1) 子なし (n=209)		自分の病気や健康、老後のこと 51.7	家族の病気や健康、生活上の問題 49.3	景気や生活費のこと 23.0	仕事や職場のこと 19.1	住宅のこと 11.5
夫婦のみ(2) 子あり (n=433)		自分の病気や健康、老後のこと 58.4	家族の病気や健康、生活上の問題 40.2	景気や生活費のこと 20.3	事故や災害のこと 8.3	環境問題 7.9
子と同居(1) 2世代／教育期の子あり (n=591)		子どもの保育や教育のこと 40.4	自分の病気や健康、老後のこと 35.2	家族の病気や健康、生活上の問題 33.3	景気や生活費のこと 23.9	仕事や職場のこと 15.9
子と同居(2) 2世代／教育終了後の子のみ (n=331)		自分の病気や健康、老後のこと 62.5	家族の病気や健康、生活上の問題 45.0	子どもの結婚や就職のこと 22.1	景気や生活費のこと 16.9	住宅のこと 12.4
親と同居(1) 2世代／子なし・40歳未満 (n=156)		仕事や職場のこと 36.5	家族の病気や健康、生活上の問題 35.9	自分の病気や健康、老後のこと 32.7	景気や生活費のこと 28.2	失業・倒産や収入が減ること 12.2
親と同居(2) 2世代／子なし・40歳以上 (n=100)		自分の病気や健康、老後のこと 65.0	家族の病気や健康、生活上の問題 60.0	仕事や職場のこと 32.0	景気や生活費のこと 23.0	失業・倒産や収入が減ること 15.0
祖父母と親と子 3世代 (n=152)		家族の病気や健康、生活上の問題 48.0	自分の病気や健康、老後のこと 47.4	景気や生活費のこと 18.4	子どもの保育や教育のこと 16.4	仕事や職場のこと 12.5

4. 地域におけるつながり

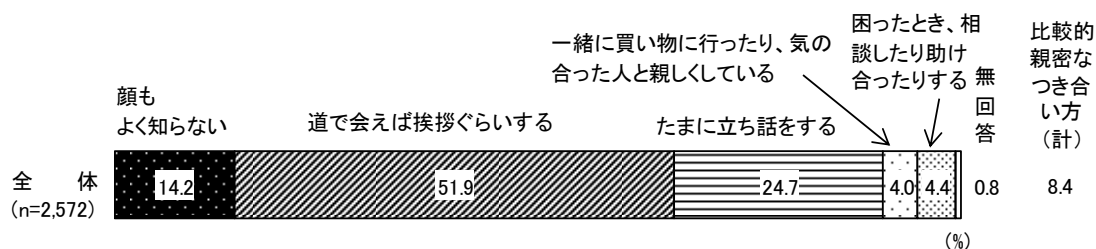
(1) 隣近所とのつき合い方

問 11 あなたは、隣近所と普段どのようなつき合い方をしていますか。(〇は1つ)

「道で会えば挨拶ぐらいする」が5割を超える

隣近所とのつき合い方は、「道で会えば挨拶ぐらいする」(51.9%)が5割を超えて最も多く、次いで「たまに立ち話をする」(24.7%)となっている。「一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている」(4.0%)と「困ったとき、相談したり助け合ったりする」(4.4%)の2つを合わせた、『比較的親密なつき合い方』(8.4%)をしている人は1割未満である。

図4-1-1 隣近所とのつき合い方 [全体]

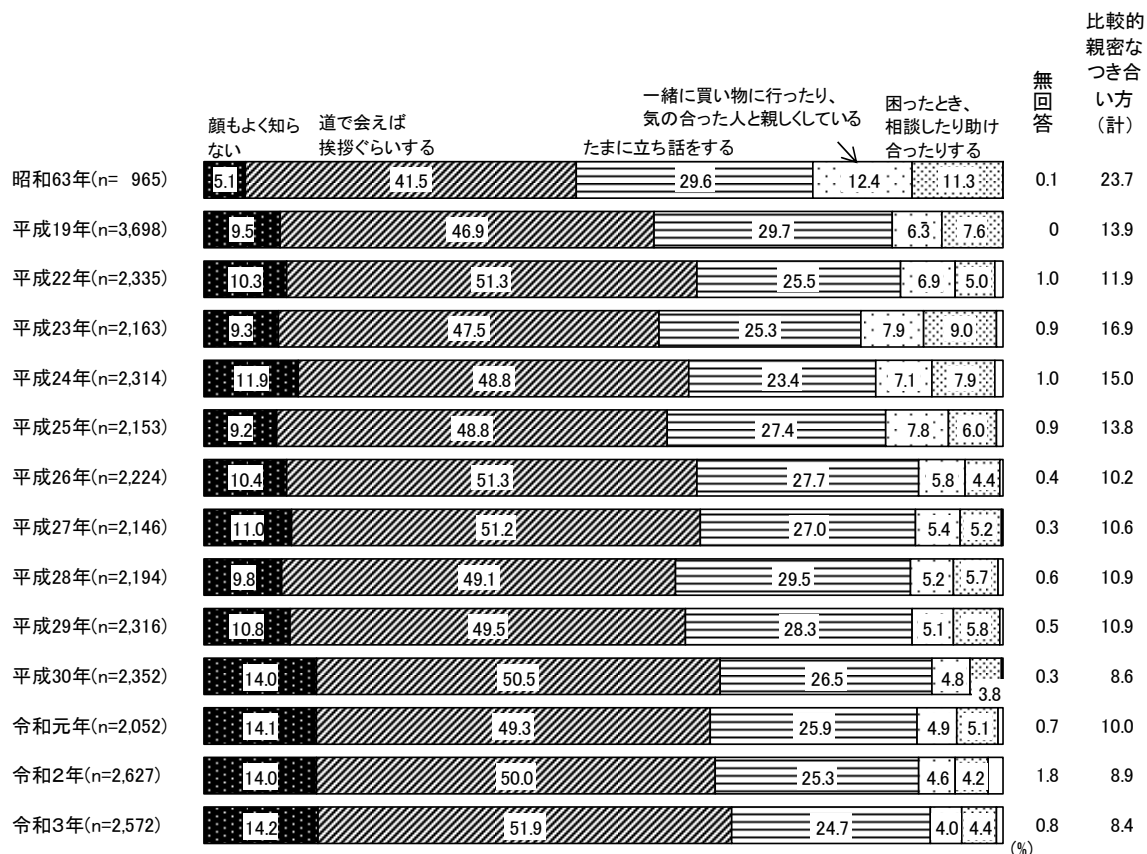


① 隣近所とのつき合い方 [経年変化]

『比較的親密なつき合い方』をしている人の割合は横ばい傾向

経年変化をみると、『比較的親密なつき合い方』をしている人の割合は、長期的には減少傾向が見られ、この数年は1割以下となっている。

図4-1-2 隣近所とのつき合い方 [経年変化]



② 隣近所とのつき合い方 [ブロック別]

全てのブロックで「道で会えば挨拶くらいする」が5割を超える

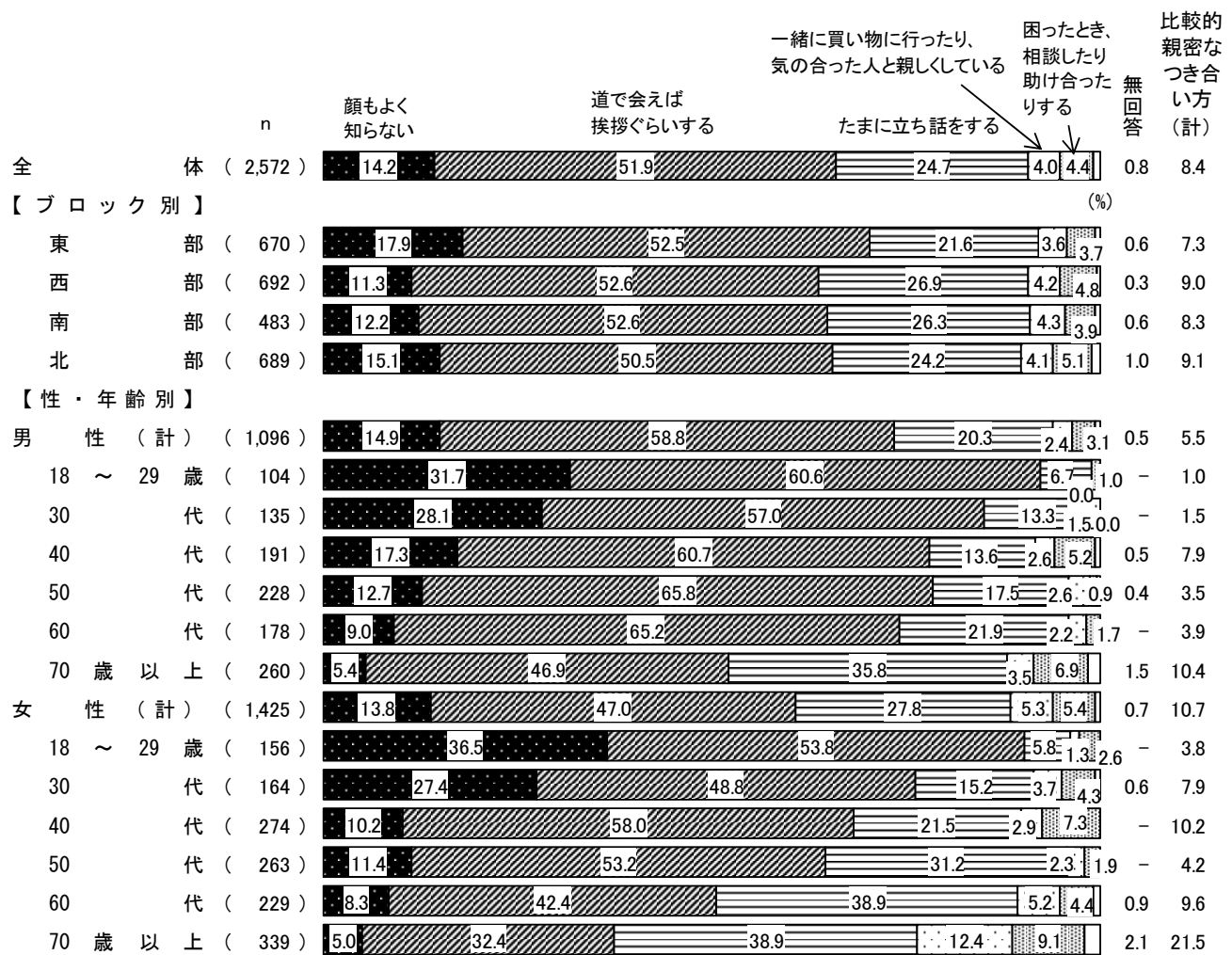
ブロック別にみると、全てのブロックで「道で会えば挨拶くらいする」が5割を超えている。

③ 隣近所とのつき合い方 [性・年齢別]

『比較的親密なつき合い方』をしている人は女性70歳以上で2割を超える

性・年齢別にみると、『比較的親密なつき合い方』をしている人は、男性は70歳以上（10.4%）、女性も70歳以上（21.5%）で最も多くなっている。一方、「顔もよく知らない」は男性は18～29歳（31.7%）、女性も18～29歳（36.5%）で最も多くなっている。

図4-1-3 隣近所とのつき合い方 [ブロック別、性・年齢別]



④ 隣近所とのつき合い方 [ライフステージ別]

『比較的親密なつき合い方』をしている人は家族成熟後期で1割半ば

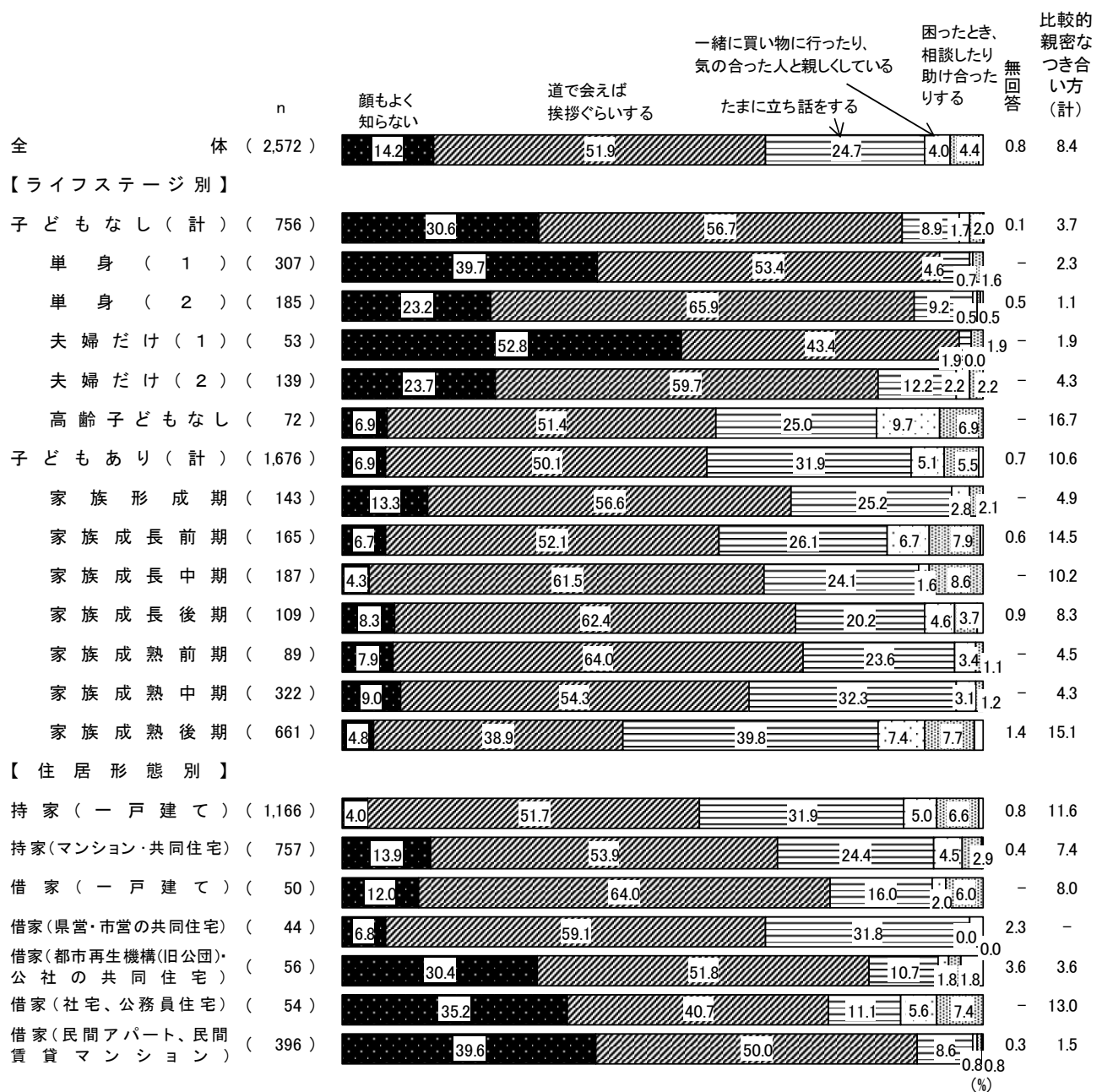
ライフステージ別にみると、『比較的親密なつき合い方』をしている人は、高齢子どもなし（16.7%）で1割半ばと最も多くなっている。一方、「顔もよく知らない」は夫婦だけ（1）（52.8%）で5割を超えて最も多くなっている。

⑤ 隣近所とのつき合い方 [住居形態別]

「顔もよく知らない」は借家（民間アパート、民間賃貸マンション）で4割近く

住居形態別にみると、「顔もよく知らない」は借家（民間アパート・民間賃貸マンション）（39.6%）で4割近くと最も多くなっている。

図4-1-4 隣近所とのつき合い方 [ライフステージ別、住居形態別]



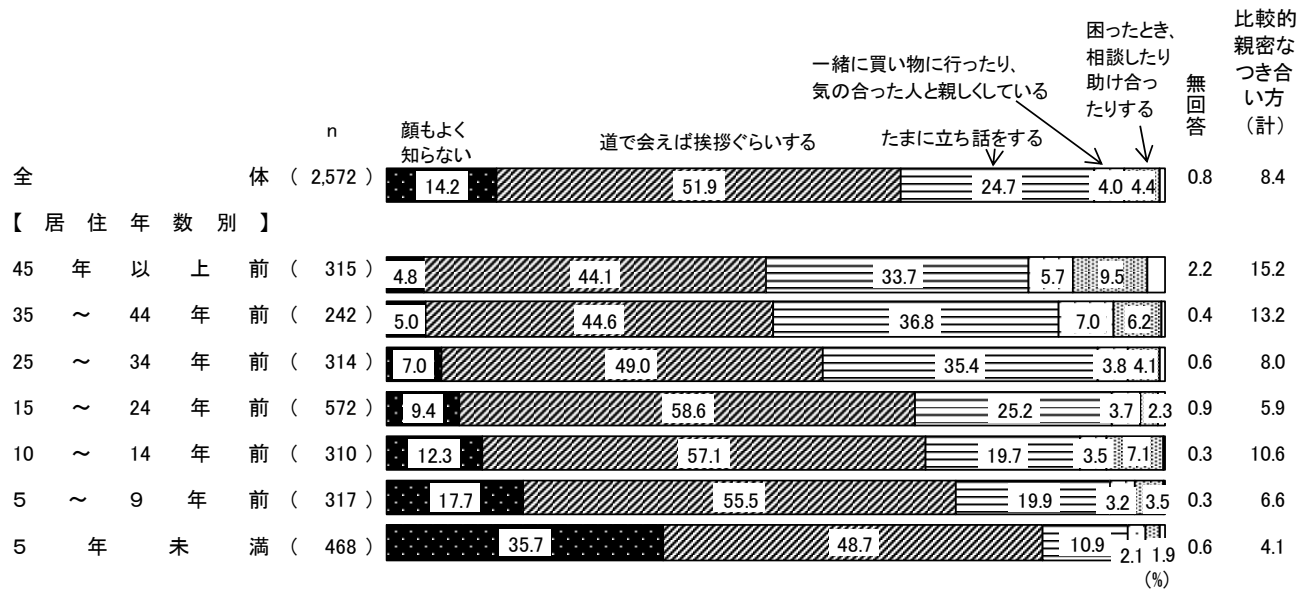
⑥ 隣近所とのつき合い方 [居住年数別]

「顔もよく知らない」は居住年数が短いほど多い

居住年数別にみると、「顔もよく知らない」は居住年数が短いほど多く、「5年未満」(35.7%)で3割半ばとなっている。一方、『比較的親密な付き合い方』をしている人は「45年以上前」(15.2%)で1割半ばとなっている。

図4-1-5 隣近所とのつき合い方 [居住年数別]

(注) 45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめています。



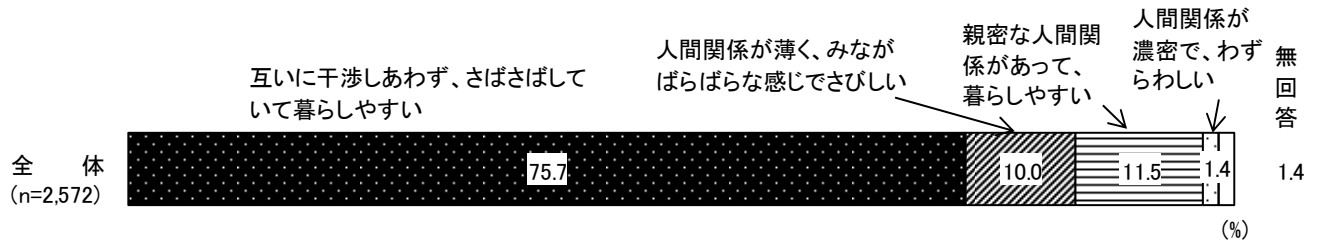
(2) 隣近所とのつき合いの感じ方

問 12 あなたは、隣近所とのつき合いをどのように感じていますか。(〇は1つ)

「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は7割半ば

隣近所とのつき合いの感じ方については、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」(75.7%)が7割半ばと最も多く、次いで「親密な人間関係があって、暮らしやすい」(11.5%)、「人間関係が薄く、みながばらばらに感じて寂しい」(10.0%)となっている。

図4-2-1 隣近所とのつき合いの感じ方 [全体]

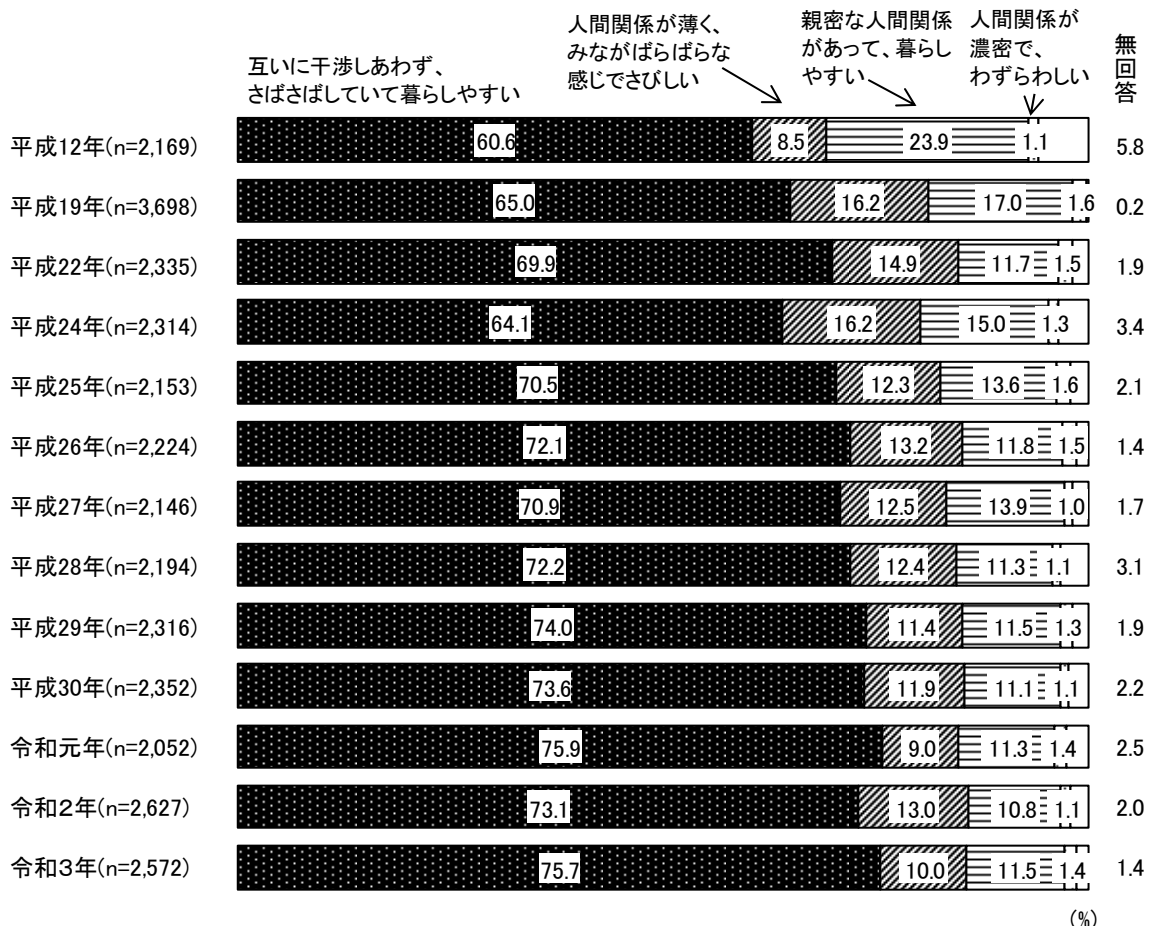


① 隣近所とのつき合いの感じ方 [経年変化]

「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は2.6ポイント増加

経年変化をみると、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は前回調査から2.6ポイントの増加となっており、平成25(2013)年以降、70%台で推移している。

図4-2-2 隣近所とのつき合いの感じ方 [経年変化]



② 隣近所とのつき合いの感じ方 [性・年齢別]

「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は男性 70 歳以上で 6 割半ば

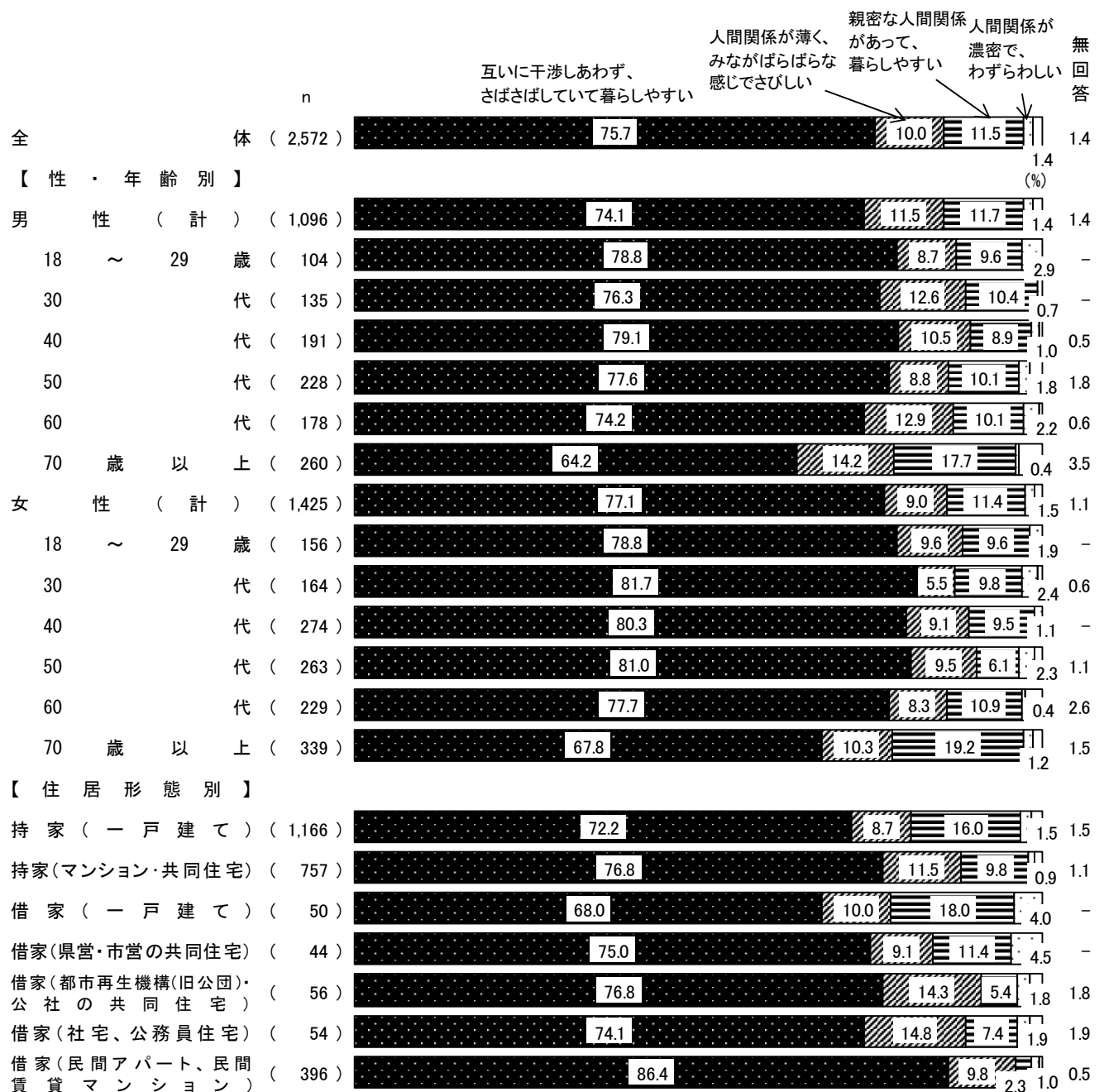
性・年齢別にみると、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は男性 70 歳以上 (64.2%) で 6 割半ばと最も少ない。一方、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は女性 70 歳以上 (19.2%) で 2 割近くとなっている。

③ 隣近所とのつき合いの感じ方 [住居形態別]

「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は借家 (民間アパート、民間賃貸マンション) で 8 割半ば

住居形態別にみると、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は借家 (民間アパート、民間賃貸マンション) (86.4%) で 8 割半ばで最も多くなっている。

図 4-2-3 隣近所とのつき合いの感じ方 [性・年齢別、住居形態別]



④ 隣近所とのつき合いの感じ方 [居住年数別]

「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は「35～44年前」で2割近く

居住年数別にみると、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は『35～44年前』（19.0%）で2割近くと最も多くなっている。一方、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は「5年未満」（81.6%）で8割を超えて最も多くなっている。

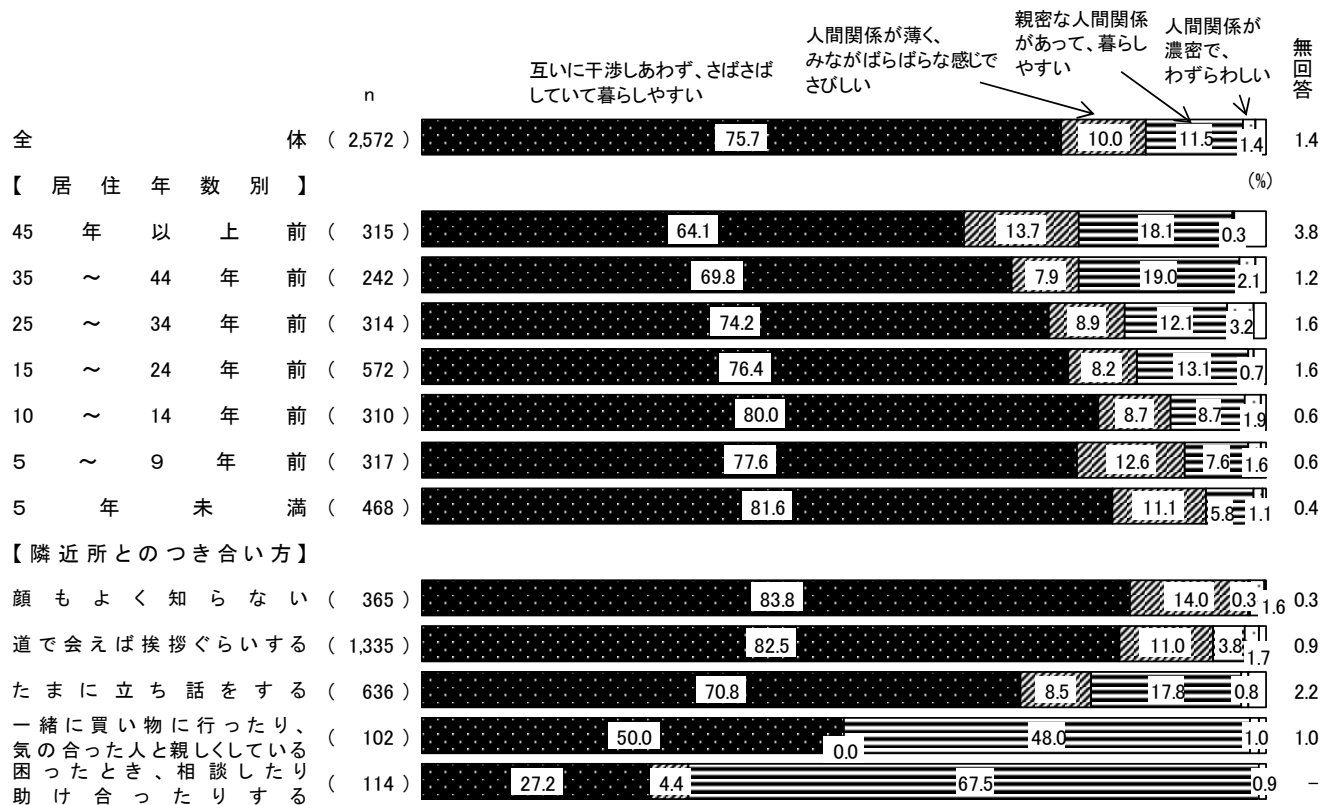
⑤ 隣近所とのつき合いの感じ方 [隣近所とのつき合い方別]

「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は「困ったとき、相談したり助け合ったりする」で6割半ば

隣近所とのつき合い方別にみると、「親密な人間関係があって、暮らしやすい」は、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」（67.5%）で6割半ばと多くなっている。一方、「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」は、「顔もよく知らない」（83.8%）で8割半ばと最も多くなっている。

図4-2-4 隣近所とのつき合いの感じ方 [居住年数別、隣近所とのつき合い方別]

(注) 45年以上の区分は、本図では『45年以上前』にまとめています。



5. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響

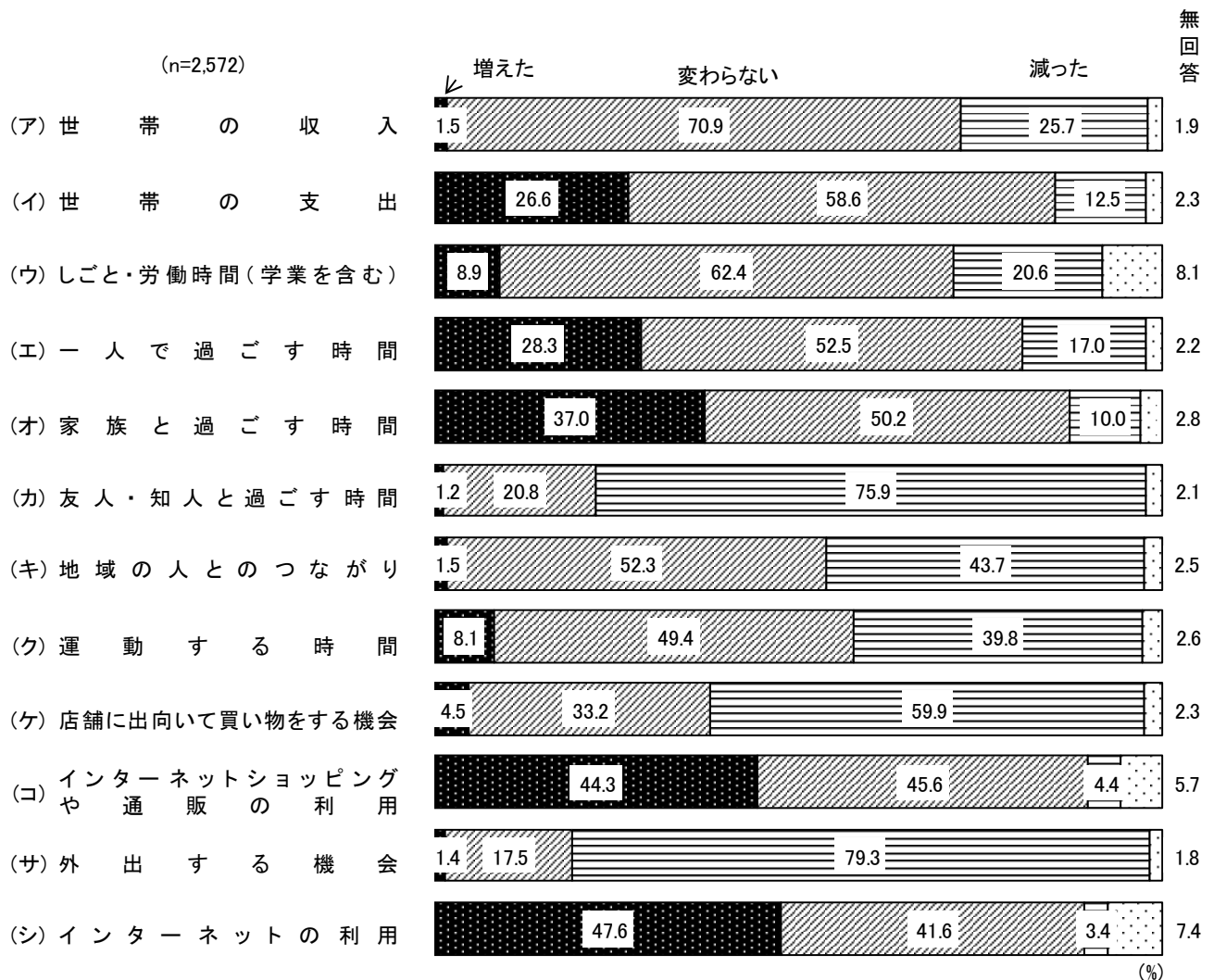
(1) 新型コロナウイルス感染症の影響

問 13 あなたの生活で、新型コロナウイルス感染症の影響により、次のことが増えましたか。それとも減りましたか。(〇はそれぞれ1つ)

「減った」は「外出する機会」で8割近く

新型コロナウイルス感染症の影響について、(ア)「世帯の収入」から(シ)「インターネットの利用」までの12項目をみると、「増えた」は、「インターネットの利用」(47.6%)、「インターネットショッピングや通販の利用」(44.3%)で4割半ばとなっている。一方、「減った」は、「友人・知人と過ごす時間」(75.9%)で7割半ばと最も多くなっている。

図5-1-1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響 [全体]



① 新型コロナウイルス感染症の影響（ア）世帯の収入〔年齢別〕

「減った」は50代で3割半ば

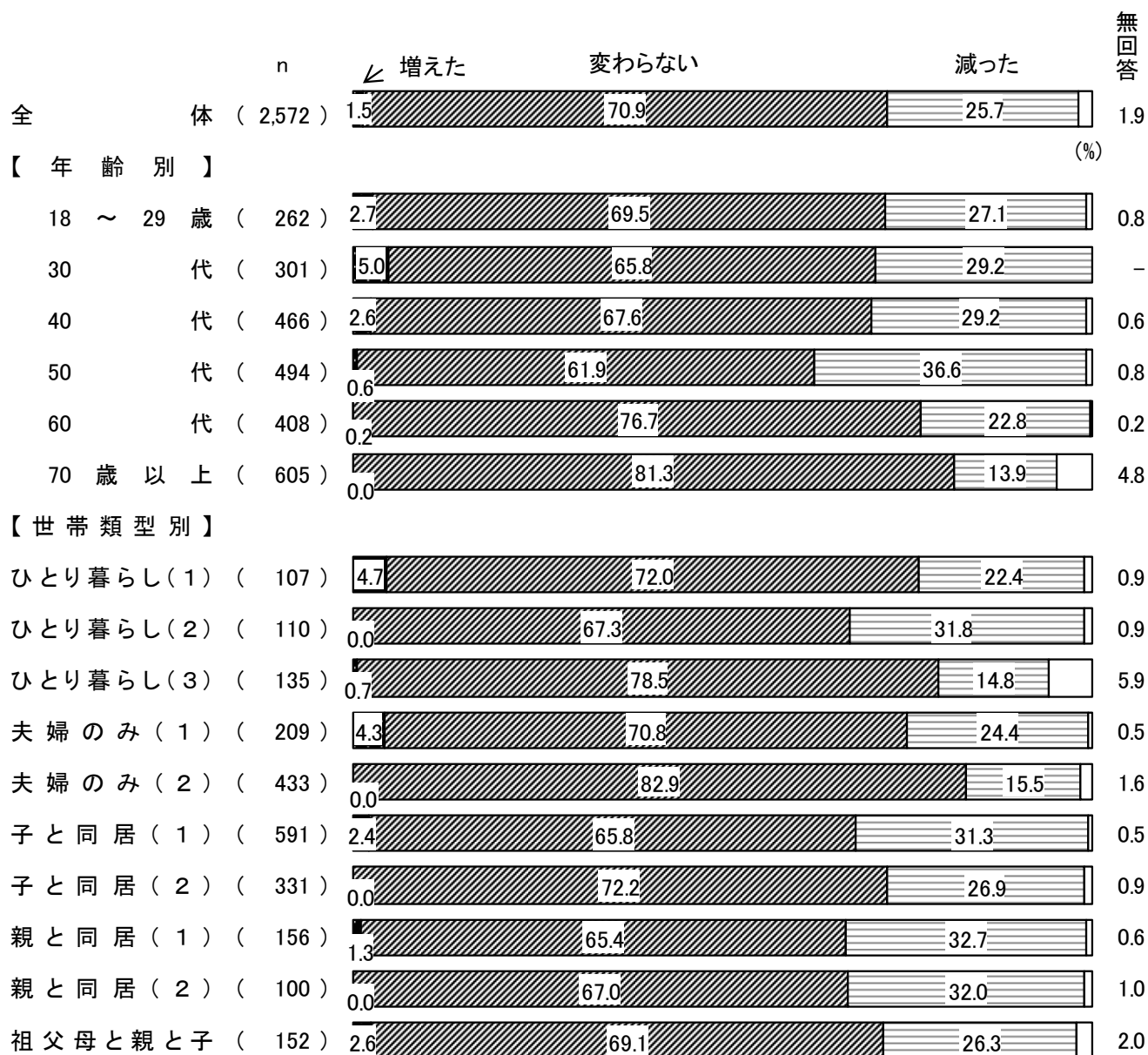
年齢別にみると、「減った」は50代（36.6%）で3割半ばと最も多くなっている。

② 新型コロナウイルス感染症の影響（ア）世帯の収入〔世帯類型別〕

「減った」は親と同居（1）、親と同居（2）、ひとり暮らし（2）、子と同居（1）で3割を超える

世帯類型別にみると、「減った」は親と同居（1）（32.7%）、親と同居（2）（32.0%）、ひとり暮らし（2）（31.8%）、子と同居（1）（31.3%）で3割を超えている。

図5-1-2 新型コロナウイルス感染症の影響（ア）世帯の収入〔年齢別、世帯類型別〕



③ 新型コロナウイルス感染症の影響（イ）世帯の支出〔年齢別〕

「増えた」は30代、40代で3割半ば

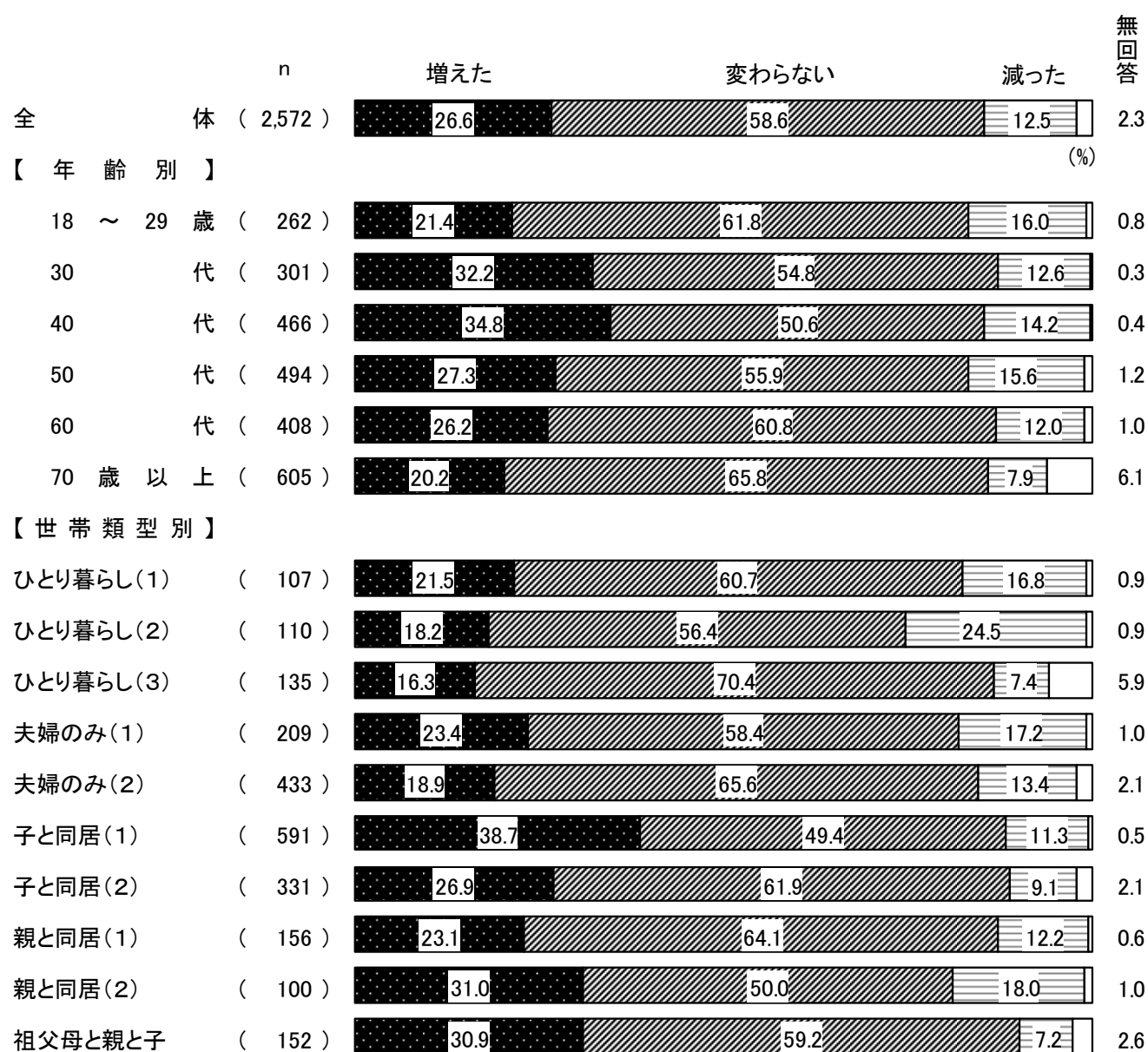
年齢別にみると、「増えた」は40代（34.8%）で3割半ばと最も多く、30代（32.2%）も3割を超えている。

④ 新型コロナウイルス感染症の影響（イ）世帯の支出〔世帯類型別〕

「減った」はひとり暮らし（2）で2割半ば

世帯類型別にみると、「増えた」は子と同居（1）（38.7%）で4割近くと最も多くなっている。一方、「減った」はひとり暮らし（2）（24.5%）で2割半ばと最も多くなっている。

図5-1-3 新型コロナウイルス感染症の影響（イ）世帯の支出〔年齢別、世帯類型別〕



⑤ 新型コロナウイルス感染症の影響（ウ）しごと・労働時間（学業を含む）〔年齢別〕

「増えた」は18～29歳で2割を超える

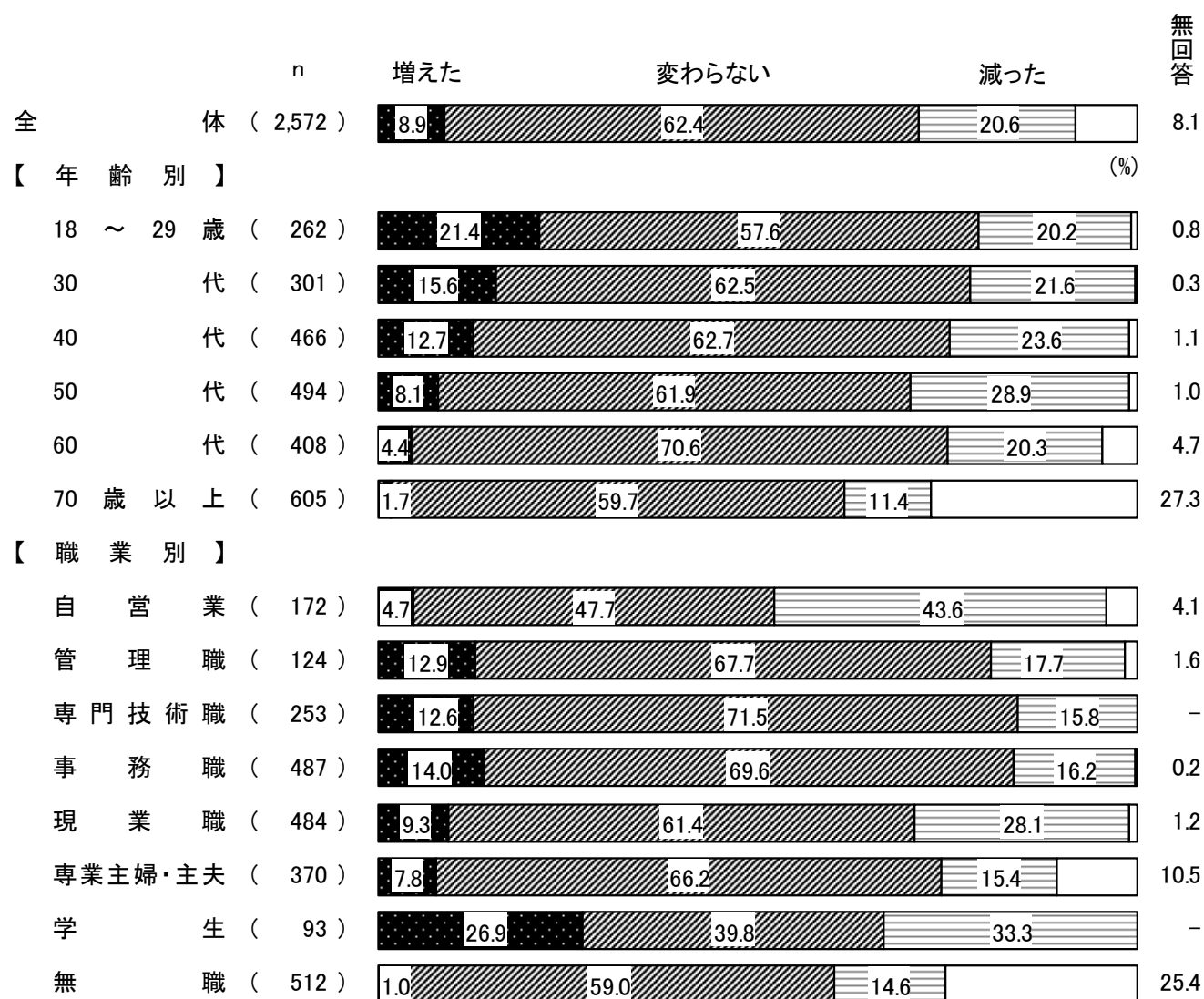
年齢別にみると、「増えた」は18～29歳（21.4%）で2割を超えて最も多く、年齢が高くなるにつれ少なくなっている。

⑥ 新型コロナウイルス感染症の影響（ウ）しごと・労働時間（学業を含む）〔職業別〕

「減った」は自営業で4割半ば

職業別にみると、「増えた」は学生（26.9%）で2割半ばと最も多くなっている。一方、「減った」は自営業（43.6%）で4割半ばと最も多くなっている。

図5-1-4 新型コロナウイルス感染症の影響（ウ）しごと・労働時間（学業を含む）〔年齢別、職業別〕



⑦ 新型コロナウイルス感染症の影響（エ）一人で過ごす時間【年齢別】

「増えた」は18～29歳で5割近く

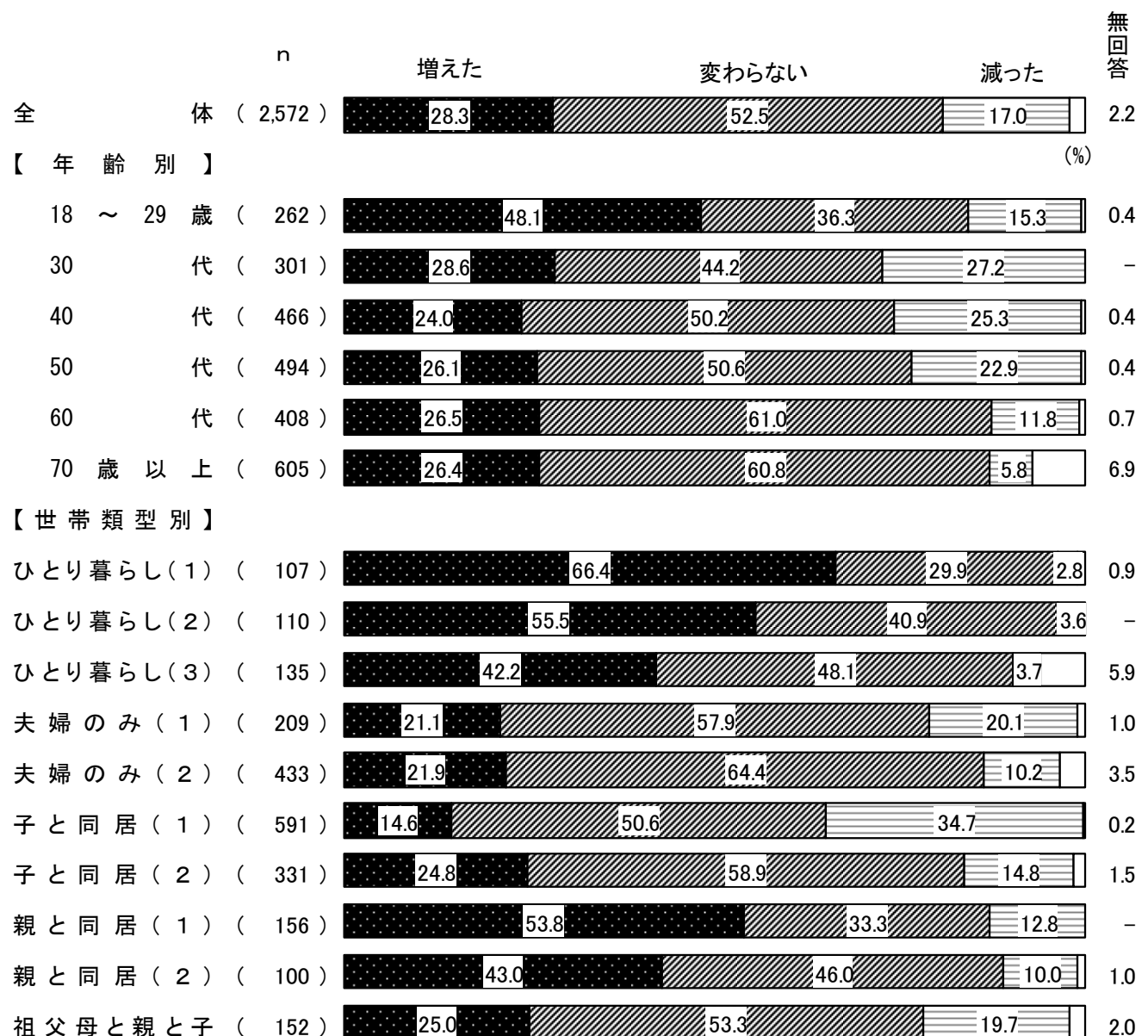
年齢別にみると、「増えた」は18～29歳（48.1%）で5割近くと最も多くなっている。

⑧ 新型コロナウイルス感染症の影響（エ）一人で過ごす時間【世帯類型別】

「増えた」はひとり暮らし（1）で6割半ば

世帯類型別にみると、「増えた」はひとり暮らし（1）（66.4%）で6割半ばと最も多くなっている。一方、「減った」は子と同居（1）（34.7%）で3割半ばと最も多くなっている。

図5-1-5 新型コロナウイルス感染症の影響（エ）一人で過ごす時間【年齢別、世帯類型別】



⑨ 新型コロナウイルス感染症の影響（オ）家族と過ごす時間〔年齢別〕

「増えた」は18～29歳、30代、40代で4割半ば

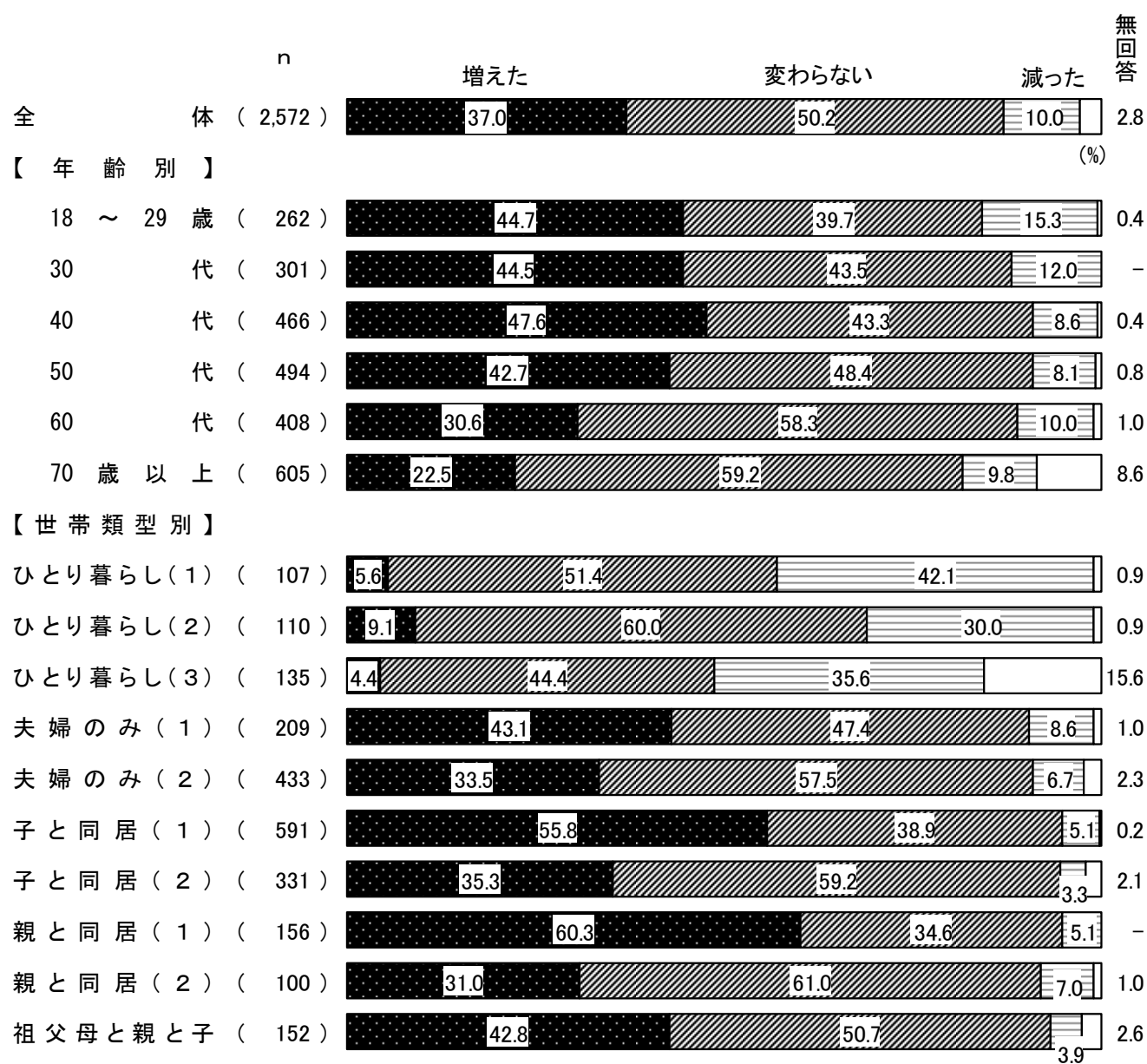
年齢別にみると、「増えた」は18～29歳（44.7%）、30代（44.5%）、40代（47.6%）で4割半ばとなっている。

⑩ 新型コロナウイルス感染症の影響（オ）家族と過ごす時間〔世帯類型別〕

「増えた」は親と同居（1）で6割を超える

世帯類型別にみると、「増えた」は親と同居（1）（60.3%）で6割を超えて最も多くなっている。一方、「減った」はひとり暮らし（1）（42.1%）で4割を超えて最も多くなっている。

図5-1-6 新型コロナウイルス感染症の影響（オ）家族と過ごす時間〔年齢別、世帯類型別〕

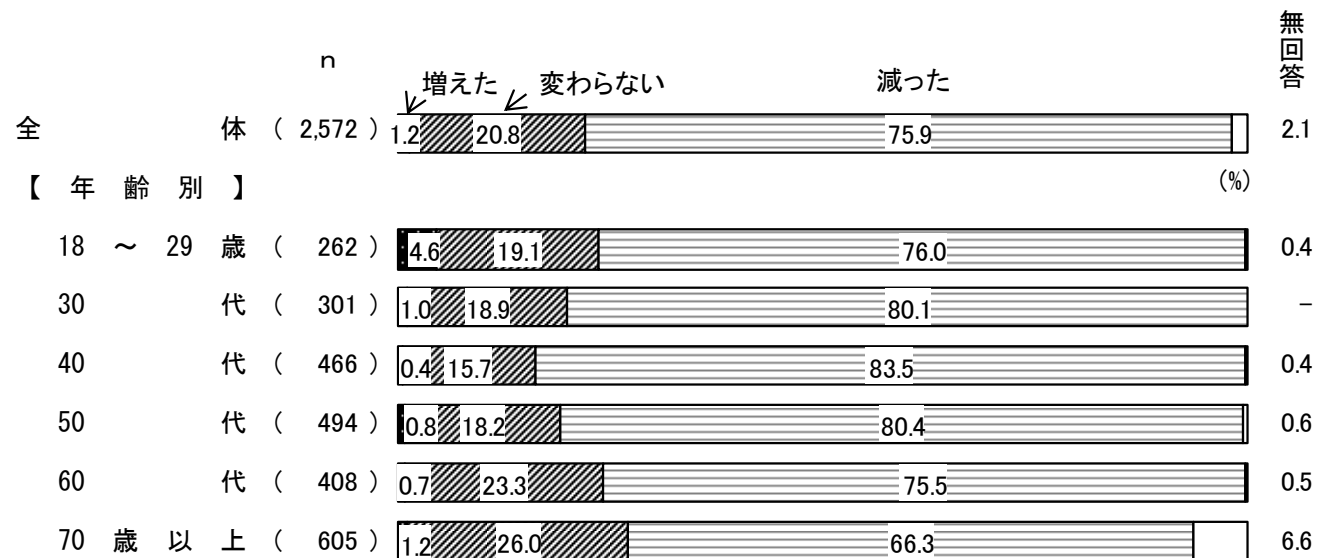


⑪ 新型コロナウイルス感染症の影響（カ）友人・知人と過ごす時間 [年齢別]

「減った」は30代、40代、50代で8割を超える

年齢別にみると、「減った」は30代（80.1%）、40代（83.5%）、50代（80.4%）で8割を超えている。

図5-1-7 新型コロナウイルス感染症の影響（カ）友人・知人と過ごす時間 [年齢別]

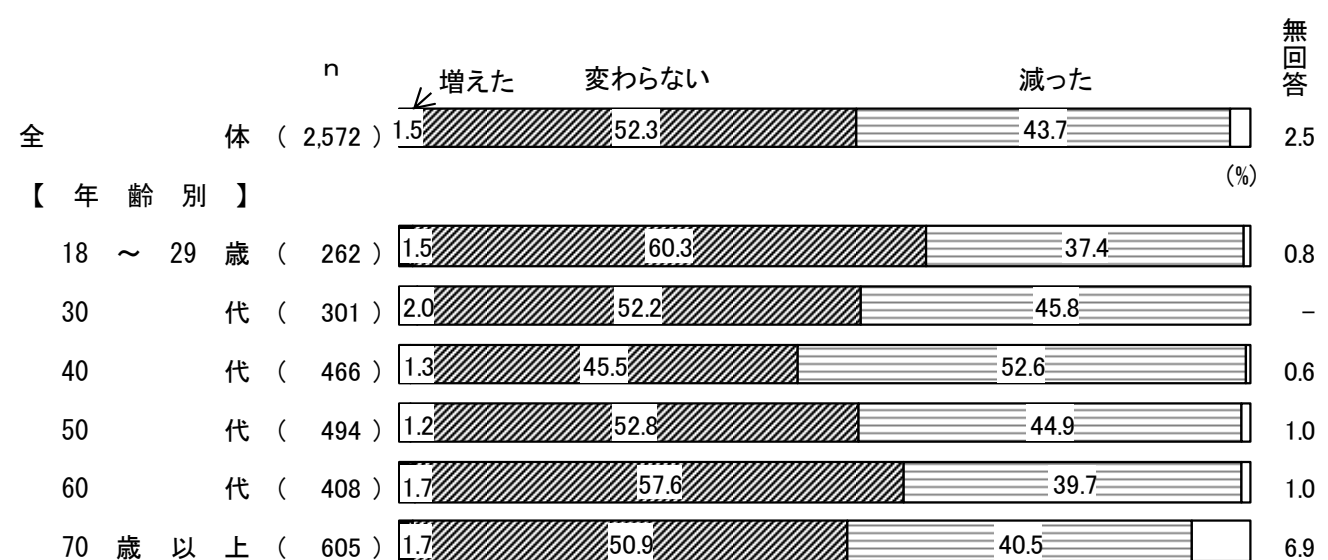


⑫ 新型コロナウイルス感染症の影響（キ）地域の人とのつながり [年齢別]

「減った」は40代で5割を超える

年齢別にみると、「減った」は40代（52.6%）で5割を超えて最も多くなっている。

図5-1-8 新型コロナウイルス感染症の影響（キ）地域の人とのつながり [年齢別]

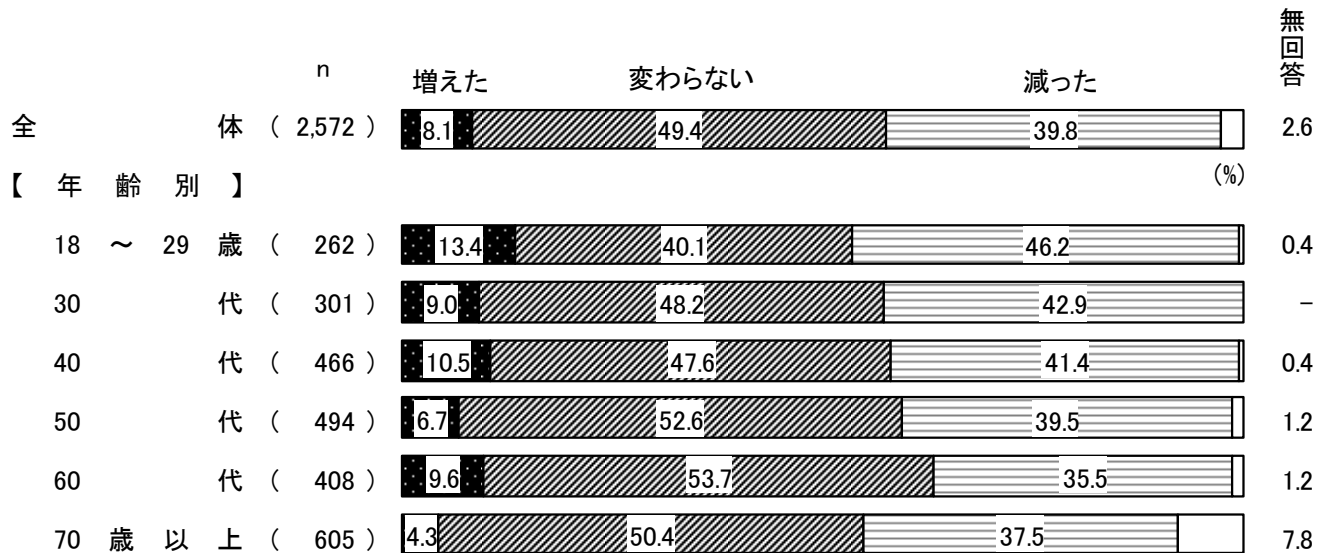


⑬ 新型コロナウイルス感染症の影響（ク）運動する時間 [年齢別]

「減った」は18～29歳で4割半ば

年齢別にみると、「減った」は18～29歳（46.2%）で4割半ばと最も多くなっている。

図5-1-9 新型コロナウイルス感染症の影響（ク）運動する時間 [年齢別]

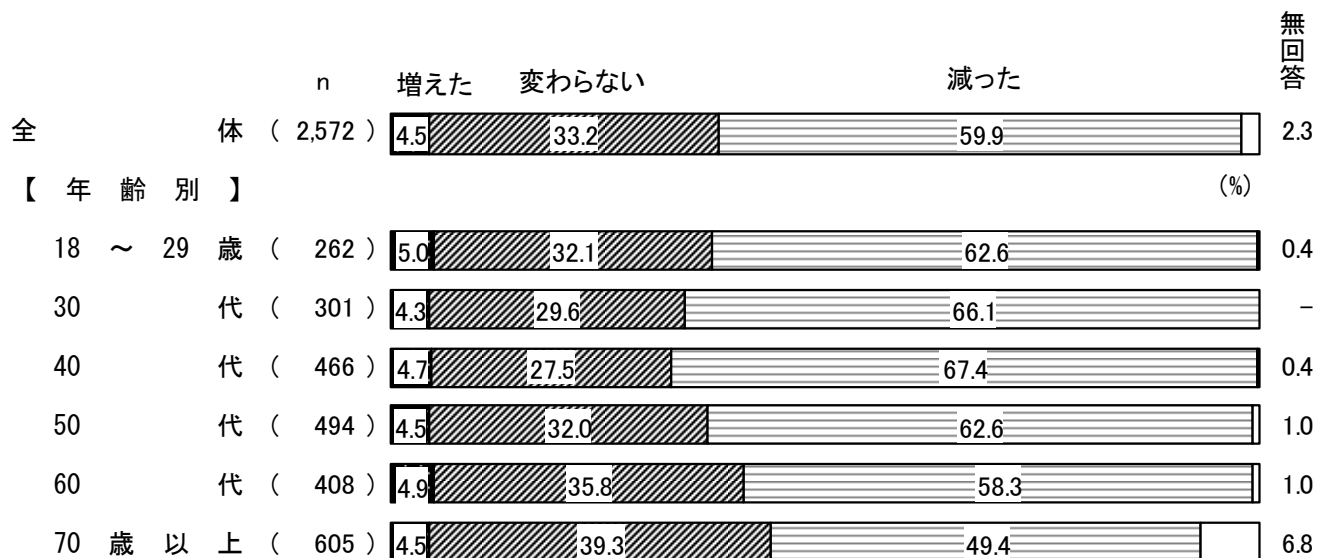


⑭ 新型コロナウイルス感染症の影響（ケ）店舗に出向いて買い物をする機会 [年齢別]

「減った」は30代、40代で6割半ば

年齢別にみると、「減った」は30代（66.1%）、40代（67.4%）で6割半ばとなっている。

図5-1-10 新型コロナウイルス感染症の影響（ケ）店舗に出向いて買い物をする機会 [年齢別]

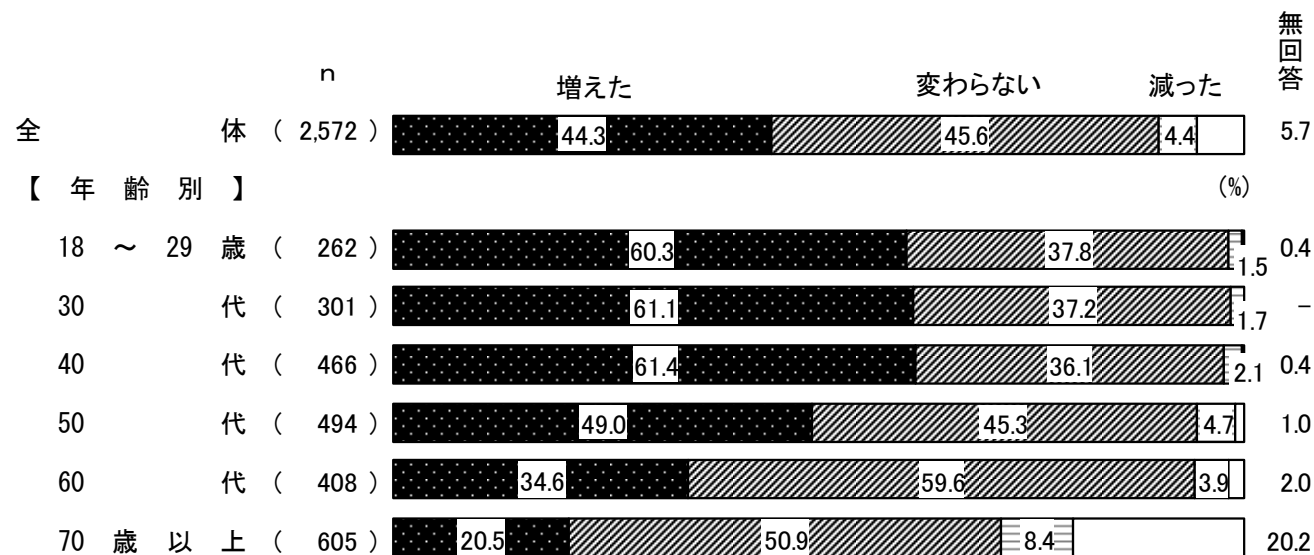


⑮ 新型コロナウイルス感染症の影響（コ）インターネットショッピングや通販の利用 [年齢別]

「増えた」は18～29歳、30代、40代で6割を超える

年齢別にみると、「増えた」は18～29歳（60.3%）、30代（61.1%）、40代（61.4%）で6割を超えている。

図5-1-11 新型コロナウイルス感染症の影響（コ）インターネットショッピングや通販の利用 [年齢別]

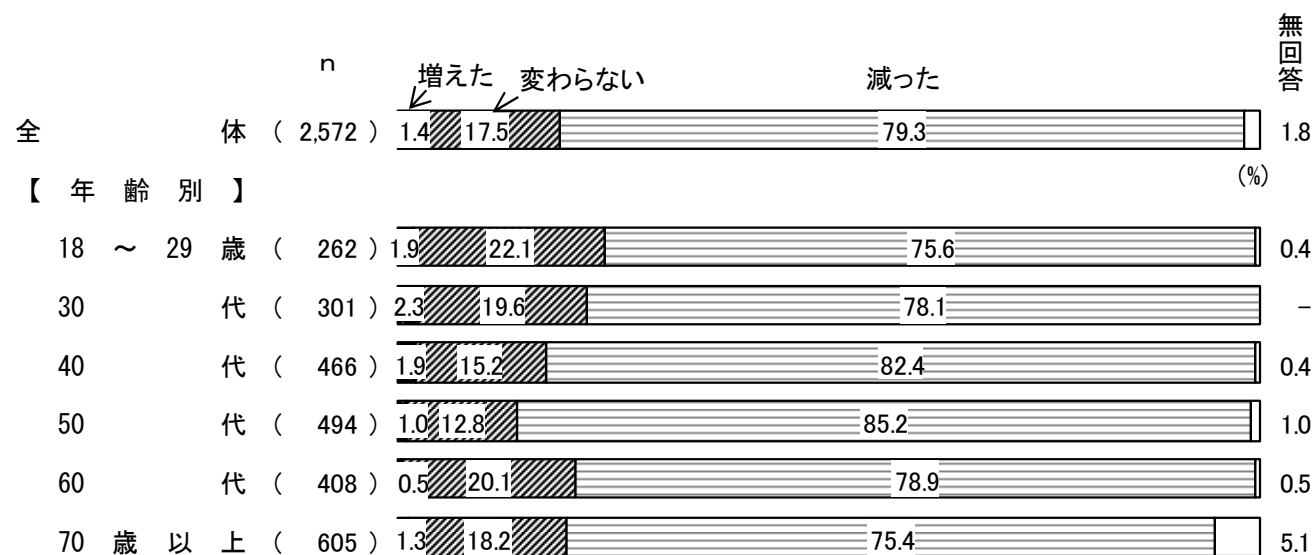


⑯ 新型コロナウイルス感染症の影響（サ）外出する機会 [年齢別]

「減った」は50代で8割半ば

年齢別にみると、「減った」は50代（85.2%）で8割半ばと最も多くなっている。

図5-1-12 新型コロナウイルス感染症の影響（サ）外出する機会 [年齢別]

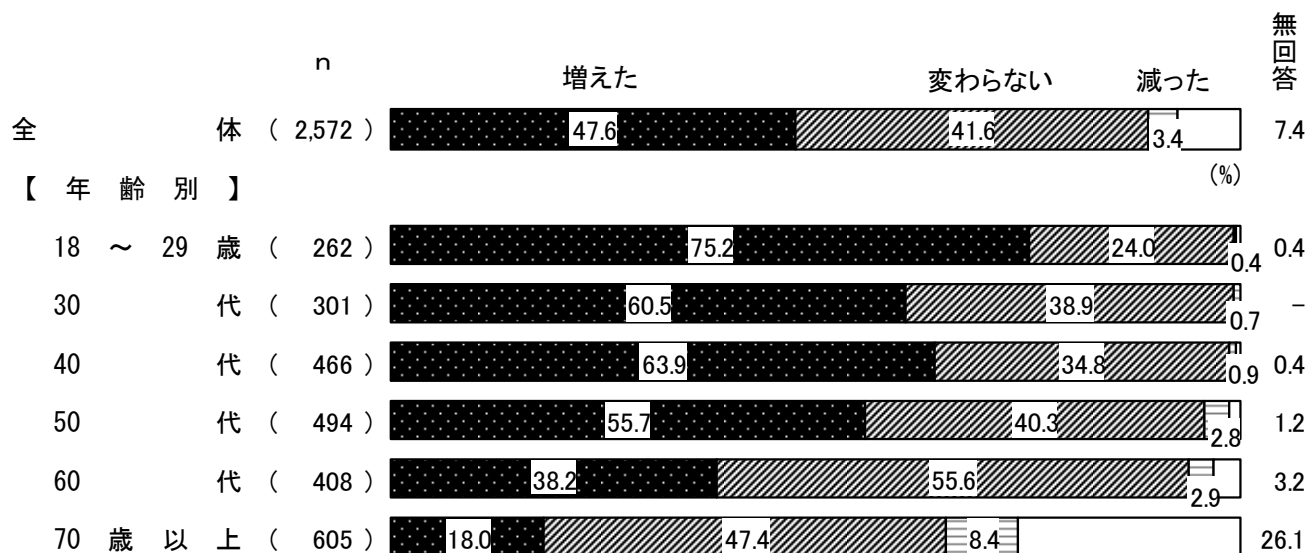


⑰ 新型コロナウイルス感染症の影響（シ）インターネットの利用【年齢別】

「増えた」は18～29歳で7割半ば

年齢別にみると、「増えた」は18～29歳（75.2%）で7割半ばと最も多くなっている。

図5-1-13 新型コロナウイルス感染症の影響（シ）インターネットの利用【年齢別】



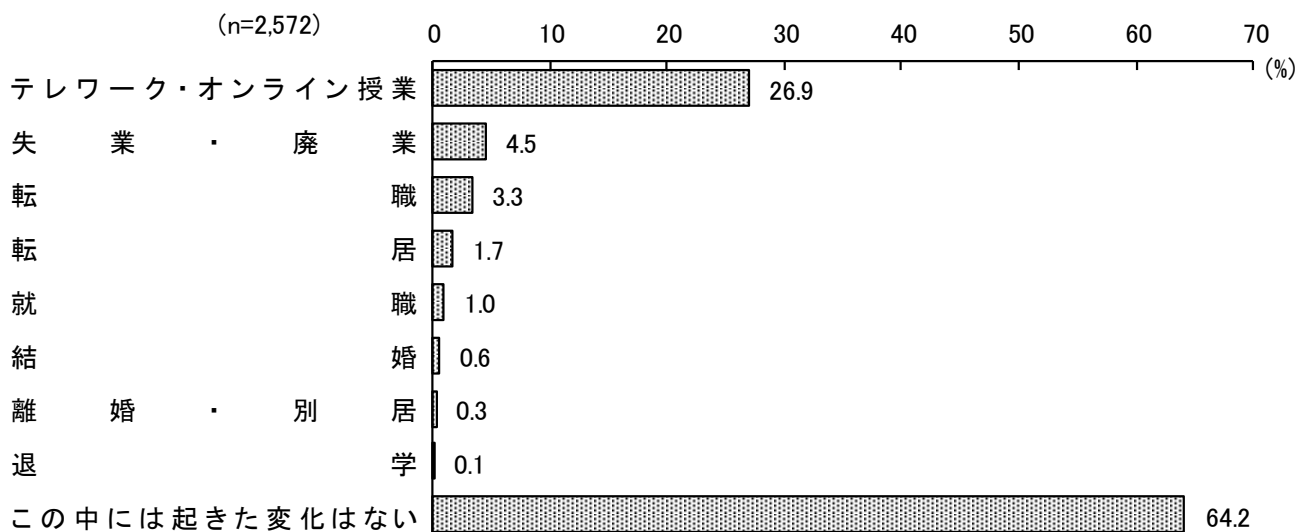
(2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大をきっかけとして起きた変化

問14 あなたの生活の中で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大をきっかけとして起きた変化はありますか。（〇はいくつでも）

「テレワーク・オンライン授業」で2割半ば

新型コロナウイルス感染症の感染拡大をきっかけとして起きた変化をみると、「テレワーク・オンライン授業」（26.9%）で2割半ばとなっている。一方、「この中に起きた変化はない」（64.2%）は6割半ばとなっている。

図5-2-1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大をきっかけとして起きた変化【全体】



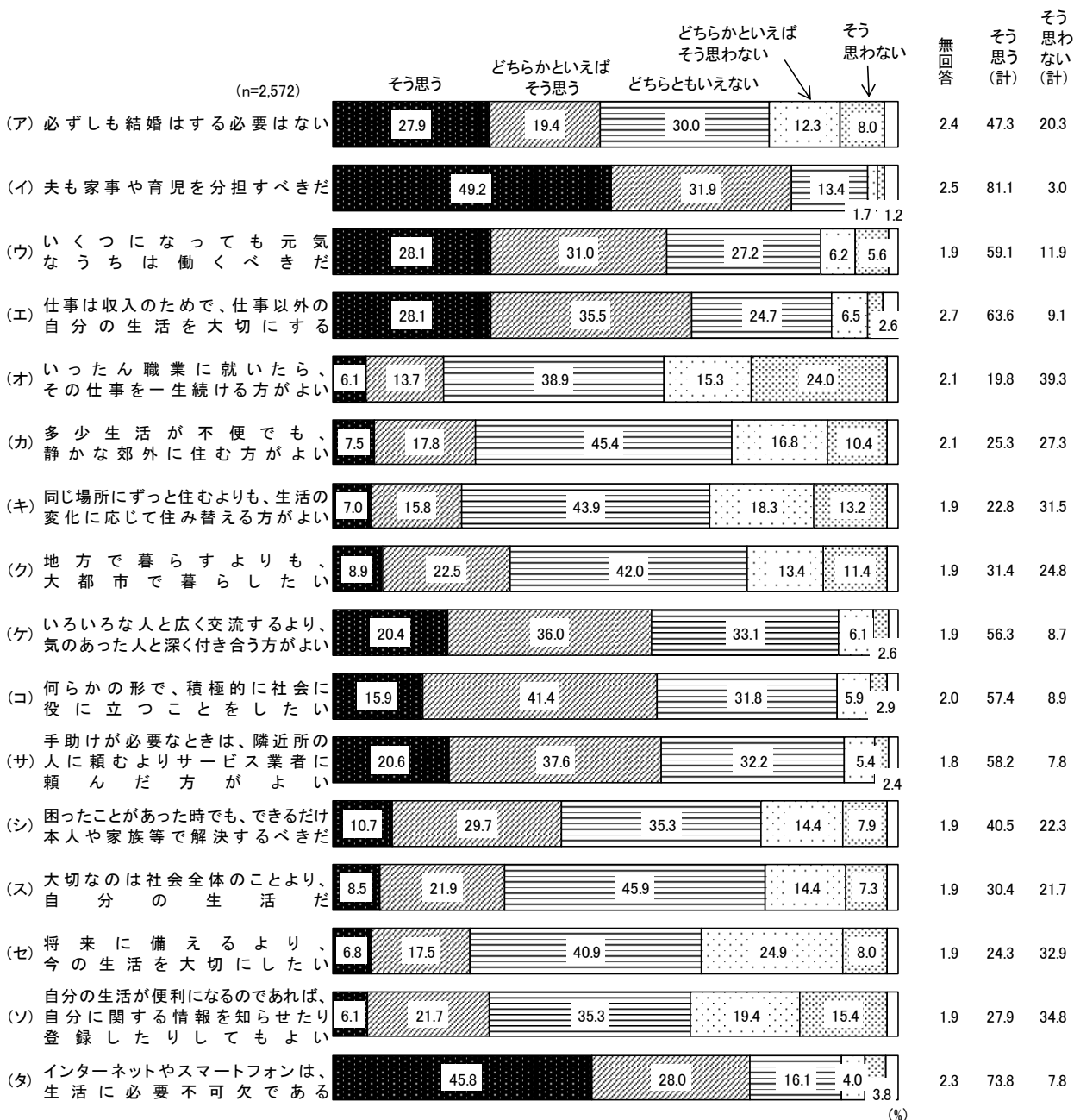
6. 生活価値観

問 15 次に挙げる項目について、あなたはどのように思いますか。当てはまるものをお選びください。
(○はそれぞれ1つ)

「夫も家事や育児を分担すべきだ」は『そう思う（計）』が8割を超える

(ア) 「必ずしも結婚はする必要はない」から(タ) 「インターネットやスマートフォンは、生活に必要不可欠である」までをみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う（計）』は、16項目の中で、「夫も家事や育児を分担すべきだ」(81.1%)で8割を超えて最も多くなっている。一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない（計）』は、「いったん職業に就いたら、その仕事を一生続ける方がよい」(39.3%)で4割近くと最も多くなっている。

図6-1-1 生活価値観 [全体]

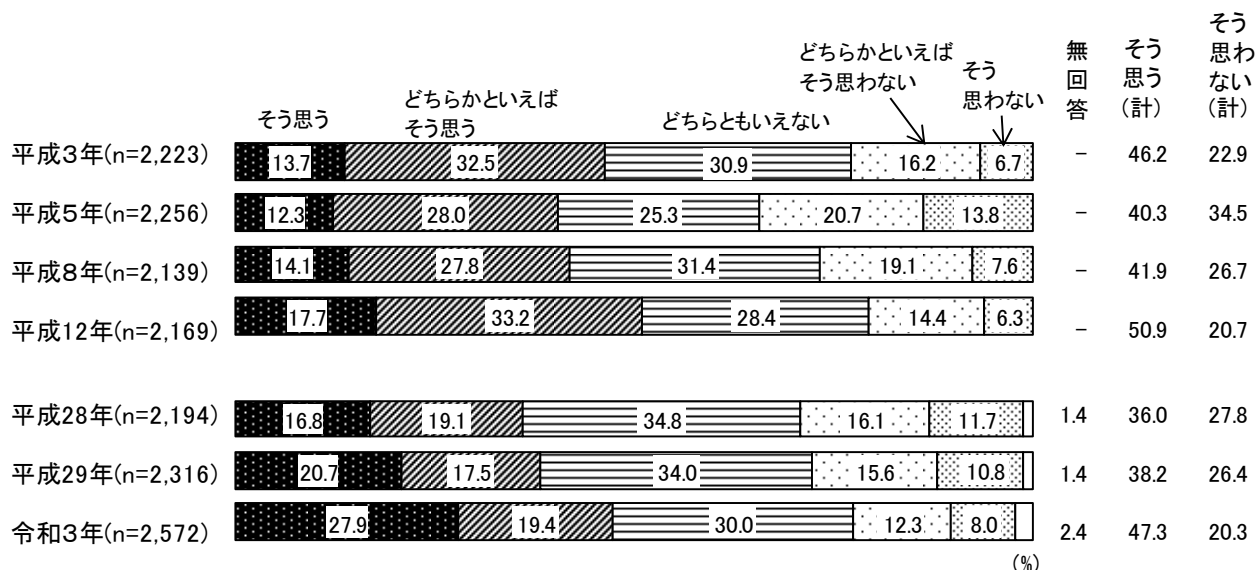


① 生活価値観（ア）必ずしも結婚する必要はない〔経年比較〕

『そう思う（計）』は前回調査(平成29年)と比べ9.1ポイント増加

経年比較をみると、平成28年調査以降『そう思う（計）』が増加しており、前回調査(平成29年) (38.2%) と比べ、9.1ポイント増加となっている。

図6-1-2 生活価値観（ア）必ずしも結婚する必要はない〔経年比較〕



※平成3年「結婚しない生き方も、これからはあたりまえになってくる」
 平成5年、8年「これからは、結婚しないこともあたりまえになる」
 平成12年「これからは結婚しない生き方も当たり前になる」であった。

(注)本報告書に掲載する生活価値観の経年比較において、
 平成12年以前については、「どちらともいえない」は、「どちらともいえない・わからない」としていた。

② 生活価値観（ア）必ずしも結婚する必要はない〔性・年代別〕

『そう思う（計）』は女性 18～29 歳で 7 割半ば

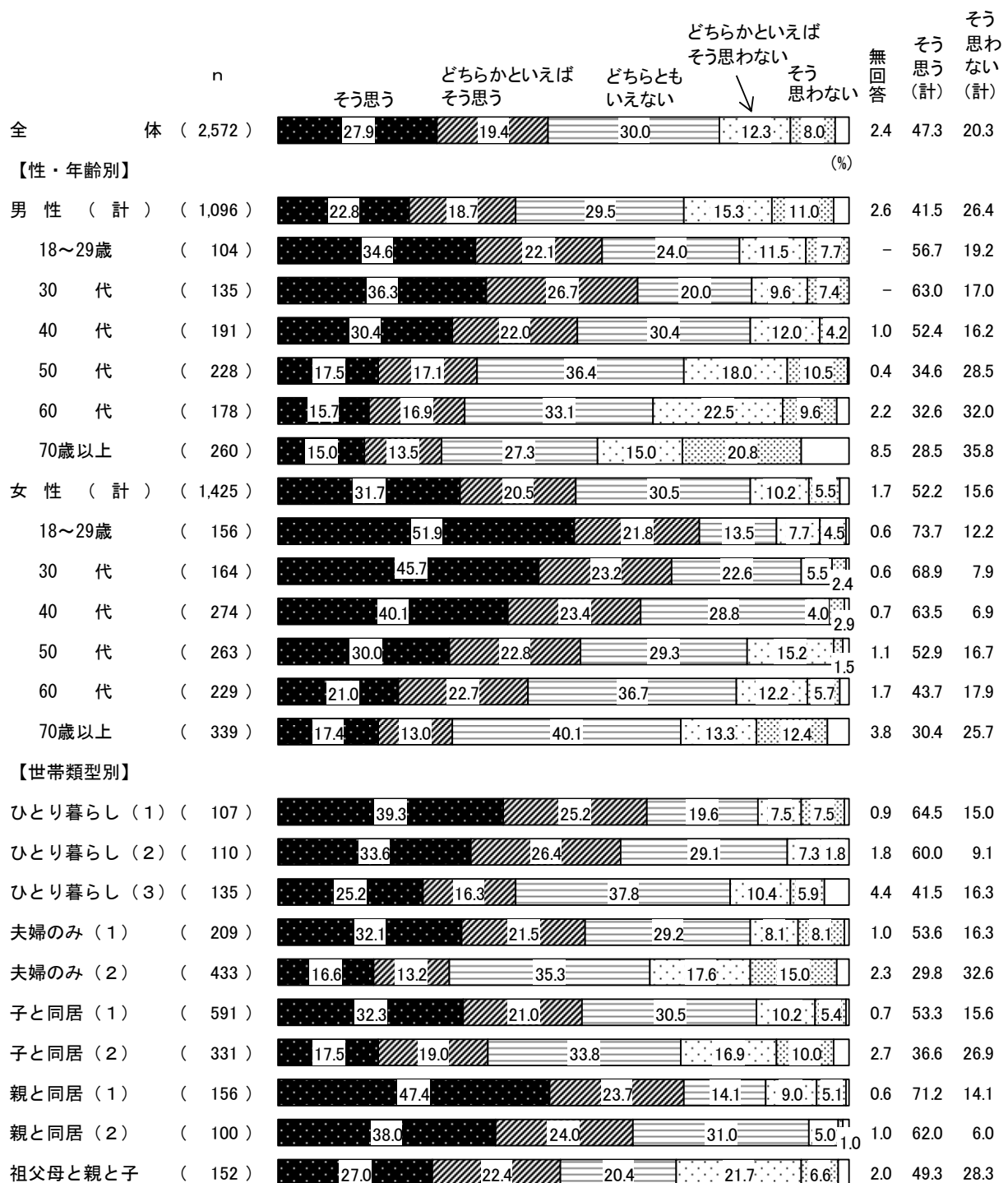
性・年齢別でみると、『そう思う（計）』は女性 18～29 歳（73.7%）で 7 割半ばと最も多くなっている。一方、『そう思わない（計）』は男性 70 歳以上（35.8%）で 3 割半ばと最も多くなっている。

③ 生活価値観（ア）必ずしも結婚する必要はない〔世帯類型別〕

『そう思う（計）』は親と同居（1）で 7 割を超える

世帯類型別にみると、『そう思う（計）』は親と同居（1）（71.2%）で 7 割を超えて最も多くなっている。一方、『そう思わない（計）』は夫婦のみ（2）（32.6%）で 3 割を超えて最も多くなっている。

図 6-1-3 生活価値観（ア）必ずしも結婚する必要はない〔性・年代別、世帯類型別〕

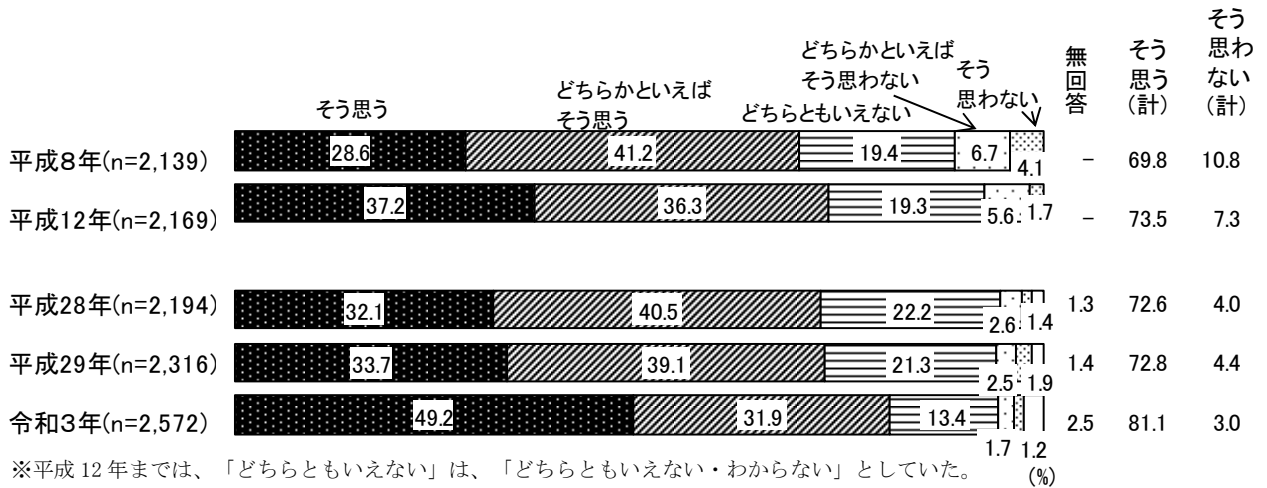


④ 生活価値観（イ）夫も家事や育児を分担すべきだ [経年比較]

『そう思う（計）』は前回調査(平成29年)と比べ8.3ポイント増加

経年比較をみると、『そう思う（計）』が前回調査(平成29年)（72.8%）と比べ、8.3ポイント増加となっている。

図6-1-4 生活価値観（イ）夫も家事や育児を分担すべきだ [経年比較]

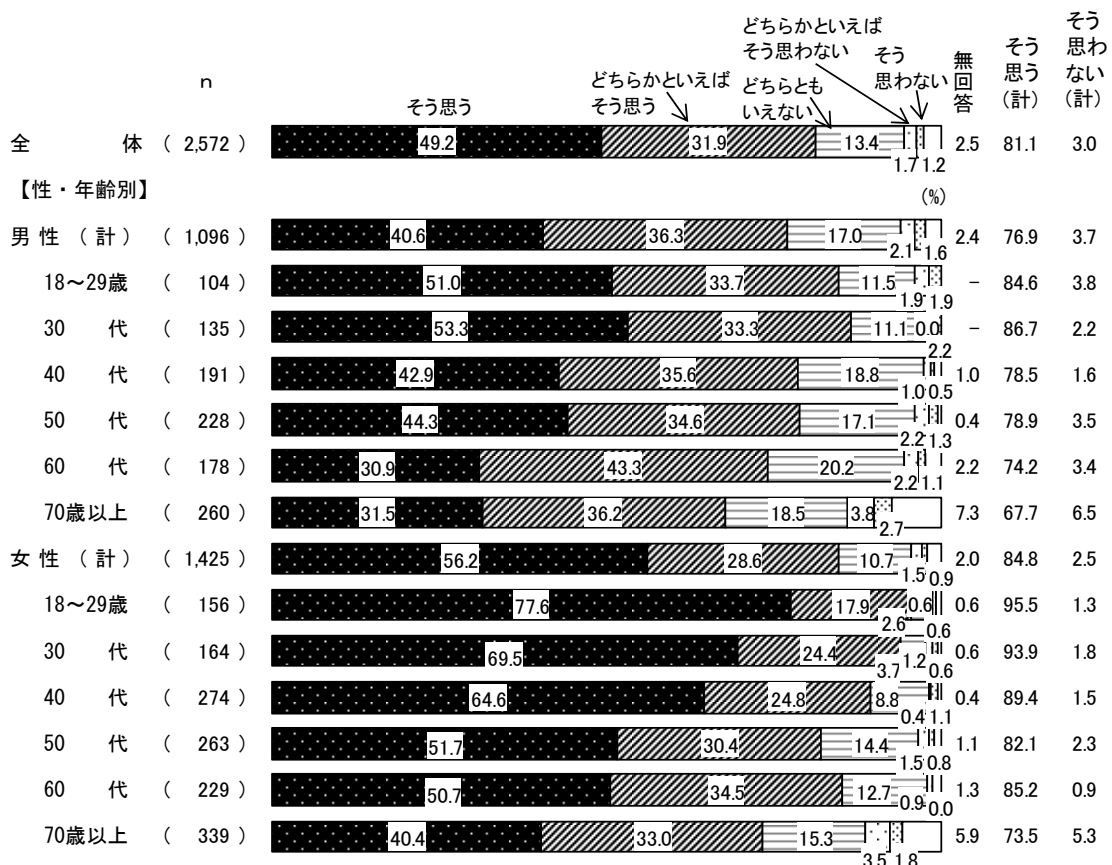


⑤ 生活価値観（イ）夫も家事や育児を分担すべきだ [性・年代別]

『そう思う（計）』は女性18~29歳で9割半ば

性・年齢別にみると、『そう思う（計）』は女性18~29歳（95.5%）で9割半ばと最も多く、次いで女性30代（93.9%）、女性40代（89.4%）となっている。

図6-1-5 生活価値観（イ）夫も家事や育児を分担すべきだ [性・年齢別]



⑥ 生活価値観（イ）夫も家事や育児を分担すべきだ [ライフステージ別]

『そう思う（計）』は夫婦だけ（1）で9割半ば

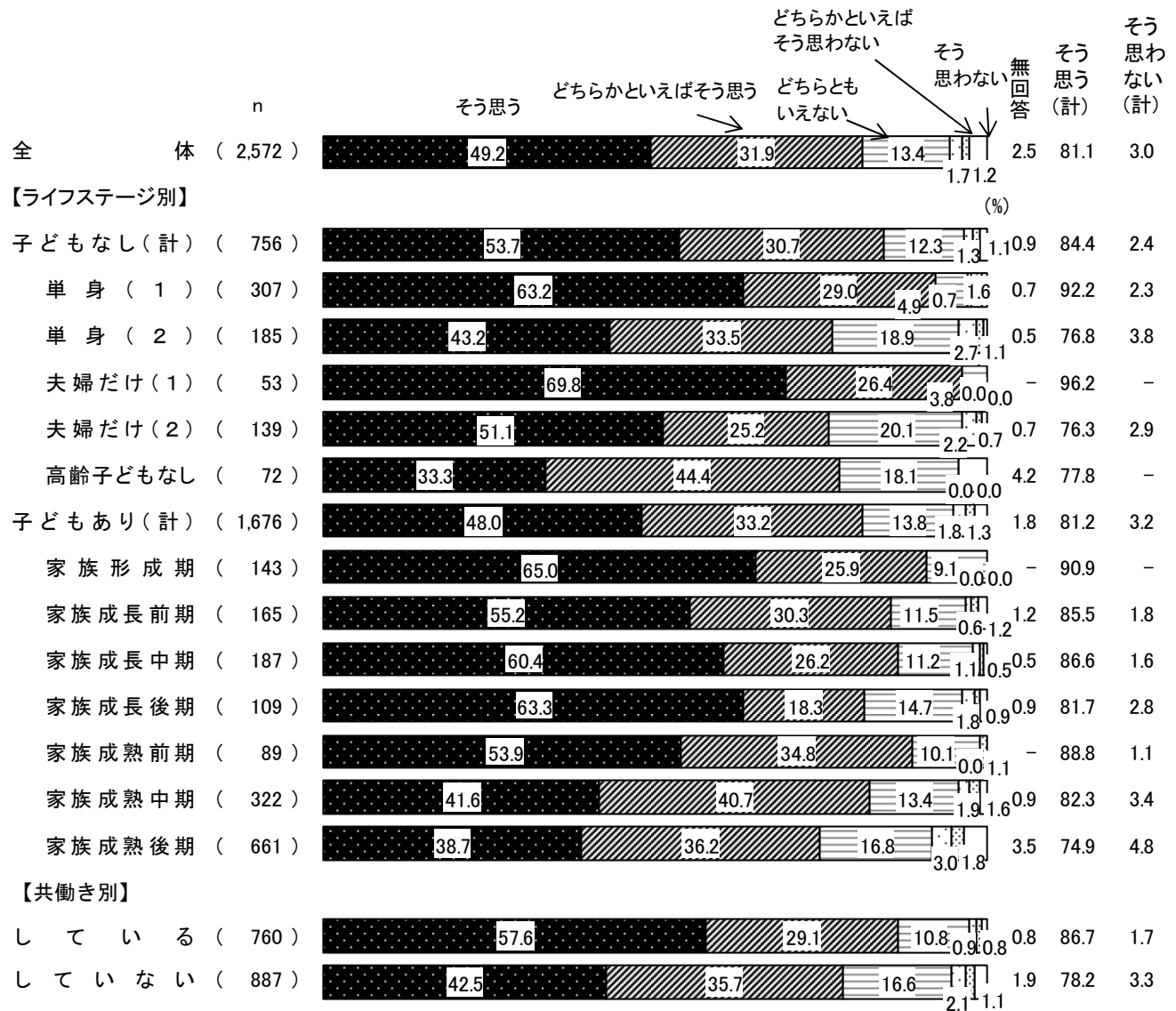
ライフステージ別にみると、『そう思う（計）』は夫婦だけ（1）（96.2%）で9割半ばと最も多くなっている。また、単身（1）（92.2%）、家族形成期（90.9%）でも9割を超えている。

⑦ 生活価値観（イ）夫も家事や育児を分担すべきだ [共働き別]

『そう思う（計）』は「共働きしている」で8割半ば

共働き別にみると、『そう思う（計）』は「共働きしている」（86.7%）で8割半ば、「共働きしていない」（78.2%）で8割近くとなっている。

図6-1-6 生活価値観（イ）夫も家事や育児を分担すべきだ [ライフステージ別、共働き別]

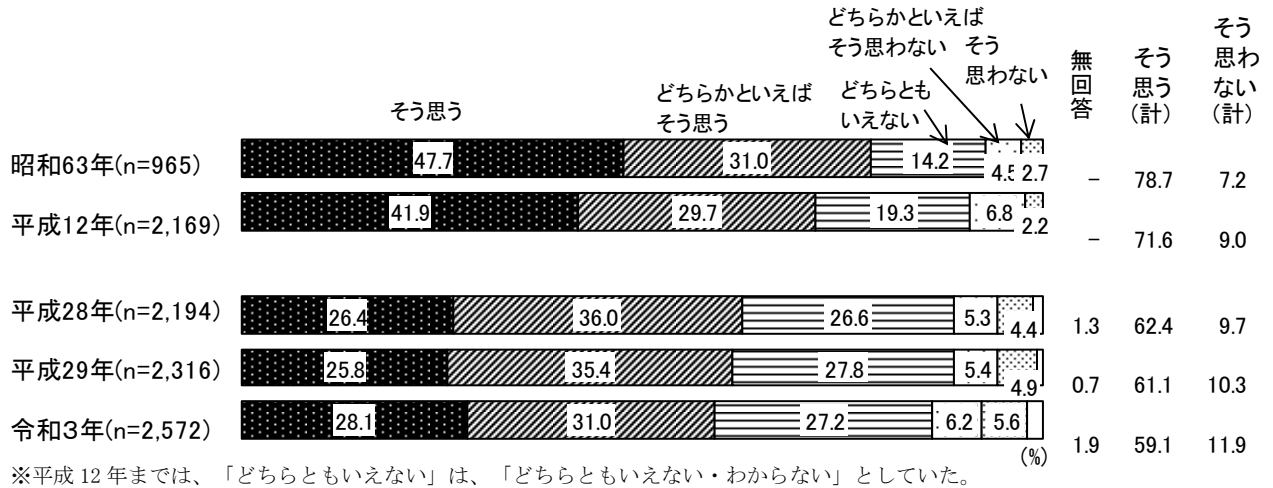


⑧ 生活価値観（ウ）いくつになっても元気なうちは働くべきだ [経年比較]

『そう思う（計）』は前回調査(平成29年)と比べ2.1ポイント減少

経年比較をみると、『そう思う（計）』が前回調査(平成29年)（61.2%）と比べ、2.1ポイント減少となっている。

図6-1-7 生活価値観（ウ）いくつになっても元気なうちは働くべきだ [経年比較]

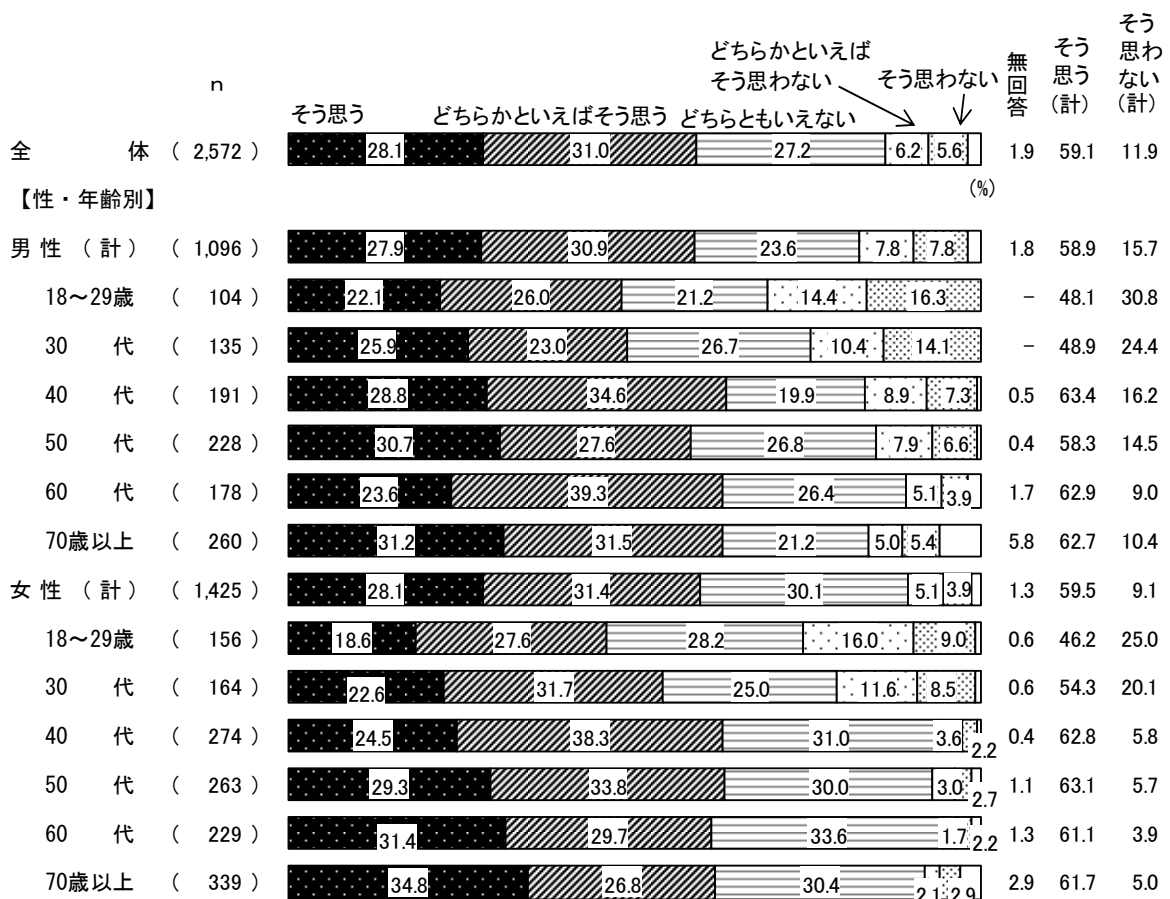


⑨ 生活価値観（ウ）いくつになっても元気なうちは働くべきだ [性・年齢別]

『そう思わない（計）』は男性18～29歳で3割を超える

性・年齢別にみると、『そう思わない（計）』は男性18～29歳（30.8%）で3割を超えて最も多くなっている。

図6-1-8 生活価値観（ウ）いくつになっても元気なうちは働くべきだ [性・年齢別]

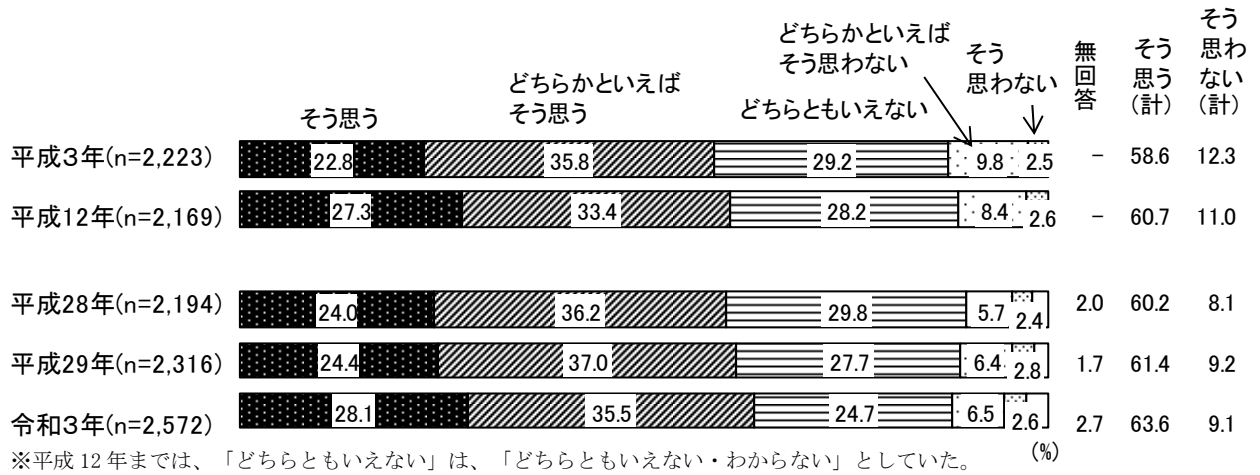


⑩ 生活価値観（エ）仕事は収入のためで、仕事以外の自分の生活を大切にする [経年比較]

『そう思う（計）』は前回調査(平成29年)と比べ2.2ポイント増加

経年比較をみると、『そう思う（計）』が前回調査(平成29年)（61.4%）と比べ、2.2ポイント増加となっている。

図6-1-9 生活価値観（エ）仕事は収入のためで、仕事以外の自分の生活を大切にする [経年比較]

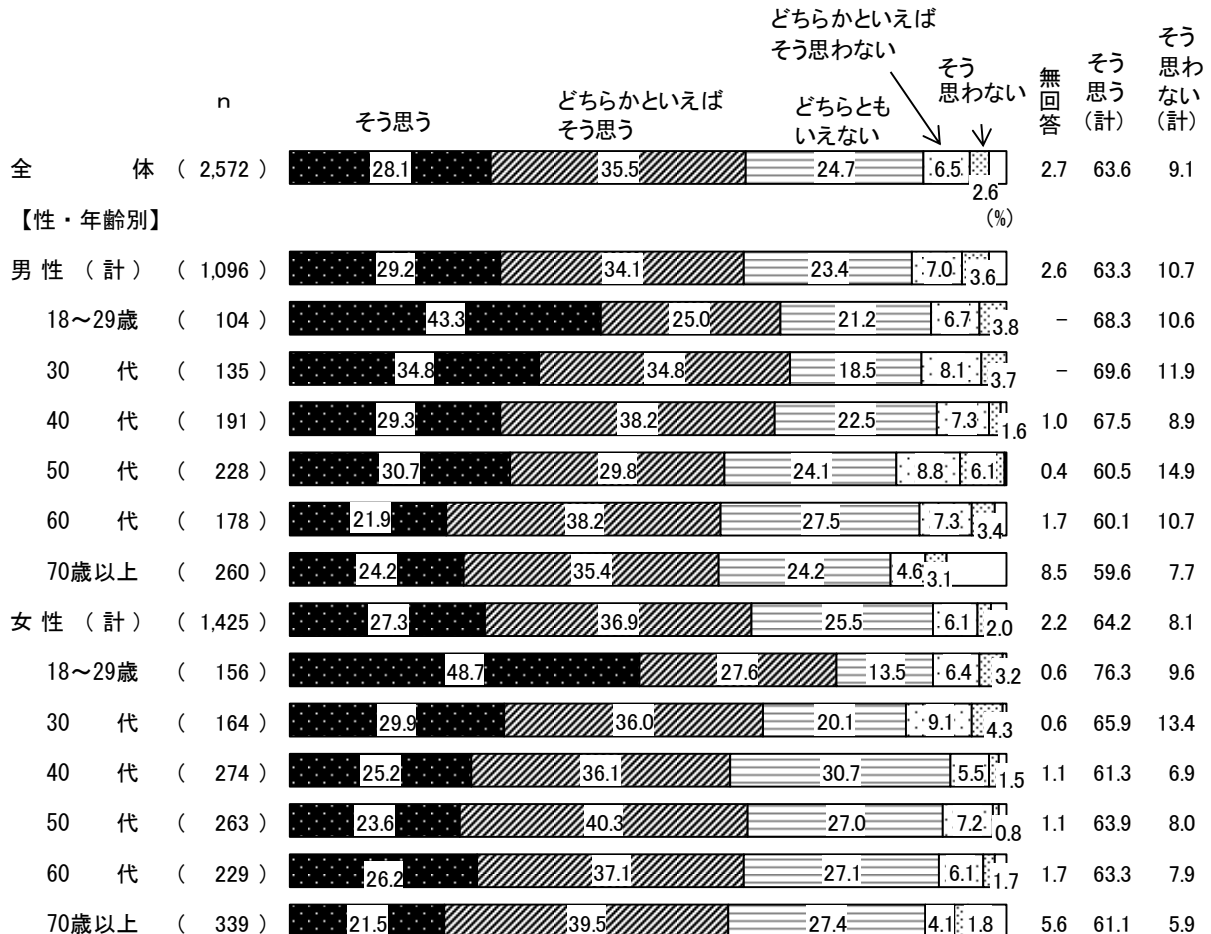


⑪ 生活価値観（エ）仕事は収入のためで、仕事以外の自分の生活を大切にする [性・年齢別]

『そう思う（計）』は女性18~29歳で7割半ば

性・年齢別にみると、『そう思う（計）』は女性18~29歳（76.3%）で7割半ばと最も多くなっている。

図6-1-10 生活価値観（エ）仕事は収入のためで、仕事以外の自分の生活を大切にする [性・年齢別]

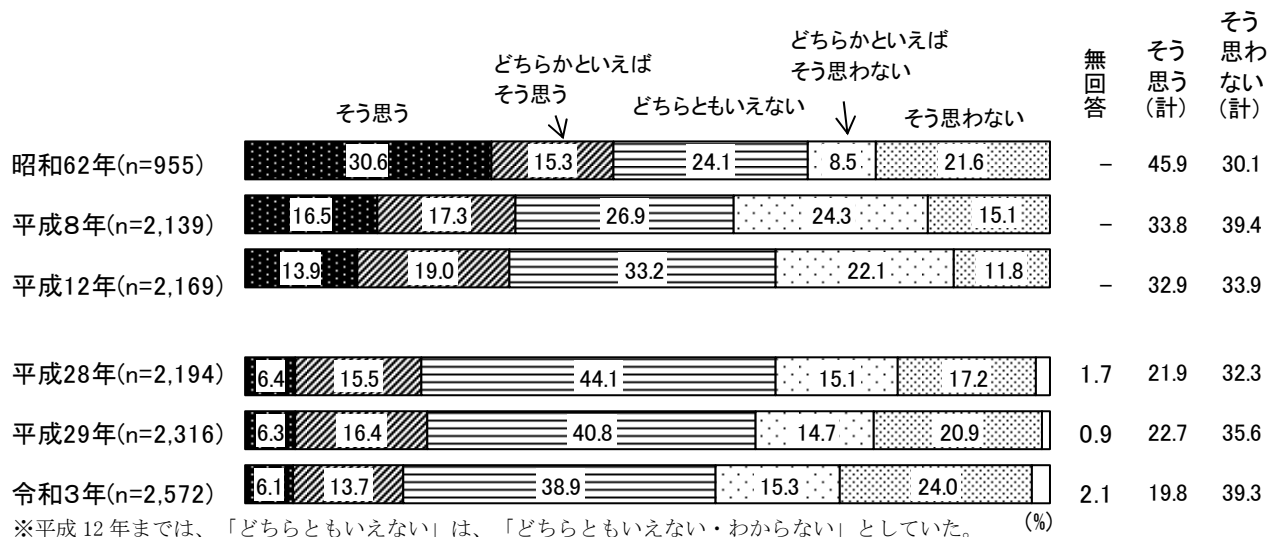


⑫ 生活価値観（オ）いったん職業に就いたら、その仕事を一生続ける方がよい [経年比較]

『そう思わない（計）』は前回調査（平成29年）と比べ3.7ポイント増加

経年比較をみると、『そう思わない（計）』が前回調査（平成29年）（35.6%）と比べ、3.7ポイント増加となっている。

図6-1-11 生活価値観（オ）いったん職業に就いたら、その仕事を一生続ける方がよい [経年比較]

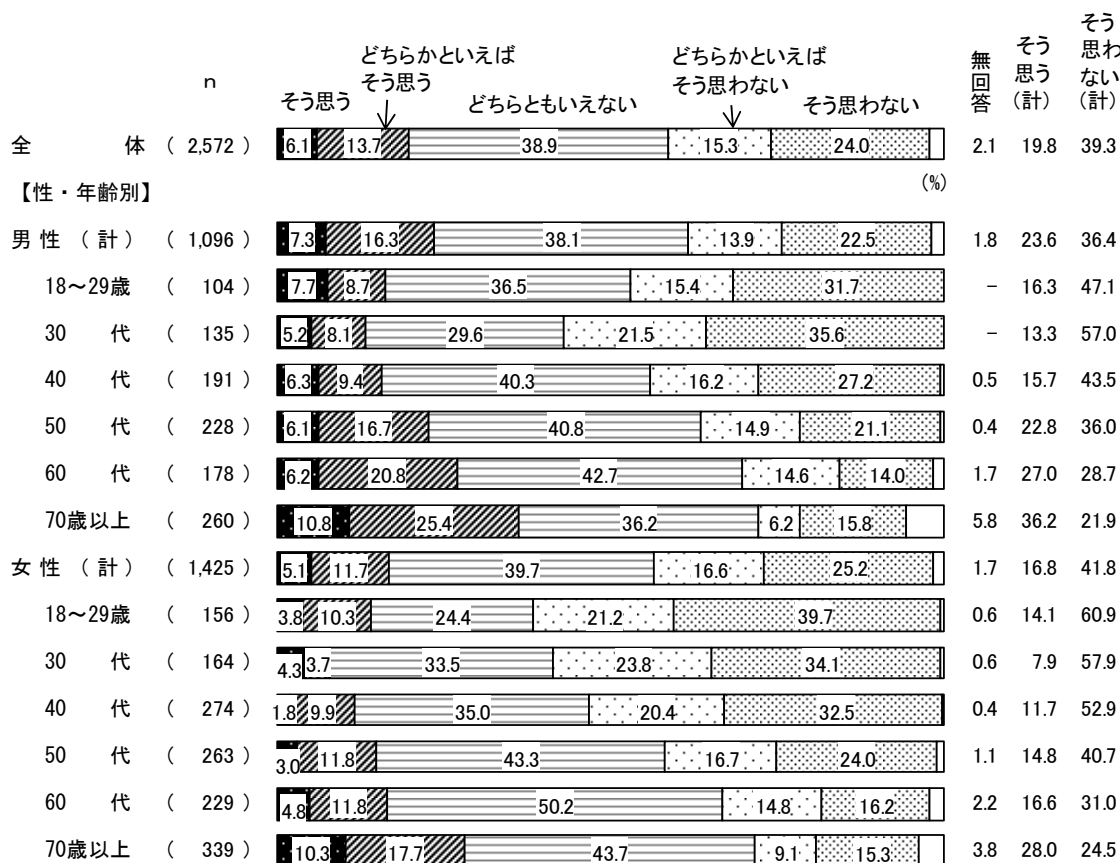


⑬ 生活価値観（オ）いったん職業に就いたら、その仕事を一生続ける方がよい [性・年齢別]

『そう思わない（計）』は女性18～29歳で6割を超える

性・年齢別にみると、『そう思わない（計）』は女性18～29歳（60.9%）で6割を超えて最も多くなっている。

図6-1-12 生活価値観（オ）いったん職業に就いたら、その仕事を一生続ける方がよい [性・年齢別]

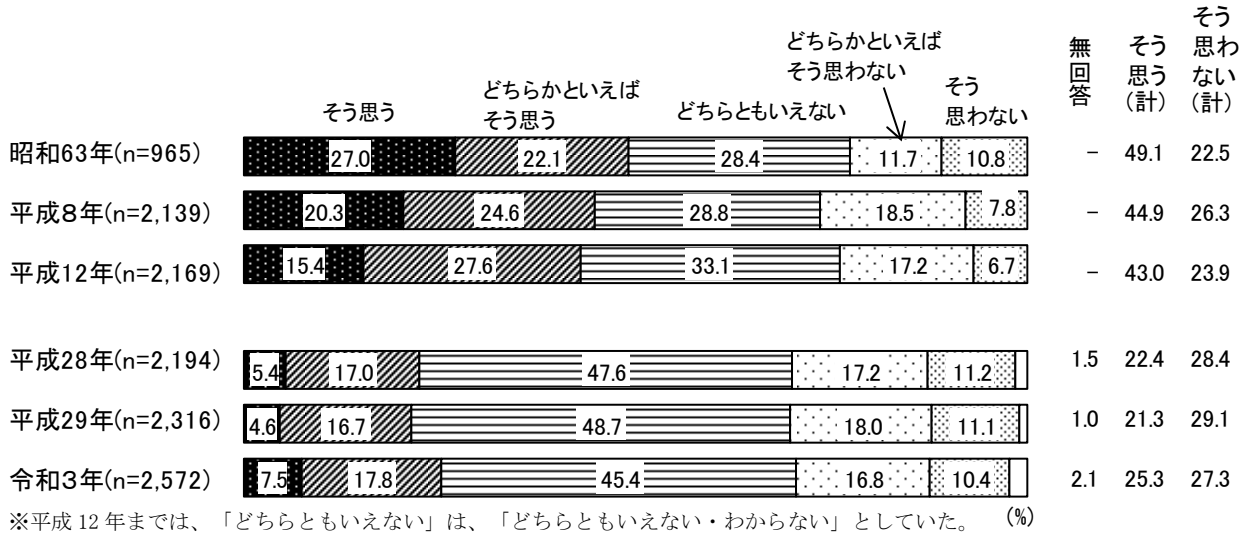


⑭ 生活価値観（カ）多少生活が不便でも、静かな郊外に住む方がよい [経年比較]

『そう思う（計）』は前回調査（平成29年）と比べ4.0ポイント増加

経年比較をみると、『そう思う（計）』が前回調査（平成29年）（21.3%）と比べ、4.0ポイント増加となっている。

図6-1-13 生活価値観（カ）多少生活が不便でも、静かな郊外に住む方がよい [経年比較]

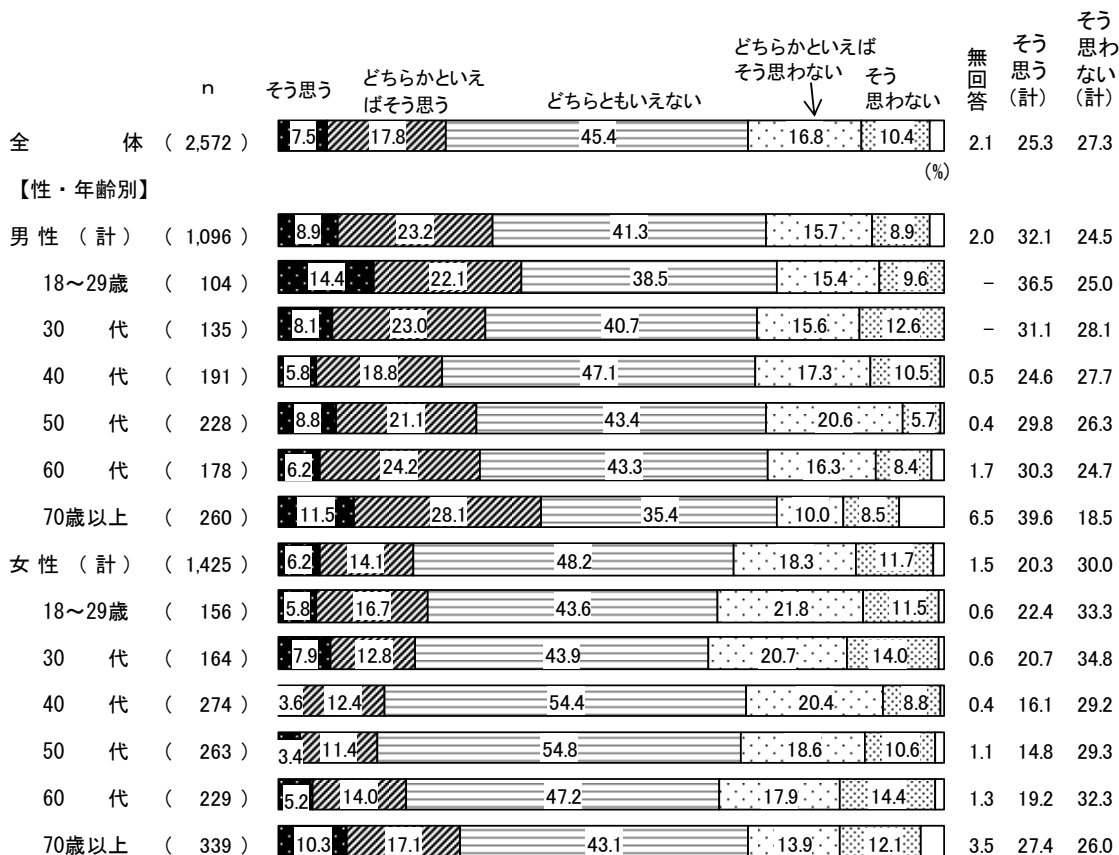


⑮ 生活価値観（カ）多少生活が不便でも、静かな郊外に住む方がよい [性・年齢別]

『そう思う（計）』は男性70歳以上で4割近く

性・年齢別にみると、『そう思う（計）』は男性70歳以上（39.6%）で4割近くと最も多くなっている。

図6-1-14 生活価値観（カ）多少生活が不便でも、静かな郊外に住む方がよい [性・年齢別]

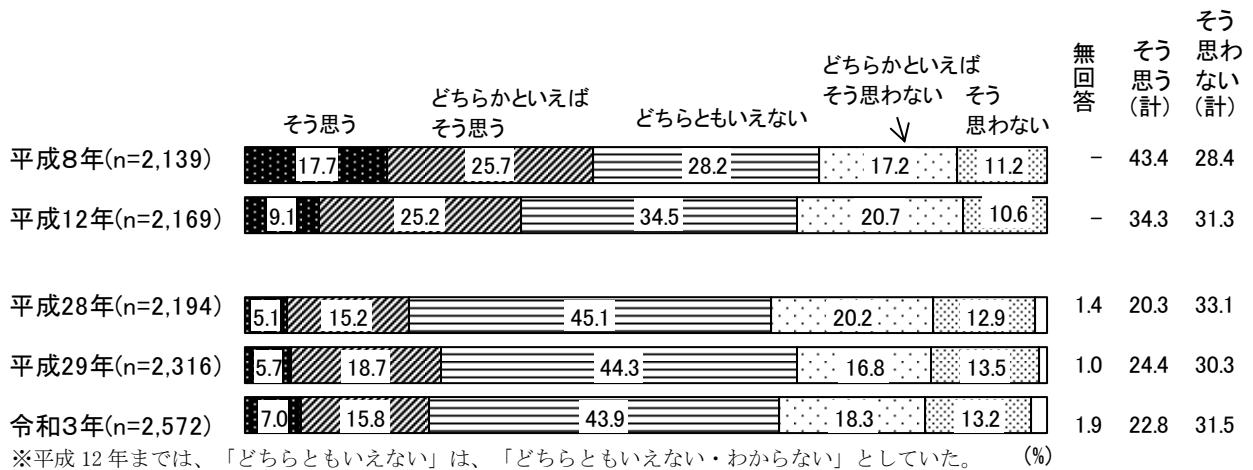


⑩ 生活価値観（キ）同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替える方がよい [経年比較]

『そう思う（計）』は前回調査(平成29年)と比べ1.6ポイント減少

経年比較をみると、『そう思う（計）』が前回調査(平成29年)（24.4%）と比べ、1.6ポイント減少となっている。

図6-1-15 生活価値観（キ）同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替える方がよい [経年比較]

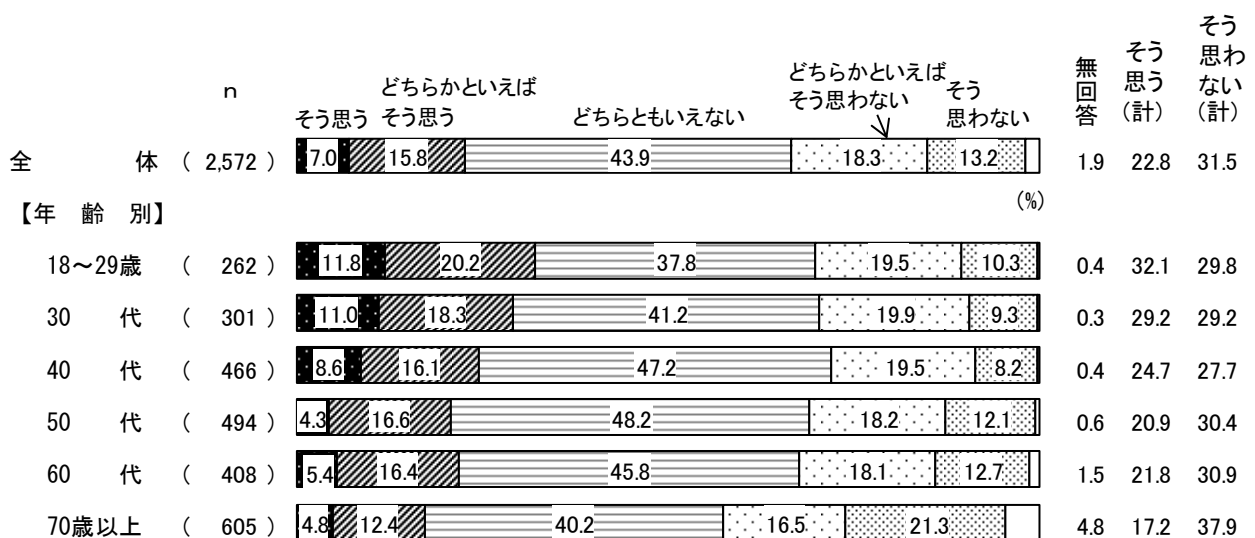


⑪ 生活価値観（キ）同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替える方がよい [年齢別]

『そう思わない（計）』は70歳以上で3割半ば

年齢別にみると、『そう思わない（計）』は70歳以上（37.9%）で3割半ばと最も多くなっている。

図6-1-16 生活価値観（キ）同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替える方がよい [年齢別]

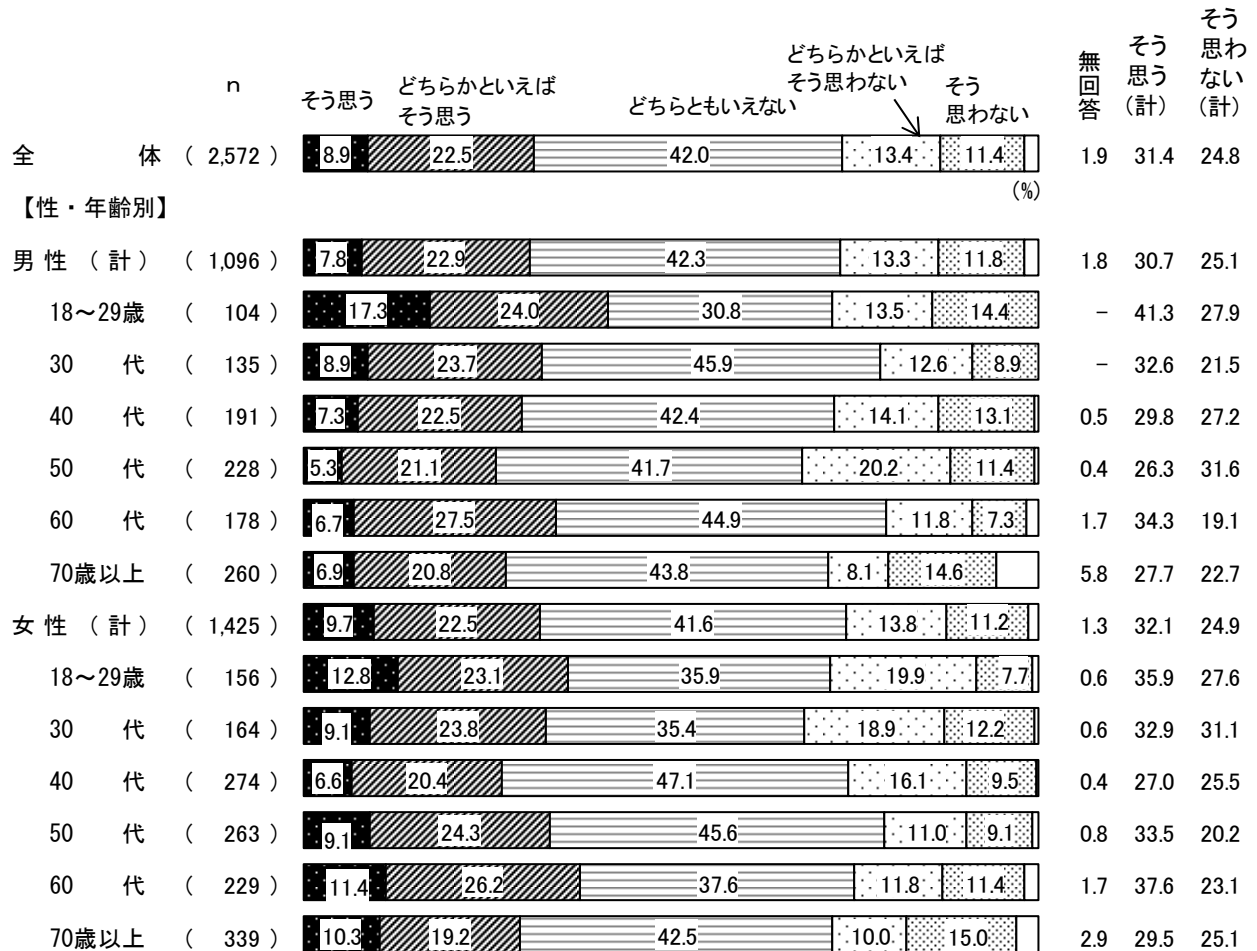


⑩ 生活価値観（ク） 地方で暮らすよりも、大都市で暮らしたい【性・年齢別】

『そう思う（計）』は男性18～29歳で4割を超える

性・年齢別にみると、『そう思う（計）』は男性18～29歳（41.3%）で4割を超えて最も多くなっている。

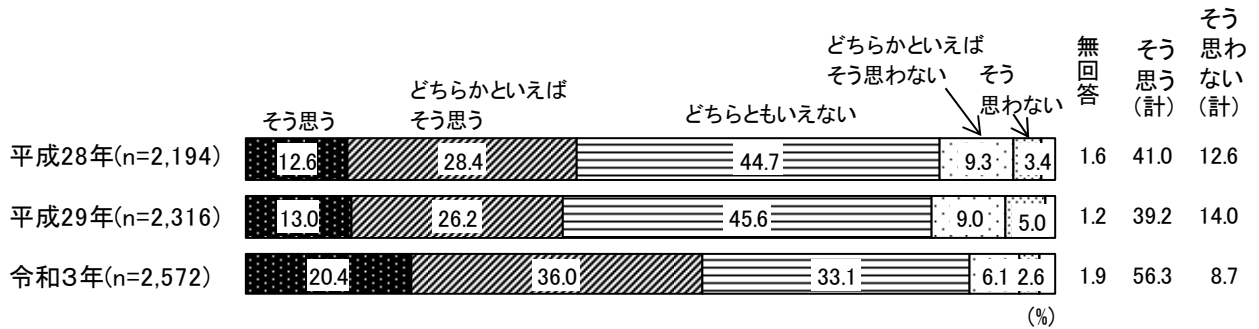
図6-1-17 生活価値観（ク） 地方で暮らすよりも、大都市で暮らしたい【性・年齢別】



⑱ 生活価値観（ケ）いろいろな人と広く交流するより、気のあった人と深く付き合う方がよい [経年比較]
『そう思う（計）』は前回調査（平成29年）と比べ17.1ポイント増加

経年比較をみると、『そう思う（計）』が前回調査（平成29年）（39.2%）と比べ、17.1ポイント増加となっている。

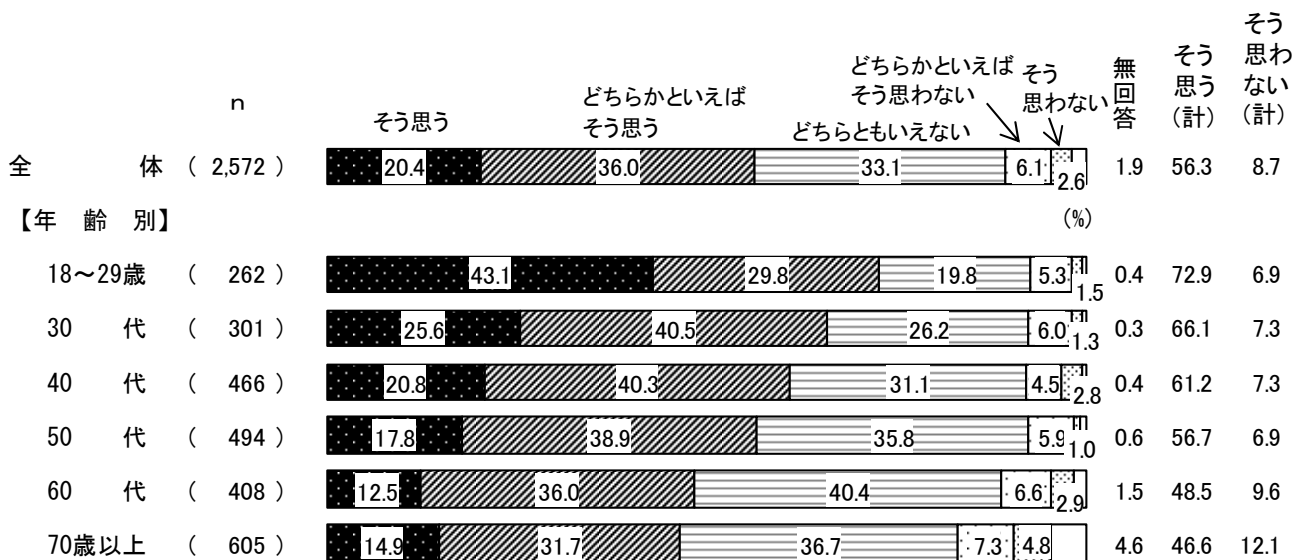
図6-1-18 生活価値観（ケ）いろいろな人と広く交流するより、気のあった人と深く付き合う方がよい [経年比較]



⑳ 生活価値観（ケ）いろいろな人と広く交流するより、気のあった人と深く付き合う方がよい [年齢別]
『そう思う（計）』は18～29歳で7割を超える

年齢別にみると、『そう思う（計）』は18～29歳（72.9%）で7割を超えて最も多くなっている。

図6-1-19 生活価値観（ケ）いろいろな人と広く交流するより、気のあった人と深く付き合う方がよい [年齢別]

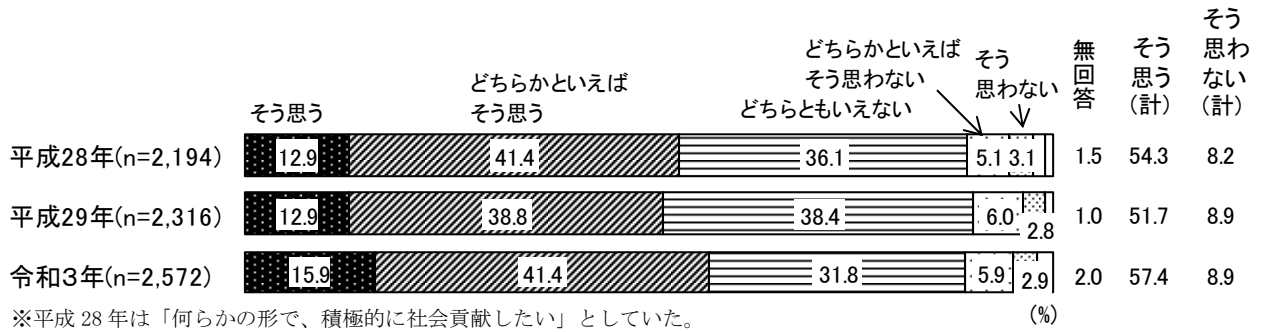


② 生活価値観（コ）何らかの形で、積極的に社会に役に立つことをしたい [経年比較]

『そう思う（計）』は前回調査（平成29年）と比べ5.7ポイント増加

経年比較をみると、『そう思う（計）』が前回調査（平成29年）（51.7%）と比べ、5.7ポイント増加となっている。

図6-1-20 生活価値観（コ）何らかの形で、積極的に社会に役に立つことをしたい [経年比較]

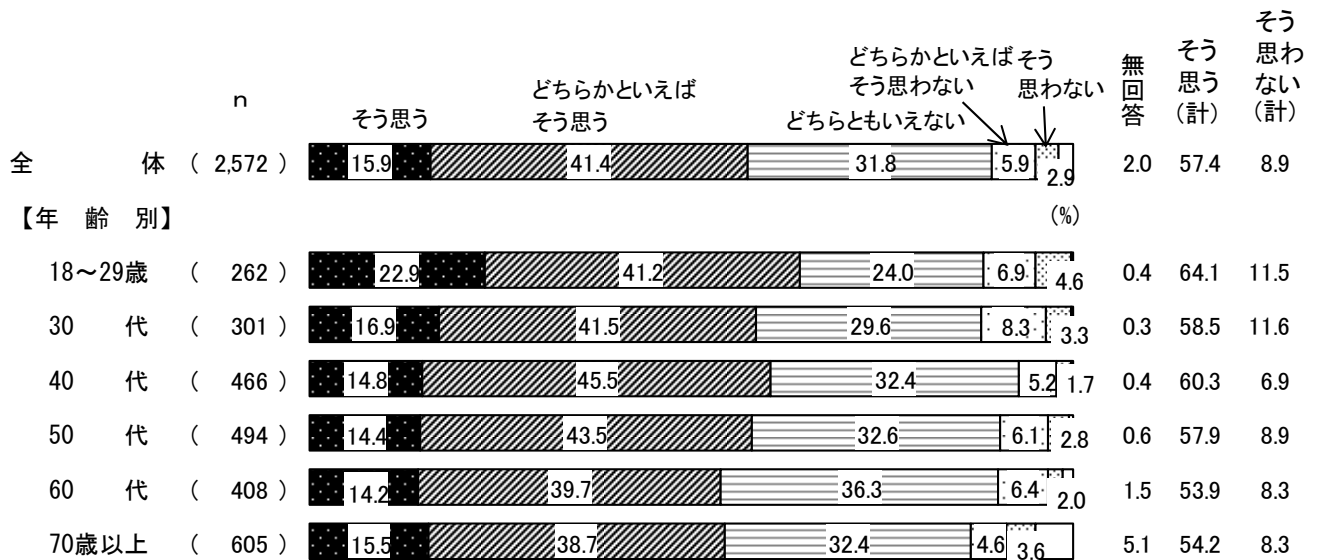


② 生活価値観（コ）何らかの形で、積極的に社会に役に立つことをしたい [年齢別]

『そう思う（計）』は18~29歳で6割半ば

年齢別にみると、『そう思う（計）』は18~29歳（64.1%）で6割半ばと最も多くなっている。

図6-1-21 生活価値観（コ）何らかの形で、積極的に社会に役に立つことをしたい [年齢別]

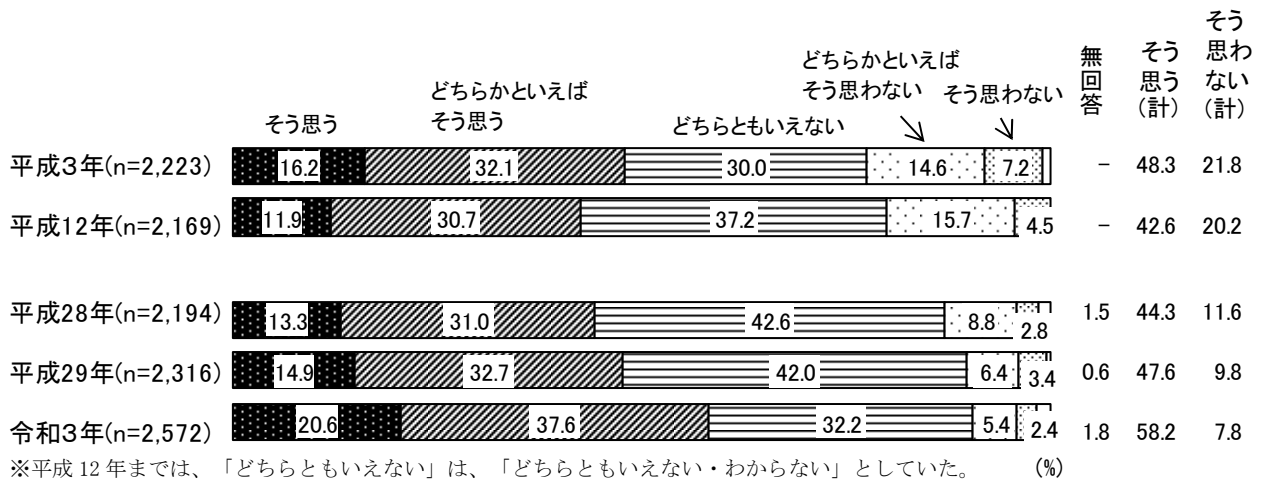


⑳ 生活価値観（サ）手助けが必要なときは、隣近所の人に頼むよりサービス業者に頼んだ方がよい〔経年比較〕

『『そう思う（計）』は前回調査（平成29年）と比べ10.6ポイント増加

経年比較をみると、『そう思う（計）』が前回調査（平成29年）（47.6%）と比べ、10.6ポイント増加となっている。

図6-1-22 生活価値観（サ）手助けが必要なときは、隣近所の人に頼むよりサービス業者に頼んだ方がよい〔経年比較〕

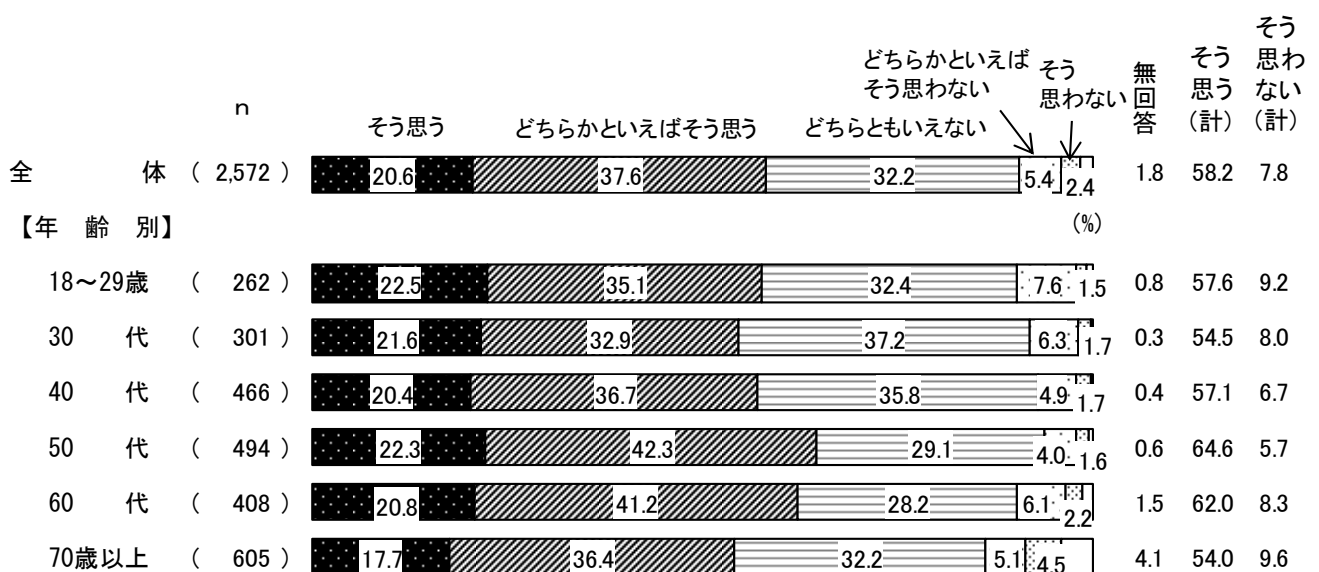


㉑ 生活価値観（サ）手助けが必要なときは、隣近所の人に頼むよりサービス業者に頼んだ方がよい〔年齢別〕

『『そう思う（計）』は50代で6割半ば

年齢別にみると、『そう思う（計）』は50代（64.6%）で6割半ばと最も多くなっている。

図6-1-23 生活価値観（サ）手助けが必要なときは、隣近所の人に頼むよりサービス業者に頼んだ方がよい〔年齢別〕

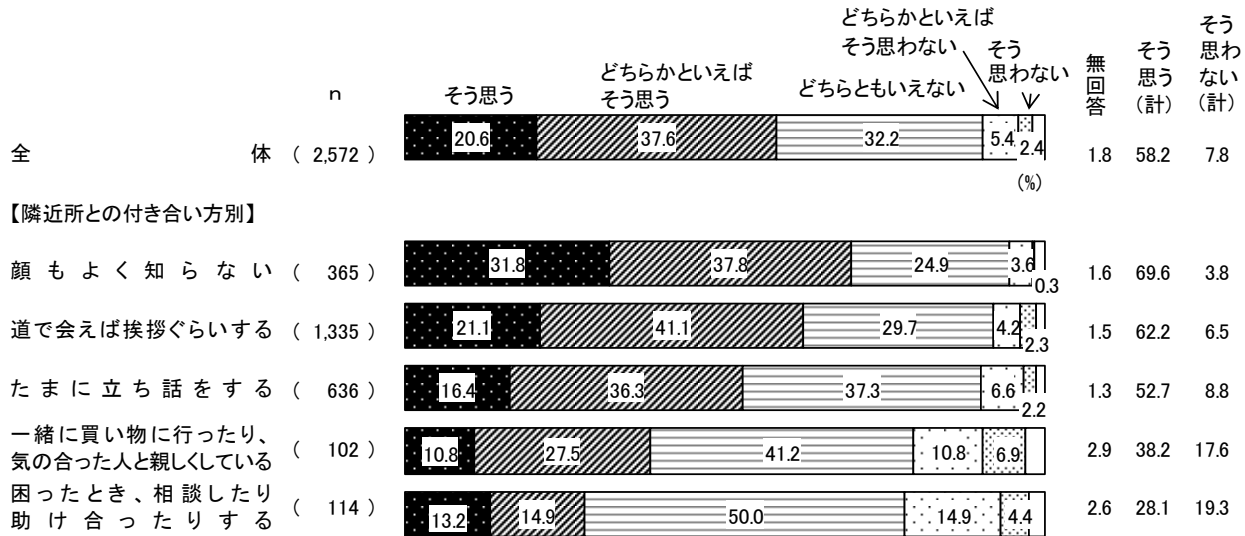


⑳ 生活価値観（サ）手助けが必要なときは、隣近所の人に頼むよりサービス業者に頼んだ方がよい〔隣近所との付き合い方別〕

『そう思う（計）』は「顔もよく知らない」で7割近く

隣近所との付き合い方別にみると、『そう思う（計）』は「顔もよく知らない」（69.6%）で7割近くと最も多くなっている。一方、『そう思わない（計）』は「困ったとき、相談したり助け合ったりする」（19.3%）で2割近くと最も多くなっている。

図6-1-24 生活価値観（サ）手助けが必要なときは、隣近所の人に頼むよりサービス業者に頼んだ方がよい〔隣近所との付き合い方別〕

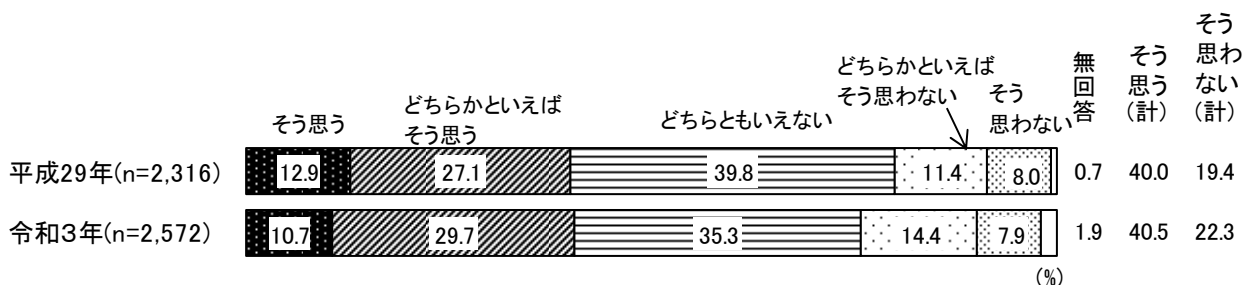


㉑ 生活価値観（シ）困ったことがあった時でも、できるだけ本人や家族等で解決するべきだ〔経年比較〕

『そう思わない（計）』は前回調査(平成29年)と比べ2.9ポイント増加

経年比較をみると、『そう思わない（計）』が前回調査(平成29年)（19.4%）と比べ、2.9ポイント増加となっている。

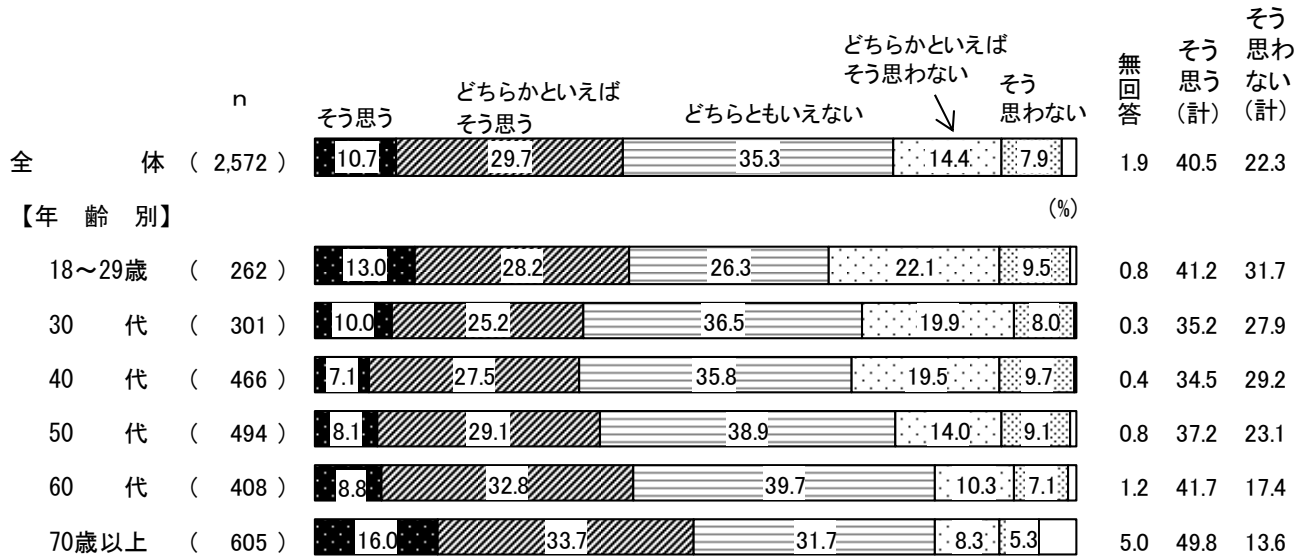
図6-1-25 生活価値観（シ）困ったことがあった時でも、できるだけ本人や家族等で解決するべきだ〔経年比較〕



⑳ 生活価値観（シ）困ったことがあった時でも、できるだけ本人や家族等で解決すべきだ [年齢別]
『そう思う（計）』は70歳以上で5割近く

年齢別にみると、『そう思う（計）』は70歳以上（49.8%）で5割近くと最も多くなっている。

図6-1-26 生活価値観（シ）困ったことがあった時でも、できるだけ本人や家族等で解決すべきだ [年齢別]

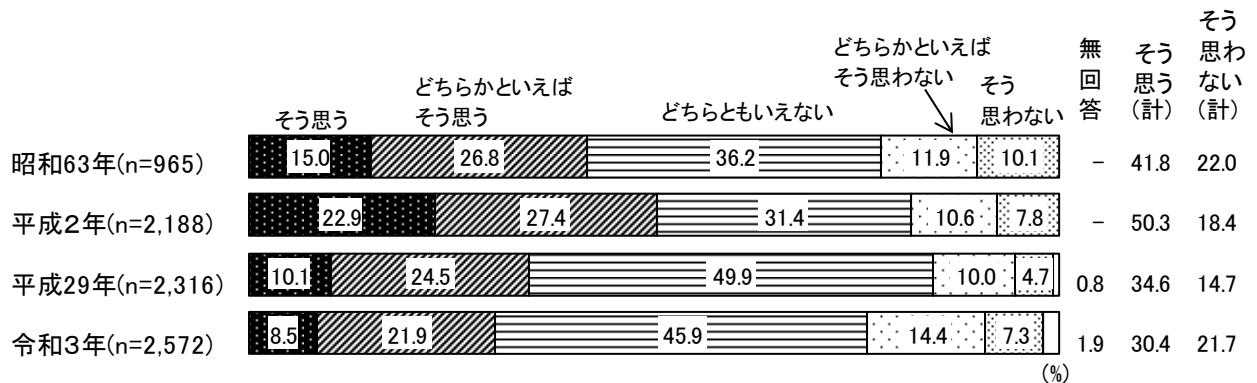


㉑ 生活価値観（ス）大切なのは社会全体のことより、自分の生活だ [経年比較]

『そう思わない（計）』は前回調査（平成29年）と比べ7.0ポイント増加

経年比較をみると、『そう思わない（計）』が前回調査（平成29年）（14.7%）と比べ、7.0ポイント増加となっている。

図6-1-27 生活価値観（ス）大切なのは社会全体のことより、自分の生活だ [経年比較]



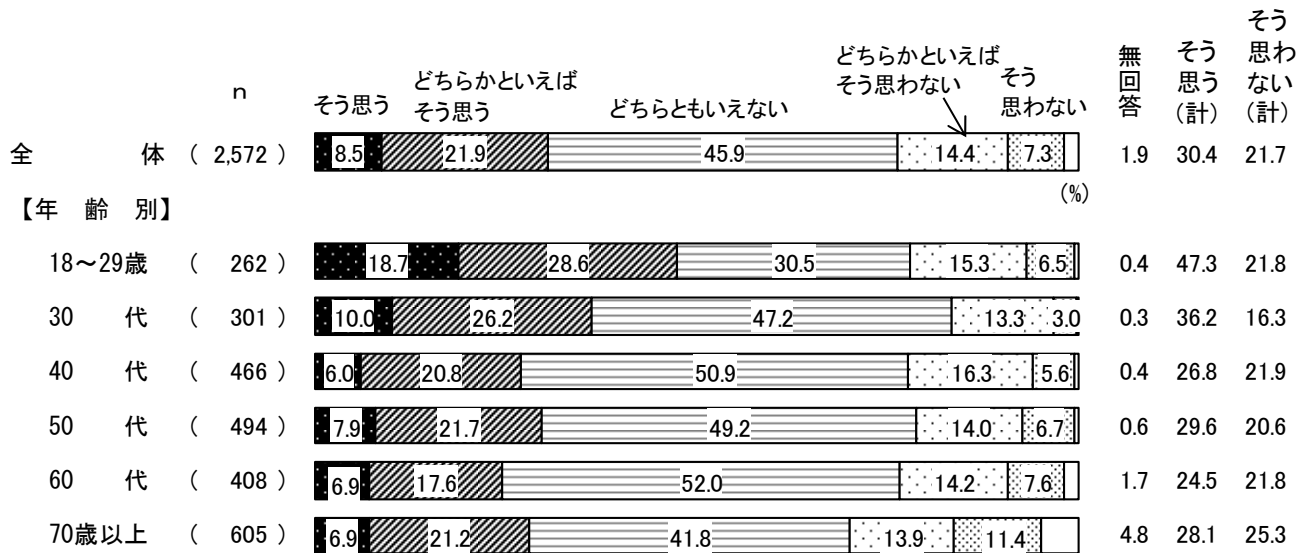
※昭和63年、平成2年調査は、「どちらともいえない」は、「どちらともいえない・わからない」としていた。

⑳ 生活価値観（ス）大切なのは社会全体のことより、自分の生活だ〔年齢別〕

『『そう思う（計）』は18～29歳で4割半ば』

年齢別にみると、『そう思う（計）』は18～29歳（47.3%）で4割半ばと最も多くなっている。

図6-1-28 生活価値観（ス）大切なのは社会全体のことより、自分の生活だ〔年齢別〕

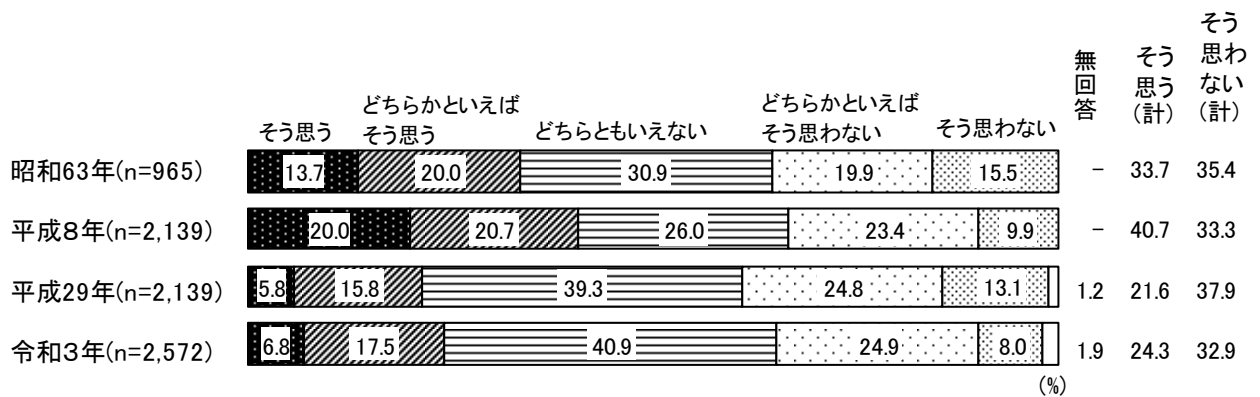


㉑ 生活価値観（セ）将来に備えるより、今の生活を大切にしたい〔経年比較〕

『『そう思う（計）』は前回調査(平成29年)と比べ2.7ポイント増加』

経年比較をみると、『そう思う（計）』が前回調査(平成29年)（21.6%）と比べ、2.7ポイント増加となっている。

図6-1-29 生活価値観（セ）将来に備えるより、今の生活を大切にしたい〔経年比較〕



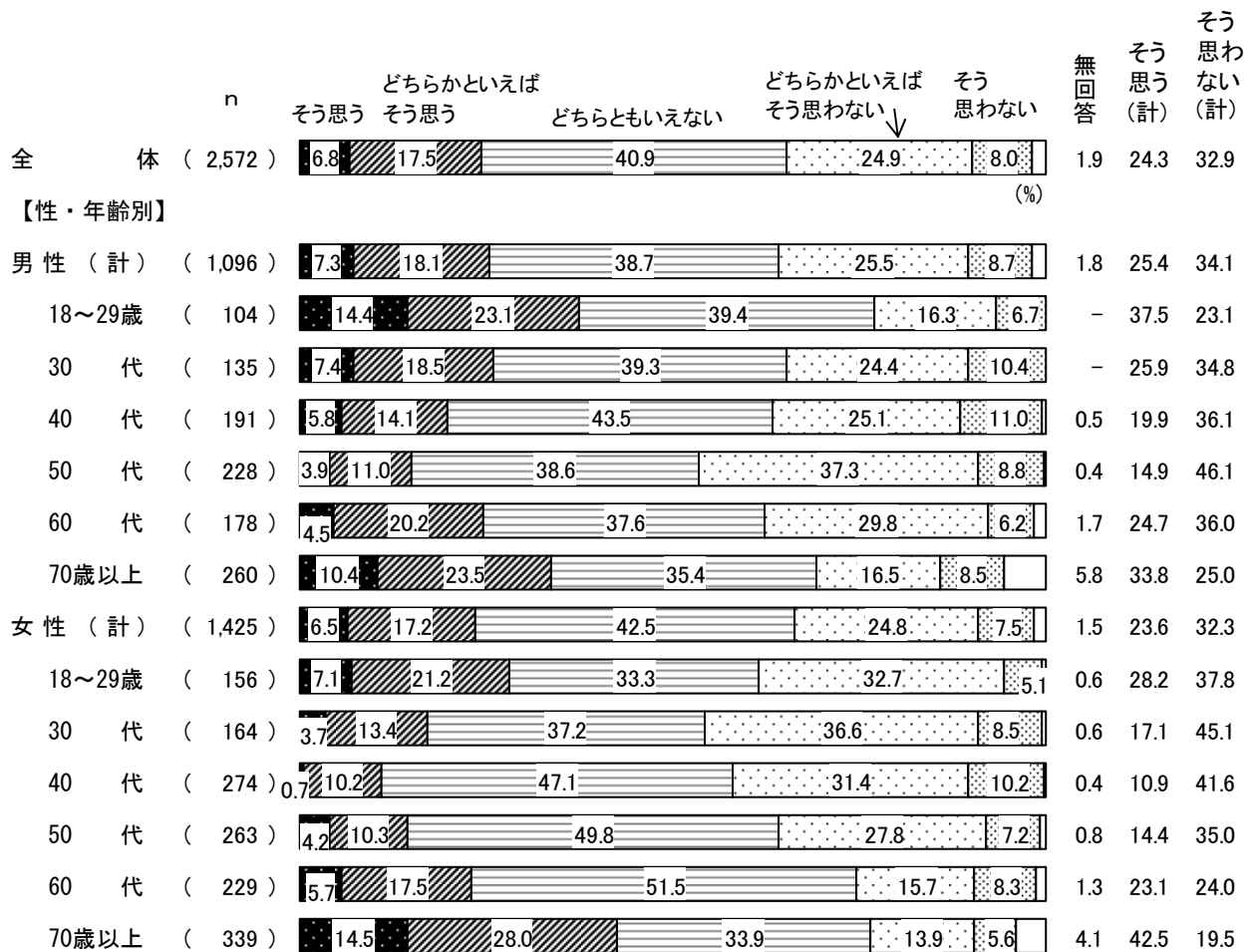
※昭和63年、平成8年調査は、「どちらともいえない」は、「どちらともいえない・わからない」としていた。

③ 生活価値観（セ）将来に備えるより、今の生活を大切にしたい〔性・年齢別〕

『そう思わない（計）』は男性50代、女性30代で4割半ば

性・年齢別にみると、『そう思わない（計）』は男性50代（46.1%）、女性30代（45.1%）で4割半ばとなっている。

図6-1-30 生活価値観（セ）将来に備えるより、今の生活を大切にしたい〔性・年齢別〕

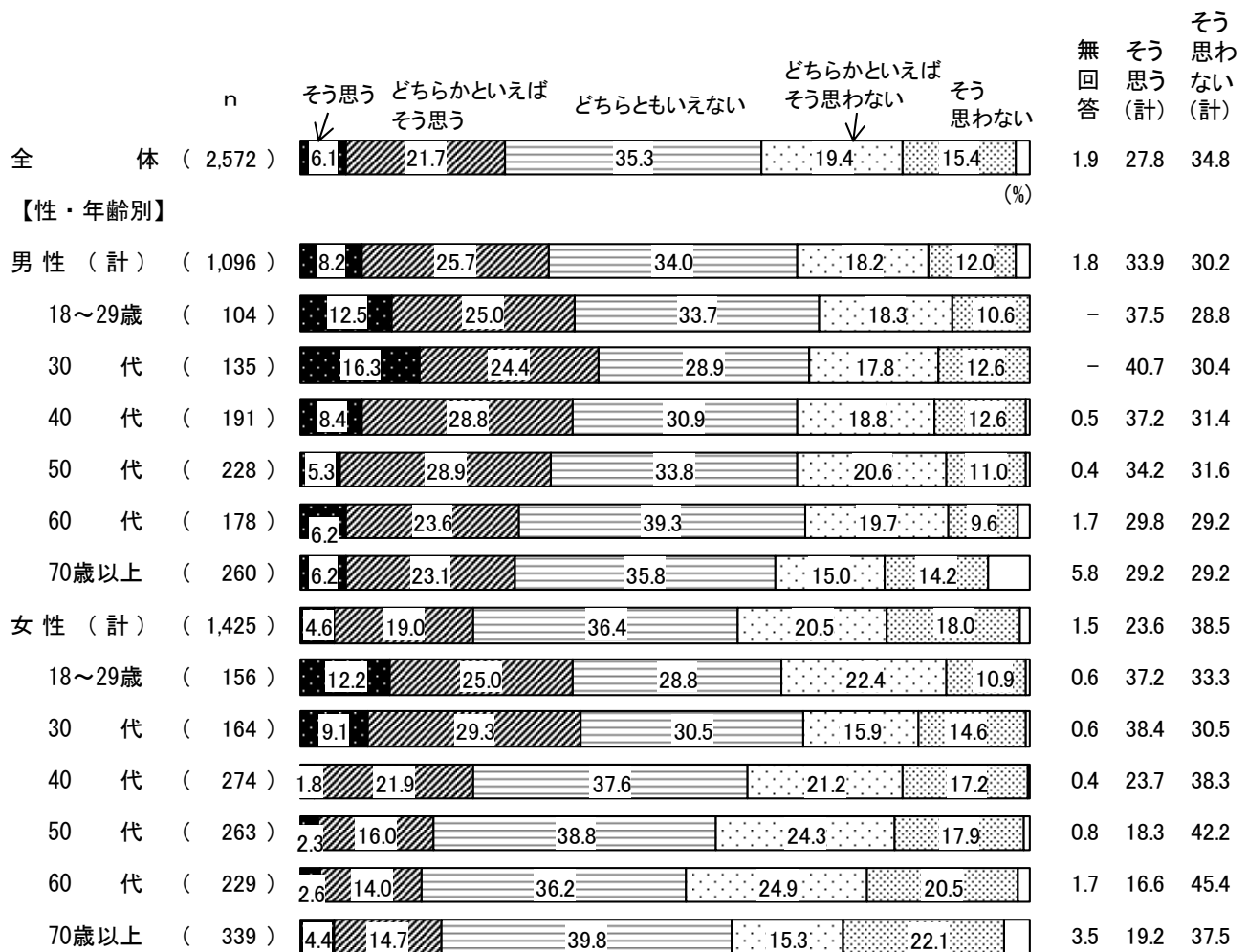


③② 生活価値観（ソ）自分の生活が便利になるのであれば、自分に関する情報を知らせたり登録したりしてもよい【性・年齢別】

『そう思う（計）』は男性30代で4割を超える

性・年齢別にみると、『そう思う（計）』は男性30代（40.7%）で4割を超えて最も多く、女性30代（38.4%）でも4割近くとなっている。一方、『そう思わない（計）』は女性60代（45.4%）で4割半ばと最も多くなっている。

図6-1-31 生活価値観（ソ）自分の生活が便利になるのであれば、自分に関する情報を知らせたり登録したりしてもよい【性・年齢別】

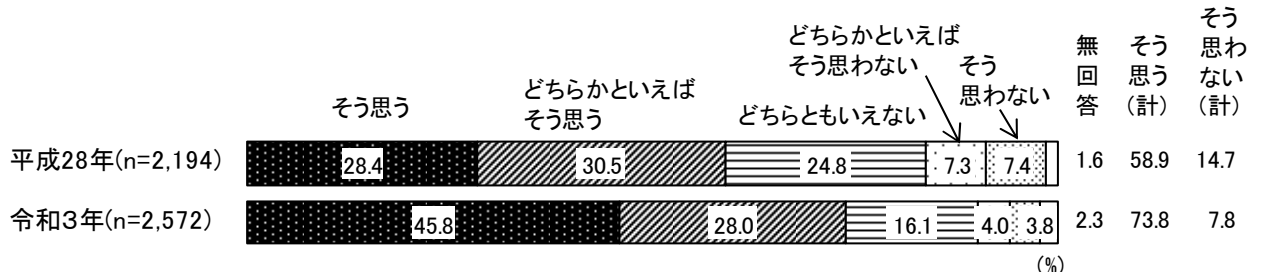


③③ 生活価値観（タ）インターネットやスマートフォンは、生活に必要不可欠である [経年比較]

『そう思う（計）』は前回調査(平成28年)と比べ14.9ポイント増加

経年比較をみると、『そう思う（計）』が前回調査(平成28年)（58.9%）と比べ、14.9ポイント増加となっている。

図6-1-32 生活価値観（タ）インターネットやスマートフォンは、生活に必要不可欠である [経年比較]

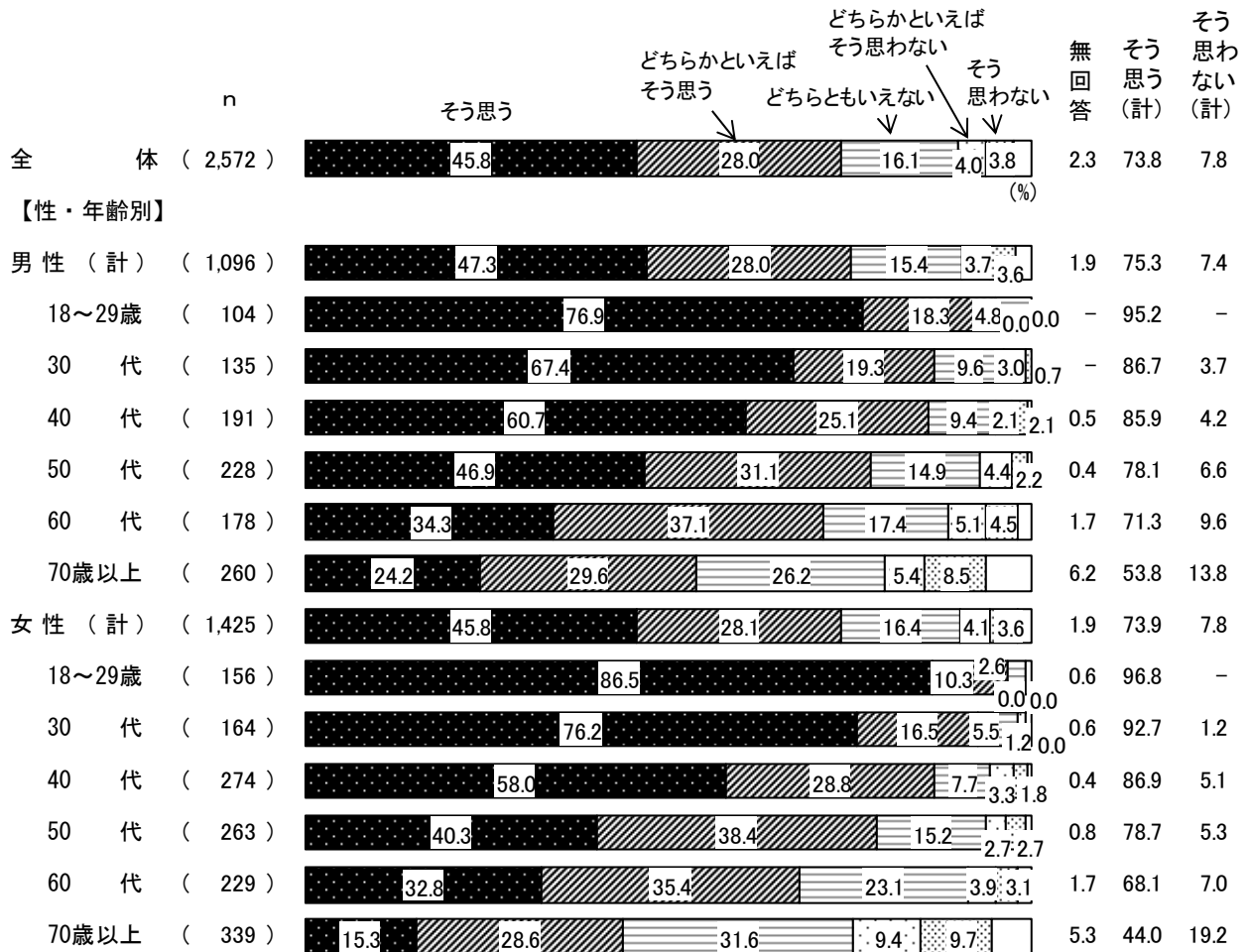


③④ 生活価値観（タ）インターネットやスマートフォンは、生活に必要不可欠である [性・年齢別]

『そう思う（計）』は女性18~29歳で9割半ば

性・年齢別にみると、『そう思う（計）』は女性18~29歳（96.8%）、男性18~29歳（95.2%）で9割半ばとなっており、男女共に年齢が高くなるにつれ少なくなっている。

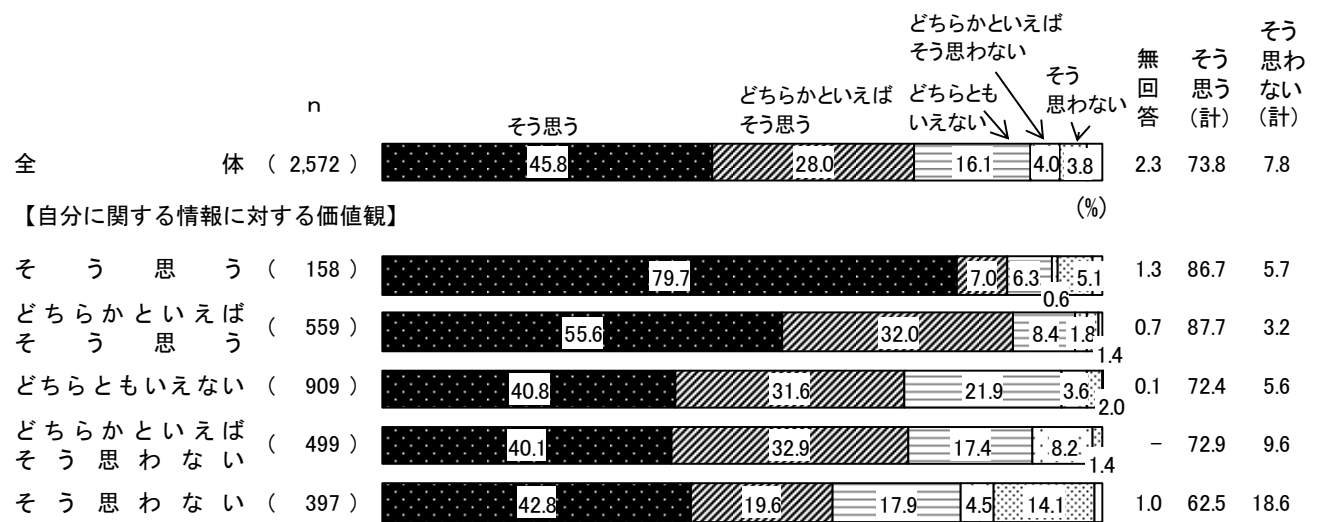
図6-1-33 生活価値観（タ）インターネットやスマートフォンは、生活に必要不可欠である [性・年齢別]



㊸ 生活価値観（タ）インターネットやスマートフォンは、生活に必要不可欠である〔自分に関する情報に対する価値観〕

『そう思わない（計）』は「自分に関する情報を知らせたり登録してもよいと思わない」で2割近く生活価値観（ソ）「自分の生活が便利になるのであれば、自分に関する情報を知らせたり登録したりしてもよい」への回答別にみると、『そう思う（計）』は「自分に関する情報を知らせたり登録してもよい」に対し『そう思う（計）』（86.7%）、「どちらかといえばそう思う」（87.7%）と回答した人で、8割半ばと多くなっている。一方、『そう思わない（計）』は自分に関する情報を知らせたり登録してもよいと「思わない」（18.6%）で2割近くと最も多くなっている。

図6-1-34 生活価値観（タ）インターネットやスマートフォンは、生活に必要不可欠である〔自分に関する情報に対する価値観〕



7. これからの生活・社会

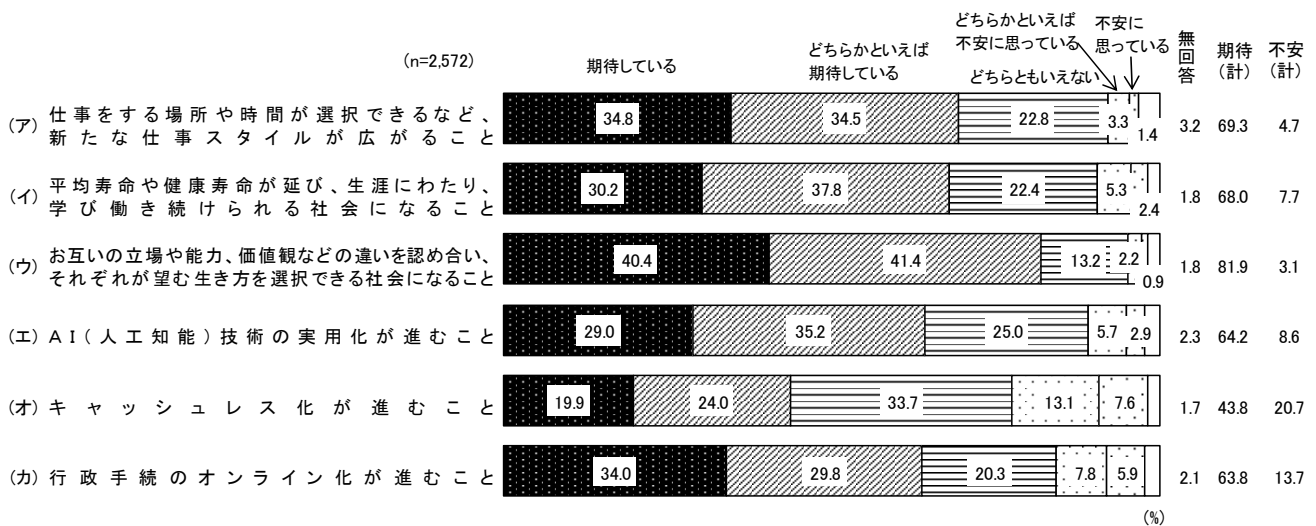
(1) 生活を取り巻く環境の変化への期待・不安

問 16 あなたは、次のような私たちの生活を取り巻く環境の変化について、期待していますか。それとも不安に思っていますか。(○はそれぞれ1つ)

『期待(計)』は「生き方を選択できる社会」で8割を超える

(ア) 「新たな仕事スタイル」から(カ) 「行政手続のオンライン化」までの6項目をみると、「期待している」と「どちらかといえば期待している」を合わせた『期待(計)』は、「生き方を選択できる社会」(81.9%)で8割を超えて最も多くなっている。一方、「不安に思っている」と「どちらかといえば不安に思っている」を合わせた『不安(計)』は、「キャッシュレス化」(20.7%)で2割を超えている。

図7-1-1 生活を取り巻く環境の変化への期待・不安 [全体]

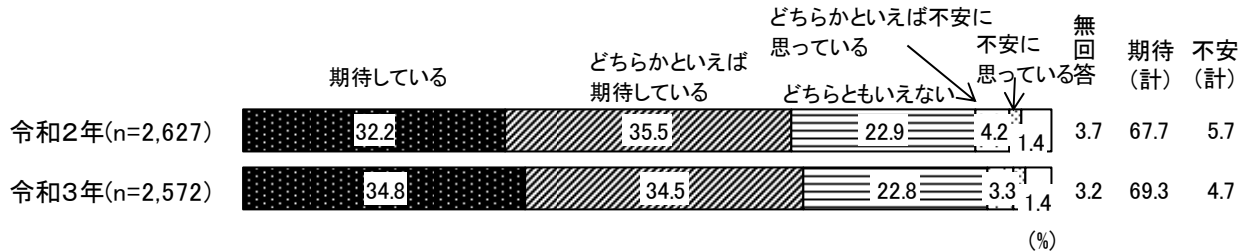


① 環境の変化への期待・不安（ア）新たな仕事スタイルが広がること [経年比較]

『期待（計）』は前回調査(令和2年)と比べ1.6ポイント増加

経年比較をみると、『期待（計）』が前回調査(令和2年)（67.7%）と比べ、1.6ポイント増加となっている。

図7-1-2 環境の変化への期待・不安（ア）新たな仕事スタイルが広がること [経年比較]

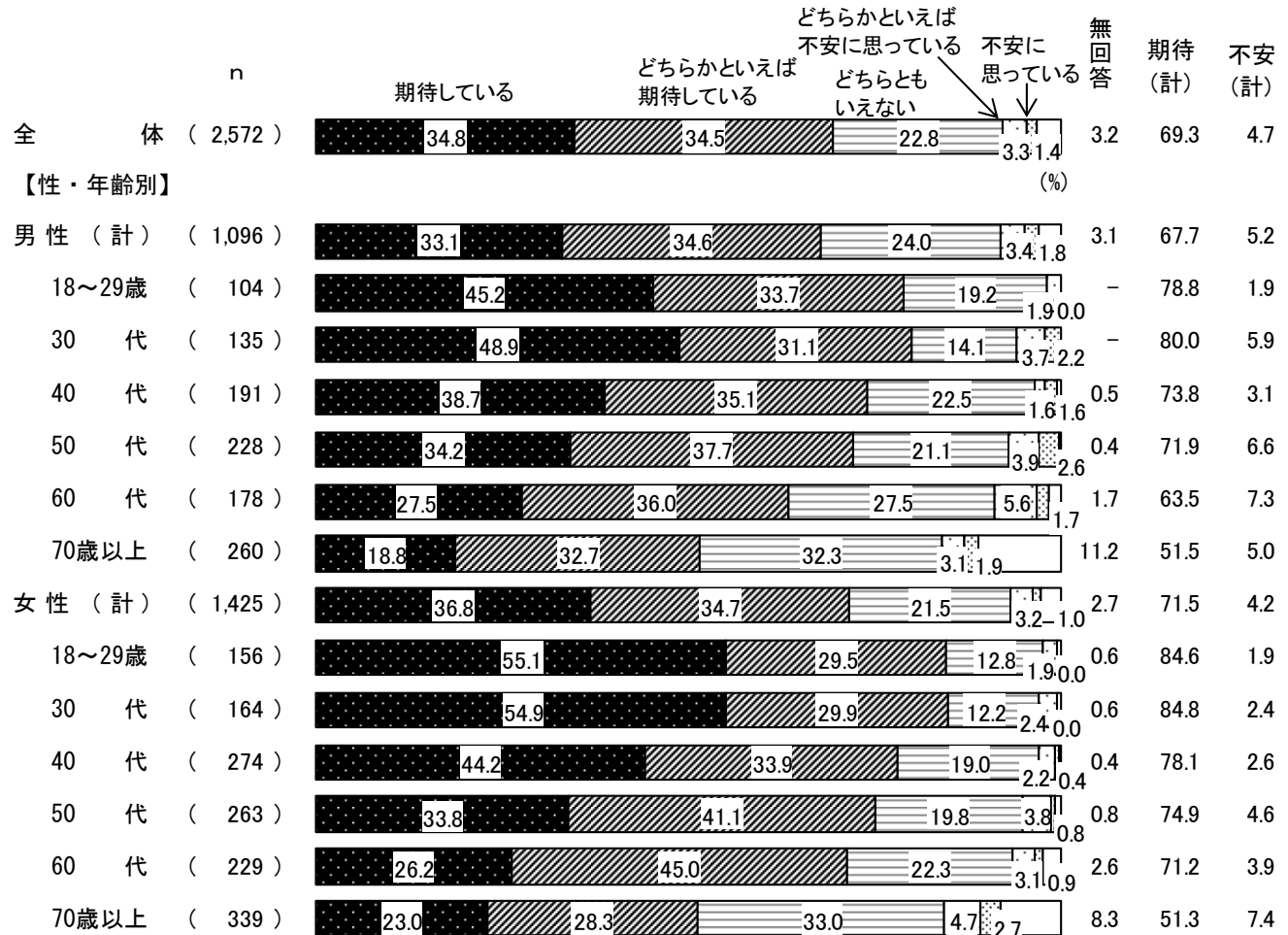


② 環境の変化への期待・不安（ア）新たな仕事スタイルが広がること [性・年齢別]

『期待（計）』は女性18～29歳、女性30代で8割半ば

性・年齢別にみると、『期待（計）』は女性18～29歳（84.6%）、女性30代（84.8%）で8割半ばとなっている。

図7-1-3 環境の変化への期待・不安（ア）新たな仕事スタイルが広がること [性・年齢別]

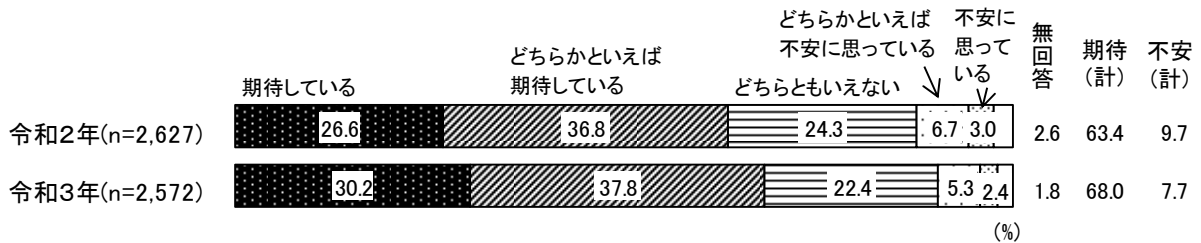


③ 環境の変化への期待・不安（イ）学び働き続けられる社会〔経年比較〕

『期待（計）』は前回調査（令和2年）と比べ4.6ポイント増加

経年比較をみると、『期待（計）』が前回調査（令和2年）（63.4%）と比べ、4.6ポイント増加となっている。

図7-1-4 環境の変化への期待・不安（イ）、学び働き続けられる社会〔経年比較〕

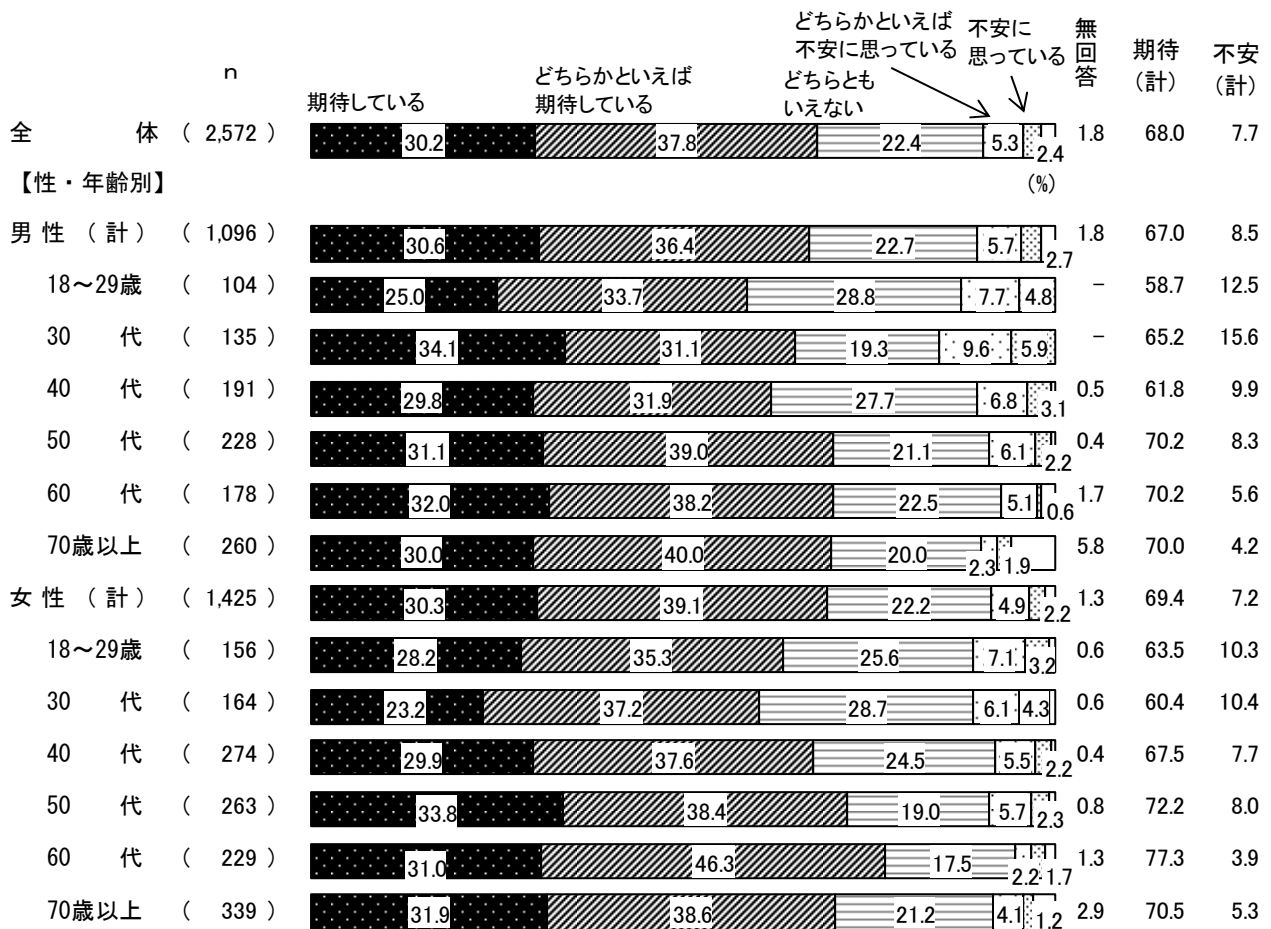


④ 環境の変化への期待・不安（イ）学び働き続けられる社会〔性・年齢別〕

『期待（計）』は女性60代で7割半ば

性・年齢別にみると、『期待（計）』は女性60代（77.3%）で7割半ばと最も多くなっている。一方、『不安（計）』は男性30代（15.6%）で1割半ばと最も多くなっている。

図7-1-5 環境の変化への期待・不安（イ）学び働き続けられる社会になること〔性・年齢別〕

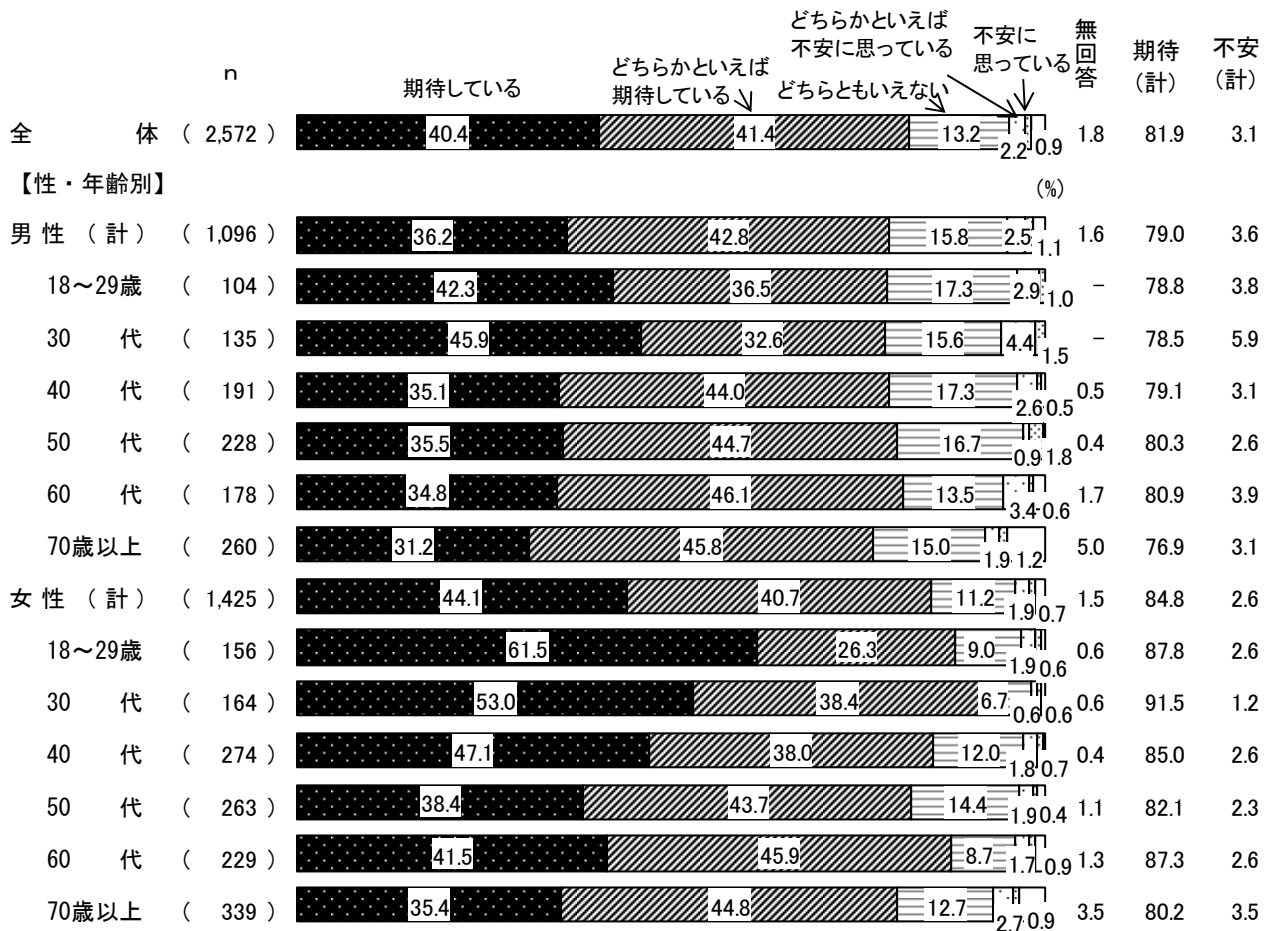


⑤ 環境の変化への期待・不安（ウ）生き方を選択できる社会〔性・年齢別〕

『期待（計）』は女性30代で9割を超える

性・年齢別にみると、『期待（計）』は女性30代（91.5%）で9割を超えて最も多くなっている。また、各年齢とも女性は男性より『期待（計）』が多くなっている。

図7-1-6 環境の変化への期待・不安（ウ）生き方を選択できる社会〔性・年齢別〕

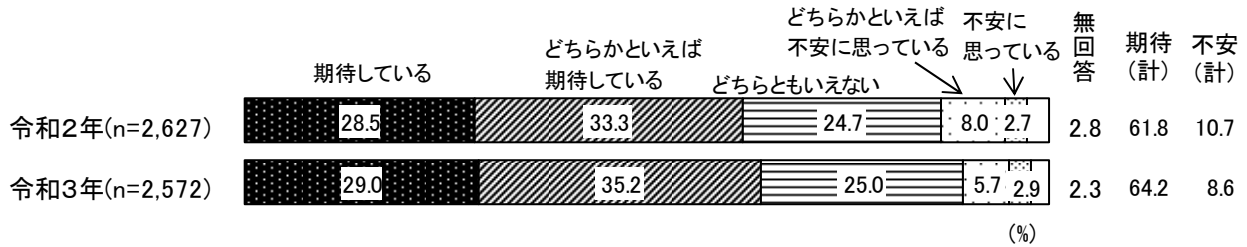


⑥ 環境の変化への期待・不安（エ）A I（人工知能）技術の実用化〔経年比較〕

『期待（計）』は前回調査（令和2年）と比べ2.4ポイント増加

経年比較をみると、『期待（計）』が前回調査（令和2年）（61.8%）と比べ、2.4ポイント増加となっている。

図7-1-7 環境の変化への期待・不安（エ）A I（人工知能）技術の実用化〔経年比較〕

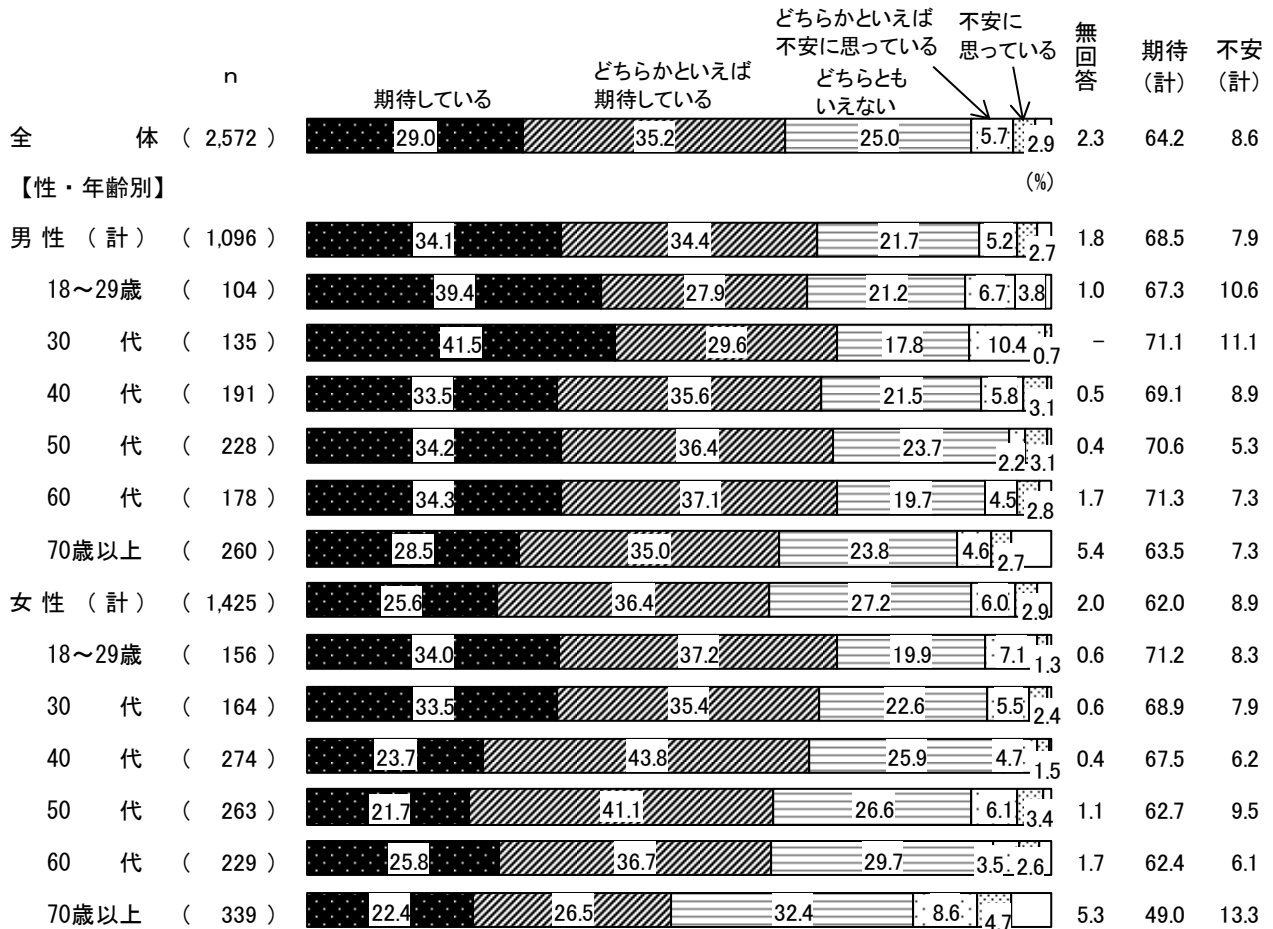


⑦ 環境の変化への期待・不安（エ）A I（人工知能）技術の実用化〔性・年齢別〕

『不安（計）』は女性70歳以上で1割半ば

性・年齢別にみると、『不安（計）』は女性70歳以上（13.3%）で1割半ばと最も多くなっている。

図7-1-8 環境の変化への期待・不安（エ）A I（人工知能）技術の実用化〔性・年齢別〕

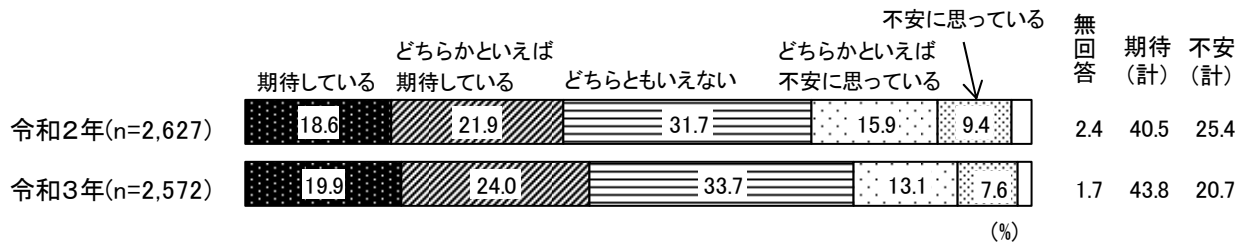


⑧ 環境の変化への期待・不安（オ）キャッシュレス化 [経年比較]

『不安（計）』は前回調査(令和2年)と比べ4.7ポイント減少

経年比較をみると、『不安（計）』が前回調査(令和2年)（25.4%）と比べ、4.7ポイント減少となっている。

図7-1-9 環境の変化への期待・不安（オ）キャッシュレス化 [経年比較]

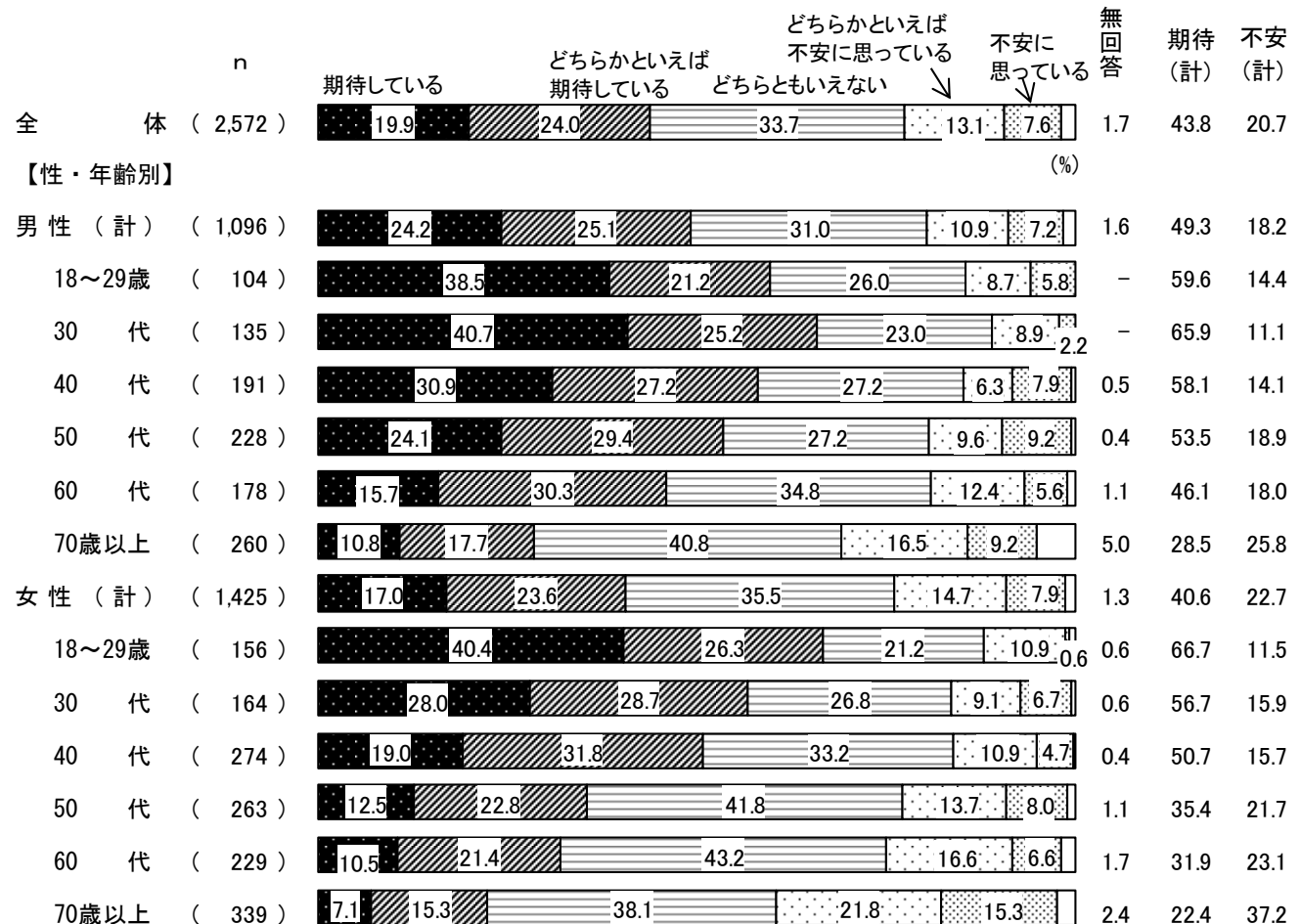


⑨ 環境の変化への期待・不安（オ）キャッシュレス化 [性・年齢別]

『不安（計）』は女性70歳以上が3割半ば

性・年齢別にみると、『不安（計）』は女性70歳以上（37.2%）で3割半ばと最も多くなっている。

図7-1-10 環境の変化への期待・不安（オ）キャッシュレス化 [性・年齢別]

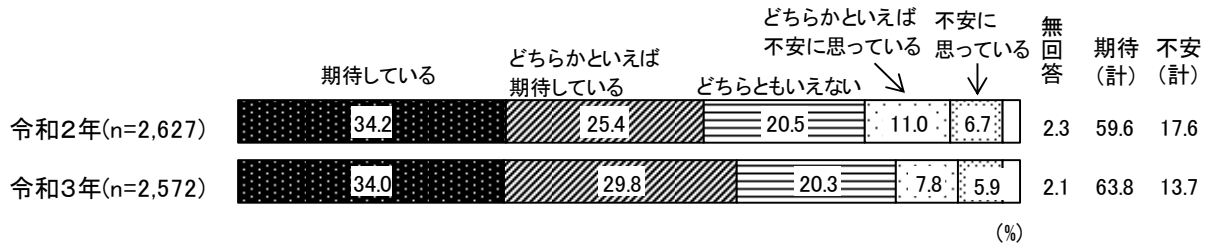


⑩ 環境の変化への期待・不安（カ）行政手続のオンライン化 [経年比較]

『期待（計）』は前回調査(令和2年)と比べ4.2ポイント増加

経年比較をみると、『期待（計）』が前回調査(令和2年)（59.6%）と比べ、4.2ポイント増加となっている。

図7-1-11 環境の変化への期待・不安（カ）行政手続のオンライン化 [経年比較]

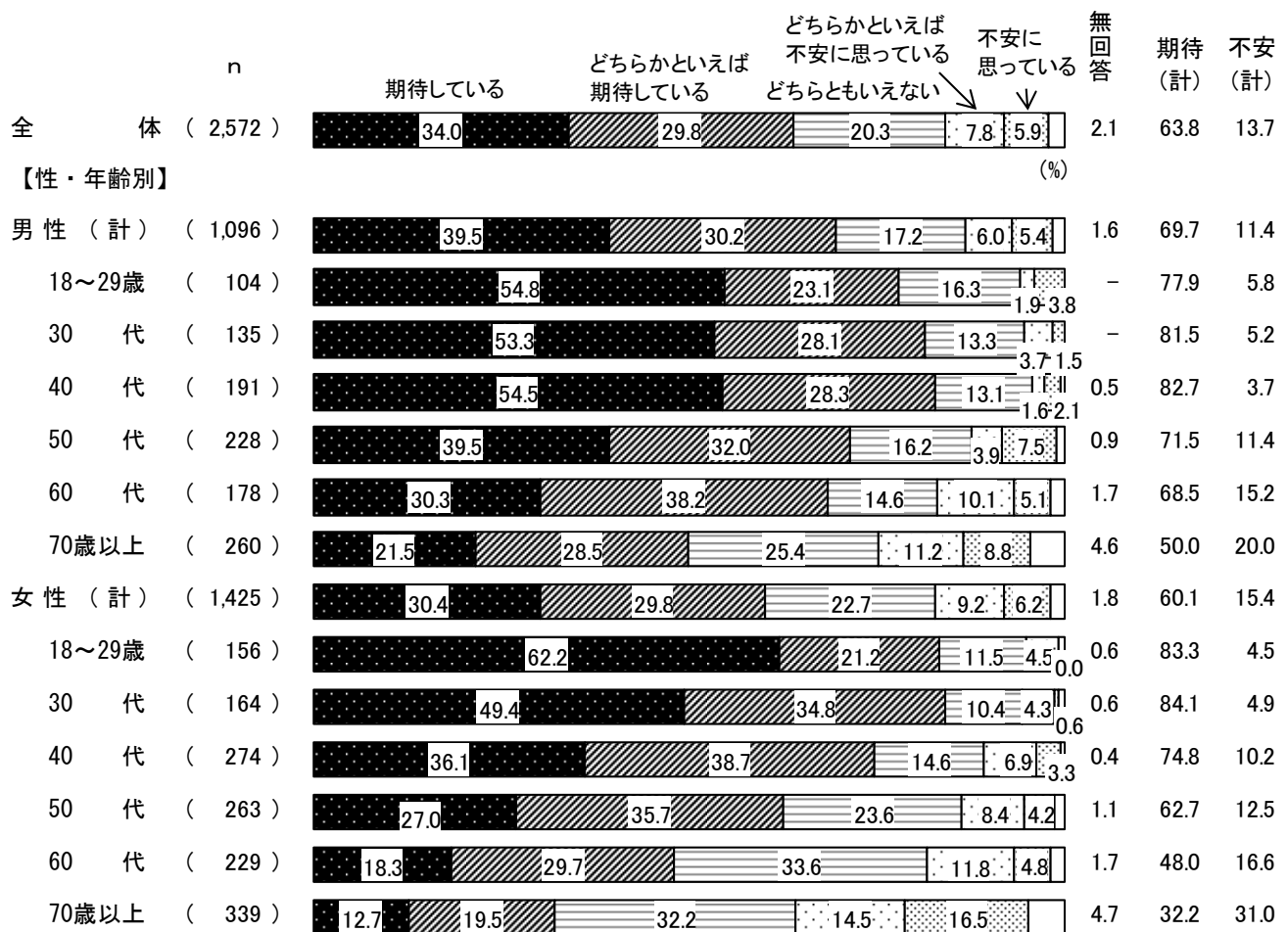


⑪ 環境の変化への期待・不安（カ）行政手続のオンライン化 [性・年齢別]

『期待（計）』は女性18～29歳、女性30代で8割半ば

性・年齢別にみると、『期待（計）』は女性18～29歳（83.3%）、女性30代（84.1%）で8割半ばとなっている。『不安（計）』は女性70歳以上（31.0%）で3割を超えて最も多くなっている一方、男性40代以下、女性30代以下では、1割未満と少なくなっている。

図7-1-12 環境の変化への期待・不安（カ）行政手続のオンライン化 [性・年齢別]



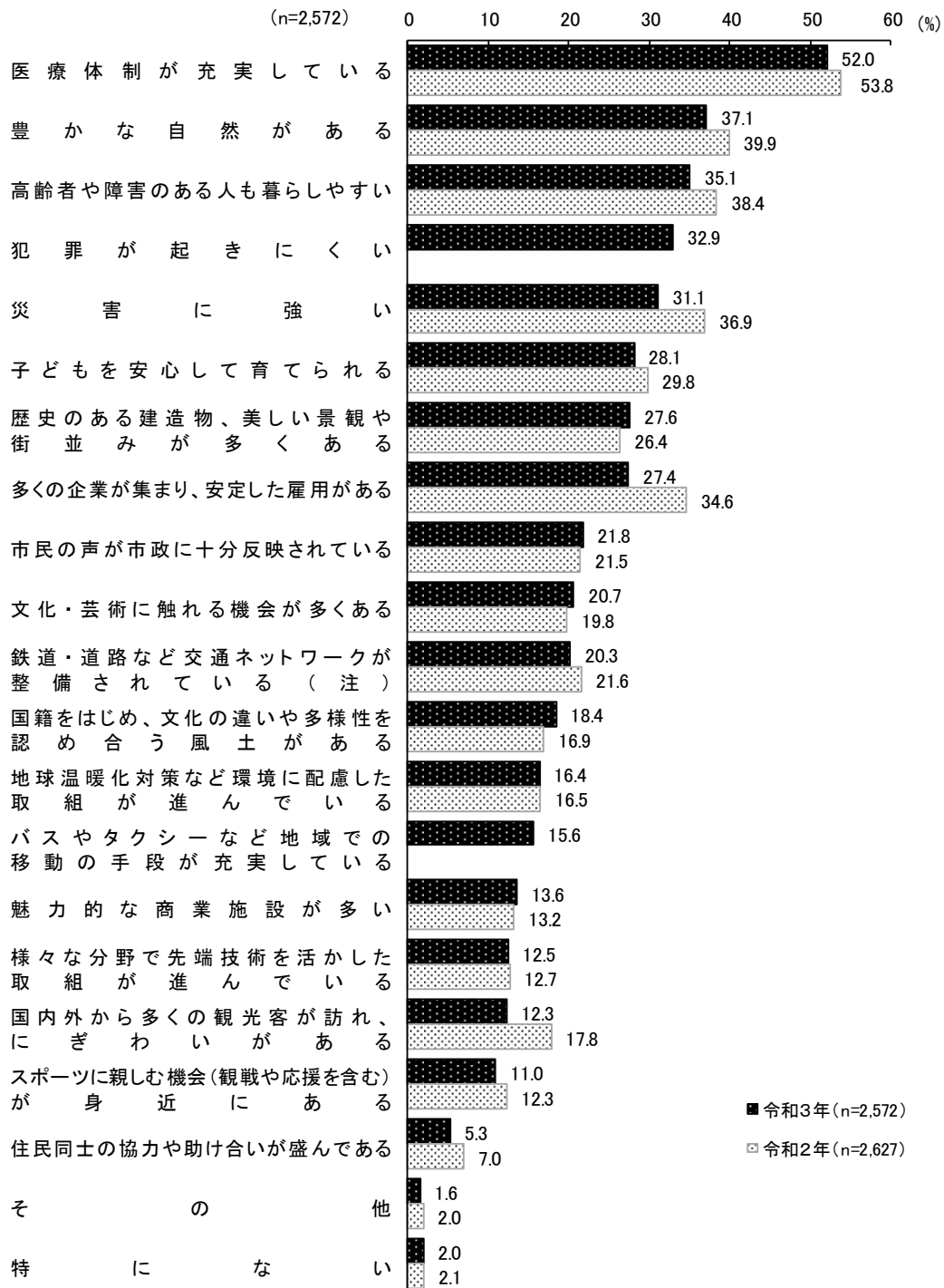
(2) 今後の横浜のまち

問17 今後の横浜のまちについて、あなたはどのようなまちになるとよいと思いますか。最も優先したいものを5つまでお選びください。(〇は5つまで)

「医療体制が充実している」が5割を超える

今後そうなることよいと思う横浜のまちについては、「医療体制が充実している」(52.0%)で5割を超えて最も多く、次いで「豊かな自然がある」(37.1%)、「高齢者や障害のある人も暮らしやすい」(35.1%)となっている。

図7-2-1 今後の横浜のまち [全体]



※「犯罪が起きにくい」「バスやタクシーなど地域での移動の手段が充実している」は令和3年より新設(注)令和2年は「交通ネットワークが充実している」としていた。

① 今後の横浜のまち [区別]

中区で「歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある」が1位

区別にみると、中区で「歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある」、それ以外の区で「医療体制が充実している」が1位となっている。

表7-2-1 今後の横浜のまち [区別]

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=2,572)		医療体制が充実している 52.0	豊かな自然がある 37.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 35.1	犯罪が起きにくい 32.9	災害に強い 31.1
区別	鶴見区 (n=185)	医療体制が充実している 50.8	災害に強い 36.8	犯罪が起きにくい 35.1	豊かな自然がある 33.5	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 31.9
	神奈川区 (n=171)	医療体制が充実している 44.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 38.0	災害に強い 36.3	子どもを安心して育てられる／多くの企業が集まり、安定した雇用がある	31.6
	西区 (n=72)	医療体制が充実している 47.2	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 36.1	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある／多くの企業が集まり、安定した雇用がある	34.7	犯罪が起きにくい 33.3
	中区 (n=104)	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 40.4	医療体制が充実している 39.4	犯罪が起きにくい 35.6	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 34.6	国籍をはじめ、文化の違いや多様性を認め合う風土がある 30.8
	南区 (n=138)	医療体制が充実している 55.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 35.5	災害に強い 34.8	犯罪が起きにくい 34.1	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 33.3
	港南区 (n=158)	医療体制が充実している 55.1	豊かな自然がある 39.2	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 32.9	犯罪が起きにくい 32.3	災害に強い 31.6
	保土ヶ谷区 (n=137)	医療体制が充実している 48.9	豊かな自然がある 35.8	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 33.6	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 27.7	災害に強い 27.0
	旭区 (n=172)	医療体制が充実している 55.8	豊かな自然がある 42.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 36.6	犯罪が起きにくい 33.7	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 27.9
	磯子区 (n=100)	医療体制が充実している 56.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 39.0	豊かな自然がある／災害に強い	35.0	子どもを安心して育てられる 34.0
	金沢区 (n=127)	医療体制が充実している 53.5	豊かな自然がある 48.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 31.5	犯罪が起きにくい／災害に強い	30.7
	港北区 (n=205)	医療体制が充実している 51.2	犯罪が起きにくい 36.6	豊かな自然がある／子どもを安心して育てられる	35.1	災害に強い 34.1
	緑区 (n=118)	医療体制が充実している 56.8	豊かな自然がある 45.8	犯罪が起きにくい 38.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 35.6	子どもを安心して育てられる 32.2
	青葉区 (n=208)	医療体制が充実している 53.8	豊かな自然がある 42.3	犯罪が起きにくい 34.6	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 33.2	子どもを安心して育てられる 29.3
	都筑区 (n=158)	医療体制が充実している 57.6	豊かな自然がある 47.5	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 37.3	犯罪が起きにくい／災害に強い	33.5
	戸塚区 (n=192)	医療体制が充実している 54.2	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 37.0	災害に強い 32.8	豊かな自然がある／犯罪が起きにくい	31.8
	栄区 (n=98)	医療体制が充実している 51.0	豊かな自然がある 46.9	災害に強い 36.7	犯罪が起きにくい 34.7	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 32.7
	泉区 (n=111)	医療体制が充実している 55.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 40.5	豊かな自然がある 36.0	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 34.2	犯罪が起きにくい 33.3
瀬谷区 (n=80)	医療体制が充実している 50.0	豊かな自然がある 43.8	犯罪が起きにくい 35.0	災害に強い 33.8	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 31.3	

② 今後の横浜のまち [年齢別]

30代で「子どもを安心して育てられる」が1位

年齢別にみると、30代で「子どもを安心して育てられる」、それ以外の年齢で「医療体制が充実している」が1位となっている。

③ 今後の横浜のまち [性・年齢別]

女性18～29歳、女性30代で「子どもを安心して育てられる」が1位

性・年齢別にみると、女性18～29歳、女性30代で「子どもを安心して育てられる」が1位となっている。また、男性18～29歳で「多くの企業が集まり、安定した雇用がある」、男性40代で「犯罪が起きにくい」、それ以外の年齢は男女共に「医療体制が充実している」がそれぞれ1位となっている。

表7-2-2 今後の横浜のまち [年齢別、性・年齢別]

属性	順位	1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,572)	医療体制が充実している 52.0	豊かな自然がある 37.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 35.1	犯罪が起きにくい 32.9	災害に強い 31.1
年齢別	18～29歳	医療体制が充実している (n=262) 34.4	子どもを安心して育てられる 32.4	豊かな自然がある 31.3	犯罪が起きにくい 27.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 27.5
	30代	子どもを安心して育てられる (n=301) 53.2	医療体制が充実している 47.2	犯罪が起きにくい 39.2	豊かな自然がある 38.9	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 29.6
	40代	医療体制が充実している (n=466) 46.4	子どもを安心して育てられる 40.6	犯罪が起きにくい 40.1	豊かな自然がある 37.1	災害に強い 35.2
	50代	医療体制が充実している (n=494) 57.7	災害に強い 40.1	犯罪が起きにくい 39.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 39.5	豊かな自然がある 32.6
	60代	医療体制が充実している (n=408) 61.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 44.9	豊かな自然がある 37.5	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 33.3	災害に強い 31.4
	70歳以上	医療体制が充実している (n=605) 57.0	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 51.9	豊かな自然がある 42.3	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 28.4	災害に強い/多くの企業が集まり、安定した雇用がある 24.6
	男性計	(n=1,096) 52.6	豊かな自然がある 37.6	犯罪が起きにくい 32.8	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 32.0	災害に強い 29.9
性・年齢別	18～29歳	多くの企業が集まり、安定した雇用がある (n=104) 34.6	医療体制が充実している 33.7	様々な分野で先端技術を活かした取組が進んでいる 32.7	魅力的な商業施設が多い 30.8	豊かな自然がある 28.8
	30代	医療体制が充実している (n=135) 46.7	子どもを安心して育てられる 42.2	豊かな自然がある 37.0	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 34.8	犯罪が起きにくい 33.3
	40代	犯罪が起きにくい (n=191) 44.5	医療体制が充実している 43.5	豊かな自然がある 39.3	子どもを安心して育てられる 36.1	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 35.1
	50代	医療体制が充実している (n=228) 59.2	高齢者や障害のある人も暮らしやすい/犯罪が起きにくい 39.0	豊かな自然がある 37.6	災害に強い 37.7	豊かな自然がある 33.8
	60代	医療体制が充実している (n=178) 60.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 43.8	豊かな自然がある 37.6	災害に強い 31.5	犯罪が起きにくい/歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 29.8
	70歳以上	医療体制が充実している (n=260) 59.2	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 50.0	豊かな自然がある 43.5	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 27.3	災害に強い 25.8
	女性計	(n=1,425) 52.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 37.1	豊かな自然がある 36.8	犯罪が起きにくい 32.9	災害に強い 32.4
性・年齢別	18～29歳	子どもを安心して育てられる (n=156) 37.2	医療体制が充実している 34.6	豊かな自然がある 33.3	国籍をはじめ、文化の違いや多様性を認め合う風土がある 32.1	鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている 27.6
	30代	子どもを安心して育てられる (n=164) 62.2	医療体制が充実している 47.6	犯罪が起きにくい 44.5	豊かな自然がある 40.2	災害に強い 31.1
	40代	医療体制が充実している (n=274) 48.5	子どもを安心して育てられる 43.4	災害に強い 38.3	犯罪が起きにくい 36.9	豊かな自然がある 35.4
	50代	医療体制が充実している (n=263) 56.3	災害に強い 41.8	高齢者や障害のある人も暮らしやすい/犯罪が起きにくい 38.3	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 39.9	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 31.9
	60代	医療体制が充実している (n=229) 61.6	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 45.9	豊かな自然がある 37.1	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 36.2	災害に強い 31.4
	70歳以上	医療体制が充実している (n=339) 55.5	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 53.7	豊かな自然がある 41.9	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 29.5	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 26.8

④ 今後の横浜のまち [ライフステージ別]

家族形成期、家族成長前期、家族成長中期で「子どもが安心して育てられる」が1位

ライフステージ別にみると、家族形成期、家族成長前期、家族成長中期で「子どもが安心して育てられる」、夫婦だけ(1)で「医療体制が充実している」と「子どもを安心して育てられる」が同率1位、それ以外のライフステージで「医療体制が充実している」がそれぞれ1位となっている。

表7-2-3 今後の横浜のまち [ライフステージ別]

属性		順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
全体	(n=2,572)	医療体制が充実している 52.0	豊かな自然がある 37.1	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 35.1	犯罪が起きにくい 32.9	災害に強い 31.1
子どもなし計	(n=756)	医療体制が充実している 48.0	犯罪が起きにくい 34.0	豊かな自然がある 33.7	災害に強い 33.2	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 28.8
単身(1) 40歳未満	(n=307)	医療体制が充実している 38.4	豊かな自然がある 34.2	犯罪が起きにくい 30.3	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 30.0	鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている 28.3
単身(2) 40~64歳	(n=185)	医療体制が充実している 50.3	犯罪が起きにくい 40.0	災害に強い 37.3	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 34.6	多くの企業が集まり、安定した雇用がある／鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている 34.1
夫婦だけ(1) 40歳未満	(n=53)	医療体制が充実している／子どもを安心して育てられる 39.6	豊かな自然がある 37.7	犯罪が起きにくい 35.8	鉄道・道路など交通ネットワークが整備されている 34.0	
夫婦だけ(2) 40~64歳	(n=139)	医療体制が充実している 56.1	災害に強い 42.4	犯罪が起きにくい 40.3	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 35.3	豊かな自然がある 30.9
高齢子どもなし	(n=72)	医療体制が充実している 73.6	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 52.8	豊かな自然がある 40.3	災害に強い 33.3	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 31.9
子どもあり計	(n=1,676)	医療体制が充実している 54.5	豊かな自然がある／高齢者や障害のある人も暮らしやすい 38.8	子どもを安心して育てられる 33.6	犯罪が起きにくい 33.2	
家族形成期 第一子が小学校入学前	(n=143)	子どもを安心して育てられる 76.9	医療体制が充実している 49.7	豊かな自然がある 40.6	犯罪が起きにくい 37.8	災害に強い 28.0
家族成長前期 第一子が小学生	(n=165)	子どもを安心して育てられる 69.1	医療体制が充実している 44.8	犯罪が起きにくい 43.6	豊かな自然がある 41.8	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 28.5
家族成長中期 第一子が中・高生	(n=187)	子どもを安心して育てられる 47.6	医療体制が充実している 45.5	犯罪が起きにくい 38.5	災害に強い 35.3	豊かな自然がある 33.7
家族成長後期 第一子が大学生等	(n=109)	医療体制が充実している 52.3	多くの企業が集まり、安定した雇用がある 42.2	豊かな自然がある 39.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 38.5	災害に強い 36.7
家族成熟前期 第一子が学校教育終了	(n=89)	医療体制が充実している 60.7	犯罪が起きにくい 44.9	災害に強い 39.3	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 38.2	豊かな自然がある 34.8
家族成熟中期 子が全員独立・65歳未満	(n=322)	医療体制が充実している 58.4	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 39.4	災害に強い 37.3	豊かな自然がある 37.0	犯罪が起きにくい 34.5
家族成熟後期 子が全員独立・65歳以上	(n=661)	医療体制が充実している 58.2	高齢者や障害のある人も暮らしやすい 51.6	豊かな自然がある 40.5	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある 28.7	災害に強い 26.2

⑤ 今後の横浜のまち [市政全体への満足度別]

全ての市政全体への満足度で「医療体制が充実している」が1位

市政全体への満足度別にみると、「満足しているほう」から「不満があるほう」まで全ての満足度で「医療体制が充実している」が1位となっている。

表7-2-4 今後の横浜のまち [市政全体への満足度別]

属性 \ 順位		(%)				
		1位	2位	3位	4位	5位
全 体 (n=2,572)	医療体制が充実している	52.0	豊かな自然がある	高齢者や障害のある人も暮らしやすい	犯罪が起きにくい	災害に強い
			37.1	35.1	32.9	31.1
満足しているほう (n=165)	医療体制が充実している	46.1	豊かな自然がある	多くの企業が集まり、安定した雇用がある	歴史のある建造物、美しい景観や街並みが多くある	犯罪が起きにくい
			39.4	33.3	30.3	29.1
まあ満足しているほう (n=631)	医療体制が充実している	50.9	高齢者や障害のある人も暮らしやすい	豊かな自然がある	犯罪が起きにくい	災害に強い
			38.8	35.7	33.4	30.9
どちらともいえない (n=923)	医療体制が充実している	53.3	豊かな自然がある	高齢者や障害のある人も暮らしやすい	犯罪が起きにくい	災害に強い
			39.7	37.3	33.6	32.5
やや不満があるほう (n=229)	医療体制が充実している	52.4	市民の声が市政に十分反映されている	高齢者や障害のある人も暮らしやすい	豊かな自然がある	犯罪が起きにくい
			38.4	36.2	34.1	30.1
不満があるほう (n=463)	医療体制が充実している	53.1	豊かな自然がある	子どもを安心して育てられる	犯罪が起きにくい	災害に強い
			34.6	33.7	33.0	31.7

令和3年度 横浜市民意識調査
令和4年3月発行

横浜市 政策局 政策部 政策課

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10

TEL 045 (671) 2028

FAX 045 (663) 1225

e-mail ss-ishiki@city.yokohama.jp

この報告書を引用する場合、出典を明記してください。